東海市創造の杜交流館
実施設計図書

2023.11.30
隈研吾建築都市設計事務所
KENGO KUMA & ASSOCIATES

承認印欄			
課長	統括主幹	統括主任	担当者

図　面　リ　ス　ト

意　匠　図

図面番号		図面名称	図面番号		図面名称	図面番号		図面名称	図面番号		図面名称	図面番号		図面名称
AA － 001	KA － 001	図面リスト	AA － 056-1		階段詳細図（5）	AA － 108		部分詳細図：大開口建具詳細図2	AA － 164		雑詳細図：厨房機器詳細図1			
AA － 002	KA － 002	計画概要表・敷地案内図	AA － 056-2		階段詳細図（6）	AA － 109		部分詳細図：大開口建具詳細図3	AA － 165		雑詳細図：厨房機器詳細図2			
AA － 003		特記仕様書（1）	AA － 056-3		階段詳細図（7）	AA － 110		部分詳細図：大開口建具詳細図4	AA － 166		雑詳細図：固定席詳細図			
AA － 004		特記仕様書（2）	AA － 057	KA － 029	建具表キープラン	KA － 111		部分詳細図：大開口建具詳細図5	AA － 167		雑詳細図1			
AA － 005		特記仕様書（3）	AA － 058		建具仕様表	AA － 112		部分詳細図：カーテンウォール詳細図1	AA － 168		雑詳細図2			
AA － 006		特記仕様書（4）	AA － 059		建具表（南棟1）	AA － 113		部分詳細図：カーテンウォール詳細図2	AA － 169		雑詳細図3			
AA － 007		特記仕様書（5）	AA － 060		建具表（南棟2）	AA － 114		部分詳細図：カーテンウォール詳細図3	AA － 170		雑詳細図4			
AA － 008		特記仕様書（6）	AA － 061		建具表（北棟）	AA － 115		部分詳細図：カーテンウォール詳細図4	AA － 171		雑詳細図5			
AA － 009		特記仕様書（7）		KA － 030	排煙算定用建具表	AA － 116		部分詳細図：カーテンウォール詳細図5	AA － 172		雑詳細図6			
AA － 010		特記仕様書（8）		KA － 031	消防有窓無窓算定用建具表	AA － 117		部分詳細図：カーテンウォール詳細図6	AA － 173		雑詳細図7			
AA － 011		特記仕様書（9）		KA － 031-2	採光有窓無窓算定用建具表	AA － 118		部分詳細図：カーテンウォール詳細図7	AA － 174		雑詳細図8			
AA － 012		工事区分表		KA － 031-3	換気有窓無窓算定用建具表	AA － 119		部分詳細図：カーテンウォール詳細図8	AA － 175		雑詳細図9			
AA － 013	KA － 003	現況平面図	AA － 062		展開図1	AA － 120		部分詳細図：カーテンウォール詳細図9	AA － 176		雑詳細図10			
AA － 014	KA － 004	敷地面積求積図	AA － 063		展開図2	AA － 121		部分詳細図：カーテンウォール詳細図10	AA － 177		雑詳細図11			
AA － 015	KA － 005	建築面積求積図	AA － 064		展開図3	AA － 122		部分詳細図：カーテンウォール詳細図11	AA － 178		サインキープラン（1階）			
AA － 016	KA － 006	床面積求積図（1階）	AA － 065		展開図4	AA － 123		部分詳細図：カーテンウォール詳細図12	AA － 179		サインキープラン（2階）			
AA － 017	KA － 007	床面積求積図（2階）	AA － 066		展開図5	AA － 124		部分詳細図：カーテンウォール詳細図13	AA － 180		サイン詳細図1			
AA － 018	KA － 008	平均地盤面算定図	AA － 067		展開図6	AA － 125		部分詳細図：カーテンウォール詳細図14	AA － 181		サイン詳細図2			
	KA － 009	平均天井高算定図1	AA － 068		展開図7	AA － 126		部分詳細図：カーテンウォール詳細図15	AA － 182		サイン詳細図3			
	KA － 010	平均天井高算定図2	AA － 069		展開図8	AA － 127		部分詳細図：カーテンウォール詳細図16	AA － 183		サイン詳細図4			
AA － 019	KA － 011	外部仕上表	AA － 070		展開図9	AA － 128		部分詳細図：カーテンウォール詳細図17	AA － 184		サイン詳細図5			
AA － 020	KA － 012	内部仕上表（南棟）	AA － 071		展開図10	AA － 129		部分詳細図：外装木ルーバー詳細図1	AA － 185		サイン詳細図6			
AA － 021	KA － 013	内部仕上表（北棟）	AA － 072		展開図11	AA － 130		部分詳細図：外装木ルーバー詳細図2	AA － 186		外構図			
AA － 022	KA － 014	等時間日影図	AA － 073		展開図12	AA － 131		部分詳細図：外装木ルーバー詳細図3	AA － 187		外溝詳細図1			
AA － 023	KA － 015	配置図兼屋根伏図	AA － 074		展開図13	AA － 132		部分詳細図：外装木ルーバー詳細図4	AA － 188		外構詳細図2			
AA － 024	KA － 016	平面図（ピット階）	AA － 075		展開図14	AA － 133		部分詳細図：外装木ルーバー詳細図5	AA － 189		外構詳細図3			
AA － 025	KA － 017	平面図（1階）	AA － 076		展開図15	AA － 134		部分詳細図：外装木ルーバー詳細図6	AA － 190		外構詳細図4			
AA － 026	KA － 018	平面図（2階）	AA － 077		展開図16	AA － 135		部分詳細図：外装木ルーバー詳細図7	AA － 191		外構詳細図5			
AA － 027	KA － 019	立面図1（南棟）	AA － 078		展開図17	AA － 136		部分詳細図：外装木ルーバー詳細図8	AA － 192		仮設計画図1			
AA － 028	KA － 020	立面図2（南棟）	AA － 079		展開図18	AA － 137		部分詳細図：外装木ルーバー詳細図9	AA － 193		仮設計画図2			
AA － 029	KA － 021	立面図3（北棟）	AA － 080		展開図19	KA － 138		部分詳細図：外装木ルーバー詳細図9	AA － 194		仮設計画図3			
AA － 030	KA － 022	立面図4（北棟）	AA － 081		展開図20	AA － 139		部分詳細図：内部詳細図	AA － 195		仮設計画図4			
AA － 031	KA － 023	断面図1	AA － 082		展開図21	AA － 140		部分詳細図：防音室詳細図	AA － 196		仮設計画図5			
AA － 032	KA － 024	断面図2	AA － 083		展開図22	AA － 141		部分詳細図：消音壁詳細図	AA － 197		仮設計画図6			
AA － 033	KA － 025	断面図3	AA － 084		展開図23	AA － 142		軒先詳細図	AA － 198		仮設計画図7			
AA － 034	KA － 026	断面図4	AA － 085		展開図24	AA － 143		家具詳細図1	AA － 199		仮設計画図8			
AA － 035		天井伏図（1階）	AA － 086		壁性能区分図1	AA － 144		家具詳細図2	AA － 200		仮設計画図9			
AA － 036		天井伏図（2階）	AA － 087		壁性能区分図2	AA － 145		家具詳細図3		KA － 046	耐火被覆範囲図1			
AA － 037		平面詳細図（1階－1）	AA － 088		壁性能区分図3	AA － 145		家具詳細図3		KA － 047	耐火被覆範囲図2			
AA － 038		平面詳細図（1階－2）	AA － 089	KA － 032	昇降機詳細図1	AA － 146		雑詳細図：点検通路吊りもの機構1		KA － 048	耐火被覆範囲図3			
AA － 039		平面詳細図（1階－3）	AA － 090	KA － 033	昇降機詳細図2	AA － 147		雑詳細図：点検通路吊りもの機構2		KA － 049	耐火被覆範囲図4			
AA － 040		平面詳細図（1階－4）	AA － 091	KA － 034	昇降機詳細図3	AA － 148		雑詳細図：点検通路吊りもの機構3		KA － 050	耐火被覆範囲図5			
AA － 041		平面詳細図（2階－1）	AA － 092	KA － 035	昇降機詳細図4	AA － 149		雑詳細図：点検通路吊りもの機構4		KA － 051	耐火被覆範囲図6			
AA － 042		平面詳細図（2階－2）	AA － 093	KA － 036	昇降機詳細図5	AA － 150		雑詳細図：点検通路吊りもの機構5		KA － 052	耐火被覆範囲図7			
AA － 043		平面詳細図（2階－3）	AA － 094	KA － 037	昇降機詳細図6	AA － 151		雑詳細図：点検通路吊りもの機構6		KA － 053	耐火被覆範囲図8			
AA － 044		平面詳細図（2階－4）	AA － 095	KA － 038	昇降機詳細図7	AA － 152		雑詳細図：点検通路吊りもの機構7		KA － 054	耐火被覆範囲図9			
AA － 045		矩計図1	AA － 096	KA － 039	昇降機詳細図8	AA － 153		雑詳細図：点検通路吊りもの機構8		KA － 055	耐火被覆範囲図10			
AA － 046		矩計図2	AA － 097	KA － 040	昇降機詳細図9	AA － 154		雑詳細図：点検通路吊りもの機構9		KA － 056	耐火被覆範囲図11			
AA － 047		矩計図3	AA － 098	KA － 041	昇降機詳細図10	AA － 155		雑詳細図：点検通路吊りもの機構10		KA － 057	階段詳細図1			
AA － 048	KA － 027	矩計図4	AA － 099	KA － 042	昇降機詳細図11	AA － 156		雑詳細図：映像音響詳細図1		KA － 058	階段詳細図2			
AA － 049		矩計図5	AA － 100	KA － 043	昇降機詳細図12	AA － 157		雑詳細図：映像音響詳細図2		KA － 059	階段詳細図3			
AA － 050		矩計図6	AA － 101	KA － 044	昇降機詳細図13	AA － 158		雑詳細図：映像音響詳細図3		KA － 060	階段詳細図4			
AA － 051-1	KA － 028	矩計図7	AA － 102	KA － 045	昇降機詳細図14	AA － 159		雑詳細図：映像音響詳細図4		KA － 061	法規チェック図（バリアフリー1階）			
AA － 051-2		矩計図8	AA － 103		部分詳細図：屋根詳細図1	AA － 159-2		雑詳細図：映写機架台詳細図		KA － 062	法規チェック図（バリアフリー2階）			
AA － 052		階段詳細図（1）	AA － 104		部分詳細図：屋根詳細図2	AA － 160		雑詳細図：可動防煙垂れ壁詳細図1		KA － 063	延焼ライン算定規模図（1階）			
AA － 053		階段詳細図（2）	AA － 105		部分詳細図：屋根詳細図3	AA － 161		雑詳細図：可動防煙垂れ壁詳細図2		KA － 064	延焼ライン算定規模図（2階）			
AA － 054		階段詳細図（3）	AA － 106		部分詳細図：屋根詳細図4	AA － 162		雑詳細図：トイレ詳細図1		KA － 065	真北算定図1			
AA － 055		階段詳細図（4）	AA － 107		部分詳細図：大開口建具詳細図1	AA － 163		雑詳細図：トイレ詳細図2		KA － 066	真北算定図2			

KENGO KUMA & ASSOCIATES
隈研吾建築都市設計事務所
一級建築士事務所　東京都知事登録第 32752　号

一級建築士
登録第319352号
宮原賢次

DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION
CHECKED	CHECKED	実施設計図
APPROVED	APPROVED	

東海市創造の杜交流館建設工事

DRAWING TITLE	DRAWING No.
図面リスト	AA-001
SCALE: –	DATE: 2023/11/30

1.工事名称						
	工事名称		愛知県東海市創造の杜交流館	建築主	[氏名]	東海市市長 花田勝重
	建設地	[地名表示]	愛知県東海市横須賀町狐塚地内		[郵便番号]	〒476−8601
		[住所表示]			[住所]	愛知県東海市中央町一丁目一番地
	主要用途	[基準法]	劇場、事務所		[電話]	052−603−2211
		[消防法]	劇場、集会所	工期	[着工]	2023年（令和5年）12月21日
	工事種別		■新築　□増築　□改築　□移転		[竣工引渡]	2025年（令和7年）3月31日
			□用途変更　□大規模の修繕　□大規模の模様替		[工期]	1年3か月

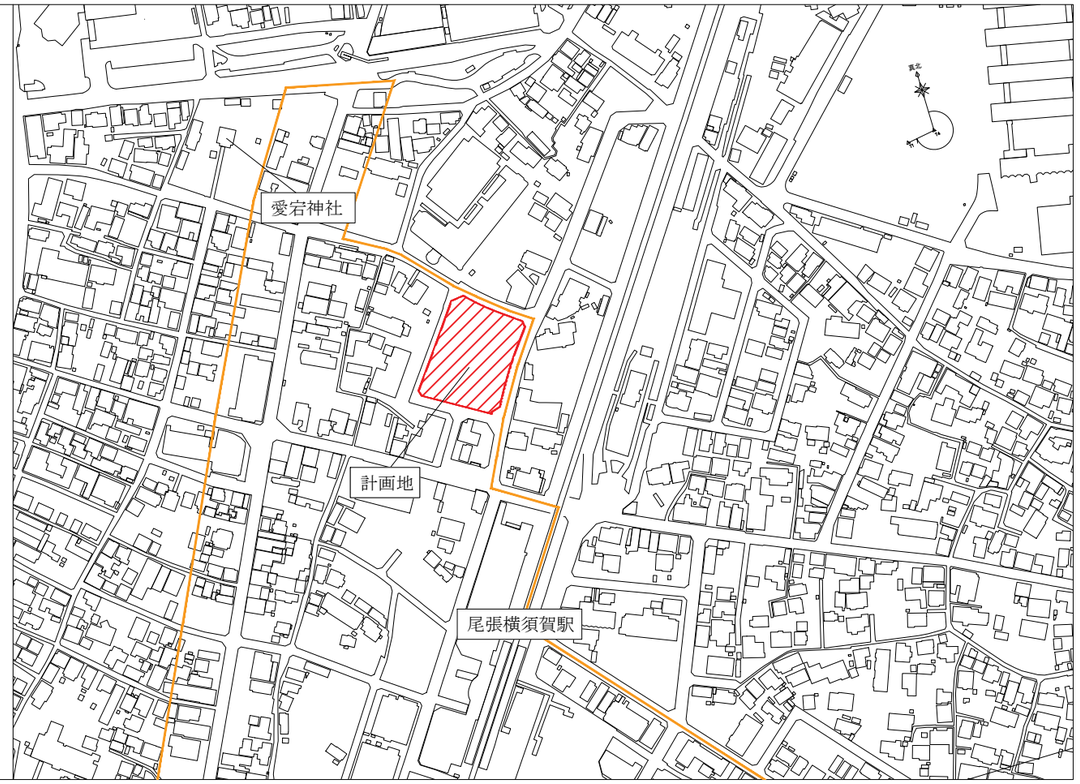
2.敷地状況			
	敷地面積		3391.24m2 （= 1025.85 坪）
	都市計画区域等		■都市計画区域内(■市街化調整区域　□市街化調整区域　□区域区分非設定)　□準都市計画区域内　□都市計画区域及び準都市計画区域外
	防火地域		■防火地域　□準防火地域　□指定なし
	用途地域等		商業地域
	その他の地域地区等		―
	地区計画		無
	道路	北、東、南面	公道(42条1項1号)　幅員：6.02m,9.13m,6.09m
		西面	公道(42条2項)　幅員: 4.00m　接道長さ：54.673m　最大幅員の東側道路との接道長さを示す。
	容積率		指定容積率: 400%　道路幅員制限：なし(前面道路幅員　m以上)
	建蔽率		100%(指定建蔽率80%＋防火地域耐火建築物10%＋角地緩和10%)
	日影規制		□有　平均地盤面からの高さ(　　)m、敷地境界線より5mを超え10m以内の範囲(　　)時間以内、敷地境界線より10mを超える範囲(　　)時間以内 ■無(日影規制のある近隣商業地域へ影が落ちるが、北側の隣地（近隣商業地域）の基準内に収まることから問題なし)
	高さ制限	絶対高さ制限	□有(m：−)　■無
		道路斜線	■有(適用距離20m、勾配1.5)　□無
		隣地斜線	■有(立上がり31m、勾配2.5)　□無
		北側斜線	□有(立上がり　m、勾配　)　■無
		建築基準法第56条第7項(天空率)による特例	□有(□道路高さ制限適用、□隣地高さ制限不適用、□北側高さ制限不適用) ■無
	外壁後退距離		□有(□1m、□1.5m)　■無
	最低敷地面積		□有(　　)m2　■無

3.構造・規模							
	地業	杭基礎					
	構造	□SRC造　■RC造　■S造　□木造　□その他(　　)					
	構造形式	ラーメン					
	階数	地下0階、地上2階、塔屋0階（建築面積の1/8以下の場合、地階は階数に含めない。令2条1項8号）					
	平均地盤面	TP=　m、設計GL=　m　*正確な測量図作成中につき未記載。					
	最高高さ	15.281m					
	最高軒高	12.126m					
		申請部分	申請以外の部分	合計	建ぺい率・容積率		
	建築面積	2037.95 m2	0	m2	60.094 %	≦ 100 %	
	容積対象床面積	2621.48 m2	0	m2	77.301 %	≦ 400 %	
	＊建ぺい率・容積率は小数点以下第3位を切り上げ						

5.床面積	階	主要用途	床面積(m2)	容積対象外床面積(m2)	容積対象床面積(m2)
	1階	南棟	1143.28	8.88	1134.40
		北棟	588.78	7.49	581.29
	2階	南棟	493.54	7.75	485.79
		北棟	427.62	7.62	420.00
	合計		2653.22	31.74	2621.48

6.その他		
	構造計算適合性判定	■要　□不要
	省エネ適合判定	■要　□不要

7.案内図



Scale=1/2000（A1）、1/4000（A3）

KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所　東京都知事登録第 32752　号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 計画概要表・敷地案内図 SCALE ―	DRAWING No. AA−002 DATE 2023/11/30

仕 様 書

Ⅰ 工事概要

1．工事名称　東海市創造の森交流館

1．工事場所

2．建物概要

地名	東海市横須賀町狐塚11　始め13筆	敷地面積	3391.65 ㎡
用途地域	商業地域	防火地域	防火地域
構造	RC造・鉄骨造	階数	地上2階
建築面積	2037.95 ㎡	延べ面積	2653.22 ㎡
最高高さ	15.281 m	最高軒高さ	12.126 m

3．工事種目　新築工事

4．工事範囲　本体工事一式

5．工期　令和6年1月 － 令和7年3月

Ⅱ 建築工事仕様

1．共通仕様

（1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て公共建築工事共通仕様書(最新版)を適用するので必ず参照すること。
（以下「共仕」という。）なお、公共建築工事標準仕様書が改訂された場合はそちらを準用するとともに、
本工事に影響する内容は工事監理者に確認すること。

（2）工事設計内訳書は参考として提示するものであり、契約上の効力は発生しない。

（3）工事にあたり、必要な手続きは工事請負業者(以下、「請負者」という)の費用負担により全て処理すること。

（4）建設業法の定めに従い施工体制台帳・施工体系図を作成し、その写しを監督員へ提出すること。
また、施工体制台帳は常に現場に備え、市監督員等が内容を求めた場合には速やかに応じること。

2．特記仕様

（1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。
①印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
①印と②印の付いた場合は、共に適用する。

（3）特記事項に記載の（　．　．　）内表示番号は公共建築工事共通仕様書(最新版)の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（4）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。、また（　）内は製品名等を示す。

（5）工事品質には、意匠性の程度も含むものとする。

（6）工事中に周辺工作物を破損した場合は、速やかに請負者の責任において復旧すること。また、床養生により破損したﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ、家具移動等による塗装剥れ等についても請負者の責任において復旧すること。

（7）搬去による発生材は特記なき限り全て場外処分とすること。

（8）現場内は、工事期間中常時整理、清掃を行なうこと。

（9）「提出すること」とある内容は原則その内容について事前に市監督員及び工事監理者と相談・協議し、承諾・確認を受取ることを示す。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	⓪ 本計画での適用	※ 本図面中「工事監理者」とは施主の指名する設計監理事務所の担当職員をいう。 （各種仕様書において準用する。） ※ 特に指定のない書類などは、工事監理者の確認の上の市監督員の承諾を受けること。 ※ 施工図の作図内容、出図、承諾スケジュールおよび進行管理に関しては、工事着手前に計画書を作成し工事監理者の確認の上の市監督員の承諾を受けること。また、工事進行に影響がある遅れが生じた時の対策を明示すること。 ※ 仕上がり面を形成するための雑鉄骨・金物、補強板類は、図示がなくても本工事に見込む。
	① 適用基準等	○ 建築工事監理指針上・下巻（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　平成31年版） ②② 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修　平成28年版） ③③ 工事写真の撮り方（改訂第２版）建築編（建設大臣官房官庁営繕部監修） ・ 建築物解体工事共通仕様書・同解説　国土交通大臣官房官庁営繕部監修（平成18年版） ・ ISO9001適用　建築工事施工管理要領（公共建築協会）　(1.1.4)
	② 官公署等への手続き	工事にあたり、必要な手続きは工事請負業者(以下、「請負者」という)の費用負担により全て処理すること。 (1.1.7)
	③ 工事実績情報の登録	※ 適用する　（「工事カルテ受領書」の写しを提出 受注、(変更、)完了後の各10日以内(土日祝除く)に工事実績情報ｼｽﾃﾑ(CORINS)に登録し、「登録内容確認書（工事実績）」の写しを監督員に提出すること。 (1.1.10)
	④ 施工体制の確認	・建設業法の定めに従い施工体制台帳・施工体系図を作成し、その写しを市監督員へ提出すること。 また、施工体制台帳は常に現場に備え、市監督員等が内容を求めた場合には速やかに応じること。 (1.1.16)
	⑤ 建設副産物の処理	○本工事は、「建設副産物情報交換ｼｽﾃﾑ(COBRIS)」の登録対象工事であり、請負者は施工計画作成時、 （登録情報変更時）工事完了時、速やかにCOBRISにﾃﾞｰﾀ入力を行い、その都度 「建設副産物情報交換ｼｽﾃﾑ工事登録証明書」を監督員に提出し、内容の確認を受けること。 また、「再生資源利用計画書（実施書）」及び「再生資源利用促進計画書（実施書）」を出力して、 工事登録証明書に添付すること。 ・産廃廃棄物の処理については、下記書類を提出し市監督員の承認を受けること。 （着工前）産業廃棄物処理計画書 ①産業廃棄物処理計画フロー図（再利用、再資源化計画共）　②建設産業廃棄物処理委託契約書の写し ③産業廃棄物収集運搬、処理業許可証の写　④中間処理工場、最終処分場写真　⑤廃棄物運搬経路 ⑥収集運搬車両一覧表　⑦その他 （施工後）処理写真（搬出材（ｺﾝｸﾘｰﾄ，木材，金属，混合物等）ごと、現場積込時，処理場持込時） （撮影台数は、市監督員と協議により決定） ・現場積込時：現場代理人、日付の記載された黒板，車輌（ｺﾝﾃﾅ）番号，運搬業者名，積荷， 背景が入るように撮影する。 ・処理場持込時：処分場許可標識，日付の記載された黒板，車輌（ｺﾝﾃﾅ）番号，運搬業者名，積荷， 背景が入るように撮影する。 ※ｺﾝﾃﾅ型産廃車輌については、ｺﾝﾃﾅを積み替えることが考えられるため、産廃車輌とともに ｺﾝﾃﾅ番号等で管理を行うこと。
	⑥ 品質計画等	建築基準法に基づき指定する条件 ・地区の区分に応じた風速（Vo（m/sec））　・３０　・３２　・34 ・地表面粗度区分　・Ⅰ　・Ⅱ　○Ⅲ　・Ⅳ ・多雪地域の指定　積雪区分　建告示第１４５５号　別表（　　該当無し
	⑦ 電気保安技術者	※ 適用する（常駐工事関係者から選出）　(1.3.3)
	⑧ 施工条件	施工時間、工程、安全対策、工事用道路、仮設設備等　○図示による その他　○現場説明書、共仕による　(1.3.5)
	⑨ 建築材料等	※ 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上のものとし、 発注前に実物サンプルや材料承諾願いを作成し、工事監理者の確認の上の市監督員の承認を受けること。 特に内外装の表面に使用しているものはサンプル提出すること（同等以上の判断には意匠性も含まれる。）
	○ 原則として本工事に用いたすべての材料のMSDSシートその他市監督員と工事監理者より指定する書類は、承認申請時に提出すること。 ○ 工事着手に先立ち各専門工事予定者の報告を行い、市監督員の承諾を受けること。 ○ 完了検査受検申請に先立ち、すべての工事材料の一覧を作成し、監督員に提出する。 （建築基準法他、本工事に関係する各法例の規定に係わる内容とし事前に記載内容の承諾を受ける。）	
⑩ 環境への配慮		(1.4.1) 揮発性有機化合物を放散させる建築材料等 「官庁営繕部におけるホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する指置について」の要綱及び指針に従うこと。本工事内の使用材料は原則Ｆ☆☆☆☆とする。本工事の建物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし次の１）から５）の事項を満たすものとする。 １） 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ２） 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ３） 接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシンを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ４） 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ５） １），３）及び４）の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①ＪＩＳおよびＪＡＳのＦ☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるＪＡＳ規格品 ａ．非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ｂ．接着剤等不使用 ｃ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 ｄ．ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 ｅ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 ｆ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 第三種 ①ＪＩＳおよびＪＡＳのＦ☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第２０条の７第３項による国土交通大臣認定品 ③旧ＪＩＳのＥｏ規格品 ④旧ＪＡＳのＦｃｏ規格品 アスベスト含有建材 「労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令及び石綿障害予防規則等の一部を改正する省令の施行令について」（厚生労働省労働基準局長通達　平成18年8月11日　基発第0811002号）に基づき、本工事に使用する材料については、アスベスト含有建材を使用しないこと。 化学物質等安全データシート（MSDS）等により確認を行った場合は、その写しを市監督員に提出する (1.4.2)
⑪ 材料の品質等		本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JISおよびJASマーク表示のない材料及びその製造所等は、次の１）から６）の事項を満たすものとする。 １） 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 ２） 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 ３） 安定的な供給が可能であること。 ４） 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること。 ５） 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ６） 販売保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを工事監理者の確認の上の市監督員の承認を受けること。ただし、あらかじめ市監督員と工事監理の承認を受けた場合はこの限りでない。 また、製造所名、製品名等が記載された材料は、当該製品又は同等以上を使用するものとし、同等以上を使用する場合は、工事監理者の確認の上の市監督員の承認を受けること。 製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ、「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」（林野庁　平成18年2月15日）に準拠した証明書を、工事監理者の確認の上の市監督員の承認を受けること。
⑫ 特別な材料の工法		共仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。 (1.6.2)
⑬ 技能士		適用工事種別 ／ 技能検定の職種 仮設工事 ／ ○とび 鉄筋工事 ／ ○鉄筋施工（鉄筋組立て作業） コンクリート工事 ／ ○型枠施工　○コンクリート圧送施工 鉄骨工事 ／ ○とび　○鉄工 ﾌﾞﾛｯｸ･ALCﾊﾟﾈﾙ工事 ／ ○ブロック建築 防水工事 ／ ○ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業 ・塩化ﾋﾞﾆﾙ系ｼｰﾄ防水工事作業　・ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業 ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄｰﾄ工法防水工事作業　・シーリング防水工事作業 石工事 ／ ・石材施工（石張り施工） タイル工事 ／ ○タイル張り 木工事 ／ ○建築大工 屋根及びとい工事 ／ ○建築板金（内外装板金作業）　・スレート施工 金属工事 ／ ○内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業） 左官工事 ／ ○左官 建具工事 ／ ○サッシ施工　○ガラス施工 カーテンウォール工事 ／ ○カーテンウォール施工　○ガラス施工 塗装工事 ／ ○塗装（建築塗装作業） 内装工事 ／ ○プラスチック系床仕上げ工事作業 ○ボード仕上げ工事作業　○表装（壁装作業） 排水工事 ／ ○建築配管作業 植栽工事 ／ ○造園 解体工事 ／ ・解体工事施工技士
⑭ 技術検査		○必要に応じて実施する。　(1.6.4)
⑮ シックハウス対策		(1.6.9) ・本工事におけるｼｯｸﾊｳｽ対策は、官庁営繕部におけるホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する指置について」を適用して実施すること。なお室内環境測定箇所は、居室の数につき1箇所とする。 採取場所は市監督員と協議の上決定すること。
⑯1 総合図の作成等		(1)工事着手に先立ち、又は工事着手と並行して速やかに総合図を作成し、工事に支障ないようつとめる。 (2)総合図は、請負者が建築・設備工事の全体を把握し、施工図作成の円滑化のために活用することを目的とし、施工図、工作図、製作図などの作成前に完成させる。 (3)総合図の作成は以下の通りとする。 a.総合図原図として建築詳細図（1/50,平面詳細図、展開図、天井伏図）を作成し、監理者の承認を受ける。 b.上記総合図原図に別途工事の機器等を含む設備機器配置図を記入し、監理者の承認を受ける。 c.設備機器配置図作成にあたっては、事前に各請負者間で位置調整を行うこと。調整の結果、設計変更が必要な場合は、監理者の指示を受ける。 d.又、作成した総合図に基づく別途工事関連打合せには、請負者の担当者を出席させること。 e.各請負者間及び別途工事の調整の結果、総合の修正が必要な場合、速やかに打正を行い、監理者の承認を受ける。 f.天井下地の耐震補強ブレースが必要な場合は、各設備機器等との取合いを十分考慮した ブレース配置計画を提出し、監理者の承認を受ける。 (4)総合図・施工図等提出するにあたっては、予め、それらの内容が設計図書と適合しているかの確認 を請負者の責任において行う。 (5)請負者は、総合図・施工図調整担当者として、本工事に類似した工事の施工経験を持つ原則として一般建築士の資格を有する者を選任し、本工事に専任させる。
⑯2 完成図等		（着工前）・施工計画書:2部　①工事概要　②実施工程表　③施工体系図　④主要機械　⑤施工方法　⑥施工管理 ⑦緊急時の連絡体制　⑧安全管理　⑨仮設計画　⑩下請負人名簿（設備含む）　⑪使用材料ﾘｽﾄ（品質証明書含む）　⑫使用予定数量計算書　⑬産業廃棄物処理計画書　⑭工事写真撮影計画書　⑮検査計画 ⑯その他 （施工中）・週間工程表　・工事日報　・工事打合せ記録　各1部 （竣工後）・工事写真　・出荷証明書　・施工記録報告書　・産業廃棄物処理証明書(E票)（現物を提示、コピーを提出）等　・竣工図　・誘導員作業証明書の写し　・実施工程表（EXCEL）　・その他関係書類 各1部 (1.8.1～1.8.4) ※ 完成図製本（黒表紙）　原図版１部、縮小版（A3版）１部、PDF版 ※ 施工図　※工事写真　※保全に関する資料 ※ 完成図および施工図（製作図を含む）のCADデータ（ＤＷＧ、ＤＸＦまたはＪＷＷ） ※ 竣工図　原図版３部、CADデータ、TIFF、PDF、CD-RまたはDVD-R１部 工事完了時に竣工図をCAD(jww形式)にて作成し、市監督員と工事監理の確認後、TIFFﾌｫｰﾏｯﾄ(G4圧縮)に変換の上、CADﾃﾞｰﾀ(jww形式)及びTIFFﾃﾞｰﾀをCD-RもしくはDVD-Rにて1部提出すること。（詳細は、電子納品仕様書による） ○ 設計意図の理解に長けた建築写真家による工事竣工写真 （90カット以上、六つ切り版・アルバムとじ　2部） 竣工写真撮影前に市監督員と撮影内容、枚数について承認を得ること ○ 保全に関する資料 監理業務方針に特記なき限り、下記に示す保全に関する資料を提出する。提出の形式はA4版ファイル綴じて目次原付とし、表紙(背表紙含む)には工事名及び保全に関する資料である旨を識別表記する。また、各資料のPDFデータを纏めて CD-Rに焼付け識別ラベルを貼り、表紙裏面のポケット収納部に納める。識別ラベルの詳細は、監理者の指示による。 保全に関する資料(データはPF式) 建築物等の利用に関する説明書 機器取扱い説明書 機器性能試験成績書 官公署届出書 主要な材料・機器一覧表等 保全マニュアル 長期修繕計画書
⑰ 工事写真		撮影時 ／ 規　格 ／ 撮影箇所数 ／ 部数 ／ 備考 着工前 ／ ○L版程度（3枚/頁） ／ 適正数 ／ 1部 ／ デジタルカメラは130万～300万画素 施工中 ／ ○サムネール版 完成時 ・工事記録写真は、「営繕工事写真撮影要領(最新版)」による。 着手前、完了後及び各工事毎に工事説明を記した黒板等を掲げて写真を撮り、立ち合い者、工事内容が明確になるよう努めること
⑱ 施工図等の取扱い		施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者と工事監理者に移譲するものとする。ただし、請負契約書に定められている場合はそちらを優先する。
⑲ 設備工事との取合い		設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出し、工事監理者の確認の上の市監督員の承認を受けること。
⑳ 設計ＧＬ		標準G．L．の決定及びB．M．の設置は、係員の立ち会いのもとに行う。
㉑ 電子納品		以下の示す書類を電子納品する。 ○工事写真(PDF)　※完成図一式　○サイン類グラフィックデータ（PDF及びAI） ○現場会議議事録（PDF）　○各種指示書（PDF）
㉒ 施工機械		※下記の建設機械を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき国土交通省で指定された建設機械を使用するものとする。なお、排出ガス対策型建設機械に代えて、国土交通省で認定された排出ガス浄化装置を装着した建設機械についても、排出ガス対策型と同等とみなすものとする。 バックホウ、トラクタショベル、ブルドーザ、発動発電機、空気圧縮機、油圧ユニット類（油圧ハンマー、アースオーガ、アースドリル等）、ローラ類、ホイールクレーン等でエンジン出力7.5KW以上260KW以下のもの。 工事車両等は、「貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱」の趣旨を十分踏まえて使用すること。 ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ自動車については、工事にかかわる車両の自動車検証及び、粒子状物質減少装置装着証明書の写しを提示できるようにしておくこと。
㉓ 第三者賠償責任保険		請負者は、本工事の基礎工事、杭工事等による、地盤振動、沈下、軟弱化等より生じた、工事区域に隣接する地上構造物に対する賠償責任を含む第三者賠償責任保険に加入しなければならない。
㉔ 品質管理チェックシート		現場で行う検査は、事前に市監督員の承諾した書式を用いる。
㉕ 工程表		a 本工事の着手に先立ち契約工程表として各専門工事時期を明確にした全体実施工程表を作成し、工事監理者の確認の上の市監督員の承認を受けること。変更の必要が生じた場合は、市監督員と工事監理者と協議するとともに、施工等に支障がないよう適切な措置を講ずる。 b ２週間以上の工程遅延が発生した場合は、遅延理由、対策、工程回復時期を記載した報告書を作成し現場代理人が記名捺印の上、市監督員と工事監理者に提出する。
㉖ 現場定例会議		a 毎週現場定例会議を予定し、仮設事務所で行う。 b 現場定例会議にあっては週間工程表/月間工程表を作成・更新し、全体工程の進捗を報告する。 c 工事進捗の必要に応じて各工事の技術分科会を開催する。
㉗ 見本、モックアップ施工		※実施する 実施内容：　外装木パネル　2m×2m程度 内装パイプルーバー　2m×2m程度
㉘ 工事関係書類		※工事着手に先立ち、契約内容を踏まえた総合施工計画書を提出する。 ※総合施工計画書には一般事項のほか、以下内容を記載する。 記載内容：全体工程表 専門工事施工計画書、強度検討書、施工図の作成、承諾予定リスト 検査種類 行政関係提出予定書類一覧、提出予定日 品質管理方針、チェックシート 施工体制表
㉙ 工事月報		※工事の進捗を記録した月間工事報告書を作成し、次月の初回定例時に提出すること。 ※工事月報には、本工事一般事項のほか、定点観測写真、重要工程の工事写真、工事進捗率を明示した全体工程表、当月の実施工事内容、工事体制表（更新）
㉚ 専門工事施工計画書		※各専門工事における施工計画書を、当該工事着手の1ヶ月前に提出すること。 ※目次およびインデックスを付すこと ※各工事の専門工事業者自主管理検査シート、元請管理項目を明示のこと。
㉛ その他現場運営事項		市監督員と工事監理が遠方となることを考慮し、迅速な業務ができる事務所設備、環境を整えること。
㉜ 近隣への配慮		a 振動、騒音、悪臭、粉塵、水質汚濁などの防止に適切な処置をする。 b 落下物、飛来物、工事車輌などにより近隣および通行人などに危害をおよぼさないように適切な処置をする。 c 工事車輌のタイヤに付着した泥などにより、公道を汚さないように必要な処置をする。 d 請負者は、本工事の施工にあたり近隣建造物に対して十分な保護義生を行う。請負者の不注意または施工上の不行届によりこれらの建造物に損害を与えた場合は、自らの責任でこれを補修し、または賠償を行う。 e 工事着手に先立ち、本計画の環境配慮に関する内容の周知を行うこと。 (1.3.11)
㉝ 養生		a 既存施設部分、工事目的物の施工済み部分等について，汚染又は損傷しないよう適切な養生を行う。 b 傷が生じたときには補修方法を監督員に提案し、技術指導を受けた上で施工すること。 c 衝突の恐れがある部分は保護とともに適切な喚起措置を施すこと。
㉞ 大型車両の通行について		大型車両が通行する場合は、事前に発注者と関係者、必要であれば警察等と協議の上、調整を行うこと。
㉟ 施工管理		a 請負者は設計図書に要求される品質を満足させるため、工事全般にわたり自主的に責任を持って施工管理を行い、その結果を監督員に報告するものとする。 b 請負者は設計図書および提出された工事関係書類に従って施工管理を行う。
㊱ 現場代理人		a 意匠性に重点をおいた施設の実績を有し、構造に精通した者を重視し選任すること。
㊲ 現地調査		a 本工事着工に先立ち、工事によって影響を受ける可能性のある以下のような項目について現地調査を行い、その現況を十分に把握し、必要に応じて調査書を作成し、工事監理者の確認の上の市監督員へ報告する。 （１）敷地周辺の環境、周辺の建物、周辺道路の交通状況、道路規制の有無、道路幅や作業時間規制など。 （２）近隣建物の損傷程度や構築物の構造、形状、特に基礎、地下構築物などの詳細な状況。 （３）敷地周辺および周辺道路に埋設されている上下水道、ガス管、電気マーブル、マンホールなどの仕様、位置、レベル、重要度など。
㊳ 検査		a 検査は次の場合に行う。 （１）一工程の施工（施工の工程において、同一の材料を用い、同一の施工方法により作業が行われた場合で、市監督員と工事監理の承認を受けたもの）が完了した場合。 （２）工事の一部が施工者により納入または施工完了した場合。 （３）工事完了後に外部から見ることのできない場合。 （４）市監督員の指示がある場合。 b．検査は次の順序で行うことを原則とする。 （１）施工者検査：全数検査を原則とし、不具合是正後、検査結果を書面にて請負者へ提出する。 請負業者は検査が適正に行われていることを確認し、工事監理者に報告する。 （２）請負者検査：施工者検査結果を確認後、請負者検査を行い、不具合是正後、検査結果を書面にて市監督員と工事監理者に提出する。 （３）監督員検査：請負者検査を確認後、工事監理者検査を行い、不具合是正を指示し、是正を確認する。 c 市監督員と工事監理検査を行わない場合でも施工者検査、請負者検査は行う。市監督員と工事監理の指示がある場合は、その検査結果を報告する。 d 請負者の検査員は市監督員と工事監理者が認めた者とする。 e 原則として工事監理者検査、監督員検査を行う前に施工者の自主検査を行うこと
㊴ 竣工時検査		※ 竣工時検査は原則として次の順序に行う。 （1）請負者下検査　現場組織が行う検査 （2）請負者検査　現場組織とは別個の組織が行う検査 （3）監理者検査　設計者・工事監理者として行う検査 （4）諸官庁検査　消防及び確認申請完了検査、条例などに基づく検査 （5）設計事務所主宰者検査　設計者としての包括的な検査 （6）市検査、完了検査
㊶ 維持管理手引および取扱説明書類		建物の維持管理をする上で、特に注意すべき内容を運営側の視点に配慮した手引きを作成し、市監督員に提出すること。
㊷ 暴力団員等による不当介入の排除		契約書による。　(1.1.25)
㊸ 交通誘導員		工事期間中は交通誘導員を常時4名配置すること。特に重機の搬出入、資材等の移動及び産廃車両の搬出入等に十分注意すること。 また、交通誘導員は警備保障会社の専門員とし、証明書・安全教育実施記録等を提出すること。

44 経年調査と実施

(1)工事引渡後、調査者は自ら企画して、発注者及び監理者の立会いを求め、工事全般について調査及び損料に関する調査を、それぞれ引渡日から起算して(※1年目 ※2年目・5年目 ・10年目)に行う。
(2)調査の実施時期及び具体的な実施要領は、調査者が立案し発注者及び監理者と協議する。
(3) 調査終了後速やかに調査の結果を記録し、発注者及び監理者に提出する。
(4)前項の調査の結果、工事目的物に瑕疵が認められた場合は、調査者は監理者と協議の上、速やか に工事請負契約に基づいて適切な対応を行う。
(5)調査に必要な費用は全て調査者の負担とする。
(6)調査立会い者は下記とする。
○ 発注者
○ 監理者又は設計者)
○ 調査者現場代理人、主任技術者又は監理技術者及び工事専門技術者

仕上げ関係等
施工後3か月、6か月経過時に市関係者、監督員立ち会いの建物・設備の稼動状態の調査を行い、その結果を監督員等に報告し不良個所については速やかに点検調査を行うこと。
使用した内外装の仕上げ材の全数量の３%程度（開口部品とする）を予備として引き渡す。
竣工後に建物パンフレットを作成のこと。詳細は監督員と協議のうえ決定する。
長期保全計画書を作成のうえ、竣工時に提出のこと。

2 仮設工事

① 足場その他
※ 枠組足場を設ける場合は「手すり先行工法に関するガイドライン」（厚生労働省、平成２１年４月）により、設置については同ガイドラインに基づく働きやすい安心感のある足場とし、二段手すり、中さん及び幅木の機能を有する部材があらかじめ備えられた手すり先行専用足場型とするか、または改善措置機材を用いて手すり先行専用足場型と同等の機能を確保するものとする。

② 監督職員事務所
○ 設ける (2.3.4) 表(2.3.1)
・設けない

③ 工事用水
構内既存の施設 ※ 利用できない
○ 利用できる（※有償 ・無償）

④ 工事用電力
構内既存の施設 ※ 利用できない
○ 利用できる（※有償 ・無償）

⑤ 工事用仮囲い
※必要 （H3,000カラー鋼板とし、ゲート及び通用口は安全に配慮し適宜用意する。）
設置位置：前面道路および隣地境界に設ける。
仮囲いに隣看板A0版30枚程度設置すること。
※行政指導による必要看板類を含む

⑥ その他
○ 周内工事経路の仕様は敷鉄板またはアスファルト舗装し、施工者は状況によって判断し工事監理者の確認の上、市監督員の承認を受けること。
○ 地中障害物が出た場合は市監督員と工事監理者に報告・相談の上対応すること。

3 土工事

① 埋戻し、及び 盛土 (3.2.3)(表3.2.1)
種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土

② 建設発生土の処理 (3.2.5)
○ 現場内で処理
○ 構内指示の場所に堆積
・ 構内指示の場所に敷き均し
・ 本工事以外の工事との関係を踏まえ、発注者、監督員の指示を受けること
○ 場外に搬出し、関係法令に従い適切に処理する。

4 地業工事

1 杭の載荷試験 ・鉛直載荷試験 ・水平載荷試験 (4.2.3)
（試験の方法等は国土交通省監修「敷地調査共通仕様書」による）

2 地盤の載荷試験
試験位置（ヶ所） ・図示 試験深さ (m) ・設計L.より（ ）m
試験対象土質（ ） 最大荷重（ ）KN (4.2.4)
（試験の方法等は国土交通省監修「敷地調査共通仕様書」による）

3 既製コンクリート杭 地業 (4.3.1)(4.3.3～4.3.5)
施工法
・特定埋込み杭工法
・打込み工法

構造特記仕様書による

種類 (4.3.2)(表4.3.1)
・遠心力高強度コンクリートくい
・外殻鋼管付きコンクリートくい
・プレストレスト鉄筋コンクリートくい
・ （建築基準法に基づく指定又は認定を受けたもの）

	杭径（mm）	杭長（m）及び種別	継手数	セット数	備 考
試験杭					
本 杭					

杭の設計支持力 (KN/本) (4.3.7)
支持地盤 ※図示 (4.3.2)
杭頭の処理 ※切断しない ・ (4.3.7)
先端部形状 ※開放形 ・閉そく平たん形 (4.3.2)
杭の継手 ・アーク溶接 ・無溶接継手 (4.3.6)
施工工法
・打込み工法 ・セメントミルク工法 ・特定埋込杭工法
・特定埋込杭工法（建築基準法に基づくもの） (4.3.3～4.3.5)

4 場所打ちコンクリート杭地業
堀削工法 ・アースドリル工法（・安定液使用 ・無水堀削） (4.5.1)(4.5.4)
・リバース工法
・オールケーシング工法（孔内の水張 ・行う ・行わない）
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 (4.5.5)
・拡底杭工法（※安定液使用 ・ ）
コンクリートの種別及び設計基準強度
（ ）種かつ（ ）N/mm2 以上
鉄筋の種類 ５章鉄筋工事の鉄筋の種類による (4.5.3)
セメントの種類 ※高炉セメントB種 ・ (4.5.3)
側壁測定 ・行う（ ） ・行わない (4.5.4)
（ ）

5 くいの水平方向の位置ずれの精度

6 砂利地業に使用する砂利 ※再生クラッシャラン ・ 切込砂利及び切込砕石 (4.6.2)

7 床下防湿層 施工箇所 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く） (4.6.5)
※ポリエチレンフィルム t0.15×2 （木繊セメント版との相性・吸湿量など要確認）

構造特記仕様書による

5 鉄筋工事

1 鉄筋の種類 (5.2.1)(表5.2.1)

種類の記号	呼び名（mm）
・SD295A	※D16以下 ・
・SD345	※D19以上 ・
・	
・	

2 鉄筋の継手及び定着
重ね継手の長さ (表5.3.2)(表5.3.3) 定着長さ (表5.3.4) 投影定着長さ (表5.3.5) (5.3.4)
呼び名19mm以上の柱、梁の主筋 ※ガス圧接 ・重ね継手

3 鉄筋の最小かぶり厚さ (5.3.5)
最小かぶり厚さは目地底から算定する。
・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。

施工箇所	共仕表5.3.6の値に加える寸法（mm）
柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面	※１０ ・

4 圧接完了後の試験 ※超音波探傷試験 ・引張試験 (5.4.9)

5 既製コンクリート杭の杭頭補強 ・A形 ※B形 ・図示 (別図-1.1)

6 最上階柱頭補強 ・行う（図示） ※行わない (別図-2.1)

7 帯筋 ※H形（□は除く） ・ (別図-2.2)

8 壁開口部の補強
一般壁 ・A形 ※B形 ・図示 (別図-4.2)(別表4.3)(別表4.4)
耐震壁 ※図示

9 梁貫通孔の補強形式 補強形式 ※既製補強筋（監督職員の承諾によるもの） (別図-7.1)(別表7.1～別表7.3)
・H形 ・MH形 ・M形

10 機械吊上げ用フック ・A種 ・B種 ・C種 (別図-7.3)
箇所数 （ ヶ所）

6 コンクリート工事

1 コンクリートの使用骨材による種類
2 コンクリートの使用材料施工条件、要求性能等による種類 ※普通コンクリート ・軽量コンクリート (6.1.3)
(6.1.3)(6.14.1)(6.17.1)

適用	種 類	適用箇所	備 考
・	寒中コンクリート		
・	マスコンクリート		
・	無筋コンクリート		
・	高い強度のコンクリート		
・	高炉セメントB種を用いる普通コンクリート		
	流動化コンクリート		

3 普通コンクリートの設計基準強度（Fc） 普通コンクリートの設計基準強度 (6.1.4)

設計基準強度Fc（N/mm2 ）	施工箇所
※24	建物躯体（ 全て ）（建物内土間コンクリート、ポーチ、犬走りを含む）
・18	地盤改良ラップルコンクリート

---

4 レディーミクストコンクリートの類別 ※Ⅰ類 ・Ⅱ類 (6.1.5)(表6.1.1) (6.3.2)(表6.3.1)
JIS表示認定工場の対象として、改正工業標準化法（平成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場（JISマーク表示認証工場）を含むものとする。

5 構造体コンクリートの強度 設計基準強度以上とする。 （材齢91日において） (6.2.1)

6 打放し仕上げ 種別 ・A種 ※B種 ・C種 (6.2.5)

7 セメントの種類 (6.3.2)
※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

水和熱	7d	352J/g以下	
	28d	402J/g以下	

・高炉セメントＢ種 （ ）

8 骨材の品質 (6.3.3)(6.5.4)
アルカリシリカ反応性による区分 ※監督員との協議による
※Ａ（無害と判定されたもの）
※Ｂ（コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m3 ）
（混合監理強度が、30N/mm2以下のコンクリートについてのみ適用可能）

9 混和材料の種別 (6.3.5)(6.4.8)
※混和剤（・ＡＥ剤 ・ＡＥ減水剤 ・高性能ＡＥ減水剤）
※混和材（ ）

10 調合管理強度（Fc＋S） (6.4.5)(表6.4.1)
予想平均気温による構造体強度補正値（S） ※表(6.4.1)による。
（表6.4.1)構造体強度補正地（S）の標準値

セメントの種類	コンクリート打込みから材齢28日までの予想平均気温によるθの範囲（℃）	
普通ポルトランドセメント 混合セメントのＡ種	$8 \leq \theta$	$0 \leq \theta < 8$
早強ポルトランドセメント	$5 \leq \theta$	$0 \leq \theta < 5$
中庸熱ポルトランドセメント	$11 \leq \theta$	$0 \leq \theta < 11$
低熱ポルトランドセメント	$14 \leq \theta$	$0 \leq \theta < 14$
高炉セメントＢ種	$13 \leq \theta$	$0 \leq \theta < 13$
フライアッシュセメントＢ種	$9 \leq \theta$	$0 \leq \theta < 9$
構造体強度補正値（S）（N/mm2）	3N/mm2	6N/mm2

11 型枠 ※合板（3t12mm ・ mm） ・床型枠用鋼製デッキプレート ・メッシュ型枠 (6.9.3)

12 断熱材兼用型枠 適用個所及び品質等は図示および19章17断熱材による
※木繊セメント版t50
(6.9.3)

13 コンクリート強度試験 1回の試験の供試体の数は、調合管理強度の管理試験用、構造体コンクリートの材齢28日圧縮強度用、型枠取外し時期決定用、構造体コンクリートの材齢28日を超え91日以内の圧縮強度推定用、その他必要に応じて、それぞれ3個とする。
適切な間隔をあけた運搬車から、3度に分けて試料を採取する。ただし、調合管理強度の管理試験用は、1台の運搬車の試料から2個の供試体を作成する。
3度に分けて作製した供試体から、それぞれ1個ずつ3個を取り出し、1回の試験の供試体とする。
ただし、調合管理強度が一定の運搬車から、2回以上、3度の供試体を、1回の試験の供試体とする。
(6.10.4)

構造特記仕様書による

7 鉄骨工事

1 鉄骨製作工場 (7.1.3)
・監督職員の承諾する製作工場
・建築基準法第７７条の４５条第１項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センター又は（社）全国鐵構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「 Ｍグレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場

2 施工管理技術者 ※適用する (7.1.3)(7.1.4)(7.6.2)(7.12.2)

3 鋼材 (7.2.1)（表7.2.1）

種類の記号	使用箇所	規格等
SS400	大梁・小梁・間柱	※ＪＩＳ規格による
SN400B	大梁	※ＪＩＳ規格による
BCR295	柱	※大臣認定品
SN490B	組立柱	※ＪＩＳ規格による
SN490C	ダイアフラム	※ＪＩＳ規格による
SSC400	モヤ・胴縁	※ＪＩＳ規格による

4 普通ボルト ボルトの縁短距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※ 図示 (7.2.3)(7.3.2)(別図2-1.1～別図2-1.3)

5 高力ボルト (7.2.2)(7.3.2)(7.4.1～7.4.9)
ボルトの区分
※トルシア形高力ボルト
・ JIS形高力ボルト
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※図示
すべり係数試験 ・ 行わない
・ 行う 試験方法等（ ）

6 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.2.2)(7.3.2)(7.12.4)
摩擦面の処理 (別図2-1.1～別図2-1.3)
※ ブラスト処理（表面粗度５０μmRz以上）
・ リン酸塩処理
すべり耐力等の確認方法
※すべり耐力試験方法等 ※図示
・

7 工作図 (7.3.2)
ゲージ、ピッチ、へりあき等の寸法
※平成２２年度 公共建築工事標準仕様書(別図2-1.1～別図2-1.3)による。
・

8 開先形状 (7.6.4)
※平成２２年度 公共建築工事標準仕様書(別図2-3.1～別図2-3.4)による。
・

9 スカラップ ※改良型スカラップ (7.6.7)

10 溶接部の試験
・工場溶接の場合
AOQL ※4.0% ・2.5% (7.6.11)
検査水準 ※第６水準 ・図示 (7.6.11)(表7.6.2)(表7.6.3)(表7.6.4)

試験の種別	試験箇所	試験方法 ※共仕7.6.11（b）による
※超音波探傷試験		・図示
・放 射 線 試 験		
・マ ク ロ 試 験		

・工事現場溶接の場合
AOQL ※4.0% ・2.5% (7.6.11)

試験の種別	試験箇所	試験方法 ※共仕7.6.11（b）による
※超音波探傷試験		・図示
・放 射 線 試 験		
・マ ク ロ 試 験		

---

11 耐火被覆 (7.9.2～7.9.7)

種 別		所要性能及び適用構造区分
・ラス張りモルタル塗り		
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール	
	・半乾式吹付けロックウール	
	・湿式ロックウール	
・耐火板張り		
・耐火材巻付け		

12 アンカーボルトの保持及び埋込み工法
・構造用アンカーボルト （※図示 ・ ） (7.10.3)(表7.10.1)
・建方用アンカーボルト （・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種）

13 柱底均しモルタル工法 ※Ａ種 ・Ｂ種 (7.10.3)(表7.10.2)

14 溶融亜鉛めっき工法 (7.12.3)(表14.2.2)

亜鉛めっきの種別	材 料		適用部位
Ａ種	最低板厚4.5mm以上の形鋼、鋼板		・屋外に露出する鉄部すべて
Ｂ種	最低板厚3.2mm以上、4.5mm未満の形鋼、鋼板		
Ｃ種	最低板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板、普通ボルト、アンカーボルト		

素地ごしらえは、JIS H8124溶融亜鉛めっき作業標準による。
露出となる部分はすべてめっき処理の上、WCP処理を施す。

15 溶接条件
入熱、パス間温度の溶接条件
適用箇所 ・図 示
・ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部
・

鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件

鋼材の種類	溶接材料	入 熱（KJ/cm）	パス間温度（℃）
400 N 級鋼	JIS Z 3211, 3212 YGW−11, 15 YGW−18, 19 JIS Z 3214 YGA−50W, 50P	40 以下	350 以下
490 N 級鋼	JIS Z 3212	40 以下	350 以下
	YGW−11, 15	30 以下	250 以下
	YGW−18, 19 JIS Z 3214 YGA−50W, 50P	40 以下	350 以下
520 N 級鋼	YGW−18, 19	30 以下	250 以下

ただし、
400N級鋼のSTKR・BCR及びBCPの作業条件は、YGW-11, 15で入熱30KJ/cm以下、パス間温度250℃以下、YGW-18, 19での作業条件は入熱40KJ/cm以下、パス間温度350℃以下とする。
490N級鋼のSTKR・BCPの作業条件は、YGW-18, 19で入熱30KJ/cm以下、パス間温度250℃以下とする。
上記の溶接条件以外による場合は、監督職員と協議する。

16 鉄面錆止め塗料塗り 見掛かり（※A種 ・B種） 見隠れ（・A種 ※B種） (表18.3.1)(表18.3.3)

構造特記仕様書による

8 コンクリートブロック・ＡＬＣパネル・押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造 ※空洞ブロック１６ ・空洞ブロック１６−Ｗ (8.2.2)

2 コンクリートブロック塀笠及び塀 ※共仕表8.3.1及び下表による。 (8.3.2)

適 用 箇 所	正味厚さ（mm）
・敷地境界	・ 150
・地下二重壁	・ 150

3 ＡＬＣパネル (8.4.2～8.4.6)(表8.4.2～表8.4.4)

種 類	単位荷重（N/m2）	厚さ（mm）	取付け工法種別等
・外壁パネル ※平パネル ・意匠パネル ・仕上げ材取付用パネル（非貫通乾式取付構法）	・1180 ・1960	・100 ・120 ・150	・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種 伸縮目地への耐火目地材の充填 ・適用する
・間仕切壁パネル ※平パネル	＿＿＿＿	・80 ・100 ・75	・Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種 ・Ｅ種 連続通路部
・屋根パネル	・980	・100 ・	※F種 耐火性能 ・有り（・１時間 ・２時間）
・床パネル	・2350 ・3530	・100 ・150	
・外壁薄板パネル	＿＿＿＿	・50	・縦張り（胴縁あり）

外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部、並びにパネルと他部材との取合い部の目地幅（mm） ※ 20 ・図示による ・製造所の仕様による最低巾 (8.4.3)

4 押出成形セメント板 (8.5.2～8.5.5)(表8.5.1)(表8.5.2)

種 類	表面形状	厚さ（mm）	幅（mm）	ﾛｯｸｳｰﾙ充てん	工 法	耐火性能
・外壁パネル	※F	・50 ・60 ・	600	・有 ・無	・Ａ種 ・Ｂ種	・有り（ 1H ） ・無し
	・D	・50 ・60 ・		・有 ・無		
	・T	・60 ・		・有 ・無		
・間仕切パネル	※F	・50 ・60 ・	600	・有 ・無	・Ｂ種 ・Ｃ種	・有り（ 1H ） ・無し
	・D					
	・T					

表面形状はＪＩＳ規格に基づく

5 押成板その他
自地位置・割付図は、設備類の配置とあわせ総合図として作図し、監督員の承認を受けること。
乾式壁仕上げの雨かり線（軒先水平線の軒先を起点としてθ>45°以上となる部分、かつパネルが直接止水面となる部分）外壁建具周辺のシールは2重シールとする。範囲を施工図で示すこと。
耐火性能が必要な部分は、支持金物部分に耐火被覆を行う。
パネル面に器具類を取付ける時は、裏面に下地及び補強を用意し、取り付けは下地に直接取付けること。
目地シールは変成シリコンを用いる。

KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事

DRAWING TITLE	DRAWING No.
特記仕様書(2)	AA-004
SCALE —	DATE 2023/11/30

9 防水工事

1 アスファルト防水

(9.2.2)(9.2.3)(表9.2.3～表9.2.8)

種　類・種　別	施工箇所
・A-1	
・E-1	

アスファルトの種類　※３種　(9.2.2)
断熱工法の断熱材　厚さ（mm）　※25　・30　(9.2.2)
防水層保護のれんが　※見え隠れ部分は市販品のれんが又は、市販品のれんが形コンクリートブロックとする。(9.2.2)

乾式保護材の材料　(9.2.2)

種　類		寸法（mm）：厚さ×幅	適　用
・押出成形セメント板（窯業系ﾊﾞﾈﾙ）	※Ⅰ類 ・Ⅱ類	・約15×300 ・約26×600 ・	※無石綿に限る
・金属複合版		※約12×900	

乾式保護材の品質

項目＼種類		窯業系ﾊﾞﾈﾙ－Ⅰ類	窯業系ﾊﾞﾈﾙ－Ⅱ類	金属複合版
寸法許容差		厚さ：－5%から＋10%まで、幅：±1%以下		
含水率		出荷時の含水率は10%以下とする		
曲げ強さ	標準時	550N・cm以上	450N・cm以上	300N・cm以上
曲げﾓｰﾒﾝﾄ 注（1）	凍結融解完了時（ｻｲｸﾙ数）	400N・cm以上 （300）	320N・cm以上 （200）	250N・cm以上 （300）
吸水率		20%以下		1%以下
吸水による長さの変化率		0.07%以下		0.01%以下
防火性能		不燃		表面材は不燃
耐凍結融解性能		300ｻｲｸﾙ後、著しい割れ、剥離がなく、外観に異常がないこと	200ｻｲｸﾙ後、著しい割れ、剥離がなく、外観に異常がないこと	300ｻｲｸﾙ後、著しい割れ、剥離がなく、外観に異常がないこと 注（2）
耐衝撃性能		質量1000ｇのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落として、裏面に達する穴があかないこと。	質量500ｇのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落として、裏面に達する穴があかないこと。	質量500ｇのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落として、裏面に達する穴があかないこと。 かつ残留変形量が1/100 以下かつ加圧時の最大変形量が4/100以下。
剛性				80,000N・cm2以上 注（3）

（注）1. ｽﾊﾟﾝ50cmにおける単位幅1cmあたりの曲げﾓｰﾒﾝﾄ
2. 明らかに吸水しないと認められるものは耐凍結融解試験を省略する事が出来る。
3. 剛性＝Ｅ×Ｉ　Ｅ：素材のヤング係数、Ｉ：製品の断面２次ﾓｰﾒﾝﾄｽﾊﾟﾝ40cm幅30cmの中央曲げ時に荷重720Ｎの時、たわみが4mm以下となる剛性。

2 改質アスファルトシート防水

(9.3.2)(9.3.3)(表9.3.1)

種　別	施工箇所
・ＡＳ－１	
・ＡＳ－２	

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

(9.4.2～9.4.3)(表9.4.1)

種　別	ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの厚さ（mm）	施工箇所	仕上塗料塗り	使用分類
・Ｓ－Ｆ１	※1.2　・		・ｼﾙﾊﾞｰ　・ｶﾗｰ	※軽歩行
・Ｓ－Ｆ２	※2.0　・			・非歩行
・Ｓ－Ｍ１	※1.5　・		・ｼﾙﾊﾞｰ　・ｶﾗｰ	※非歩行
・Ｓ－Ｍ２	※1.5　・			
・Ｓ－Ｍ３	※1.5　・			

S-F1、S-F2、S-M1で歩行の場合は、厚塗り塗装仕上2.0mmを行う。
絶縁用シート（Ｓ－Ｍ２）
※発泡ポリスチレンシート（2.0mm）　・防水剤製造者の仕様による
脱気装置 ※設ける（材種・　数量・　）
・ 設けない　・防水剤製造者の仕様による

4 塗膜防水

(9.5.2)(9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)

種　別	施工箇所	備　考
・Ｘ－１		仕上げ塗料塗り ・シルバー　・カラー
○Ｘ－２	EVピット内、屋外機置き場排水溝	
・Ｙ－１		Ｙ－２工法の保護シート ※適用する　・適用しない
・Ｙ－２		
・エポキシ系塗布防水		

種別X-1の脱気装置
・設ける
種別Ｘ-2の仕上げはシリコントップ仕上げ同材とする。
※発泡ポリスチレンシート（2.0mm）　○防水剤製造者の仕様による

5 シーリング

下表以外は、共仕表9.7.1による　(9.7.2)(表9.7.1)

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
防火設備、防煙ガラス垂壁等に用いるシール	防火性能を有するシール

屋外のシーリングについて
○屋外に面するシーリングはダブルシールとする。
接着性試験　(9.6.5)
※簡易接着性試験　・引張接着性試験　（施工対象部位　）
シーリング材の目地寸法　(9.6.3)

施工箇所	幅（mm）	深さ（mm）
コンクリート打継目地、ひび割れ誘発目地	※20以上　・	※10以上
標準仕様書（16.14.3）以外のガラス回り	※5以上	※5以上
上記以外	※10以上	※10以上

接着性試験　(9.6.5)
※簡易接着性試験　・引張接着性試験　（施工対象部位　）
※バックアップ材、シール色については、施工部位毎に工事監理者の確認の上の市監督員の承認を受けること。
※施工に際しては表面塗装を施す部位にあっては、実際の相性を確認した上で施工すること。

6 防水下地

※耐久性区分を9030以上とする。
※シールのみで防水性能を確保する部分は、二重シールとするか、耐久性区分を10030以上とする。
※JASS 8 における温度ムーブメントの算定による熱伸縮量を計算し、必要な措置を講ずること。
※光触媒を施工する部分のシリコンシールは避ける、または製造所の指定する処置を施す。

a 防水下地の水勾配は、保護層があるものは1/100～1/50、保護層がないものは1/50～1/20を標準とする。
b 防水した地面に雨水が溜まらないように各部の勾配をとる。不良箇所はポリマーセメントモルタルなどで補修する。
c ルーフドレインはコンクリートに打ち込む。ルーフドレインの天端レベルは周辺コンクリートから50mm程度下げ、コンクリート打設時の天端均して半径600mm前後をルーフドレインに向かい斜めにすり付ける。
d 防水下地のコンクリート床仕上げは、金ごて仕上２回を標準とする。便所・浴室などの防水下地は均しモルタルとする。ただし、モルタル防水の場合はホウキで仕上とする。
e コンクリート仕上げ面は、目違い、浮き、じゃんか、突起物などがないようにする。
f 防水層との付着に有害なセメントのろ、レイタンス、砂などを除去し、清掃を行う。
g ＡＬＣパネル及びＰＣパネルはパネル相互間の目違いがないようにする。
h 出隅は20～30mmの面取り、入隅は50～70mmの面取りをする。
i 防水層の立上り高さは次の通りとする。
(1) 平場の仕上げ面から250mm以上とする。
(2) 防水層のダレ防止のため、押えコンクリートがある場合は屋根スラブから500mm以下、露出工法の場合は400mm以下とする。
(3) 屋内では床仕上げ面または浴槽天端より150mm以上とする。
j デッキプレート下地面の場合、コンクリートの片面乾燥を避ける為、デッキプレートに10mm程度の穴を300mm間隔程度に開ける。
k 下地は高周波水分計で含水率８%以下の乾燥状態とする。

7 その他防水処理

a 内部水廻りの防水処理
水廻り箇所および水の被害が予想される所では、全面的に防水層を施工していない場所でも、次の下地処理を行う。
(1) コンクリートブロック積みの場合は、コンクリートの立上がりを設ける。
(2) コンクリートスラブと立上がりとの打継ぎ部分には、幅500mm程度でウレタン系塗膜防水を行う。
b 外壁などの防水処理
(1) 直接土に接する面の型枠緊張材にはコーンを使用し、防水処理を施す。ただし、フーチンの根、地下室のない地中ばり部分は除く。
(2) 土に接する外壁、地下室の耐圧盤その他で、全面に防水層を施工しない場合は、次の処理を行う。
1) 型枠緊張材には、止水セパレーターを使用する。
2) コーン部は下記イ・ロ・ハの順序で処理する。
イ. 不良部分を取り除き、目地部に高分子系セメント防水剤を塗布する。
ロ. 樹脂エマルジョンやゴムラテックスを混入したポリマーセメントモルタルで外壁面まで埋める。
ハ. 次に幅 100mm以上の範囲に高分子系セメント防水剤を塗布する。
3) ひび割れのある箇所は下記イ・ロによる。
イ. ひび割れの幅が0.3mm未満の場合は、合成ゴム系防水剤を幅 50mmでパテかいする。
ロ. ひび割れの幅が0.3mm以上の場合は、ひび割れ部にエポキシ樹脂注入を行い、外壁面には幅50mmで合成ゴム系防水剤をパテかいする。
(3) 外壁タイル張りなど仕上げ材のある建具廻りには、ポリマーセメント系塗膜防水を施す。
(4) 防水のない外部床と外壁の取り合い部は、入隅から床と外壁にポリマーセメント系塗膜防水をそれぞれ300mm行う。
c 屋上パラペット廻りの防水処理
カーテンウォールと防水立上りコンクリートとの隙間は、ゴムシートで天端をふさいだのち、笠木を設ける.
d モルタル防水部分
エフロ対策を施すこと。

8 防水の保証期間

防水工事およびシーリング工事は専門工事業者による責任施工とし、保証に関する資料を監督員に提出する。保証期間は下記による。

防水種別	保証期間	備　考
○アスファルト防水	※15年　・	
・改質アスファルトシート防水	※10年　・	
・合成高分子ルーフィングシート防水	※10年　・	
○塗膜防水	※10年　・	
・ステンレスシート防水	※15年	
・けい酸質系塗布防水	※５年　・	
○モルタル防水	※10年　・	
○シーリング材（SR-2）	※10年　・	
○シーリング材（MS-2、SR-1）	※10年　・	
○シーリング材（PS-2、PU-2）	※10年　・	
・シーリング材（ストラクチャルグレージング）	※10年　・	強度保証共

※シールの保証については、2000.4.21日本シーリング工業会発行「戸建て住宅の品確法に対する防水保証の考え方」に基くものとする。

10 石工事

0 一般事項

石材は、傷、腐れ又は亀裂を生じる恐れのある筋や欠点の少ないものとし、色、仕上面の材質の決定に当たっては、サンプルにより監督職員の承諾を受けること。外国産の材料を使用する場合、裁断は国内業者にて行うこと。
また、目地材、目地色の決定に当たり調色を行う。サンプルにより監督職員の承諾を受けること。

1 石材の割付け

※標準仕様書10.1.3（b）による　・図示　(10.1.3)
・眠り目地（糸面及び小口保護）

2 天然石張り

石の品質　(10.2.1)
床用石材　※２等品　・１等品（施工箇所　）
壁及びその他の石材　※１等品　・２等品（施工箇所　）
石の種類・表面仕上げ　(10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)

種　別	名　称	厚さ（mm）	仕　上　等

※石材の強度が不足する場合はＦＲＰ補強等を行う

3 テラゾ張り

種石の種類　※大理石　・　(10.2.1)
表面仕上げ　※本磨き　・　(表10.2.2)

4 壁の石張り工法

外壁石張り　(10.2.2)(10.3.2)(10.3.3)(10.5.2)(10.5.3)(表10.2.4)
工法
・外壁湿式工法（※流し筋工法　・　）
・乾式工法　（・スライド方式　・ロッキング方式）
・PC板打込
あと施工アンカー　材質　※ステンレス（SUS304）　・
石裏面処理　・行う（・小口共）
裏打ち処理　・行う
ドレインパイプ　※樹脂ネット製パイプ（クロスメッシュ巻き）
・ステンレスSUS304

内壁石張り　(10.2.2)(10.4.2)(10.4.3)(10.5.2.)(10.5.3)
工法
・内壁空積工法（※あと施工アンカー横筋流し工法　・あと施工アンカー工法）
・乾式工法　（・スライド方式　・ロッキング方式　・接着工法（厚さ15mm以下）
あと施工アンカー　材質　※ステンレス（SUS304）　・
石裏面処理　・行う（・小口共）
裏打ち処理　・行う

5 床及び階段の石張り

床石張りの石裏面処理　・行う　(10.6.2)(10.6.3)
屋内のワックス掛け　・行う　(10.1.5)
敷きモルタル　・エフロ防止剤添加

6 材料・工法一般

a 剛性の確保
石材の剛性が不足する場合には、ＦＲＰ補強などの処理を行う。
b 白華およびぬれ色などの防止
外部に使用する石材、内部湿式工法の石材および乾式工法の壁最下段の石材は、小口及び裏面に次の処理を行う。
(1) 壁は浸透性シリカ系吸水防止剤を塗布する。
(2) 床は上記（1）の処理を行った上に塗膜型高重合フッ素樹脂汚れ防止剤を塗布する。
c 付着力の増強
付着性の必要な部分に張付ける石材の裏面処理は、付着力増強のための処置をとる。
d 乾式工法
(1) 原則として1段目の石までは、衝撃による石の破損を防止するための砕石またはモルタルを裏込めする。
(2) 石の裏側へ侵入した水の処理は、巾木上端部分の防水処理を施し、巾木上で外部へ侵入水を排出する機構とする。
(3) 裏込めモルタルを施す巾木などは裏面処理を行う。
(4) 雨掛り部分や水を持ち込む床などは眠り目地としてはならない。
(5) 伸縮目地および変位吸収目地の位置および幅は施工計画の段階で十分に検討する。
e 湿式工法
(1) 室内の石張りの場合は、衝撃による破損防止のために、原則として床面より300mm以上は全とろ工法として、これより上部は石の水平目地の取付金具部分に上下100mm程度の幅で帯状に裏込めモルタルを充填する帯とろ工法とする。帯とろは適当な間隔で切って上下の通気をとる。
(2) 伸縮目地および変位吸収目地の位置および幅は施工計画の段階で十分に検討する。
f 水平打継部、異種下地の取合部などは、原則として一枚の石材がまたがないようにする。
g 合端の見え隠れ部分は、ひきはだ又は製作のままとする。地中および他の材料にのみ込みとなる部分は15mm以上見え掛かりと同程度の仕上げとする。
h 石張り仕上面を形成するために必要な下地としての雑鉄骨などは、図示がなくても 本工事に含む。

11 タイル工事

1 目地

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置　(11.1.3)
※共仕様書（表11.1.1）による　・躯体図完了後、割付図を作成し承諾を受ける

2 陶磁器質タイル張り

タイルの種類　(11.2.1)

種　類	形状寸法（mm）	耐凍害性	きじ	釉薬	色	施工箇所	防滑	再生材の適用	備考（以下の同等品とする）
・Ⅰ類	図示	－		－	標準色	汚垂石部	無し		図示

役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする
原料に再生材料を用いる再生材利用タイルの品質
再生材料を用い焼成されたタイルとし、再生材料利用率は総原材料の重量比で20%以上
（複数の再生材料を用いる場合は、その合計）使用されているものとし、再生材に用いる原料の種類及び焼成前処理方法は下表による。ただし、再生材料は通常製造している同一工場からの廃材は除くものとする。

再生材に用いる原料の種類	焼成前処理方法
採石及び窯業廃土、無機珪砂（ｶﾗ）、鐵鋼ｽﾗｸﾞ、非鉄ｽﾗｸﾞ鑄物砂、陶磁器屑、石灰廃、廃ｸﾞﾗｽｳｰﾙ、建設廃材（汚泥を除く）、廃ｺﾞﾑ、廃ｶﾞﾗｽ、製紙ｽﾗｯｼﾞ、ｱﾙﾐｽﾗｯｼﾞ、磨き砂汚泥、石材屑、上水道汚泥、湖沼等の汚泥	前処理によらず対象
都市ごみ焼成灰	溶融スラグ化
下水道汚泥	焼成灰化又は溶融スラグ化

3 壁タイル張りの工法

タイルの見本焼き　※行わない　・行う（※外壁タイル　・　）
内装タイル　・壁タイル接着剤張り　・改良積上げ張り　(11.3.3)(表11.3.2)
外装タイル　・密着張り　・マスク張り
下地モルタル塗り　※共仕15.2.2～15.2.5
タイルの試験張り　※行わない　・行う（※外壁タイル　・　）　(11.2.1)
既製調合モルタルの品質及び性能　(11.2.3)

項　目	単位容積質量（kg/ｌ）	保水率（%）	接着強さ（N/m2）標準時	接着強さ（N/m2）温冷繰返し後	長さ変化率（%）	曲げ強さ（N/m2）
品質・性能	1.8以上	70.0以上	0.6以上	0.4以上	0.2以下	4.0以上

4 コンクリート素地面の処理

※MCR工法又は目荒らし工法　(11.3.3)(6.9.3)(15.2.4)
施工範囲　※図示　・

5 目地材

一般部分
一般目地材は原則として既製調合目地材を使用し、メーカーの仕様による。
目地の色あいは監督員の承認を受ける。
特殊部分
便所など水掛り部分の床タイル目地は、原則としてエポキシ樹脂系目地材を使用する。

6 伸縮目地

a 伸縮目地およびひび割れ誘発目地は下表による。

方向＼形式	柱形のない場合	柱形の ある場合
垂直方向	柱の両側または開口部端部上下および中間３～４m程度	柱形の両端および中間３～４m程度
水平方向	各階ごと打継目地の位置	

b 屋内タイル張りにおいては、入隅部および建具枠周囲に伸縮目地を設ける。
c 伸縮調整目地およびひび割れ誘発目地の寸法は、幅12mm以上、深さ10mm以上とする。
なお、ひび割れ誘発目地のコンクリート目地深さは、打ち増ししたコンクリート厚さとする。

7 下地モルタル

下地モルタルの表面仕上げ精度

工法	仕上げ方法	面の凹凸（mm／３m）
改良積上げ張り	木ごて押え	±3.5
密着張り・改良圧着張り	木ごて押え	±2.5
マスク張り・モザイクタイル張り	木ごて押え	±2.0
接着剤張り	金ごて押え	±1.5

注）下地モルタルに混和剤使用の場合、張付け用モルタル使用混和剤と同一剤とする。

8 コンクリート表面処理

・ＭＣＲ工法　・目荒し工法（高圧水洗）
ＭＣＲ工法
a 外壁コンクリート下地に現場でタイル張りを行う場合は、ＭＣＲ（モルタル・コンクリート・リベットバック）工法とする。ただし、軽微な場合などで、監督員の許可があればこれによらベットバック）工法とする。ただし、軽微な場合などで、監督員の許可があればこれによらないことができる。
b 型枠に取付るシートは、ＭＣＲ工法専用シートとする。
c ステープルピッチは、シート周辺部は100mmピッチ以内、その他の部分は300mmピッチ以内とする。
目荒し工法
a コンクリート表面を50～70N／mm2の高圧水で洗浄、目荒らしを行う。
b 余剰高圧水が近隣などとの関係により問題となる場合は、150N／mm2 の超高圧水で洗浄、目荒しを行う。
c 高圧洗浄後のコンクリート表面の状況について、監督員の承認を受ける。

12 木工事

① 表面仕上げ

程度　・A種　(※B)種　・C種　(12.1.4)（表12.1.1）

② 木材の品質

※共仕12.2.1による　(12.2.1)

保存処理木材の適用箇所　※12.5.1（b）による

・ 市販品

③ 樹種

※共仕表12.2.3による　(○)図示　(12.2.1)（表12.2.3）

・代用樹種を適用しない箇所　UC, CL, OS等を含む生地仕上げとなる部分　(12.2.1)（表12.2.3）

保存処理木材　・使用する（使用箇所　図示　）

間伐材等　・使用する（使用箇所　図示　）

現場搬入時の木材の含水率　※A種　・B種　・薬剤処理樹木は処理工場搬入時の含水率１５%以下

造作材の材面の品質　※A種　・B種　・図示

構造材及び下地材の品質基準

※共準仕様書12.2.1（b）（4）による

④ 集成材等

ホルムアルデヒドの放散量　(12.2.2)

※規制対象外　・第三種

品　名	規格・品質	芯材の種類	間伐材等
(○)構造用集成材	・１種　※２種　・３種	※すぎ	・適用する
・構造用単板積層材	・特級　・１級　・２級	・	・適用する
(○)造作用集成材	※１等　・２等	※たも　・なら　・しおじ	・適用する
・化粧ばり造作用集成材	※１等　・２等	・	・適用する
・単板積層材	※天然木化粧加工 ・塗装加工 ・加工しない（　等）	・	・適用する

居室内の内装材にあっては、ホルムアルデヒドの放散量が平均値で0.3mg/l以下でかつ0.4mg/l以下

⑤ 床張り用合板等

ホルムアルデヒドの放散量　(12.2.3)

※規制対象外　・第三種

品　名	厚さ（mm）	接着の程度	間伐材等
・構造用集成材	・5.5	※１類　・２類	・適用する
・構造用単板積層材	・12.0	※１種　・特類	・適用する
・造作用集成材	※4.2　・3.2　・6.0	・１類　・２類	・適用する
・化粧ばり造作用集成材	※4.0	・１類　・２類	・適用する
・パーティクルボード	・20		

⑥ 接着剤

接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。　(12.2.6)

ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤（以下、「ユリア樹脂等」という。）を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量

※規制対象外　・第三種

⑦ 防腐・防蟻処理

防腐処理　※行う　（適用範囲　※すべての木部　・図示）　(12.2.8)

防蟻処理　(○)行う　（適用範囲　すべての木部　）　(12.2.9)

防腐・防蟻剤は、クロルピリホス等を含有しない非有機リン系の表面処理用木材保存剤とし、種類及び品質等が確認できる資料を監督職員に提出し承諾を受ける。

防腐・防蟻処理の方法

現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて表面処理用木材保存剤を塗布することとする。

8　薬剤加圧注入処理

・防腐　（ 外部に露出する部分:K4（A01）+OS×３ ）

・不燃　（ 内装制限に準ず　）

・準不燃　（　）

⑨ ウッドデッキ

ウッドデッキの品名、工法

樹種	厚さ	工法	根太	防腐処理
・再生木デッキ	30.0	ノンビス工法	めっき鋼材	

⑩ 防虫措置

ラワン材などを使用する場合は防虫処理を行う。

13 屋根及びといの工事

① 長尺金属板葺　(13.2.2)(13.2.3)（表13.2.1）

屋根葺形式	長尺金属板の種類	板厚（mm）
・一文字葺き	※亜鉛合金板	※0.7
(○)縦ハゼ葺き	※カラーガルバリウム鋼板	※0.4

2　折板葺　(13.3.2)(13.3.3)（表13.2.1）

形　　式	・重ね形　※はぜ締め形　・かん合形
形状（mm）	山高（　　）　山ピッチ（　　）　板厚※0.6　・0.8
材　　料 （規格等）	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（CGLCCR-20-AZ150） ・
軒先面戸板	※有り　・無し
断　熱　材	※有り（種別：　　厚さ：　mm）　・無し
耐火　性能	※30分耐火　・無し

材料はＪＩＳ規格に基づく

3　粘土瓦葺　(13.4.2)

形状による区分	寸法による区分	製法による区分	備　　考
※J形	※53A	・ゆう薫がわら	色調（　　）
・S形	・49A　・49B	・いぶしがわら	
・F形	・40	・無ゆうがわら	役物瓦（図示）

④ といい

といい材種　※配管用鋼管（白管）・硬質塩化ビニル管・アルミ製バンドレス樋（表13.5.1～5）

鋼管製といの防露 ※表13.6.5による

ロックウール又はグラスウール保温筒のホルムアルデヒドの発散量

※F☆☆☆☆　・F☆☆☆

掃除口 ※有り ・無し

雨水排水能力

a 小規模な屋上でもルーフドレインの数は２ヶ所以上とする。ルーフドレインの数を１ヶ所にせざるを得ない場合は、出入口レベルより低い位置にオーバーフロー管を設ける。

b 請負者は、雨水管径・勾配と許容最大屋根面積が下表の値を満足しているか確認し、満足していない場合は、監督員と協議する。なお、建物に高低差がある場合は、高層部分の外壁面の50%程度を低層部分の負担屋根面積に加える。

c 落葉によりルードレインがつまる恐れのある箇所は、詰まり防止の網を設けるなどする。

管径（mm）	竪管許容最大屋根面積（㎡）	横引き管許容最大屋根面積（㎡）				
		1/75	1/100	1/125	1/150	1/200
75	110	46	40	—	—	—
100	230	104	90	80	—	—
125	440	196	170	152	139	—
150	690	312	270	241	220	191
200	1.500	—	590	528	482	417

※最大降水量は国土交通省基準である180mm/hrを採用

（日本最大1時間降水量の2倍増）を想定

d 住宅居室廻りの横引き管及び竪といは、化粧壁内及び天井内隠ぺいを含め遮音処理を行う。

遮音被覆は防露巻きの上にアスファルトルーフィング（22ｋｇ）を施し、その上に鉛板（板厚0.5mm）を2重に巻き付ける。見え掛り部は仕上げ（粘着テープ・厚紙・綿布巻きの上に塗装）を行う。

e 内樋は融雪ヒーター用の通線経路を確保し、バテ残などを充填し結露防止、遮音、断熱

⑤ 強度計算

a 耐風圧性能は建築基準法施行令および国土交通省告示による設計用風圧力により算定し、破損や脱落、有害な残留ひずみのないものとする。

b 耐積雪性能は建築基準法施行令の積雪荷重に対して十分安全な状態で構造部材に取り付けるものとする。

c 下地種別毎に引き抜き試験を行う。

⑥ その他

※　異種金属との接触腐食防止処理を行う。

※　軒先唐草は部分はカラステンレス材を使用。

⑦ 保証

※　10年見込むこと。

14 金属工事

⓪ 共通事項

見えがかりとなる金属の表面処理の決定に当たっては、サンプルにより工事監理者の確認の上の市監督員の承認を受けること。

① あと施工アンカーの引抜き耐力試験

※適用する。　(14.1.3)

② ステンレスの表面仕上げ　(14.2.1)

種　　類	施工箇所
※ＨＬ	内、外部一般
・鏡面仕上げ（No.8）	
・フッ素樹脂焼付塗装（FU）	
・ウレタン樹脂焼付塗装（UU）	

③ アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理　(14.2.2)（表14.2.1）

種　別	色合い	施工箇所
※Ｂ－１種	無着色	
・Ｂ－２種	・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー（ファイン系）	その他みえとなる部分、特記のない部分
(○)焼付塗装	現場指定色	サッシ部

・Ｂ－1種の表面処理は特に光沢の少ないマット仕上げとする。

④ 鉄鋼の亜鉛めっき　(14.2.3)（表14.2.2）

表面処理方法	種　別	施工箇所
溶融亜鉛めっき	・Ａ種	ZP下地　t4.5以上
	(○)Ｂ種	木デッキ下地部
	・Ｃ種	ZP下地　t2.3以上
電気亜鉛めっき	・Ｄ種	外部塗装下地、ボルト類
	・Ｅ種	外部塗装下地
	・Ｆ種	内部一般、塗装下地

(○)外部に面する塗装しない鉄部は原則溶融亜鉛メッキとする。

⑤ 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類　屋外　・19型　(※)35型　(14.4.2)（表14.4.1）

屋内　(※)19型　・25型

屋外の場合の形式及び寸法　(14.4.3)(14.4.4)（表14.4.2）

※軒天は下記仕様とし、下記以外は14.4.2及び表14.4.1による

吊ボルト：3分+角パイプ補強1.2×19×19　@900×750

野縁受け：C-40×20×1.6　@750

野縁：CW-25@303

ハンガー、クリップ　：C40用ビス固定式

天井下地材における耐震性を考慮した補強　※行う　(○)該当なし　(14.4.4)

補強方法　国土交通省の定める天井脱落防止に関わる技術基準原案（6kg～20kg/m2）の仕様ルートに準じる、かつ、以下の仕様とする。

屋内天井ふところ1.5M以上の場合の補強

※XY方向にそれぞれ1.8m程度に振れ止め補強を行う。ただし、斜めの振れ止め材は市監督員と打合せて要所に入れる。

屋外の軒天井、ピロティ天井等の耐風補強　(14.4.4)

※有り（外部天井でふところが0.5m以上の場合、全吊りボルトに圧縮材として角パイプ（19×19×1.2）を設ける。）　・無し

a.耐震補強ブレース

(1)負担面積は下表を参考として、バランス良くブレースを分散配置する。

仕上材の例	㎡あたりの質量	１ブレースの負担面積 （XY方向にそれぞれ設置）
ロックウール吸音板（t=12）＋ 石膏ボード（t=9）在来天井	16kg/㎡	12㎡に1ヶ所
グラスウールボード（t=25）のシステム天井	4kg/㎡	25㎡に1ヶ所

(2)ブレース部材は下表より、設置角度は37.5°～45.0°とする。　（許容圧縮力：2000N）

V字45°の場合の 天井ふところ寸法	適正部材 最大実長	部材名称
530mm以下	750mm以下	C-38×12×1.2
1.060mm以下	1.500mm以下	C-20×20×1.4 L-30×30×3
1.370mm以下	1.950mm以下	L-40×40×3
1.900mm以下	2.700mm以下	C-60×30×10×1.6

(3)ブレース先端は専用取付金物、下端は野縁受けにビス2本で固定する。

(4)天井ふところが1.500mmを超える場合は、横つなぎ材を設けて（@3.6m）ブレースを2段とする。

ⓑ ハンガー・クリップ

(1)開き止め又はビス固定できるハンガーとする。

(2)クリップはビス式クリップとする。

c.システム天井

(1)化粧グラスウールボードはボード1枚につきクリップ（樹脂製は線径1.9mm以上）もしくはワイヤー等で2ヶ所をTバーに固定する。

(2)Tバーのジョイントは固定アングルを用いる。

d.壁取り合い部

監督員と協議し、指示があった場合は、壁とのクリアランスは天井横の1/100以上かつ50～100mm程度確保する。クリアランス下部には壁スライド金物を設ける。

e.下がり壁がある場合

監督員と協議し、指示があった場合は、上部天井と下がり壁上部との縁をとり、水平衝突を防ぐあに50mmのクリアランスを設ける。

ⓕ 上記a～fの内容の施工図を工事監理者の確認の上の市監督員の承認を受けること。

⑥ 金属成形板張り　(14.6.2)（表14.2.1）

形　状	製　法	材　種	寸法（mm）	厚さ（mm）	表面処理	色合い
・スパンドレル形	・押出し ・ロール	※アルミニウム製 (○)ステンレス鋼製	図示	2.0	・Ｂ－１種 ・Ｂ－２種 ・PVDF (○)UU	無着色 ・シルバー (○)指定色
(○)パネル形	(○)プレス ・ハニカム					

伸縮調整継手　※設けない　・設ける（施工箇所は図示）　(14.6.3)

⑦ 軽量鉄骨壁下地

種類　(○)30形　(○)45形　・75形　(○)80形　(○)100形　壁性能区分図(1)の内容を適用すること　（表14.5.1）

スタッド高さが５ｍを超える場合、支持材の高さが5m以内となる位置に、支持材を設ける。（14.5.3）

JISに規定のある材料工法を原則とする。使用部位毎に同等以上の性能を示す強度計算書を提出すること。

⑧ 金網類

種　　別	線　形	網　目	適　　用
・ひし型金網	2.6(12#)	40	使用線材は全てJIS G3532（鉄線）による亜鉛めっき 鉄線の３種を標準とする。 錆止め塗料は17.3.3、17.3.4表による。
・クリンプ金網	2.6(12#)	25	
・きっ甲金網	0.9(20#)	16	
(○)溶接金網（正方形）	3.2	100×100	
・溶接金網（長方形）	3.2	50×100	

9　アルミニウム製笠木

アルミニウム製笠木の種類　(14.7.2)(14.7.3)（表14.2.1)（表14.7.1）

種　類	呼称肉厚（mm）	表面処理及び色合い	固定間隔　・方法
・100形	1.5以上	※A-1又はB-1種（無着色） ・B-2種 ・FU	建築基準法に基づき指定する 条件により定める
・250形	1.6以上		
・300形	1.8以上		
・350形	2.0以上		

・笠木納まりは図示および製造所の仕様による

⑩ 手すり及びタラップ　(14.2.1)(14.8.2)(14.8.3)（表14.2.2）

種　類	材料の種別	表面処理
手すり	※ステンレスSUS304	※ＨＬ程度　・鏡面程度　・UU
	(○)鉄	亜鉛めっき　外部　※Ｃ種　・B種+ZP 内部　※Ｅ種　(○)UU(内部) (○)UU(外部)
タラップ	※ステンレスSUS304	※研磨無し　・
	・鉄	亜鉛めっき　内外部　・Ｃ種 ・

・落下防止　SUSワイヤーφ4　テンション金物：SUS製

11　エキスパンション ジョイント金物

・層間変異　1／100　クリアランスは部位毎に設定する。（図示）

・全箇所に耐火帯を見込むこと

12　付底

・アルミカットパネル　ALPLt3 FU 下地 St ZP

⑬ 壁小口塞ぎ

(○)小口塞ぎプレート

材質：スチール　形状：PLt1.2　幅：壁厚+チリ3mm（ソフト巾木部は5mm）　仕上：UU

適用箇所　1方枠部、3方枠部、ブラインドボックス部、照明ボックス部、壁小口部

⑭ ルーフドレイン

・鋳鉄製CO打ち込み式 横引き

⑮ 目皿

・SUS製

16　丸環

・SUS製 @3000

⑰ 排水桝及び蓋、溝蓋

21章　排水工事による。

⑱ 角出し曲げ

補強を見込む

19　耐温度差性能

※部材は年間温度差において、性能・構造。美観上有害な欠陥が発生しないこと。

部材の種別	部材の年間温度差		備考
暗色の金属材	※80℃	・100℃	
明色の金属材	※70℃	・ 80℃	
その他の部材	※60℃	・ 75℃	

⑧ 異種金属の取り合い

接触腐食防止処理は下表による。

接触材料			それぞれの側の接触腐食防止処理
アルミニウム	鋼　鉄	アルミニウム側	・陽極酸化被膜（9μm以上）＋クリヤー塗装（7μm以上） 塗装（20μm以上） 緩衝材による絶縁（合成樹脂パッキンなどの挿入）
		鋼鉄側	亜鉛めっき処理 （亜鉛の付着量：電気亜鉛めっき8μm以上 溶融亜鉛めっき350g/㎡以上 表面処理亜鉛めっき鋼板　片面90g/㎡以上） 錆止め塗料２回塗り（30μm以上）
	アルカリ性材料	アルミニウム側	・陽極酸化被膜（9μm以上）＋クリヤー塗装（7μm以上） 塗装（耐アルカリ性塗料20μm以上）
	ステンレス（SUS304）（SUS316）	アルミニウム側	・陽極酸化被膜（9μm以上）＋クリヤー塗装（7μm以上） 塗装（耐アルカリ性塗料20μm以上）
		ステンレス側	無処理
ステンレス（SUS304）（SUS316）	銅	ステンレス側	無処理
		銅　側	無処理
銅	銅　鉄	銅　側	クリヤー塗装（20μm以上）
		鋼鉄側	表面処理亜鉛めっき鋼板　片面90g/㎡以上 ＋錆止め塗料１回塗り（15μm以上） 亜鉛めっき処理 （亜鉛の付着量：電気亜鉛めっき8μm以上 溶融亜鉛めっき350g/㎡以上）

15 左官工事

① モルタル塗り材料

吸水調整材の品質及び性能 (15.3.2)

項　目	品　質	試験方法
外　観	粗粒子、異物、凝固物等がないこと。	日本建築仕上学会規格M-101（セメントモルタル塗り用吸水調整材の品質基準）による。
全固形分	表示値±1.0%以内	
吸水性	30分間で1ｇ以下	
標準状態	著しいひび割れ及びはく離がなく、接着強度が1.0N/mm2以上で、界面破断が50%であること。	
熱冷繰返し抵抗性		
凍結融解抵抗性		
熱アルカリ溶融抵抗性		

② 床コンクリートの直均し仕上げ

下表以外は共仕表6.2.4及び共仕15.3.2による (表6.2.4)(15.3.1)(15.3.2)

施工箇所	平たんさ（mm）	備　考
仕上がり部	A種	

③ セルフレベリング材塗

種類及び品質は共仕表15.5.2による

※セメント系

a　塗り厚が10mm未満の場合は細骨材を混入しない。

b　塗り後３日間以上放置する。

④ 仕上塗材仕上げ

(○)仕上塗材仕上げの仕様決定にあたっては、サンプルにより市監督員と工事監理者の承諾を受けること。

耐候性はJIS A6909もしくは同等以上の性能を有すること (15.6.2)(表15.6.1)

種　類	呼び名	仕上げの形状等	施工箇所
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材F	・砂壁状　・さざ波状　・ブレス状	外壁
	・可とう形外装薄塗材Ｓｉ	・砂壁状　・さざ波状　・ゆず肌状	
	・外装薄塗材Ｅ	・砂壁状　・着色骨材砂壁状	軒天
	・可とう形外装薄塗材Ｅ	・砂壁状　・ゆず肌状　・さざ波状	
	・防水形外装薄塗材Ｅ	・ゆず肌状　・さざ波形　・凹凸状	
	・外装薄塗材Ｓ	・砂壁状	
	・内装薄塗材Ｃ	・凹凸状　・平たん状　・ゆず肌状	
	・内装薄塗材Ｌ	・さざ波状	
	・内装薄塗材Ｓｉ	・砂壁状じゅらく　・ゆず肌状　・平たん状	
	・内装薄塗材Ｅ	・凹凸状　・ゆず肌状　・さざ波状	
	・内装薄塗材W	・京壁状じゅらく　・ゆず肌状　・平たん状 ・凹凸状	
・厚付け仕上げ塗材	・外装厚塗材Ｃ	・吹放し　・凸部処理　・平たん状 ・凹凸状　・ひき起こし　・かき落とし	
	・外装厚塗材Ｓｉ ・外装厚塗材Ｅ	・吹放し　・凸部処理　・平たん状 ・凹凸状　・ひき起こし	
	・内装厚塗材Ｌ	・かき落とし　・平たん状　・ひき起こし	
	・内装厚塗材Ｇ	・凹凸状	
	・内装厚塗材Ｓｉ	・吹放し　・凸部処理　・平たん状	
	・内装厚塗材Ｅ	・凹凸状　・ひき起こし	
(○)複層仕上塗材	・複層塗材ＣＥ ・複層塗材Ｓｉ ・複層塗材Ｅ ・複層塗材ＲＥ	(○)ゆず肌状　・凸部処理　・凹凸模様 上塗材 溶媒　※水系　・溶剤系 樹脂　※アクリル系　・ポリウレタン系 耐候性　※２種　・１種	
	・可とう形複層塗材ＣＥ ・複層塗材ＲＳ		
	・防水形複層塗材ＣＥ (○)防水形複層塗材Ｅ ・防水形複層塗材ＲＥ	外観　※つやあり　(○)つやなし ・メタリック	
	・防水形複層塗材ＲＳ	防水形の増塗材　※行う	
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材	砂壁状	
	・こて塗用軽量塗材	平たん状	

建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外　・第三種

防火材料の指定 (15.5.2)

※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。

⑤ ロックウール吹付け・充填

厚さ 30 mm 、沈み込み防止措置、脱落防止措置を施すこと。

(15.1.5)　(15.2.4)

⑥ モルタルひび割れ防止下地処理

コンクリートブロック下地　※中塗の溶接金網径2.6mm以上、網目寸法50mmを誘発目地外全面に張る誘発目地：間隔2.0m内外

※リブラス　・A2号

鋼製金網下地　※ワイヤラス　・ひし1232

※接合材の防錆処理

せっこうラスボード下地　※平頭釘、その他の金物の防錆処理

7　天井塗りの制限

a　天井工事において、コンクリートのひび割れ・クリープ・振動などにより はく落のおそれがある部分は請負者は工法を十分検討し、監督員と協議する。

b　避難通路となる廊下および階段などの天井における左官塗りは、5mm程度の薄塗り仕上げとする。

9　目地消し処理

・ノンクラ工法EXスーパー

・ケイカル板面　図示

10　洗い出し仕上げ（外部・内部）

・特殊左官

16 建具工事

1　見本の製作等

・特殊な建具の仮組等（建具番号：　　） (16.1.4)

・建具見本の製作　※製作しない　・製作する

・性能確認試験　※行わない　※行う　（　　）

・試験の種類　・耐風圧　・耐震　・水密　・気密　・遮音　・融雪装置他の制御

・試験体の製作　※製作しない　・製作する　（寸法　※実物大　　）

2　防犯建物部品

※建具表による (16.1.8)

③ アルミニウム製建具

外部に面する建具の性能値等 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)

種　別	耐風圧性	気圧性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所
(○)A種	Ｓ－４	※Ａ－３	※W－4	(○)図示	外部サッシ
・B種	Ｓ－５	・	・	・	
・C種	Ｓ－６	Ａ－４	Ｗ－５	100	

防音ドアセット　※適用は建具表による

断熱ドアセット　※適用は建具表による

耐震ドアセット　※適用は建具表による

※表面処理は　１４．金属工事　に準ずる

※延焼の恐れのある部分にかかる範囲のアルミ製ガラリはファイアダンパ付チャンバーボックス（St PLt1.6 設備工事）により防火性能を有するものとする。

④ 網戸

防虫網（網目16～18メッシュ） (16.2.3)

網の種別　※合成樹脂製　・ガラス繊維入り合成樹脂製　(○)ステンレス製（SUS316）

形　　式　(※)内部可動式　・固定式　・内開き式　・方立内蔵収納式

※ステンレス製の防鳥網はB-FUE指定色とすること。

⑤ 鋼製建具

※外部に面する鋼製建具の性能等級は16.2.1(アルミニウム製建具)による。

簡易気密型ドアセットの性能の適用は建具表による (16.4.2)(表16.4.1)

溶融亜鉛めっきの付着量　※両面で180g/m2以上

鋼板類の厚さ（１枚の戸の有効開口幅950mm、又は 有効高さ2,400mmを越える場合）

※　下表以外は表16.4.4、表16.4.2による (16.4.4)(表16.4.2)

区　分		使用箇所	厚さ（mm）
窓	枠類	外部の下枠、水切り板	2.3
出入口	枠類	外部に面するスイングドアの建具	2.3
	戸	中骨	2.3

・　図示

⑥ 標準型鋼製建具

簡易気密型ドアセットの性能の適用は建具表による (16.4.2)(表16.4.1)

・適用する（適用箇所は建具表による）

⑦ 鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセットの性能の適用は建具表による (16.5.2)

⑧ 標準型鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセットの性能の適用は建具表による (16.4.2)(16.4.6)

⑨ ステンレス製建具

簡易気密型ドアセットの性能の適用は建具表による (16.4.2)(16.6.2)(表16.4.1)

外部に面する建具の耐風圧性 (16.4.2)(16.6.2)(表16.4.1)

耐風圧性	施工箇所
(○)Ｓ－４	自動ドア部
・Ｓ－５	
・Ｓ－６	

表面仕上げ　※ HL仕上げ　・鏡面仕上げ　(○)HU (16.5.4)

曲げ加工　※ 普通曲げ　(○)角出し曲げ（補強あり） (16.5.5)

10　木製建具

(16.6.2)

建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量

※規制対象外　・第三種

フラッシュ戸の表面材の種類 (16.6.2)(表16.6.2)(表16.6.6)

※不燃構造用合板　・不燃シート+ダイライト不燃板

かまち戸の樹種　かまち（　　）　鏡板（　　） (16.6.2)

ふすまの上張り　※新鳥の子又はビニル紙程度　・鳥の子 (表16.6.3)

枠及び靴ずりの材料 (16.6.2)

枠　※ 木製枠　・鋼製枠　・アルミ枠

靴ずり　・ 木製　・ ステンレス製

⑪ 建具用金物

建具用金物 (16.8.2)(表16.8.1)

グランドマスターキー　(※)製作する　・製作しない (16.8.4)

マスターキー　(※)製作する　・製作しない

電気錠　・製作する（図示）(○)製作しない

種類	品質・規格
・モノロック	※握り玉　(※SS　・AL　・黄銅)
・本締り付モノロック	※握り玉　(※SS　・AL　・黄銅)
・シリング箱錠	※レバーハンドル　(※SS　・AL　・黄銅)・握り玉　(　　)
(○)シリング本締り錠	※レバーハンドル　(※SS　・AL　・黄銅)・握り玉　(　　)
・本締電気錠（レバハンー体型）	(○)レバーハンドル　(※SS　・AL　・黄銅)
(○)ドアクローザ	※鋼横付け塗装
(○)押棒　(○)押板　(○)引手	(○)SS　・黄銅　・合成樹脂　・AL FB t5×50　アルマイトシルバー
(○)ピボットヒンジ	カバー部　(※SS　・亜鉛)
(○)フロアヒンジ	※ピボット型　・丁番型
(○)丁番類	※SS　・黄銅

凡例　SS：ステンレスヘアライン仕上　AL：アルミニウム合金　亜鉛：亜鉛合金

図示あるものは図示内容を適用

※錠箱：工事完成時に鍵ごとに室名または建具位置を示す札を付け、

目録書及び縮小版平面図による鍵の種別図を添え、錠箱に収納し提出する。

必要により設備関係、操作ボックス関係の鍵類も合わせて収納する。

鍵は60組程度とし、工事監理者の確認の上の市監督員の承認を受けること。

※建具金物は見本品を提出の上、設計者の承認を受けること。

※ドアクローザーは特記無き限り、扉と同色焼付仕上げとすること。

※アルミサッシの付属金物類、その他はサッシ同色とすること。　を全てに取り付けること。

※戸当りは特記無き限りステンレスゴムクッション床付タイプ

※グレモンハンドルは着脱式グレモンハンドルとし、化粧プレートは特記無き限り、

扉同色焼付塗装とする。

※押棒(引棒)は指定色焼付塗装仕上げとし、必要長さに応じて特注品仕様とする。

⑫ 自動ドア開閉装置

自動ドアの開閉機構 (16.9.2)(16.9.3)(表16.9.1)(表16.9.2)(表16.9.3)

開閉方法	センサーの種類		
※スライディングドア ・スイングドア	・マットスイッチ ・音波スイッチ ・タッチスイッチ (○)多機能便所スイッチ	(○)光線（反射）スイッチ ・光電スイッチ ・押しボタンスイッチ	・熱線スイッチ（外部） ・電波スイッチ（内部） ・ペダルスイッチ

補助機構　・安全用光電スイッチ　・全半開機構　(○)パニックオープン機構　・電気錠

凍結防止措置　※行わない　・行う（　　） (16.8.3)

13　重量シャッター

外部に面するシャッターの耐風圧強度 (16.11.2)

耐風圧性能（　　）N/m2

開閉機能　※上部電動式（手動併用）　・上部手動式　・水圧開放式 (16.11.2)(表16.11.1)

防火シャッター、及び 防煙シャッターの危害防止機構 (16.11.2)

※障害物感知装置（自動閉鎖型）を設ける。

一般重量シャッターのシャッターケース　・設ける　・設けない (16.11.2)

14　軽量シャッター

開閉形式　※手動式　・上部電動式（手動併用） (16.11.2)(表16.11.1)

外部に面するシャッターの耐風圧強度 (16.11.2)

耐風圧性能（　　）N/m2

スラット　厚さ（mm）　※0.8　・1.0 (表16.11.2)

材質　※ JIS G3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） (16.11.3)

又は、JIS G3318（塗装溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯）

・

形状　・ インターロッキング形　・ オーバーラッピング形 (16.11.4)

ガイドレール等　※鋼板製　・ステンレス製SUS304（厚さ1.5mm） (表16.11.2)

15　オーバーヘッドドア

(16.12.2)(16.12.3)

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	・溶融亜鉛めっき鋼板 ※ステンレス鋼板（SUS304）

耐風圧性能（　　）N/m2 (16.12.2)

⑯ ガラス

※「ガラス開口部の安全設計指針」に準ずる (16.14.2)

下記以外は、建具表による

・合わせガラス

特性による種類　※Ⅱ－１類　・

(○)強化ガラス

材料板ガラスによる種類	特性による種類
(○)フロート強化ガラス ・型板ガラス	Ⅲ類（曲面はⅠ類）

・熱線吸収板ガラス

板ガラスによる種類	色　調
※熱線吸収フロート板ガラス	・ブルー　・グレー　・ブロンズ ・グリーン

(○)複層ガラス

種　類	断熱性、日射遮へい性による区分
(○)断熱複層ガラス	※Ｕ３－１　・Ｕ３－２　(○)Ｕ１　・Ｕ２
(○)日射熱遮へい複層ガラス	(○)Ｅ４　・Ｅ５

・複層ガラスのスペーサーは塗装品を使用する（サッシ枠同色）。

・熱線反射板ガラス

品　質	反射皮膜面	材料板ガラスの種類	映像調整
・熱線反射ガラス ・高性能熱線反射ガラス	※内面　・外面 内面	・フロート板ガラス ・熱線吸収フロート板ガラス ・強化ガラス ・倍強度ガラス ・	※行わない ・行う ただし、メタルカーテンウォールは17章による

・倍強度ガラス

材料板ガラスによる種類の名称	色　調
・フロート倍強度ガラス ・熱線吸収倍強度ガラス	・グレー　・ブルー　・ブロンズ　・

・特殊ガラス

材料板ガラスによる種類の名称	施工場所
・耐火ガラス（耐熱強化ガラス）	・屋内避難階段（耐火性能1H）

※特記無き限りガラスセッティングブロック、バックアップ材は黒色を用いる。

※ガラスの刻印は省略する。すべてのガラスは出荷照明とガラス厚スケールによる個別確認を行う。

※ガラス出荷証明は建具符号ごとに用意すること。

※ガラス突付部分のシールは屋外用にはダークグレー、屋内用にはハイクリアを用い、

目地寸法の計算検討結果とともに、使用部位について、施工前に係員の承諾を得ること。

※床に立ち上がりがない部分の全てのガラス面にはカッティングシートによる

衝突防止シール（データ支給）を取り付けること。

※各部ガラスシールの色は施工前に係員の承諾を得ること。

※強化ガラスを用いた合わせガラスの中の中間膜厚は45ミル以上とする。

※内装仕上げ、カーテン色に準じた熱割れ確認計算書を提出する。

※ガラス小口が露出される部分はシリコン系小口保護材を塗布する。

⑰ ガラス留め材

ガラス留め材 (16.14.2)(表9.7.1)

建具の種類	材　種
アルミニウム製	(○)シーリング材　・ガスケット（ＦＩＸ部はシーリング材）
鋼製及び軽量鋼製	(○)シーリング材
ステンレス製	(○)シーリング材

ただし、防火戸は建築基準法に基づく規定に定められたもの又は認定を受けた条件による

⑱ ガラス溝

板ガラスをはめ込む溝の大きさ (16.14.3)(表16.14.1)

※共仕表16.14.3による。ただし、強化ガラス及び倍強度ガラスを使用する場合は性能値等が確認できる資料を工事監理者の確認の上の市監督員の承認を受けること。

17 カーテンウォール工事

19　ガラスブロック積み

ガラスブロック (16.13.5)

寸法（mm）		表面形状			性能等	
呼び寸法	厚さ	色　調	パターン		防火性能	耐火性能
		※クリア ・			※無し ・	※無し ・

壁用金属枠及び補強材 (16.13.5)

壁用金属枠の種類	規格及び補強材等
※アルミニウム製 ・	※ 共仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による ・

化粧目地モルタルの色　※モルタル色　・

シーリング材料

下表以外は共仕表9.6.1による (16.13.5)(9.6.2)(表9.6.1)

被着体の組合せ		シーリング材の種別		
		記号	主成分による区分	耐久性による区分

ただし、防火区画等に用いる場合は建築基準法に基づく規定に定められたもの

又は、認定を受けた条件による。

⑳ ガラス用フィルム

名　称	種　類	張り面		性能値
・日射遮へい表ガラス飛散防止フィルム	第１種	※内張り	・外張り	飛散防止率　Ｄ１
(○)ガラス飛散防止フィルム	第２種	※内張り	・外張り	飛散防止率　Ｄ１
・日射遮へいフィルム	第３種	※内張り	・外張り	飛散防止率　Ｄ１

品質　JIS A5759による

※特記無き限り、フロートガラス面に貼り付ける。

※ガラス内での継ぎ手はクリア1mm程度とする。

㉑ その他

ガラスの小口があらわしとなる部分はシリコン保護材塗布とする。

消火栓扉など表示について、カッティングシートによる製作（データ支給）とする。

着色のできない露出配線類は黒色系保護テープ等で被覆する。

ZPの扱いは本頁　1-14　，　7　の項目に準ずる

木建具用蝶番はかぶせ扉の場合、スライド蝶番または隠し蝶番とする。

木建具ふすま類は、特記無き限り太鼓貼りとする。

結露受けは特記無き限りガラススパンに付き2箇所の水抜き措置を施す。

結露受け金物の裏面は、ファブなどによる結露防止措置を施す。

着脱式グレモンハンドルの化粧PLは特記無き限り扉同色仕上げとする。

本建築はサッシおよびCW工事の進行によって、現場進行が左右されることを理解し、着工後直ちに専門関連業者の確定に努めること。

特に点検口枠においては、扉内に設備盤類が配置される部分は枠内有効寸法を入念に確認すること。

1　一般事項

※性能の規定は設計図書によるほか、特記無き事項は（社）日本建築学会ＪＡＳＳ14による。

2　実物大模型製作

・作成する　目的：外観検査および施工方法の確認

製作寸法　(3200×11600mm)　仕様　（　　）

※作成しない (17.1.3)

3　性能試験

実物供試体による性能試験　・実施する　（供試体の寸法　　）

※実施しない

実施しない場合は、公的機関の試験における品質性能を確保していること

試験項目　・耐風圧試験　・水密試験　・層間変位追従試験(耐震試験)

仕上がり状態、開閉機構の確認　・組立方法の確認

その他の試験(・気密　・遮音　　)

a　性能試験を実施する場合、試験に先立ち試験計画書を作成し監督員の承認を受けること。

b　試験の方法はJCMA(日本カーテンウォール協会)制定のカーテンウォール性能試験基準、JASS14実大試験等の解説に準じる。

4　検査

実物供試体による性能試験　・実施する　（供試体の寸法　　）

a　基準品検査

カーテンウォールの各タイプ毎の初期製作品(製作時にはユニット分、施工時には一区画分(幅：柱スパン、高さ一階))完成時に、施工者は請負会社の立ち会いのもとに自主検査を行い、仕様書および契約書との食い違いの無いことを確認し、その結果を監督員に書面にて報告すること。その後、同形状のユニットの製作または施工を行うこと。基準品検査には監督員が必要に応じて立ち会うものとする。

b　請負者による製品検査

請負者による製品検査は原則として工場発送前に行い、結果を書面にて監督員に報告すること。できる限り実際に建て込んだものに近い状態で行うこととし、初品については必ず行うこと。

c　請負者による取付検査

請負者は工事の一工程が完了した後、施工者による自主検査記録を確認した後抽出検査を行う。

d　カーテンウォールの建入れ前の構造体受入れ検査

施工者は施工開始前に、建物のカーテンウォール取付部位の詳細な点検を実行して、構造体がカーテンウォールの施工に問題の無いことを確認すること。

⑤ 見本

a　請負者は、使用する材料見本を工事監理者の確認の上の市監督員の承諾を受けること。
b　提出する見本には、設計図書に定めた品質が満たされていることを証明する資料を添付すること。
c　色調・仕上状態など、製作誤差の生ずるものについては、市監督員と協議し許容範囲を決定すること。
d　市監督員の承認用に提出されるサンプルは下記に示すものおよび市監督員の要求するものとする。

・アルミニウム　カラーサンプル -各仕上に対し、3寸仕色違いサンプル。
押出材サンプル -300mmの長さ、シートサンプルは300mm角とする。
・ガラス -各タイプ毎に300mm角のサンプル3枚。
・ガスケット(コーナーを溶着で使う場合は溶着したものとする。)
ジョイントフィルター、バッカー、バッフル、セッティングブロック、スペーサー、
シム、ファスナー、金具など　300mm長さのもの3個。
・断熱材、耐火材　-300x300mmのもの3個。
・市監督員の要求する使用部材の仕上がり程度のサンプル、付属品などのデザインのデザインサンプル。
・最初の提出図と一緒に提出するサンプル、データシート、試験報告書、認可証明、ガラス解析書、
熱ストレス検討書、押出形材図、構造計算書
全ての提出物は、主度地、組立・仕上地、ブランドなどの出所を示すこと。

⑥ メタルカーテンウォール

設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会ＪＡＳＳ14による。
カーテンウォール材料の種類　(17.2.2)

種　類	規格等
※アルミニウム製	※共仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による
・SUS	・

カーテンウォール方式
・方立方式
・バックマリオン方式
・スパンドレル方式
・パネル方式
・小型パネル組み合わせ方式　（・ノックダウン方式　　・ユニット方式）

シーリング材及びガラス取付け材料
下表以外は共仕表9.6.1による　(17.2.2)(9.6.2)(表9.6.1)

被着体の組合せ		シーリング材の種類		
		記　号	主成分による区分	耐久性による区分
金属	方立目地	SR-2	シリコーン系	10030
	上記以外の目地	MS-2	変性シリコーン系	9030
コンクリート		MS-2	変性シリコーン系	9030
石・タイル		PS-2	ポリサルファイド系	9030
ガラス		SR-1	シリコーン系	90306

構造ガスケット(シリコンガスケットシステム)　※適用しない　(17.2.2)
・適用する

断熱材　※適用しない　(17.2.2)
・適用する　種　類：硬質ウレタン吹付
厚さ（mm）：30
施工箇所：※個所　・

・断熱材料は断熱および結露防止のために張付または吹付ける。
材種は断熱性能と所定の防火性能を有し、接触する金属等に腐食を起こさないものとする。

製品の寸法許容差　※共仕表17.2.1による　(17.2.3)(表17.2.1)
・製造所標準製作規定寸法許容差による

アルミニウムの表面処理　(17.2.3)(表14.2.1)
１４金属工事に準ずる

耐風圧性能　(17.1.3)
性能値　※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に
対して安全であること。
・正圧　　N/m2 以上、及び 負圧　　N/m2 以上に対して安全であること。

主要部材のたわみ

支点間距離（h）	たわみ量	状　態
※４m以下	※± (1/150) ×h かつ絶対量20mm以下	※各部の破損、残留変形 有害な変形が起こらないこと
・４mを超える	・	

耐震性能　(17.1.3)
設計用震度　　水平方向（KH ）　※1.0　・
垂直方向（Kv ）　※0.5　・

構造種別	許容層間変位量（h＝支点間距離）	状　態
鉄骨造	※± (1/100) ×h以上 ・	※部材の脱落、ガラスの破損及び 主要部材に有害な歪みが起こら ない シーリングは補修程度
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※± (1/200) ×h以上 ・	

水密性　・Ｗ－４　・Ｗ－５　・　(17.1.3)(表16.2.1)
JIS A 1414に規定する降雨条件の下で、下記の風圧力(上・下限±50%脈動圧)について、
室内側に漏水が起こらないこと。
可動部の性能値　　※平均圧力　Pa　・650　・500　・
はめ殺し部の性能値　　※正圧最大風圧力の1/2を平均圧力とする　・

気密性　・Ａ－３　・Ａ－４　・　(17.1.3)(表16.2.1)
耐火性能　※適用しない　・適用する（　施工箇所：図示）
・建築基準法施行令第107条および第112条10項による。
・煙防止層および層間ふさぎは法令に基づき、剥離・落下の起こらない耐火措置を施す。
・床スラブ先端とカーテンウォールとの間に耐火材(ロックウール)を充填し、下端に
耐火材落下防止の措置を施す。
・金属製カーテンウォールのスパンドレル部、防火区画延焼部は耐火ボード裏打とする。
・PCカーテンウォールのパネル接合部目地には耐火認定品の目地材を充填する。
・ファスナー部、取付ブラケットに耐火被覆(湿式岩綿モルタル)を吹付ける。

映像調整　※行わない　・行う（建具表による）
耐温度差性能
・部材は年間温度差において、性能・構造。美観上有害な欠陥が発生しないこと。

18 塗装工事

⓪ 一般事項

各種塗装仕様の決定に当たっては、サンプルにより工事監理者、市監督員の承諾を受けること（木材保護含む）。
各色の仕様決定・確認に当たっては、最新版の日塗工・バントーン・色見本帖2冊を監督職員へ提出すること。

屋内の壁および天井の塗装仕上材は、防火材料または建築基準法に基づく基材同等の
認定表示のあるものとする。
ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量
・☆☆☆☆　・

① 塗装業者

・日本塗装工業会の会員　・市監督員と工事監理者の承認する業者

② 素地ごしらえ

木部　不透明塗料　・Ａ種　　透明塗料　・Ｂ種（　軒天　）　(18.2.2～7)(表18.2.2～7)
・モルタル面及びプラスター面　※Ｂ種（　　）
・コンクリート面及びＡＬＣ面　※Ｂ種（　　）
・せっこうボード及びその他のボード面の継ぎ目処理工法の場合
種別　・Ｂ種　※Ａ種（施工箇所：　　）

③ 素地ごしらえの種別

(18.2.2～7)

塗　装　面	種　別
・木部（不透明塗料塗り）	・Ａ種・Ｂ種　(表18.2.1)
・木部（透明塗料塗り）	・Ａ種　・Ｂ種　(表18.2.1)
・鉄鋼面	・Ａ種　・Ｂ種・Ｃ種　(表18.2.2)
・亜鉛めっき鋼面	・Ａ種・Ｂ種・Ｃ種　(表18.2.3)
・モルタルおよびプラスター面	・Ａ種　・Ｂ種　(表18.2.4)
・ＡＬＣパネル面	・Ａ種　・Ｂ種　(表18.2.5)
・コンクリートおよび押出し成形セメント板面	・Ａ種　・Ｂ種　(表18.2.6)
・せっこうボードおよびその他のボード面	・Ａ種・Ｂ種　(表18.2.7)
・せっこうボード面継目処理工法	・Ａ種・Ｂ種・図示　(表18.2.7)
・コンクリート目地処理部	・図示　(表18.2.7)

・ボード類継ぎ目部パテは水かかりとなる部分を除き、合成樹脂エマルションパテ、耐火型、薄付け用を用いる。
・ケイカル類や水かかりとなる部位の継ぎ目部パテは、エポキシパテ、耐火型を用いる。

・アルミニウム面の素地ごしらえ

	工　程	種別、Ａ種	塗料その他	面の処理	備考
1	汚れ・付着除去	○	－	スチールウール、布等で除去する	
2	油類除去	○	－	苛性ソーダ等で洗い、水洗い	
3	化成皮膜処理	○	－	クロム酸塩化成被膜処理後、水洗い乾燥	

・ステンレス面の素地ごしらえ

	工　程	種別、Ａ種	塗料その他	面の処理	備考
1	汚れ・付着除去	○	－	スチールウール、研磨布等で除去する	
2	油類除去	○	－	溶剤ぶき	

・ボード類継ぎ目部パテは特記無き限り合成樹脂エマルションパテ、耐火型、薄付け用を用いる。

④ 錆止め塗料種別

屋外　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　屋内　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　(表18.3.1)

⑤ 錆止め塗料塗り

・鉄鋼面　　見掛り部分　・Ａ種　・Ｂ種　(表18.3.3)
見隠れ部分　・Ａ種　・Ｂ種
・亜鉛めっき鋼面鋼製建具　・Ａ種　・Ｂ種　(表18.3.4)
その他　　・Ａ種　・Ｂ種

⑥ 合成樹脂調合ペイント塗り（ＳＯＰ）

・木部　(表18.4.1)
・鉄鋼面　・Ａ種　※Ｂ種　(表18.4.2)
・亜鉛めっき鋼面　(表18.4.3)

7 クリヤーラッカー塗り（ＣＬ）

・Ａ種　※Ｂ種　(表18.5.1)
（木部の水かかりとなる部分、白華の恐れのある場合はＡ種）

8 フタル酸樹脂エナメル塗り（ＦＥ）

・木　部　・Ａ種 ※Ｂ種　(表18.6.1)
・鉄面および亜鉛めっき面　・Ａ種 ※Ｂ種　(表18.6.2)

9 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り

・Ａ種　※Ｂ種　(表18.7.1)

10 アクリル樹脂エナメル塗り（ＡＥ）

・Ａ種　※Ｂ種　(表18.8.1)

11 ２液形ポリウレタンエナメル塗り（２-ＵＥ,ＵＰ）

・鉄鋼面　(表18.9.1)
・亜鉛めっき鋼面　(表18.9.2)
・コンクリートおよび押出成形セメント板面　(表18.9.3)

12 アクリルシリコン樹脂エナメル塗り（２-ＡＳＥ）

・鉄鋼面　(表18.10.1)
・亜鉛めっき鋼面　(表18.10.2)
・コンクリートおよび押出成形セメント板面　(表18.10.3)

13 常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り（２-ＦＵＥ、ＦＰ）

・鉄鋼面　(表18.11.1)
・亜鉛めっき鋼面　(表18.11.2)
・コンクリートおよび押出成形セメント板面　(表18.11.3)

14 つや含合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ-Ｇ）

・Ａ種　※Ｂ種　(表18.12.1)

15 合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ、ＡＥＰ）

・Ａ種（外気に接する部分）　※Ｂ種　(表18.13.1)

16 多彩模様塗料塗り（ＥＰ-Ｍ）

・コンクリート、モルタル、プラスター、　※表17.3.1による。
せっこうボード、木部等
・鉄鋼面および亜鉛めっき鋼面　鉄鋼面および鋼製建具　※Ａ種　・Ｂ種　(表18.14.2)
亜鉛めっき鋼面　　・Ａ種　※Ｂ種

17 合成樹脂エマルション模様塗料塗り（ＥＰ-Ｔ）

・コンクリート、モルタル、プラスター、　・Ａ種　※Ｂ種　(表18.15.1)
せっこうボード、木部等
・鉄鋼面および亜鉛めっき鋼面　※Ａ種　・Ｂ種　(表18.15.2)

⑱ ウレタン樹脂ワニス塗り（ＵＣ）

・Ａ種　※Ｂ種　(表18.15.1)
（木部の水かかりとなる部分、白華の恐れのある場合はＡ種）

19 油性ステイン塗り（ＯＳ）

※木部　(表18.16.1)

20 マスチック塗料塗り

・種別　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　(表18.12.4)

21 屋内水系塗料塗り

・鉄鋼面つや有合成樹脂エマルションペイント塗り　・Ａ種　・Ｂ種　(表18.12.4)

22 １液形ポリウレタン樹脂エナメル焼付塗装（ＵＵ）

アルミニウム・亜鉛めっき鋼板・ステンレス類に適用する。

	工　程	材料・その他	標準膜厚（μm）	摘要
	素地ごしらえ	各金属面の素地ごしらえ	－	工場塗装
1	エアーブロー	塗装面をエアーブローし、ごみなどを除去	－	
2	下塗り	エポキシ樹脂プライマー	10～20	
3	セッティング	5～10分	－	
4	焼付け	熱風乾燥炉　180℃　20分	－	
5	上塗り（1）	1液形ポリウレタン樹脂塗料	15～25	
6	セッティング	10～20分	－	
7	上塗り（2）	1液形ポリウレタン樹脂塗料	20～25	
8	セッティング	10～20分	－	
9	焼付け	熱風乾燥炉　180℃　30分	－	

（注）
1）焼付け温度は、被塗物の表面温度で管理する。
2）塗装工程は３コート３ベークとしてもよい。
3）裏面は原則として下塗りまでとする。
4）塗装ラインは、素地ごしらえと連続した処理ラインを備え、他と隔離して粉じん防止を
施したクリーンゾーンを形成していること。
5）亜鉛めっき鋼板の溶接部は、研磨仕上げを行い、エポキシ系ジンクリッチプライマー処
理を行ってから工程２に移る。

23 アクリル樹脂エナメル焼付塗装

アルミニウム・亜鉛めっき鋼板・ステンレス類に適用する。

	工　程	材料・その他	標準膜厚（μm）	摘要
	素地ごしらえ	－	－	工場塗装
1	エアーブロー	塗装面をエアーブローし、ごみなどを除去	－	
2	下塗り	エポキシ樹脂プライマー	15	
3	セッティング	5～10分	－	
4	焼付け	熱風乾燥炉　180℃　20分	－	
5	上塗り（1）	熱硬化型アクリル樹脂塗料	20～25	
6	セッティング	10～20分	－	
7	上塗り（2）	熱硬化型アクリル樹脂塗料	20～25	
8	セッティング	10～20分	－	
9	焼付け	熱風乾燥炉　180℃　30分	－	

（注）
1）焼付け温度は、被塗物の表面温度で管理する。
2）塗装工程は３コート３ベークとしてもよい。
3）裏面は原則として下塗りまでとする。
4）塗装ラインは、素地ごしらえと連続した処理ラインを備え、他と隔離して粉じん防止を
施したクリーンゾーンを形成していること。

㉔ ふっ素樹脂エナメル焼付塗装（ＦＵ）

Ｆ－１　外部金属部、内部鉄部及びステンレス部に適用する

	工　程	材料・その他	標準膜厚（μm）	摘要
	素地ごしらえ	表18.2.3	－	工場塗装
1	エアーブロー	塗装面をエアーブローし、ごみなどを除去	－	
2	下塗り	フッ素樹脂プライマー	15	
3	セッティング	5～10分	－	
4	焼付け	熱風乾燥炉　180℃　20分	－	
5	上塗り（1）	フッ素樹脂塗料	20～25	
6	セッティング	10～20分	－	
7	上塗り（2）	フッ素樹脂塗料	20～25	
8	セッティング	10～20分	－	
9	焼付け	熱風乾燥炉　180℃　30分	－	

（注）
1）焼付け温度は、被塗物の表面温度で管理する。
2）塗装工程は３コート３ベークとしてもよい。
3）裏面は原則として下塗りまでとする。
4）塗装ラインは、素地ごしらえと連続した処理ラインを備え、他と隔離して粉じん防止を
施したクリーンゾーンを形成していること。

㉕ ラッカーエナメル塗り

Ｆ－２　アルミニウム面に適用する（ソリッドカラー）。

	工　程	材料・その他	標準膜厚（μm）	摘要
	素地ごしらえ	アルミニウム面素地ごしらえ	－	工場塗装
1	エアーブロー	塗装面をエアーブローし、ごみなどを除去	－	
2	下塗り	フッ素樹フラッシュプライマー	5～10	
3	セッティング	10～20分	－	
4	焼付け	235℃　10～20分	－	
5	上塗り（1）	フッ素樹脂塗料	10～15	
6	セッティング	10～20分	－	
7	上塗り（2）	フッ素樹脂塗料	20～25	
8	セッティング	10～20分	－	
9	焼付け	235℃　10～20分	－	
	合計膜厚	－	35以上	

（注）
1）焼付け温度は、被塗物の表面温度で管理する。
2）塗装工程は３コート３ベークとしてもよい。
3）裏面は原則として下塗りまでとする。
4）塗装ラインは、素地ごしらえと連続した処理ラインを備え、他と隔離して粉じん防止を
施したクリーンゾーンを形成していること。

Ｆ－３　アルミニウム面に適用する（メタリックカラー）。

	工　程	材料・その他	標準膜厚（μm）	摘要
	素地ごしらえ	化成処理	－	工場塗装
1	エアーブロー	塗装面をエアーブローし、ごみなどを除去	－	
2	下塗り	ふっ素樹フラッシュプライマー	5～10	
3	セッティング	10～20分	－	
4	焼付け	235℃　10～20分	－	
5	上塗り（1）	ふっ素樹脂塗料	25～35	
6	セッティング	10～20分	－	
7	焼付け	235℃　10～20分	－	
8	塗膜塗	ふっ素樹脂クリヤー	10～20	
9	セッティング	10～20分	－	
10	焼付け	235℃　10～20分	－	
	合計膜厚	－	40以上	

（注）
1）焼付け温度は、被塗物の形状、塗装ライン、気温などで変わるので、最適条件で管理する。
2）塗装工程は３コート３ベークとしてもよい。
3）裏面は原則として下塗りまでとする。
4）塗装ラインは、素地ごしらえと連続した処理ラインを備え、他と隔離して粉じん防止を
施したクリーンゾーンを形成していること。

木部に適用する。　・Ａ種　※Ｂ種

	工　程	種別 Ａ種	種別 Ｂ種	材料・その他	塗布量（kg／㎡）
	素地ごしらえ	○	○	－	－
1	下塗り	○	○	オイルプライマー　JIS K 5591	0.09
2	研磨紙ずり	○	○	研磨紙#180	－
3	パテ付け	○	○	オイルパテ	－
4	研磨紙ずり	○	○	研磨紙#240	－
5	中塗り	○	○	オイルフェーサー　JIS K 5593	0.14
6	研磨紙ずり	○	○	研磨紙#320による水研ぎ	－
7	上塗り（1）	○	○	ラッカーエナメル	0.08
8	研磨紙ずり	○	－	研磨紙#400による水研ぎ	－
9	上塗り（2）	○	○	ラッカーエナメル	0.08
10	研磨紙ずり	○	－	研磨紙#400による水研ぎ	－
11	上塗り（3）	○	－	ラッカーエナメル	0.08
12	研磨紙ずり	○	－	研磨紙#800による水研ぎ	－
13	磨き上げ	○	－	ポリシングコンパウンドおよびつや出しワックス	－

㉖ ウレタン樹脂エナメル焼付塗装

アルミニウム・亜鉛めっき鋼板・ステンレス類に適用する。

	工　程	材料・その他	標準膜厚（μm）	摘要
	素地ごしらえ	各金属面の素地ごしらえ	－	工場塗装
1	下塗り	エポキシ樹脂プライマー	30～50	
2	セッティング	10～20分	－	
3	乾燥	強制（100℃、20分）または自然乾燥（20℃、16時間）	－	
4	上塗り（1）	反応硬化形ウレタン樹脂	20～25	現場塗装
5	上塗り（2）	反応硬化形ウレタン樹脂	20～25	

（注）　1）裏面は原則として下塗りまでとする。
2）亜鉛めっき鋼板の溶接部は、研磨仕上げを行い、エポキシ系ジンクリッチプラ
イマー処理を行ってから工程１に移る。
3）塗装ラインは、素地ごしらえと連続した処理ラインを備え、他と隔離して粉じん
防止を施したクリーンゾーンを形成していること。

木部に適用する。

	工　程	材料・その他	塗布量（kg／㎡）
	素地ごしらえ	－	－
1	下塗り	ウッドシーラー	0.1
2	研磨紙ずり	研磨紙#240～320	－
3	中塗り	ウレタン樹脂エナメル	0.1
4	研磨紙ずり	研磨紙#320～400	－
5	上塗り	ウレタン樹脂エナメル	0.1

19 内装工事

27 常温乾燥形アクリルシリコーン樹脂塗り

Ａ－１　鉄面・アルミニウム・亜鉛めっき面に適用する。

工　程		種別 A種	種別 B種	材料・その他	塗布量 (kg／㎡)	標準膜厚 (μm)	摘要
素地ごしらえ		○	○	各金属面の素地ごしらえ	－	－	工場塗装
1	下塗り（1回）	○	－	エポキシ系ジンクリッチペイント	－	－	
2	下塗り（2回）	○	○	エポキシ樹脂系プライマー	0.14	30	
3	補修処理	○	○	付着物の除去、塗膜層損傷部の補修	－	－	現場塗装
4	下塗り（3回）	○	－	エポキシ樹脂系プライマー	0.14	30	
5	パテかい	○	○	不飽和ポリエステル樹脂パテ	－	－	
6	研磨紙ずり	○	○	研磨紙#320	－	－	
7	中塗り	○	○	常温形アクリルシリコーン樹脂　中塗り用塗料	0.14	30	
8	上塗り	○	○	常温形アクリルシリコーン樹脂　上塗り用塗料	0.14	30	

※鉄面はＡ種とし、亜鉛メッキ面およびアルミニウム面などの塗装工程はＢ種とする。

Ａ－２　セメント系素地およびプラスター系素地面に適用する。　※Ａ種　・Ｂ種

工　程		種別 A種	種別 B種	材料・その他	塗布量 (kg／㎡)
素地ごしらえ		○	○	素地の乾燥を十分に行い、汚れおよび付着物を除去する。	－
1	吸込み止め	○	○	２液形エポキシ樹脂ワニス	－
2	穴埋め、パテかい	○	○	２液形エポキシ樹脂パテ	－
3	研磨紙ずり	○	○	研磨紙#150	－
4	下塗り	○	○	２液形エポキシ樹脂ワニス	0.08
5	パテかい	○	－	２液形エポキシ樹脂パテ	－
6	研磨紙ずり	○	－	研磨紙#150	－
7	中塗り	○	○	２液形エポキシ樹脂エナメル	0.14
8	研磨紙ずり	○	○	研磨紙#240	－
9	中塗り	○	－	２液形エポキシ樹脂エナメル	0.14
10	研磨紙ずり	○	－	研磨紙#240	－
11	上塗り	○	○	常温形アクリルシリコーン樹脂エナメル	0.1
12	研磨紙ずり	○	○	研磨紙#400	－
13	上塗り	○	○	常温形アクリルシリコーン樹脂エナメル	0.1

27 塩化ゴム系エナメル塗り

金属素地面に適用する。

・鉄面の塩化ゴム系エナメル塗り　※Ａ種　・Ｂ種

・亜鉛めっき面の塩化ゴム系エナメル塗り　※Ａ種　・Ｂ種

工　程		種別 A種	種別 B種	材料・その他	塗布量 (kg／㎡)	標準膜厚 (μm)	摘要
素地ごしらえ		○	○	各金属面の素地ごしらえ			工場塗装
1	下塗り（1）	○	○	ジンクリッチペイント	0.13～0.15		
2	下塗り（2）	○	○	塩化ゴム系プライマー	0.19	35	
3	下塗り（3）	○	－	フェノール樹脂系MIO塗料 素地の露出している部分に工場工程の下塗りを行う。	0.21	45	
4	補修修理	○	○	塗膜損傷部の補修塗り、汚れなどの付着物の除去を行う。	－	－	現場塗装
5	中塗り	○	○	塩化ゴム系中塗り用エナメル	0.17	35	
6	上塗り	○	○	塩化ゴム系中塗り用エナメル	0.17	35	

（注）1）工程４の補修用プライマーは金属面用２液形エポキシ樹脂プライマーとする。
2）ジンクリッチペイントは有機質のエポキシ系ジンクリッチペイントとする。
3）鉄骨の現場接合部や組立中の下塗り損傷部分は汚れ、付着物を除去し、ディスクサンダーまたは研磨紙で金属素地面があらわれるまでさびを落とし、補修用プライマー２回塗りの上に下塗り２回塗りを行う。

28 床用塗料塗り

材料　ウレタン樹脂系塗料（※標準色　・　）

仕上種別　※平滑仕上げ　・防滑仕上げ

塗布量　プライマー塗りのうえ主剤２回塗りとし、総塗布量は0.5kg／㎡以上とする。

29 防塵用塗料塗り

材料　水性アクリル系樹脂系塗料（※標準色　・　）

仕上種別　コーティング（ローラー刷毛塗り）

塗布量　主剤２回塗りとし、総塗布量は0.25kg／㎡以上とする。

30 木材保護塗料塗り

木材保護塗料塗り

・A種　※B種

（表18.13.1）

工　程		種別 A種	種別 B種	塗料その他 規格番号	塗料その他 規格名称	塗付け量 (kg/m2)
素地ごしらえ		○		18.2.2.による。		――
1	下塗り	○	○	JASS18M-307	木材保護塗料塗り	0.08
2	上塗り（1回目）	○	○	JASS18M-307	木材保護塗料塗り	0.08
3	上塗り（2回目）	○	―	JASS18M-307	木材保護塗料塗り	0.06

・参考品番
防蟻、防腐、防カビ仕様を含むものとする
・木材保護塗料の仕様決定に当たっては、サンプルにより工事監理者の確認の上の市監督員の承認を受けること。

31 耐火塗料

工場	下地処理	１種ケレン（ブラスト処理）相当
	プライマー	エポキシ樹脂ジンクリッチペイント
	下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料（インターバル延長形）
現場	補修塗	２種ケレン相当、素地露出面は下塗り塗膜復元（１次プライマーは使用しない）
	２次素地調整	＃180研磨紙
	主材塗	発泡性耐火被覆
	養生	十分乾燥させる
	中塗	耐火被覆用エポキシ樹脂中塗
	上塗	耐火被覆用ターペン可溶フッ素樹脂塗料

※　平滑に仕上げる
※　見掛かり部の鉄骨材に適用する

32 その他塗料

材料製造所の指定する工法、使用部位とする。
施工に先立ち、塗布予定同材各基材にプライマー処理を施し、同色塗り見本を作成し監督係員の承諾を得ること。
断熱吹きつけウレタン部、ロックウール部の塗装は　UPまたはAEPとし、適切なシーラーを見込む。
外壁用現場塗装はすべてつやなし仕様とする。
特記なき限り　塗装色は指定色とし、必要に応じて基材に応じた色見本サンプルを提出すること。

32 非水エマルションペイント (NAD)

・適用箇所(風除室・室外機置場・トラックヤード・荷解室・トイレ)

（19.2.2）

種　類	記　号	色　柄	厚さ（mm）
※発泡層のないもの	※NC　・	・無地　※マーブル柄	※2.5　(2.0)
・発泡層のあるもの	・図示	・無地　・柄物　・図示	・4.5　・図示
・			
・			

工法　※熱溶接工法　(・)焼き付け　（施工箇所：　）　（19.2.3）
※製造所の指定（推奨）する工法

1 ビニル床シート張り

（19.2.2）

表面処理の種別	記号	厚さ（mm）	備　考
※コンポジションビニル床タイル（半硬質）	CT	※2.0	裏り　マチコV程度
・コンポジションビニル床タイル（軟質）	CTS	※2.0	
・ホモジニアスビニル床タイル	HT	・	
※耐シガレットタイル		・3.0	

2 ビニル床タイル張り

（19.2.2）

3 帯電防止床タイル張り

種類　※コンポジションビニル床タイル

性能　体積抵抗値（ JIS K 6911による） 5.2×(10 ～10)Ω・cm

厚さ（mm）　※2.0　・4.0　・4.5

（19.2.2）

4 ビニル巾木

高さ（mm）　(・)40　(※)60　・300

硬さ　※半硬質　・硬質

5 ゴム床タイル

厚さ（mm）　(・)2.5　・4.5　・6.0　色柄　・無地　(・)柄

6 カーペット敷き

・織じゅうたん（ウィルトン、アキストミンスター、緞通）　（19.3.3）（表19.3.4）

種別　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・特種（　）　（表19.3.1）

パイル形状　※カットパイル　・ループパイル　・カット、ループ併用　・シャギー

色柄　※単一色(無地)　・柄物(標準品)

帯電性　人体電圧　・2.0Kv以下　※3.0 Kv以下

・タフテッドカーペット　（19.3.3）（表19.3.4）

パイル形状	パイル長 (mm)	工法	帯電圧	備考
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法 ・グリッパー工法	人体帯電圧 ※1.0Kv以下 ・2.0Kv以下	
・マルチレベルループ	※4～6　・			
・レベルループパイル	※4　・			
・カット、ループ併用	・			

・ニードルパンチカーペット　（19.3.3）（表19.3.2）

厚さ（mm）　※5　・　ラバー　・有り　※無し　帯電性・2.0Kv以下　※3.0 Kv以下

(・)タイルカーペット

パイル形状	寸法	総厚(mm)	人体帯電圧	製法	素材
※ループパイル (・)カットパイル	※500mm角 ・	(・)4.5 (・)5	※0.5kV以下 ※0.5kV以下	※タフテッド ・ボンテッド	(※)6Fナイロン (・)ナイロン ・ウール
適用	事務室・休憩室・展示室2				
備考	展示室2はインクジェット調色仕様（ナイロン）とする				

7 合成樹脂塗床

（19.4.2）（表19.4.1～表19.4.7）

種　類	仕　上	施工箇所	備考
・弾性ウレタン塗床	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ	※図示 ・	
・エポキシ樹脂塗床	※薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ（※平滑　・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（※平滑　・防滑） ・防滑仕上げ	※図示 ・	
(・)防塵塗床	※ウレタン樹脂系　・エポキシ樹脂系 ・アクリル樹脂系	※図示 ・	

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量　※F☆☆☆☆　・

（19.5.2）（19.5.7）（表19.5.2）（表19.5.4）

8 フローリング張り

種類	樹種	板厚（mm）	工法・下張り	仕上塗装	仕上	ホルムアルデヒドの発散量
・天然木化粧複合フローリング	※なら ・ひのき ・オーク (・)ナット	※15 ・18 ・20	釘止め、さね加工	※有　・無 (UVｸﾘｱ工場塗装品)	※ハンド スクレーパー仕上	※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆

9 畳敷き

（表12.7.1）

適用箇所	種別	備考
表12.7.1による床組	・特級品　・Ａ種（1級品）　※Ｂ種（2級品） ・Ｃ種　・Ｄ種	
ポリスチレンフォーム床下地	※Ｃ種　・Ｄ種	

特級品はJIS　A5901わら床の特級品。JASに定める特等の畳表とする。

10 せっこうボード その他ボード張り

（19.7.2）（表19.7.1）

種　類	記号	厚さ（mm）、規格等	備考
(・)難燃木毛セメント板	―	・15　・20　・25　・	
(・)断熱木毛セメント板	―	・15　・20　・25　・	
(・)けい酸カルシウム板	ｹｲｶﾙ板	タイプ２（無石綿）　(6)　(8)・10　・15	
(・)ロックウール化粧吸音板	―	※フラットタイプ（※9　・12　・　） ※凹凸タイプ　※12　・15　・19　・	
(・)せっこうボード	PB	(・)9.5（準不燃）(・)12.5（不燃）・15.0（不燃）(・)21.0（不燃）	
(・)レージングせっこうボード	防水PB	・9.5（準不燃）(・)12.5（不燃）	
(・)強化せっこうボード	強化PB	(・)12.5（不燃）・15.0（不燃）	
・せっこうラスボード	―	・9.5	
(・)化粧せっこうボード	化粧PB	(・)9.5（準不燃）・12.5（不燃）	
・化粧せっこうボード（木目）	化粧PB	・12.5（不燃）　幅 440 程度 模様（※柾目　・板目）専用下地材付き	
(・)メラミン樹脂化粧板	―	JIS K 6903 による　厚さ3.0	
(・)不燃積層せっこうボード	―	(・)12.5（不燃）	
・火山性ガラス質複層板	―	・3・5・6・9・12・15・18・21	
(・)パーティクルボード	―	ホルムアルデヒドの発散量 ※F☆☆☆☆　・F☆☆☆	
・木繊セメント板	―	・50（不燃）	

a　せっこうボードの目地処理　（19.7.3）
※継目処理工法（ベベルエッジ）・突付けV目地工法　・突付け工法　・目透し工法

b　せっこうボードのさし目地
内壁開口部周端上部及び異種下地取合い部には、ひびわれ防止のため、さし目地を設け、
仕上材をまき込む。（サトウ巧材、クロス下地ジョイント目地、塩ビハットV-3　程度）
塗装仕上げの場合はテーパーエッジ同士となるよう割付し、ジョイント処理を確実に行う。

c　軽量鉄骨下地ボード遮音壁のシール材　（表9.6.1）
※アクリル系シーリング材　・ジョイントセメント
AC-1　10×10

d　居室の界壁は天井内も石こうボード張り（両面/准耐火構造）をし隙間を耐火シールでふさぐ。

e　鉄骨造の建物の内部階段で壁がボード張りの場合、各階床レベルで目地（塩ビハットV-3程度）を設ける。

11 合板張り

（19.7.2）

合板の種類	耐水性能	厚さ（mm）、表面仕上	工法	施工箇所
(・)普通合板	・１類　・２類	(・)図示	・A級※B級	※図示　・
・難燃合板	・１類　・２類		・A級※B級	※図示　・
・天然木化粧合板	・１類　・２類	・図示	※A級・B級	※図示　・
(・)不燃構造用合板	――	(・)図示	※A級・B級	※図示　・

合板類の小口処理
(・)適用する　・適用しない
適用する材料（普通合板・手の触れる範囲全て（床からの高さ2.4Mマデ））
処理方法　（パテ処理のうえ研磨処理　UC）

12 吸音材料

種　類	記号	厚さ（mm）	備考
・ロックウール吸音ボード１号	RW-8	※25　・50	
・グラスウール吸音ボード２号（・90K　・80K　）	GB-Ⅱ	※25　・50	
(・)グラスクロス包みグラスウールマットピン留め（32K）	個ピン留	※25　・50	視聴覚ホール

13 壁紙張り

（19.8.2）

記号	壁紙の種類 紙	織物	ビニル	化学繊維	無機質	防火性能の級別	備考
クロス	・	・	(・)	・	・	※1級　・級	
	・	・	・	・	・	※1級　・級	
	・	・	・	・	・	※1級　・級	
	・	・	・	・	・	※1級　・級	
	・	・	・	・	・	※1級　・級	
	・	・	・	・	・	※1級　・級	

a　壁紙は原則として壁装材料協会のISWまたはRALの基準認定品とする。
b　壁紙施工用でん粉系接着剤はJIS　A6922による。

素地ごしらえ
モルタル、プラスター面　※Ｂ種　・Ａ種（施工箇所：　）
せっこうボード面　※Ｂ種　・Ａ種（施工箇所：　）

ホルムアルデヒドの発散量　※F☆☆☆☆　・F☆☆☆

14 断熱材

（19.9.2）（19.9.3）

種類	施工箇所	厚さ（mm）	品質等	備考
(・)押出法ポリスチレンフォーム保温板（PF板）	(※)3種ｂ（皮付き） ※3種ｂ（皮付き）	ピット天井部 ピット内壁、天井より1m巾箇所 鋼板屋根 浴槽	※25 (・)30 ※30 ・図示	特定フロンを使用しないもの
(・)吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材　A種1（現場発泡断熱材）	断熱補強部、補修部 野地板下一般部 ギャラリー	(・)30 ※15(・)(※)25 (・)(※)25	同上 難燃３級	
(・)フェノールフォーム保温板	屋根部	(・)30		
・木毛セメント板	図示	・25		型枠兼用
(・)ロックウール（吹き付け・充填）	耐火上必要な隠べい柱梁部 外壁ＳＴパネル部	(・)図示		
・木毛セメント板	図示	・25		型枠兼用
・炭酸カルシウム系発泡板	1～3Fの外壁から1m以内の床スラブ上（ただし、ピット部、塗装防水箇所、防塵塗装箇所、全面排水マット部を除く）	・7		

a　現場発泡断材表わしとなる場合で内装不燃を要求される箇所は、現場発泡断熱材の上に
現場吹付型無機不燃断熱材を施す。厚みは不燃認定仕様とし製造所による。

b　工事中の溶接花火などによして、現場発泡断熱材が燃える恐れのある箇所は、現場発泡断
熱材の上に現場吹付型無機不燃断熱材t=3mmを施すなど、対策を施すこと。

ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂、メラミン樹脂、又はフェノールフォームを使用した
断熱材のホルムアルデヒドの発散量　※F☆☆☆☆　・F☆☆☆

※吹き付け硬質ウレタン施工部分が表しになる室などで、内装制限のある部分には不燃コート
を見込む
※不燃コート下地となるウレタン吹きつけ部は不燃コート認定を取得した仕様とする。

15 浴室天井材

材質	表面仕上げ	性能	幅（mm）	備考
※アルミニウム製	※焼付け塗装品 ・アルマイト処理品	準不燃品	※200 ・100	廻り縁は縁付きとし、製造者の標準品とする。ただし焼付塗装を施す
・硬質塩ビ製	※塗装品 ・木目調	不燃品	※300 ・100	

製品は製造者の標準品とする。

16 ポリスチレンフォーム床下地材

畳下地　厚さ（mm）　※40　・65　・80

17 クロス張りペンキ仕上げ

クロスの材種	塗装の種類	防火性能	施工箇所
不燃ガラス繊維織物	※EP　・	ＪＩＳ　Ｋ　5663	※図示　・
	※EP　・		※図示　・
			※図示　・

a　防火材料の指定がある場合は、製造者の個別認定指定仕様および施工による。
b　下塗り塗料はEPシーラーとする。
c　下地用クロス貼りは、シーラー塗布後に張り付け、十分乾燥させる。
d　ペイント仕上げは下塗り・中塗り・上塗りの各１回塗りとし、２分艶出し仕上げを標準とする。
e　中塗り乾燥後、毛羽立ちを除去するため軽く研磨紙ずりを行う。
f　ペイント仕上げは織り目をつぶさず生地の風合いを生かし、塗りむらのないようにする。
g　塗装はローラー刷毛塗りを原則とする。
h　仕上げの見本品を提出し、工事監理者の確認の上の市監督員の承認を受けること。

18 粘着剤付きビニルシート貼り

a　材料は塩化ビニルシートで、耐候性・耐熱性・耐薬品性・耐汚染性・耐摩擦性・粘着性などのすぐれた防火認定品とする。
b　石膏ボード・モルタル・プラスターなどの下地材は、シーラー処理を行う。
c　すべての下地面は基材に合わせたパテ処理を行い、乾燥後研磨紙ずり（#120～180）を行う。
d　すべての下地面は基材に合ったプライマー塗布を行う。
e　貼り付けは12℃以上の室温で行い、しわ・ふくれなどがないように貼る。

19 システム天井

方式	バー材種	天井材、厚さ(mm)	施工箇所
・ライン方式 ・クロス方式 ・ロ型方式	・アルミニウム製 ・スチール製	・ロックウール（　） ・グラスウール（　） ・	※図示 2F事務室 ・
			・

※工法規格は製造所の基準による。

※耐震対策　※振れ止め補強有り（　）　・無し
※設備機器緊結有り（　）　・無し
※天井板の落下防止
※壁際のCチャンは壁から10mm離し、吊ボルトは150mm程度離す。
※システム天井入力加速度水平　1000gal、垂直500galにおいて、
システム天井部材の落下又は重大な被害のないこと。

※S造では1/100、RC造又はSRC造では1/200の層間変形角に対応すること。

20 接着剤

a　可能な限りＶＯＣｓ（ビオシーズ：揮発性有機化合物）を含まないものを使用すること。
b　水廻り以外はエマルジョン系接着剤を使用すること。

壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒドの発散量
※F☆☆☆☆　・

25 制震シート

・制震シート
厚み　3mm　面密度　5.1kg/m2
適用箇所　図示
壁・床両用高機能用　サンダムE-30（ゼオン化成株式会社）同等品

20 ユニット及びその他工事

1 基本要求品質

(20.1.2)

特記以外の建物内部に使用するユニット及びその他工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料は★★★★を使用すること。

2 耐震スリット

方　向	タイプ	耐火性能	防水性能
・垂直方向	※完全（全貫通型）スリット	・耐火型	・有り
・水平方向		・非耐火型	・無し

目　地	内壁（幅×深さ）	外壁（幅×深さ）
目地材	シーリング材（見え掛かりのみ）	シーリング材（内外とも）
目地寸法（mm）	※20×10　・	※20×10　・

製造所

3 止水板

形　状　・差込式　・据置式　・壁張り式

施行箇所　※図示　・　打ち継ぎ部分

4 フリーアクセスフロア

(20.2.4)

施工箇所	構　法	仕上り高（mm）	許容水平力	耐荷重性能 注（1）	表面仕上げ材 注（2）
歴史情報発信コーナー／事務室/映写、調整室/受付	・パネル構法 ・溝構法	100・300	・1.0G ・0.6G	・3,000N ・3,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット

注 1．耐荷重性能（5,000N）については、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等のものとする。

注 2．表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による

スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様（ただし、構成材は共仕による）　・図示

コンセント等の取付け対応　※製造所の標準仕様（コンセント本体は別途設備工事）

コンセントの箇所数　※10～15m に１箇所程度

配線取出しパネル　フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合　※20～30%

※配線取り出し開口：40mm×80mm 程度の開口

空調用吹き出しパネル　※無し

・有り（※固定式　・可変式　：施工箇所は図示）

5 可動間仕切

(20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ（mm）	表面材種 厚さ（mm）	パネル表面仕上げ	遮音性（JISによる記号）
※パネル式 ・スタッド式 ・スタッドパネル式	図示	※鋼板 （※0.6　・0.8） ・	※メラミン樹脂又は アクリル樹脂焼付け ・	TI同等

不燃材料の認定　・有り

6 移動間仕切

(20.2.4)

遮音性能による区分	厚さ（mm）	表面材	表面仕上げ（注２）	操作方法	
・一般タイプ		※鋼板	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式	
		・特殊ガラス	－	・手動式　・電動式	
・遮音タイプ（注１）		※鋼板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式	

パネル圧接装置操作方法　※製造所標準仕様　・

7 トイレブース

表面仕上げ材　※メラミン樹脂系化粧板　(20.2.5)

・ポリエステル樹脂系化粧板

脚部　※幅木タイプ　・支柱タイプ

ドアエッジ　※フラット形　・曲面形

笠木形状等　※蓋有り　・蓋無し

8 階段滑止め

材　種　ステンレスSUS304

形　状　FB（巾5mm）

両端フラットエンド　※有り（※ビニル製・ステンレス製）　・無し

取付け工法　※接着工法　・埋込み工法

9 階段手すり

種　別	施工箇所
・集成材クリアラッカー仕上げ （市販品　径　約45mm、又は 約60mm）	
・ビニル製手すり（幅　約40mm）	
・金属製（図示）	図示

10 黒板及び ホワイトボード

(20.2.8)

種　類		寸法（mm）	備　考
・黒板	※焼付け		※平面　・曲面　・ｽﾀｲﾛﾝ付引分 ・曲面（上下スライド）
・ホワイトボード	※ほうろう ・フィルム	・図示（サインボード用）	※平面　・曲面　・ｽﾀｲﾛﾝ付引分 ・曲面（上下スライド）

11 表示

衝突防止表示　※図示（市版品　※ステンレス製　径約30mm　・　製作品）　）　(20.2.10)

・無し

12 煙突ライニング

適用安全使用温度　※400℃　・650℃　(20.2.11)

13 ブラインド

(20.2.12)

形　式	種　類	スラットの材質	スラットの幅（mm）
※横型	※ギア式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 ・	※25
・縦型	・１本操作コード ※２本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

14 ブラインドボックス及びカーテンボックス

※市販品（木製）

・製作品

使用区分	形状	仕上げ	適用箇所
ＳＴ製	図示	SOP塗装	図示
木製	図示	EPG塗装	標準部

15 ロールスクリーン

(20.2.13)

操作方法	スクリーンの種類	品質等
・プルコード式（ストッパー付）	・無地	
・ワンタッチチェーン式	・柄物	
・チェーン式	・遮光タイプ	
・電動式	・	

16 カーテン及び カーテンレール

(20.2.14)

施工箇所	形　式		装　置			名称・品質	ひだの種類	備考
	片引	引分	電動	ひも引	手引			
女性更衣室・男性更衣室	・	・	・	・	・	カーテンレール(シングル)		

17 ピクチャーレール

一般部

レール　材　質　アルミニウム製（シルバー）

形　式　先付け天井埋込型（見切縁兼用）

ランナー　材　質　本体：真鍮性　フック：ステンレス製（可動式）

耐荷重　25kg程度/個

個　数　2個/レール1m

18 天井点検口

目地形状	適用箇所	寸法（mm）
目地タイプ(アルミ製)	図示	600×600
目地なしタイプ(アルミ製)	図示	600×600
目地タイプ(アルミ製)	図示	450×450

品質及び性能等　(表14.2.1)

項　目	材料の品質・規格及び性能
内外枠の材質	ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金押出型材（表面処理：C-1種又はC-2種による） （JIS H 4100 A6063S-T5による）
内枠の仕上げ材留付け金具	ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金押出型材、亜鉛めっき鋼板類及び同等の性能を有するもの
ｽﾀｰﾄﾋﾟｰｽ及び取付金物等	鋼材に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの
寸法許容差	枠の許容差　±0.5mm以内
	外枠と内枠のクリアランス　2.0mm以内

19 床点検口

本体の材質	目地の材質	適用箇所	寸法（mm）
※ アルミ製	※ｱﾙﾐ　・ ステンレス　・ 黄銅		※　600×600
・ステンレス製	※ｱﾙﾐ　・ステンレス　・ 黄銅	図示	

※化粧目地タイプ、車いす、台車、ストレッチャー等の通行荷重に耐えるもの

品質及び性能等

材　質	品質、規格及び性能等	
アルミ合金押出型材	JIS H 4100 A 6063Sによる	表面処理 Ａ－１種又はＡ－２種による
アルミニウム板	JIS H 4000 A 1100P.H24による	
ステンレス製	JIS G 4305（目地材はG 4308も含む） のSUS304による	表面処理 ＨＬ又はNo.2Ｂ程度
寸法許容差（mm）	受け枠寸法の許容差	±０．５
	蓋枠寸法の許容差	±０．５
	受け枠と蓋枠のｸﾘｱﾗﾝｽ（片側）	２．０以内
耐荷重性能	荷重Pr=1,000Nにおける蓋中央部の残留たわみ	点検口有効径の０．０８％以内
	耐破壊荷重	荷重値Prの２倍以上

20 収納家具、書架・物品棚可動家具

※図示

ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・ 第三種

21 くつふきマット

市販品

材　質　・塩化ビニル製（コイル状　ステンレス製受枠）

・ビニル製（ステンレス製受枠）

・硬質アルミニウム製（受枠とも）

・ステンレス製（受枠とも）

22 流し台ユニット

ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種

仕様・適用内容　・図示

休憩室(1台)

23 屋内掲示板

枠の材質　※アルミニウム製

表面の材質　※塩ビ発泡シート張り　・

24 洗面カウンター

ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種

奥行き（mm）　・約450　・約600　・図示

25 防煙垂れ壁

・固定式

材　質	厚さ（mm）	高さ（mm）	備　考
・網入り磨板ガラス	・6.8	・500	アルミ製枠付き
・線入り磨板ガラス	・	・	
・StPL 曲げ	・2.3	・図示	
・耐熱強化ガラスDPG	・6+6	・図示	
・ＰＢ（不燃仕様）	・12.5	・図示	

・可動式

種　類	材　質	高さ（mm）	備　考
・垂直降下式 （巻取り型）	不燃布 （不燃認定品）	※500 ・800 ・1300	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

品質、規格　（財）日本建築センターの防災性能評定品

26 敷地境界石標

・かこう岩（文字記号等入り）

※コンクリートブロック製の市販品程度

・金属鋲

27 旗竿

材　質　※アルミニウム合金製

形　式　※テーパー型　・同一断面型

地上高さ（m）　・6　・8　・10　・12

操作方法　※ハンドル式　・ロープ式

固定方法　・埋込式　・ベース式　・バンド式

28 旗竿受金物

材　種　ステンレス製SUS304

29 フェンス

・耐雪型　・一般型

・ビニル被覆エキスパンドフェンス　・樹脂塗装メッシュフェンス　・鋼管フェンス

30 屋外掲示板

照明器具　※有り　・無し

施　錠　※有り　・無し

製造所

31 車止め支柱・バリカー

・ステンレス製（上下式鎖内蔵型、反射テープ付き）

径＝114.3mm、厚＝2.5mm、高さ＝ＧＬ＋700mm

※スプリング付　・スプリング無し

・ステンレス製（差込式）

※スプリング付　・スプリング無し

仕　上　・指定色焼付塗装

施工箇所　・外構　図示

32 コーナーガード

・衝撃吸収材　本体

施工箇所　・図示

33 車止め

・PC製

施工箇所　サービスヤード、駐車場　車マス1つにつき1セット（2個）設ける

34 消火器ボックス

・全埋込タイプ扉付　個数：図示

・床置き式:SUSスタンド　個数：図示

35 定礎盤

・製作品　1箇所　施工箇所：協議による

表面板：SUS PL13 文字サンドブラスト　300×200程度　（記載内容はデータ支給）

36 ステージバトン

図面による

37 床目地棒

SUS t5.0　（補強有り）　HL

38 鏡

フロートガラス t5　面取、縁なし、小口防錆

39 防火水槽

二次製品等耐震性貯水槽　NT40-Ⅲ型-H-1.0

21 外構工事

第21章　外構工事

1 盛り土に用いる材料

・A種　・B種　・C種　・D種　(22.2.3)（表3.2.

2 遮断層及び凍上抑制層の材料

・遮断層　・川砂、海砂又良質な山砂　・　(22.2.2,3)

厚さは図示

・凍上抑制層　・再生クラッシャラン　・クラッシャラン　切り込み砂利　・砂

厚さは図示

3 路床安定処理

・添加材料による安定処理　(22.2.2,3)（表22.2.2）

種類　・普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメントB種

・生石灰（　　）　・消石灰（　　）

添加量　kg/m³（目標CBR　・5以上　・　　）

4 路床土の支持力比試験

・行う（・乱した土　・乱さない土）　(22.2.5)

5 路床締固め度の試験

・行う　(22.2.5)

6 路盤材料

・再生クラッシャラン　(22.3.3)

・クラッシャラン（C－40）又はクラッシャランスラグ（CS－40）

透水性アスファルト舗装にもちいる場合は透水性の高いもの

7 アスファルト舗装

(22.4.2)（表22.4.1

舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類
・アスファルト舗装	・無し　・有り	・顔料混入加熱アスファルト混合物
・カラー舗装	・無し　・有り	・

カラー舗装の着色骨材　・有色骨材（焼成）　・着色骨材（樹脂被覆）

アスファルト　・再生アスファルト　・ストレートアスファルト　(22.4.3)

加熱アスファルト混合物の種類　(22.4.4)（表22.4.6

区分	・一般地域	・寒冷地域
表層	・密粒度アスファルト混合物（13） ・細粒度アスファルト混合物（13）	・密粒度アスファルト混合物（13F） ・細粒度ギャップアスファルト混合物（13F）
基層	・粗粒度アスファルト混合物（20）	

シールコート　・行わない　・行う（施工範囲：　　）　(22.4.5)

アスファルト混合物の抽出試験　・行わない　・行う　(22.4.6)

8 コンクリート舗装

早強セメント　・使用しない　・使用する　(22.5.3)

注入材料　・低弾性タイプ　・高弾性タイプ　(22.5.3)（表22.5.3

溶接金網　・有り　・無し　(22.5.3,4)

厚さ試験　・行わない　・行う　(22.5.6)

9 透水性舗装

アスファルト混合物の抽出試験　・行わない　・行う　(22.6.6)（22.4.6)

・廃瓦骨材再利用舗装

10 排水性舗装

アスファルト混合物　(22.7.3)（表22.7.2

・改質アスファルト　型　・高質アスファルト　型　Ⅱ

タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類　(22.7.3)（表22.7.3

適用時期	種　類
下記以外	PKR－T1
冬期	PKR－T2

アスファルト混合物の抽出試験　・行わない　・行う　(22.7.6)

11 ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装　(22.8.2,3)

種　類	寸法（mm）	厚さ（mm）	目地材
・普通平板（N）　・カラー平板（C） ・洗出平板（W）　・擬石平板（S） ・コルゲートブロック（透水性）	・330角 ・300×600	・80 ・60	・砂 ・モルタル

・インターロッキングブロック舗装　(22.8.2,3)

種　類	厚さ（mm）	色彩及び表面加工等
・普通ブロック ・透水性ブロック ・誘導、注意喚起用ブロック	車道部　・80　・ 歩道部　・60　・	・標準品 ・ 誘導、注意喚起用は黄色系とする
・植生ブロック	・80　・100　・60	

インターロッキングブロック

項目		品質・性能		
材料	セメント	JIS R 5210ポルトランドセメント、JIS R 5211高炉セメント、JIS R 5212シリカセメント、JIS R 5213フライアッシュセメント、白色ポルトランドセメントとする。		
	骨材	清浄、強硬、耐久性で、適当な粒度をもち、ごみ、泥、有機物、薄い石片、細長の石片を含んでいない。		
	混和材料	インターロッキングブロックの品質に有害な影響を及ぼさない。		
	着色材料	無機質材料を用い、耐候性に優れ、かつインターロッキングブロックの品質及び環境上有害な影響を及ぼさない。		
外観		使用上有害なきず、ひびわれ、欠け、変形等がない。		
寸法許容差（mm）		長さ	幅	厚さ
普通タイプ		±3	±3	±3
透水性タイプ		±3	±3	＋5～－1
植生用タイプ		±3	±3	±3
曲げ強度（N/mm^2）		普通タイプ	5.0以上	
		透水性タイプ	3.0以上	
		植生用タイプ	4.0以上	
透水係数（cm/sec）		透水性タイプ	1×10^{-2}以上	
圧縮強度（N/mm^2）		普通タイプ	32.0以上	
		透水性タイプ	17.0以上	

・舗石舗装　(22.8.2.3)

種類	厚さ（mm）	施工方法	基層
・小舗石（花こう岩）	・80～100　・	・うろこ張り	・コンクリート舗装
・	・	・	・アスファルト舗装

12　路面標示用塗料

JIS K 5665（路面標示用塗料）による

種類	施工	適用	色	幅（mm）	布厚さ（mm）	揮発性有機溶剤の含有率
・1種	常温	液状	・白	・150	・1.0	塗料総質量に対して
・2種	加熱		・	・	・	5%以下
・3種1号	溶融	粉体状				

13　排水管

排水管用材料　(21.2.1)（表21.2.1）(21.3.3)

材種	管の種類	管形状（接合方法）
・遠心力鉄筋コンクリート管	・外圧管（・1種　・2種）	B形（ゴム接合）
・硬質塩化ビニル管	・VP　・VU	
・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管	・REP－VU	

車道部の排水管の敷設　(21.3.1)（21.3.3）

・図示

・砂基礎（地業厚さ20cm以上　材料　山砂の類）

14　排水桝及びふた

鋳鉄製マンホールふた　(21.2.2)

種類		適用荷重
・水封形	・密閉形（テーパー・パッキン式）	・T－2用
・簡易気密形（パッキン式）	・中ふた付密閉形	・T－6用　（6tまで）
		・T－14用
		・T－20用

グレーチングふた　(21.2.2)

材質	形式	種類	適用荷重	メンバーピッチ	上面形状
・鋼製	※受枠付き	・溝ふた用	・歩行用	・細目	※凹凸形
・ステンレス製	・	・桝ふた用	・T－2用	・普通目	※平形
・溶融亜鉛めっきドブ付け鉄製	ボルト固定	・かさ上げ用	・T－6用		
	※無し	・雨水溝用	・T－14用	・細目	・凹凸形
・化粧目地タイプ排水溝	・図示		・T－20用		

・化粧目地タイプ排水溝　(21.2.3)（表3.2.1）

・PC蓋 T-2、T-14用

15　埋戻し土

※8種　・

16　浸透管及び浸透桝

※図示による

17　新植樹木、芝及び地被類の枯補償

新植樹木の枯補償期間　※引渡日から１年間

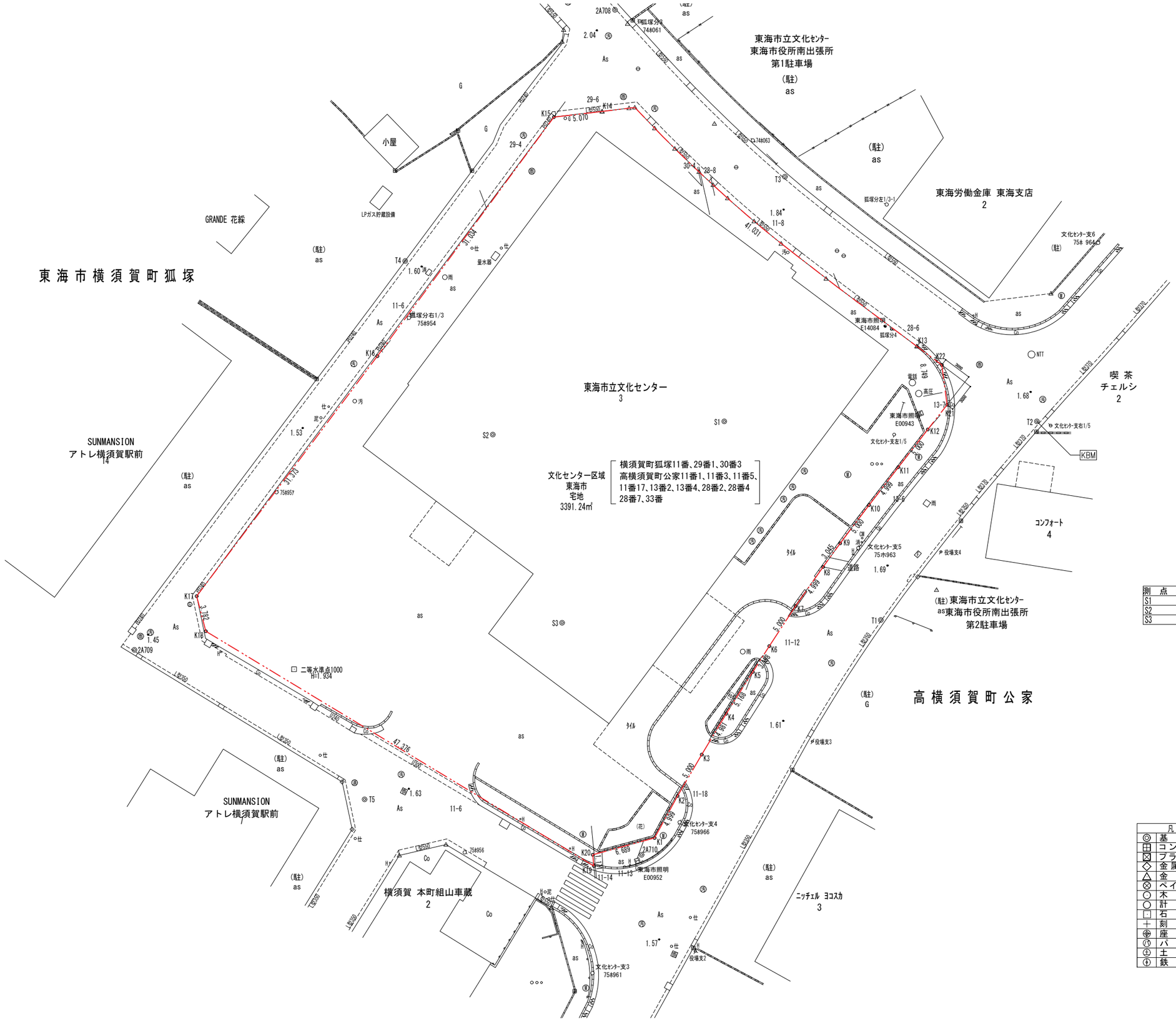
芝及び地被類の枯補償期間　※引渡日から１年間

建築、電気、空調、給排水設備、昇降機　標準施工区分表

内容	建築	電気	機械 空調	機械 給排水	昇降機	別途	備考
1．仮設							
(1) 仮囲い	○						
(2) 共通足場	○						外部足場等
(3) 作業足場	○	○	○	○			各工事で使用するもの
(4) 請負業者事務所、下小屋、材料置場等	○	○	○	○			
(5) 監督員事務所、委託工事監理事務所	○						備品等も含む
(6) 工事用の給排水及び電力等	○	○	○	○			エレベータ工事用及び試運転調整用電力は建築工事
(7) 材料場外処分	○	○	○	○			
(8) 掘削残土（建築・電気・機械）の場外処分	○	○		○			建築工事での掘削を原則とするが、工事内容に応じ
							各工事対応とする。
2．各水槽、ピット及び連通管その他							
(1) 受水槽・排水槽・汚水槽等でコンクリート造のもの	○						
(2) コンクリート造の各種水槽釜場	○						
(3) コンクリート造水槽用鉄製蓋及び化粧蓋、タラップ	○						
(4) 最下階配管ピット及び化粧蓋、タラップ	○						
(5) 床下配管ピットの人通口、通気口、排水口	○						
(6) 電気関係配管ピットの及び蓋・点検口	○						
(7) 消防水利・消火水槽の水張り試験費(1回)	○						
3．各排水溝及び配管トレンチ							
(1) 各種トレンチ蓋及び人孔蓋	○						
(2) 屋内各排水溝及び蓋	○						
(3) 排水溝内の排水目皿及び配管				○			
(4) 排水溝端部集水桝及び蓋	○						
4．各種基礎							
(1) 各種機器据付用コンクリート基礎およびH鋼	○						建築図に記載したもの　各種機器の防振装置は各工事
(2) 各種水槽類・キュービクル等のコンクリート基礎	○						建築図に記載したもの（フェンス含む）　防振装置は各工事
(3) 各種コンクリート基礎の仕上	○						
(4) 各種機器据付用基礎・水槽類基礎で軽微なもの		○	○	○			
(5) 各機器のアンカーボルトの取付	○	○	○	○			
(6) 分電盤・動力盤基礎	○						
5．スリーブ箱入れ及び開口部補強							
(1) 各種配管スリーブ及び空隙充塡	○	○	○	○			
(2) ダクト及びガラリ等の開口箱入れ	○		○				外壁ガラリは建築工事
(3) 衛生器具（和風大便器）取付開口箱入れ				○			
(4) コンクリート壁埋込消火栓等開口箱入れ				○			
(5) コンクリート壁埋込型盤類の開口箱入れ		○	○	○			
(6) 上記（1）～（5）開口部の補強	○						
(7) 躯体貫通部分の防水処理	○	○	○	○			
(8) 各種穴あけ補修後の仕上	○						
6．内装材切込及び下地補強							
(1) 煙感知器、スピーカー、空調機、制気口等の天井壁切込及び補強	○						すみ出しは各工事
(2) 補強を要しない天井壁切込	○	○	○	○			コンセント、ダウンライト等小口径開口
(3) 壁付換気扇穴明け			○				有圧扇は空調設備工事
(4) 開口部位置墨出し及び開口寸法	○	○	○	○			
(5) スイッチ、コンセント等小開口の切込	○	○	○	○			家具類、石、タイル、金属、化粧木の切込は建築工事（補修共）
(6) 壁付け換気扇取付け建具枠（アルミ建具含む）	○						本体は空調設備工事
(7) 換気扇用のサッシアルミパネル開口加工	○						換気扇固定用のパネル面ビス用孔あけ加工含む
(8) 設備機器、器具、配管、配線、ダクト用インサート		○	○	○			
(9) 壁・天井取付機器の下地補強	○						壁掛け扇風機、テレビモニターアーム等
7．改め口及び点検口							
(1) 床・壁・天井点検口、点検扉（開口補強共）	○						すみ出しは各工事
(2) 各シャフト点検口、点検扉	○						すみ出しは各工事
8．排水金物							
(1) 床排水金物				○			
(2) 既製ステンレス流しの排水金物	○						
(3) グレーチング	○						
9．雨水排水							
(1) ルーフドレーン取付	○						
(2) 地盤までの一般雨樋	○						
(3) 雨水第一桝	○						第一桝より先は給排水設備工事
(4) U形側溝及びこれに接続する溜桝	○						蓋・グレーチング共
(5) 上記に接続する配管	○						
10．ガラリ等							
(1) 外壁取付ガラリ	○						ダクト接続をするものはアングル共（すべて防鳥網付）
(2) ドアガラリ	○						
(3) ウェザーカバー、ベンドキャップ、外壁取付換気口		○	○				

内容	建築	電気	機械 空調	機械 給排水	昇降機	別途	備考
11．動力、制御							
(1) 一般用動力操作盤及び電動機端子接続までの配管・配線		○					
(2) パッケージエアコン（その他ファン含む）							
本体			○				
一次側電源送り		○					
室外機・室内機アース配線		○					
室内機一次側電源送り		○					
室外機～室内機～室内機連絡配線			○				
室内機とリモコンの連絡配管配線及びリモコン取り付け（スイッチ）			○				
(3) 全熱交換機扇とスイッチの連絡配線及びスイッチ取り付け			○				配管配線共空調設備工事
(4) 換機扇とスイッチの連絡配線及びスイッチ取り付け		○	○				24時間換気の配線配管は空調設備工事、一般換気の配管配線は電気工事
(5) 給湯器とリモコンの連絡配線及びリモコン取り付け			○				配管配線共、給排水設備工事
(6) 可動防煙垂れ壁の二次側配線及び操作盤・押釦取り付け	○						空配管は電気設備工事
12．防災関係							
(1) 防火戸・防火シャッターの配管配線、煙感知器		○					レリーズを含む
(2) 壁掛け・壁埋込み消火器ボックス	○						消火器本体は別途　配置検討は建築工事
(3) 消火器ボックス（床置型）	○						配置検討は建築工事
(4) 消火栓一体消火器ボックス（壁埋型）				○			消火器本体は別途　配置検討は建築工事
(5) 誘導標識	○						
(6) 誘導灯		○					
13．昇降機							
(1) 昇降路その他建物構造に関する一切	○						
(2) ＲＣ造の梁、壁、床貫通スリーブ工事	○	○					
(3) 各階出入口の三方枠、押しボタン等の穴あけ工事	○						
(4) 上記　周囲のモルタル詰め工事					○		
(5) 乗場機器取付後の出入口廻りの壁及び床の仕上工事	○						
(6) 昇降路頂部にエレベーター機器揚重用フック設置工事	○						
(7) ピット内防水工事	○						
(8) 昇降路工事用足場組立工事					○		
(9) 動力、照明電源のＥＶ制御盤への一次側接続工事		○					制御盤設置位置により昇降路内に配管配線が生じる場合、昇降路内の配管配線は昇降機設備工事
(10) Ｄ種接地線の引込み工事		○					
(11) ピット内点検用コンセント設備工事		○					
(12) 昇降路頂部の煙感知器設備工事(外部より点検可能)		○					平成20年国土交通省告示第1454号第一号により点検口の戸は施付（工具を必要とするタジでも可）とし、戸が開いた時にはエレベーターを停止とする
(13) 火報信号の昇降路より外部の配管配線工事		○					
(14) インターホン取付位置より昇降路までの配管配線工事		○					制御盤設置位置により昇降路内に配管配線が生じる場合、昇降路内の配管配線は昇降機設備工事
(15) 三方枠用梁出し、枠回り仕上げ	○						
(16) 三方枠、出入口、敷居、インジケーター、押しボタン					○		
(17) 貫通穴廻りの空隙充塡、補修工事	○	○					
(18) 昇降機本体					○		工事用及び試運転調整用電力は建築工事
(19) エレベーターの遠隔管理用配管・配線工事		○			○		制御盤設置位置により昇降路内に配管配線が生じる場合、昇降路内の配管配線は昇降機設備工事
(20) 中間ビーム、ファスナー、機器取付用下地等	○				○		詳細はエレベーター参考図による
(21)							
14．各種機器等							
(1) 備品機器の搬入据付後の配管接続				○			
(2) 洗面カウンター	○						洗面器具、配管、水栓は給排水設備工事
(3) 鏡	○						
(4) 既製流し台、IH台、吊戸棚	○						給排水接続は給排水設備工事,IH用コンセントは電気設備工事
(5) 既製IH台用の既製フードカバー	○						ファンを含む
(6) ミニキッチン（水栓、排水金具共）	○						ファンを含む
(7) ガス湯沸器、電気湯沸器				○			一次側電源送りは電気設備工事
(8) ユニット型衛生器具（バリアフリートイレ、オストメイト等）				○			ユニットに付属する各手摺と取合シールを含む
(9) トイレ内の手すり・杖ホルダー（だれでもトイレ内共）	○						ユニットの場合ユニットに付属しているものを除く
(10) ベビーシート、ベビーチェアー、フィッティングボード、折りたたみシート等	○						
(11) コンセントＢＯＸの穴あけ		○					
(12) 床埋込型ﾏｲｸﾛｺﾝｾﾝﾄBOX等の穴あけ		○					
(13) フリーアクセス床のコンセント・複合アウトレット及び配線		○					
(14) フリーアクセス床のコンセント・複合アウトレット用開口（工場加工）	○						フリーアクセス床の仕上加工共
(15) フリーアクセス床の予備開口及びプレート	○						
(16) 電気錠・通電金物	○						建具加工共
(17) 電気錠制御盤・操作盤	○						一次側電源送り、空配管は電気設備工事
(18) 電極棒			○				警報盤等への配管配線は電気設備工事システムと一体の場合はシステム工事にて設置するものとする
(19) 警報盤等		○					
(20) 電気引込柱		○					
(21) 機械警備用空配管		○					機械警備設備は別途
(22) 電話・情報通信ケーブル引き込み用空配管		○					電話・情報通信設備は別途

内容	建築	電気	機械 空調	機械 給排水	昇降機	別途	備考
15．厨房機器設備							
(1) 厨房機器、電気温水器本体			○				
(2) 同上据付			○				
(3) 同上機器への給排水接続			○			○	
(4) 同上機器への一次側電源供給及び接続		○					
(5) フード類			○				本体工事は、空調、送風機＋厨房内天井ダクトフランジ止めまでとし、以降別途工事とする。
(6) グレーチング、側溝、桝、床壁天井仕上	○						
16．太陽光発電パネル工事							
(1) 太陽光発電パネル本体、制御盤、表示パネル		○					
(2) 一次側電源工事 ＋ 屋内配管		○					
(3) 下地取付金物	○	○					
(4) パネル設置架台及び基礎	○						
17．各種手続き等							
(1) 工事着手後の各官庁申請手続き	○	○	○	○	○		エレベータ計画通知手続き　建築基準法中間検査・完了検査 消防法等検査手続き　等
(2) 各種工事保険	○	○	○	○	○		
(3) 電力・上下水・ガス・電話・情報通信等の引き込み負担金					○		
18．その他							
(1) 解体又は改修する建物等の機器のうち、再使用するものの取り外し	○	○	○	○			
(2) カーテンボックス、ブラインドボックス、スクリーンボックス	○						
(3) カーテンレール、ロールスクリーン、ブラインド	○						
(4) 配管等撤去後の穴埋め	○	○	○	○			小口径100φ程度
(5) 映像ホール固定席	○						
19．自動制御設備							
(1) 中央監視設備			○				
(2) 電気設備にて設置する盤類中央監視設備に接続する配線			○				
(3) 空調設備にて設置する盤類中央監視設備に接続する配線			○				
(4) 衛生設備にて設置する盤類中央監視設備に接続する配線			○				
(5) 動力制御盤から自動制御盤に接続する配管配線			○				
20．舞台機械設備							舞台適用範囲はギャラリー、映像ホール1，2、収録室とする
(1) すのこ工事一式	○						
(2) 吊物昇降装置の製作および据付工事一式	○						
(3) 照明バトン、バトンにとりつく照明工事一式	○						
(4) 舞台機構制御盤	○						舞台照明は、舞台工事請負業者が設置、試験調整を行うこと
(5) 同上盤への一次側電源供給		○					
(6) すのこ上の作業灯およびコンセント工事		○					
(7) 舞台機構盤からの二次側配管配線	○						
(8) 舞台機構操作卓の製作および据付工事	○						
21．舞台照明設備							舞台適用範囲はギャラリー、映像ホール1，2、収録室とする
(1) 照明主幹盤までの1次側電源供給、接続工事		○					
(2) 照明主幹盤の製作および据付						○	
(3) 同上盤以降2次側配管、配線、照明器具		○				○	客席照明器具および配管配線は電気工事
22．舞台映像音響設備							舞台適用範囲はギャラリー、映像ホール1，2、収録室とする
(1) 映像音響専用分電盤の設置及び一次側電源供給、専用接地線の引込		○					
(2) 同上盤以降2次側配管、配線、	○					○	ギャラリー内は、舞台工事請負業者が設置、試験調整を行うこと。その他別途工事
(3) 映像音響設備の据付一式	○					○	ギャラリー内は、舞台工事請負業者が設置、試験調整を行うこと。その他別途工事
23．その他							
(1) 遮音区画を貫通する配管・ダクトの防振貫通処理		○	○	○		○	
(2) 各設備機器の防振設置工事		○	○	○		○	
(3) 各仕上げ材、各設備機器のビリツキ防振対策工事	○	○	○	○		○	
(4) 電気音響に関する調整、および測定と報告書作成	○					○	ギャラリー内は、舞台工事請負業者が設置、試験調整を行うこと。その他別途工事
(5) インバータノイズ対策	○	○	○	○	○	○	ノイズ発生側が改善処理を行う
(6) 遮音性能が要求される部屋の各仕様、取り合いの検討	○	○	○	○			建築が主動で行い、電気、空調、給排水との各種取り合いを調整すること。
(7) 遮音性能が要求される部屋の検査と報告書の作成	○						



世界測地系
(測地成果2011)
縮尺係数 0.999908

街区基準点座標一覧表

測点名	X 座標	Y 座標	標高	備考
1037A	-109439.994	-25666.620	2.720	
10C46	-109638.075	-25597.384	1.448	
1A438	-109514.104	-25455.289	1.599	
1A439	-109673.103	-25558.972	1.433	
1A460	-109361.187	-25623.395	2.723	
1A462	-109556.918	-25734.975	2.651	
2A708	-109503.332	-25587.539	1.976	直接水準測量成果
2A709	-109570.167	-25637.735	1.409	直接水準測量成果
2A710	-109591.572	-25584.753	1.772	直接水準測量成果
2A711	-109541.253	-25475.199	1.594	
2A744	-109591.875	-25686.102	1.935	

新設基準点座標一覧表

測点名	X 座標	Y 座標	標高	備考
T1	-109567.056	-25559.762	1.595	直接水準測量成果
T2	-109546.313	-25543.462	1.611	直接水準測量成果
T3	-109520.755	-25569.782	1.801	直接水準測量成果
T4	-109529.559	-25609.444	1.575	直接水準測量成果
T5	-109585.783	-25613.689	1.581	直接水準測量成果
T6	-109623.946	-25633.438		
T7	-109513.112	-25522.862		
T8	-109467.619	-25622.695		
T9	-109499.020	-25645.036		
T10	-109515.057	-25655.950		
T11	-109512.418	-25663.137		
T12	-109548.822	-25680.629		
T13	-109528.961	-25720.009		

*備考欄の空白箇所については「間接水準成果」

境界点座標一覧表

測点名	X 座標	Y 座標	備考
K1	-109589.805	-25583.393	計算点
K2	-109585.421	-25580.990	計算点
K3	-109581.104	-25578.466	計算点
K4	-109576.833	-25575.903	計算点
K5	-109572.467	-25573.137	計算点
K6	-109569.775	-25571.409	計算点
K7	-109565.595	-25568.665	計算点
K8	-109561.507	-25565.787	計算点
K9	-109559.039	-25564.002	計算点
K10	-109555.050	-25560.987	計算点
K11	-109551.092	-25557.932	計算点
K12	-109547.153	-25554.851	計算点
K13	-109538.477	-25555.986	既設金属鋲
K14	-109513.945	-25588.876	既設金属鋲
K15	-109514.533	-25593.912	計算点
K16	-109539.496	-25612.351	計算点
K17	-109564.556	-25631.226	計算点
K18	-109568.218	-25630.277	計算点
K19	-109592.727	-25589.733	計算点
K20	-109591.561	-25589.848	計算点
K21	-109544.571	-25552.832	計算点
K22	-109540.775	-25553.388	計算点

測点名	標高
S1	1.666
S2	1.666
S3	1.666

凡例

◎	基準点
田	コンクリート杭
⊠	プラスチック杭
◇	金属プレート
△	金属鋲
⊗	ペイントマーク
⊙	木杭
○	計算点
⊡	石杭
＋	刻印
⊕	座金
⑦	パイプ
⊥	土管
⊥	鉄筋棒

株式会社 横測

工事名	創造活動・歴史文化交流施設用地測量業務委託				
路線名 河川名	東海市立文化センター				
工事場所	東海市横須賀町狐塚地内				
図面名称	現況図				
縮尺	1:250	図面番号			
測量年月日		設計年月日			
承認印	課長	統括主任	統括主任	主任設計	製図

KENGO KUMA & ASSOCIATES
隈研吾建築都市設計事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号

一級建築士
登録第319352号
宮原賢次

DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION
CHECKED	CHECKED	実施設計図
APPROVED	APPROVED	

東海市創造の杜交流館建設工事

DRAWING TITLE: 現況平面図
SCALE: 1/200(A1)、1/400(A3)
DRAWING No.: AA-013
DATE: 2023/11/30

世界測地系
(測地成果2011)
縮尺係数 0.999908

街区基準点座標一覧表

測点名	X座標	Y座標	標高	備考
1037A	-109439.994	-25666.620	2.720	
1DC46	-109638.075	-25597.384	1.448	
1A438	-109514.104	-25455.289	1.599	
1A439	-109673.103	-25559.972	1.433	
1A460	-109361.187	-25623.395	2.723	
1A462	-109556.918	-25734.975	2.651	
2A708	-109503.332	-25587.539	1.976	直接水準測量成果
2A709	-109570.167	-25637.735	1.409	直接水準測量成果
2A710	-109591.572	-25584.753	1.772	直接水準測量成果
2A711	-109541.253	-25475.199	1.594	
2A744	-109591.875	-25686.102	1.935	

新設基準点座標一覧表

測点名	X座標	Y座標	標高	備考
T1	-109567.056	-25559.762	1.595	直接水準測量成果
T2	-109546.313	-25543.462	1.611	直接水準測量成果
T3	-109520.755	-25569.782	1.601	直接水準測量成果
T4	-109529.559	-25609.444	1.575	直接水準測量成果
T5	-109585.783	-25613.689	1.581	直接水準測量成果
T6	-109623.946	-25633.438		
T7	-109513.112	-25522.862		
T8	-109467.619	-25622.695		
T9	-109499.020	-25645.036		
T10	-109515.057	-25655.950		
T11	-109512.418	-25663.137		
T12	-109548.822	-25680.629		
T13	-109528.961	-25720.009		

*備考欄の空白箇所については「間接水準成果」

境界点座標一覧表

測点名	X座標	Y座標	備考
K1	-109589.805	-25583.393	新設金属鋲
K2	-109585.421	-25580.990	計算点
K3	-109581.104	-25578.466	計算点
K4	-109576.833	-25575.903	計算点
K5	-109572.467	-25573.137	計算点
K6	-109569.775	-25571.409	計算点
K7	-109565.595	-25568.665	計算点
K8	-109561.507	-25565.787	計算点
K9	-109559.039	-25564.002	計算点
K10	-109555.050	-25560.987	計算点
K11	-109551.092	-25557.932	計算点
K12	-109547.153	-25554.851	新設金属鋲
K13	-109538.477	-25555.986	既設金属鋲
K14	-109513.945	-25588.876	既設金属鋲
K15	-109514.533	-25593.912	新設金属鋲
K16	-109539.496	-25612.351	計算点
K17	-109564.556	-25631.226	新設P鋲
K18	-109568.218	-25630.277	新設P鋲
K19	-109592.727	-25589.733	新設金属鋲
K20	-109591.561	-25589.848	新設金属鋲

座標求積表

地番	(仮)11-8A			
測点	Xn	Yn	(Xn+1 - Xn-1)Yn	距離
GB469	-109522.721	-25577.113	279455.536638	16.304
CAD14	-109532.468	-25564.043	151748.159248	6.236
G20	-109528.657	-25568.979	-180465.853782	5.165
GB24	-109525.410	-25572.996	-165610.722096	4.886
G26	-109522.181	-25576.664	-98930.536352	0.946
D3	-109521.542	-25577.362	13811.775480	1.205
		倍面積	8.359136	
		面積	4.1795680	
		地積	4.17 ㎡	

地番	(仮)28-8A			
測点	Xn	Yn	(Xn+1 - Xn-1)Yn	距離
GB468	-109521.711	-25578.462	64534.459626	1.685
GB469	-109522.721	-25577.113	-4322.532097	1.205
D3	-109521.542	-25577.362	-64531.684326	1.971
D2	-109520.198	-25578.804	4322.817876	1.551
		倍面積	3.061079	
		面積	1.5305395	
		地積	1.53 ㎡	

地番	(仮)29-6A			
測点	Xn	Yn	(Xn+1 - Xn-1)Yn	距離
D1	-109513.607	-25586.134	-198701.916644	2.762
GB466	-109513.945	-25588.876	207372.251104	12.990
GB468	-109521.711	-25578.462	-8645.520156	11.159
		倍面積	24.814304	
		面積	12.4071520	
		地積	12.40 ㎡	

地番	(仮)30-4A			
測点	Xn	Yn	(Xn+1 - Xn-1)Yn	距離
D1	-109513.607	-25586.134	209371.334522	11.159
GB468	-109521.711	-25578.462	168587.643042	1.551
D2	-109520.198	-25578.804	-55480.425876	0.952
G432	-109519.542	-25579.495	-93493.054225	4.286
G431	-109516.543	-25582.558	-153853.503812	4.182
GB430	-109513.528	-25585.457	-75118.901752	0.681
		倍面積	13.091899	
		面積	6.5459495	
		地積	6.54 ㎡	

座標求積表

地番	B			
測点	Xn	Yn	(Xn+1 - Xn-1)Yn	距離
K13	-109538.477	-25555.986	162996.078708	8.749
K12	-109547.153	-25554.851	155731.261994	3.277
K21	-109544.571	-25552.832	-162975.962496	3.836
K22	-109540.775	-25553.388	-155722.346472	3.468
		倍面積	29.031734	
		面積	14.5158670	
		地積	14.51 ㎡	

面積(座標法)計算書

地番：文化センター区域
所有者：東海市
所在：東海市横須賀町狐塚・高横須賀町公家地内
現況地目：宅地
登記地目：宅地

測点名	[1] X(i)	[2] X(i+1)-X(i-1)	[3] Y(i)	[4] Y(i+1)-Y(i-1)	[2]*[3]	[1]*[4]	方向角	夾角	座標
K1	-109589.805	6.140	-25583.393	8.658	-157062.003020	-970748.492690	28-43-42	133-56-48	4.999
K2	-109585.421	8.701	-25580.990	4.927	-222580.193990	-539927.369267	30-18-48	181-35-06	5.000
K3	-109581.104	8.588	-25578.466	5.087	-219667.869008	-557439.078048	30-59-04	180-39-16	4.981
K4	-109576.833	8.637	-25575.903	5.329	-220899.074211	-583934.943057	32-21-20	181-23-16	5.168
K5	-109572.467	7.058	-25573.137	4.494	-180495.300946	-492418.866896	32-41-47	180-20-27	3.198
K6	-109569.775	6.872	-25571.409	4.472	-175726.722648	-489996.053800	33-17-00	180-35-13	5.000
K7	-109565.595	8.268	-25568.665	5.622	-211401.722220	-515977.775090	35-08-46	181-51-46	4.999
K8	-109561.507	6.556	-25565.787	4.663	-167609.299572	-510885.307141	35-52-36	180-43-50	3.045
K9	-109559.039	6.457	-25564.002	4.900	-165066.760914	-525883.357200	37-04-59	181-12-23	5.000
K10	-109555.050	7.947	-25560.987	6.070	-203133.163689	-584999.153500	37-39-46	180-34-47	4.999
K11	-109551.092	7.697	-25557.932	6.136	-201830.889004	-572205.500512	38-01-54	180-22-08	5.000
K12	-109547.153	12.615	-25554.851	1.946	-322374.445365	-213173.759738	352-32-40	134-30-53	8.749
K13	-109538.477	33.268	-25555.986	-34.025	-846663.183088	3727046.879925	306-43-07	134-10-19	41.031
K14	-109513.945	23.944	-25588.876	-37.926	-612700.048944	4153425.878070	263-20-25	136-37-19	5.070
K15	-109514.533	-25.951	-25593.912	-23.475	653950.045512	2570853.662175	216-27-06	133-06-41	31.034
K16	-109539.496	-59.023	-25612.351	-37.314	1281206.634073	4387358.753744	216-59-12	180-32-06	31.373
K17	-109564.556	-29.722	-25631.226	-17.926	735180.073172	1964054.230856	165-23-17	128-29-05	3.762
K18	-109568.218	-29.171	-25630.277	41.493	722030.533267	-4545314.069674	121-09-11	135-40-54	47.376
K19	-109592.727	-23.343	-25589.733	40.429	597341.137419	-4430724.359683	354-22-02	53-12-51	1.171
K20	-109591.561	2.922	-25589.848	6.340	-74773.535856	-694810.498740	74-46-54	280-24-52	6.699
合計									227.654
				倍面積	6704.180068	-6704.180068			
				面積	3352.0930340	3352.0930340			
				坪数	1014.00	1014.00			

凡例

◎	基準点
⊞	コンクリート杭
⊠	プラスチック杭
◇	金属プレート
△	金属鋲
⊗	ペイントマーク
○	木杭
⊙	計算点
□	石杭
＋	刻印
⑥	座金
Ⓟ	パイプ
Ⓣ	土管
Ⓡ	鉄筋棒

測量年月日　令和4年7月20日

株式会社　横測　測量士　宮川栄一

KENGO KUMA & ASSOCIATES
隈研吾建築都市設計事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号

一級建築士
登録第319352号
宮原賢次

DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION
CHECKED	CHECKED	実施設計図
APPROVED	APPROVED	

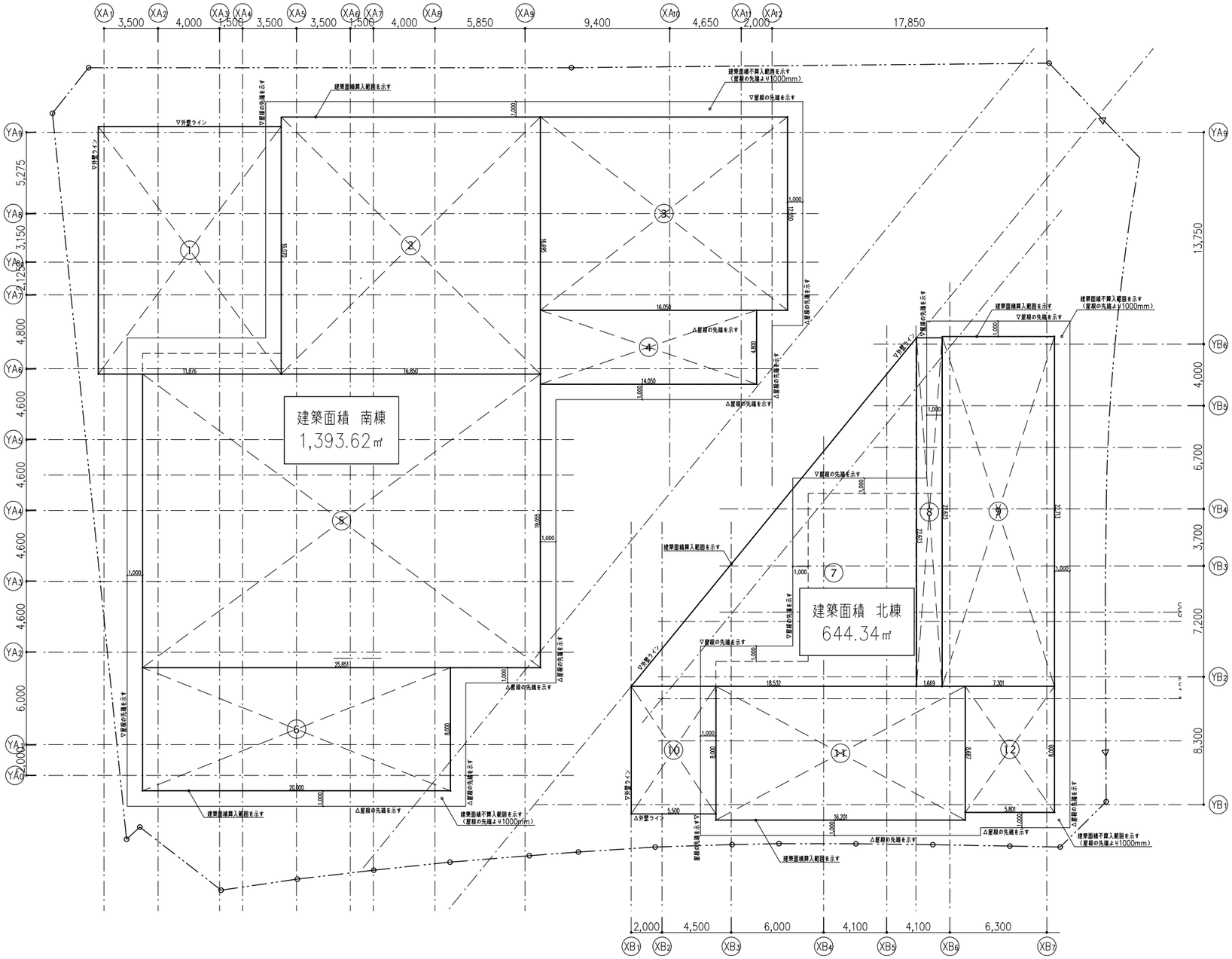
東海市創造の杜交流館建設工事

DRAWING TITLE: 敷地面積求積図

SCALE: scale=1:500

DRAWING No.: AA-014

DATE: 2023/11/30



■建築面積算定表

（南棟）

	計算式（m）						計算結果（㎡）	備考
	X		Y					
①	11.8759	x	16.0700			=	190.846	
②	16.8500	x	16.6950			=	281.311	
③	16.0505	x	12.5500			=	201.434	
④	14.0505	x	4.8000			=	67.442	
⑤	25.8505	x	19.0550			=	492.581	
⑥	20.0000	x	8.0000			=	160.000	
建築面積 ・・・							1,393.614	

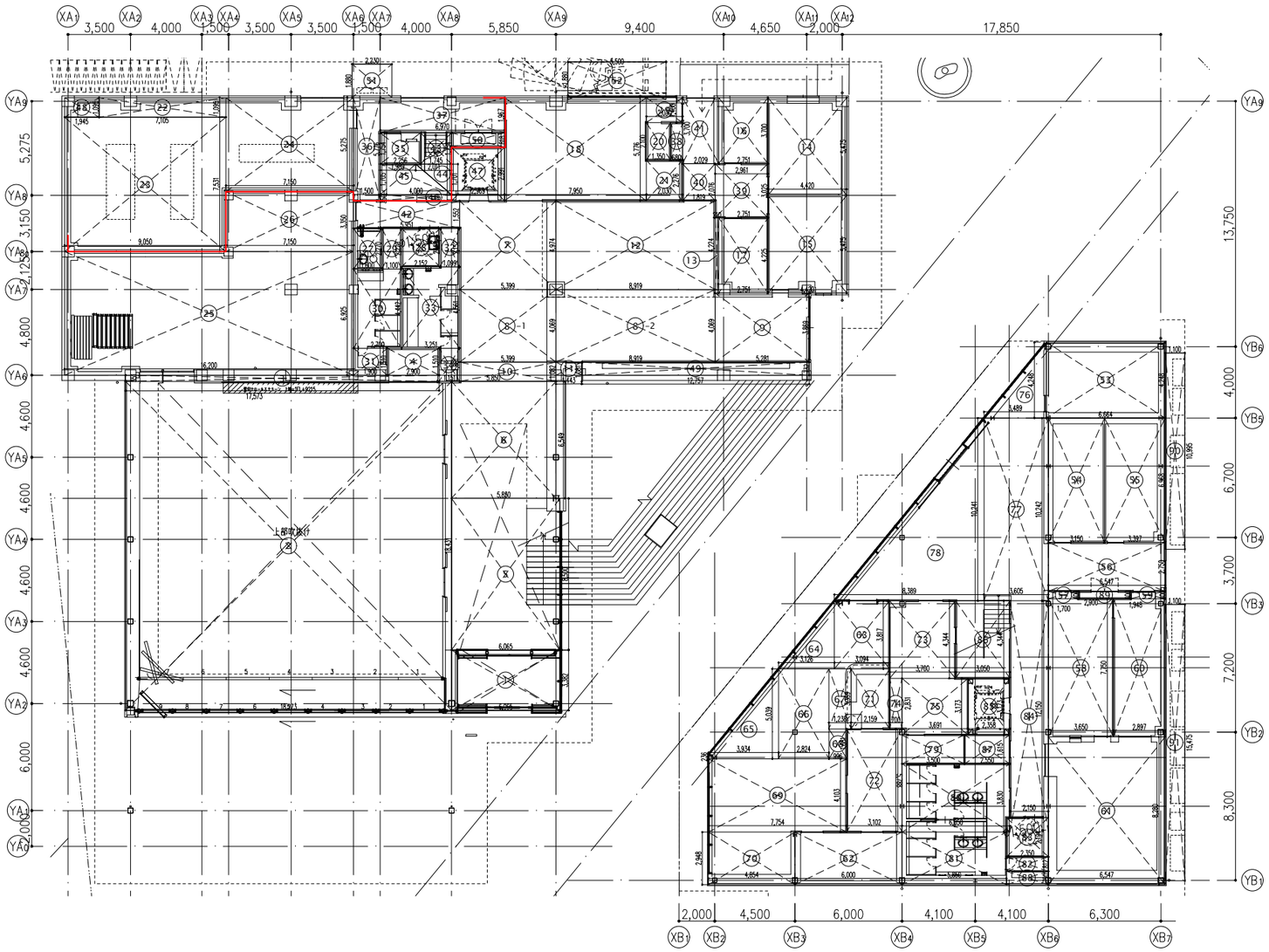
（北棟）

	計算式（m）						計算結果（㎡）	備考
⑦	18.5318	x	22.6235	÷	2	=	209.627	
⑧	1.6687	x	22.6235			=	37.752	
⑨	7.3005	x	22.7135			=	165.820	
⑩	5.5005	x	8.0000			=	44.004	
⑪	16.2005	x	8.6865			=	140.726	
⑫	5.8005	x	8.0000			=	46.404	
建築面積 ・・・							644.333	

建築面積合計・・・	2,037.946	

世界測地系
（測地成果2011）
縮尺係数 0.999908

KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 建築面積求積図 SCALE scale=1:300	DRAWING No. AA-015 DATE 2023/11/30



建築面積

番号	面積	備考
1階	2038.04㎡	
2階	0.00㎡	
Total	2038.04㎡	

＊面積算出：小数点第二位を切り上げ　**2037.95㎡**

延べ床面積・容積対象面積（1階）

階数	延べ床面積（㎡）	容積対象面積（㎡）	容積対象面積（坪）
1	1143.84	0.00	0.00
2	493.54	0.00	0.00
Total	1636.38	0.00	0.00

＊面積算出：小数点第二位を切り上げ

延べ床面積・容積対象面積（1階）

階数	延べ床面積（㎡）	容積対象面積（㎡）	容積対象面積（坪）
1	582.08	0.00	0.00
2	427.62	0.00	0.00
Total	1009.70	0.00	0.00

容積対象面積・容積対象容積

容積対象	2,621.59	0.00	0.00

＊容積対象面積は小数点第二位を切り上げ　**2,621.59㎡**

＜床面積算定表＞

1階（南棟）　　単位はmまたは㎡

室名	番号	計算式（m）								計算結果	各室床面積（㎡）	備考
風除室	1	6.065	x	3.382					=	20.5118	20.512	
ギャラリー・イベント	2	18.273	x	18.431					=	336.7897		
	3	17.573	x	0.351					=	6.1681		
	4	2.900	x	1.510					=	4.3790	347.337	
エントランス	5	6.065	x	8.500					=	51.5525		
	6	5.850	x	6.549					=	38.3117		
	7	5.399	x	4.974					=	26.8546		
	8-1	5.399	x	4.069					=	21.9685		
	10	5.850	x	1.082					=	6.3297		
	11	1.443	x	1.081					=	1.5599	146.577	
歴史情報発信コーナー	8-2	8.919	x	4.069					=	36.2914		
	9	5.281	x	3.869					=	20.4322		
	12	8.919	x	4.974					=	44.3631		
	13	0.210	x	4.224					=	0.8870	101.974	
応接室	14	4.420	x	5.475					=	24.1995	24.200	
小会議室	15	4.420	x	5.475					=	24.1995	24.200	
更衣室（F）	16	2.751	x	3.700					=	10.1787	10.179	
更衣室（M）	17	2.751	x	4.225					=	11.6230	11.623	
事務室	18	7.950	x	5.776					=	45.9192		
	19	2.030	x	1.400					=	2.8420		
	20	1.350	x	2.100					=	2.8350		
	21	2.030	x	2.276					=	4.6203	56.217	
機械室	22	7.105	x	1.095					=	7.7800		
	23	9.050	x	7.531					=	68.1556		
	24	7.150	x	5.275					=	37.7163	113.652	
倉庫S1	25	16.200	x	6.925					=	112.1850		
	26	7.150	x	3.350					=	23.9525	136.138	
授乳室	27	1.600	x	2.270					=	3.6320	3.632	
HCWC-S1	28	2.152	x	2.152					=	4.6311	4.631	
WC-S1(F)	29	1.100	x	2.270					=	2.4970		
	30	2.700	x	4.442					=	11.9934		
	31	1.900	x	1.510					=	2.8690	17.359	
WC-S1(M)	32	1.099	x	2.152					=	2.3650		
	33	3.251	x	4.561					=	14.8278		
	34	1.151	x	1.861					=	2.1420	19.335	
ゲストWC-S1	35	2.256	x	1.754					=	3.9570	3.957	
通路S1-1	36	1.500	x	5.776					=	8.6640		
	37	6.970	x	1.967					=	13.7100	22.374	
通路S1-2	38	0.680	x	2.100					=	1.4280		
	39	2.961	x	3.025					=	8.9570		
	40	1.819	x	2.076					=	3.7762		
	41	2.029	x	3.700					=	7.5073	21.669	
通路S1-3	42	5.951	x	1.552					=	9.2360	9.236	
階段S1-1	43	1.745	x	1.754					=	3.0607		
	44	2.011	x	1.701	x	0.5			=	1.7104	4.771	
消火ポンプ室	45	4.000	+	1.989	x	1.7050	x	0.5	=	5.1056		
	46	4.000	x	0.350					=	1.4000	6.506	
EV	47	2.969	x	2.991					=	8.8803	8.880	
EPS	48	1.945	x	1.095					=	2.1298	2.130	
PS/DS	49	12.757	x	0.732					=	9.3381	9.338	
PS/DS/EPS	50	2.969	x	0.818					=	2.4286	2.429	
屋外機械置場	51	1.880	x	2.230					=	4.1924	4.192	
障害者用駐車スペース	52	1.880	x	5.500					=	10.3400	10.340	
								1階（南棟）　床面積（㎡）		1,143.8845	1,143.884	

1階（北棟）

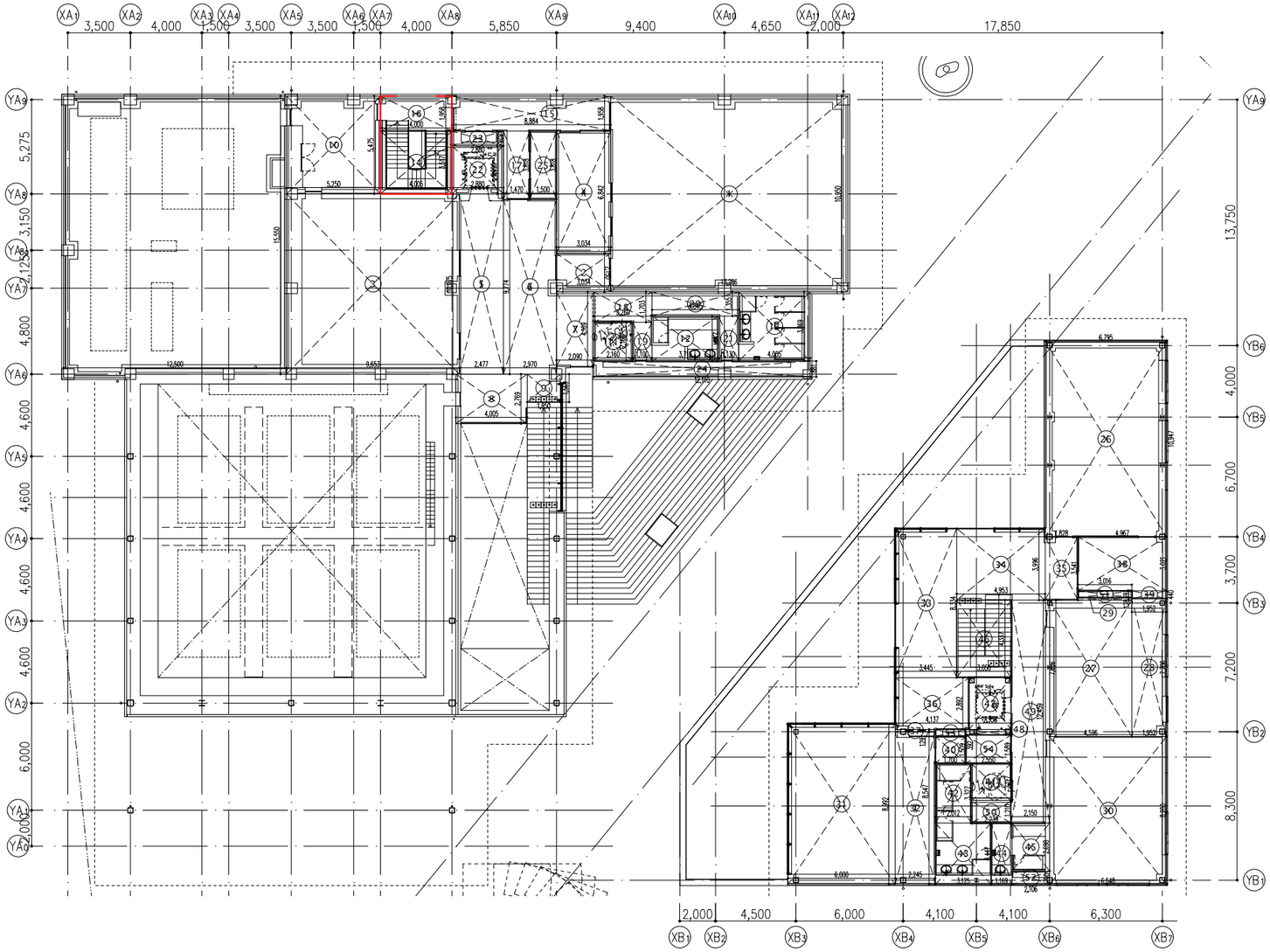
室名	番号	計算式（m）								計算結果	各室床面積（㎡）	備考
倉庫N1-1	53	6.664	x	4.248					=	28.3087	28.309	
編集室1	54	3.150	x	6.968					=	21.9492	21.949	
編集室2	55	3.397	x	6.968					=	23.6703	23.670	
休憩スペース	56	6.547	x	2.750					=	18.0043	18.004	
収録調整室	57	1.700	x	0.400					=	0.6800		
	58	3.650	x	7.750					=	28.2875	28.968	
倉庫N1-2	59	1.948	x	0.400					=	0.7792		
	60	2.897	x	7.750					=	22.4518	23.231	
撮影収録スタジオ	61	6.547	x	8.280					=	54.2092	54.209	
倉庫・更衣室	62	6.000	x	2.948					=	17.6880	17.688	
カフェ	63	3.094	x	3.817					=	11.8098		
	64	3.126	x	3.817	x	0.5	x		=	5.9860		
	65	0.236	+	5.039	x	3.934	x	0.5	=	10.3769		
	66	2.824	x	5.039					=	14.2301		
	67	1.238	x	3.359					=	4.1584		
	68	0.996	x	1.681					=	1.6743		
	69	7.754	x	4.103					=	31.8147		
	70	4.854	x	2.948					=	14.3096	94.339	
レジカウンター	71	2.159	x	3.359					=	7.2521	7.252	
厨房	72	3.102	x	5.788					=	17.9544	17.954	
受付	73	3.700	x	4.344					=	16.0728		
	74	0.700	x	2.831					=	1.9817		
	75	3.691	x	3.173					=	11.7115	29.766	
待合	76	3.489	x	4.248	x	0.5	x		=	7.4106		
	77	3.605	x	10.242					=	36.9224		
	78	8.389	x	10.241	x	0.5	x		=	42.9559	87.289	
サーバー室	79	3.500	x	1.615					=	5.6525	5.653	
WC-N1	80	6.050	x	3.830					=	23.1715		
	81	5.850	x	2.948					=	17.2458		
	82	2.350	x	0.812					=	1.9082	42.326	
HCWC-N1	83	2.350	x	2.194					=	5.1559	5.156	
通路N1-1	84	2.150	x	12.150					=	26.1225	26.123	
EV	85	2.358	x	3.173					=	7.4819	7.482	
階段N1-1	86	3.050	x	4.344					=	13.2492	13.249	
EPS	87	2.550	x	1.615					=	4.1183	4.118	
PS/DS	88	2.350	x	0.750					=	1.7625	1.763	
PS/DS	89	2.900	x	0.400					=	1.1600	1.160	
屋外室外機置場	90	1.100	x	10.995					=	12.0945	12.095	
屋外室外機置場	91	1.100	x	15.475					=	17.0225	17.023	
								1階（北棟）　床面積（㎡）		588.7735	588.773	

＊各室面積は計算結果を小数点第三位を切り上げ

＊各階床面積は計算結果を小数点第三位を切り下げ

世界測地系
（測地成果2011）
縮尺係数 0.999908

KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 1階床面積求積図 SCALE scale=1:300	DRAWING No. AA-016 DATE 2023/11/30



<床面積算定表>

2階（南棟）

単位はmまたは㎡

室名	番号	計算式（m）					計算結果	各室床面積（㎡）	備考
映像ホール1	1	13.266	x	10.950		=	145.2627		
	2	3.034	x	2.150		=	6.5231	151.786	
映像ホール2	3	9.653	x	10.075		=	97.2540	97.254	
映写/調整室1	4	3.034	x	6.842		=	20.7586	20.759	
ホワイエ	5	2.477	x	10.075		=	24.9558		
	6	2.970	x	9.774		=	29.0288		
	7	2.090	x	4.168		=	8.7132		
	8	4.005	x	2.769		=	11.0898		
	9	1.850	x	1.569		=	2.9027	76.690	
収納庫	10	5.250	x	5.475		=	28.7438	28.744	
HCWC-S2	11	2.180	x	2.166		=	4.6788	4.679	
WC-S2(M)	12	3.715	x	2.514		=	9.3395	9.340	
WC-S2(F)	13	4.005	x	3.869		=	15.4953	15.495	
階段S2-1	14	4.005	x	3.517		=	14.0866	14.086	
通路S2-1	15	8.884	x	1.958		=	17.3949		
	16	4.000	x	1.958		=	7.8320		
	17	1.470	x	3.818		=	5.6125	30.839	
通路S2-2	18	3.280	x	1.703		=	5.5518		
	19	1.100	x	2.166		=	2.3826		
	20	4.845	x	1.355		=	6.5650		
	21	1.130	x	2.514		=	2.8408	17.340	
EV	22	2.880	x	2.690		=	7.7472	7.747	
PS/DS/EPS	23	2.880	x	0.828		=	2.3846	2.385	
PS/DS	24	12.110	x	0.881		=	10.6689	10.669	
PS/DS	25	1.500	x	3.818		=	5.7270	5.727	
					2階（南棟） 床面積（㎡）		493.5387	493.538	

2階（北棟）

室名	番号	計算式（m）					計算結果	各室床面積（㎡）	備考
会議室1	26	6.795	x	10.947		=	74.3849	74.385	
会議室2	27	4.596	x	7.626		=	35.0491		
	28	1.962	x	7.706		=	15.0421		
	29	3.016	x	0.128		=	0.3860	50.477	
会議室3	30	6.548	x	8.280		=	54.2174	54.217	
洗面室	31	6.000	x	8.992		=	53.9520		
	32	2.245	x	8.547		=	19.1880	73.140	
待合スペース	33	3.445	x	8.334		=	28.7106		
	34	4.953	x	3.996		=	19.7922		
	35	1.828	x	3.541		=	6.4729		
	36	4.137	x	2.892		=	11.9642		
	37	2.245	x	0.129		=	0.2896	67.230	
倉庫N2-1	38	4.967	x	3.021		=	15.0053		
	39	1.952	x	0.440		=	0.8589	15.864	
倉庫N2-2	40	1.700	x	1.509		=	2.5653	2.565	
HCWC-N2	41	2.239	x	2.117		=	4.7400	4.740	
WC-N2(F)	42	2.012	x	3.327		=	6.6939		
	43	3.125	x	3.447		=	10.7719	17.466	
WC-N2(M)	44	1.189	x	3.447		=	4.0995		
	45	2.106	x	2.698		=	5.6820	9.712	
階段N2-1	46	3.050	x	4.337		=	13.2279	13.228	
EV	47	2.358	x	2.892		=	6.8193		
	48	2.590	x	0.313		=	0.7982	7.617	
通路N2-1	49	2.150	x	12.459		=	26.7869	26.787	
	50	2.239	x	1.210		=	2.7092	2.709	
PS/DS	51	3.016	x	0.392		=	1.1823	1.182	
PS/DS	52	2.106	x	0.750		=	1.5795	1.580	
PS	53	1.700	x	0.392		=	0.6664	0.666	
EPS	54	2.550	x	1.589		=	4.0520	4.052	
					2階（北棟） 床面積（㎡）		427.6174	427.617	

＊各室面積は計算結果を小数点第三位を切り上げ
＊各階床面積は計算結果を小数点第三位を切り下げ

<北棟2階屋外面積表>

室名	番号	計算式（m）					計算結果	各室床面積（㎡）	備考
屋外テラス	29	[illegible]	x	[illegible]		=	[illegible]	[illegible]	
屋外通路	[illegible]	[illegible]	x	[illegible]		=	[illegible]		
	28	1.962	x	7.706		=	[illegible]		
	[illegible]	[illegible]	x	[illegible]		=	[illegible]	[illegible]	
屋外階段	30	[illegible]	x	[illegible]		=	[illegible]	[illegible]	
外構工事	31	3.000	x	3.992		=	[illegible]		
	32	[illegible]	x	[illegible]		=	[illegible]	[illegible]	
					北棟2階屋外面積（㎡）		[illegible]	[illegible]	

＊各室面積は計算結果を小数点第三位を切り上げ
＊各階床面積は計算結果を小数点第三位を切り下げ

<北棟1階屋外面積表>

1階（南棟）

単位はmまたは㎡

室名	番号	計算式（m）					計算結果	各室床面積（㎡）	備考
外構工事	27	[illegible]	x	[illegible]		=	[illegible]		
	26	[illegible]	x	[illegible]		=	[illegible]		
	24	[illegible]	x	[illegible]		=	[illegible]	[illegible]	
屋外階段S1	25	[illegible]	x	[illegible]		=	[illegible]	[illegible]	
外構工事	36	[illegible]	x	[illegible]		=	[illegible]		
	37	[illegible]	x	[illegible]		=	[illegible]	[illegible]	
外構工事	33	[illegible]	x	[illegible]		=	[illegible]		
	22	[illegible]	x	[illegible]	x [illegible]	=	[illegible]	[illegible]	
屋外テラス	23	[illegible]	x	[illegible]	x [illegible]	=	[illegible]		
	20	[illegible]	x	[illegible]		=	[illegible]	[illegible]	
＊PS	38	[illegible]	x	[illegible]		=	[illegible]	[illegible]	
＊DS+DS+PS	39	[illegible]	x	[illegible]		=	[illegible]	[illegible]	
					1階（南棟） 屋外面積（㎡）		[illegible]	[illegible]	

2階（南棟）

単位はmまたは㎡

室名	番号	計算式（m）					計算結果	各室床面積（㎡）	備考
外構工事	[illegible]	[illegible]	x	[illegible]		=	[illegible]		
	16	[illegible]	x	[illegible]		=	7.8320	7.832	
					2階（南棟） 屋外面積（㎡）		[illegible]	[illegible]	

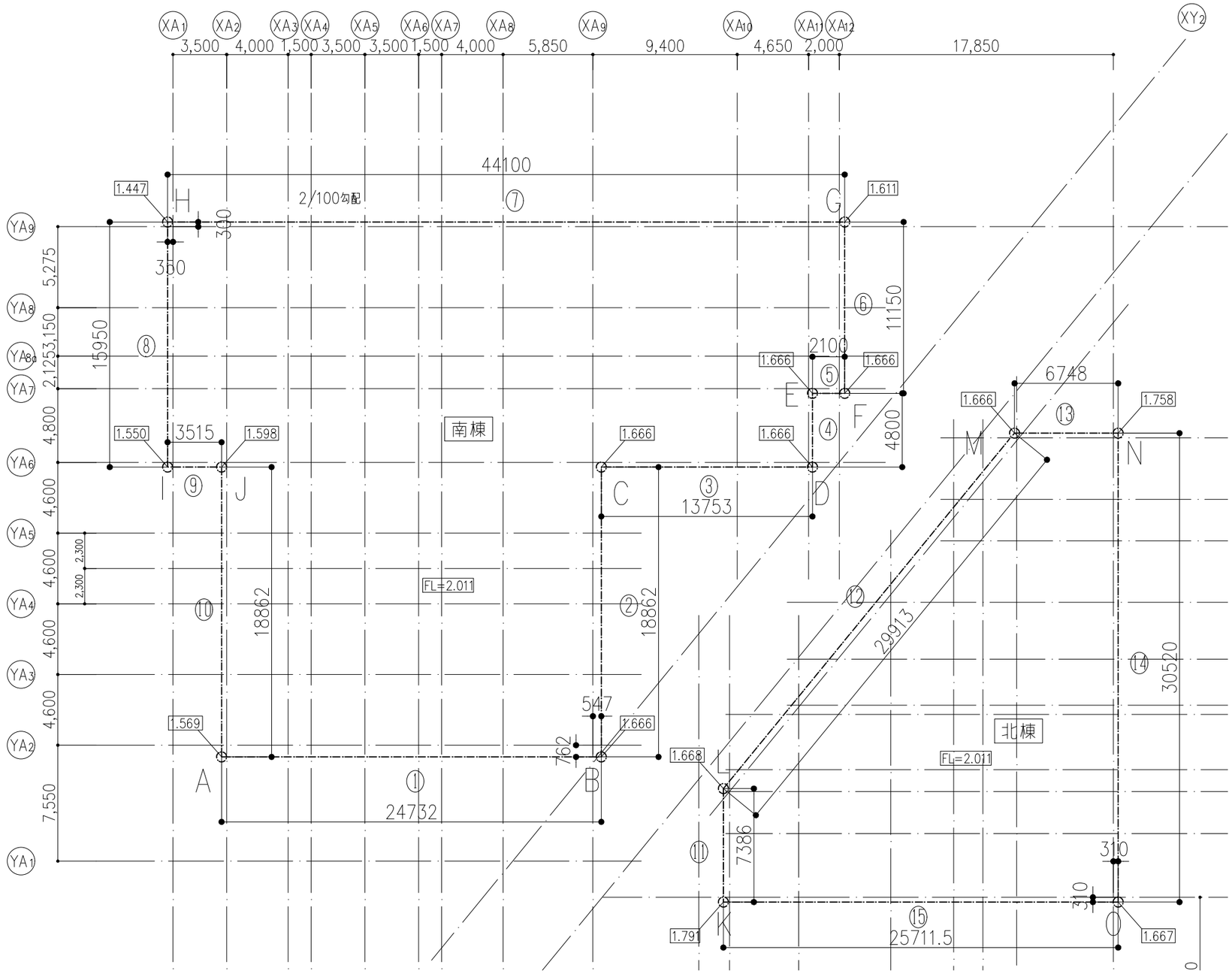
外構工事 屋外面積（㎡）	[illegible]	[illegible]	

＊各室面積は計算結果を小数点第三位を切り上げ
＊各階床面積は計算結果を小数点第三位を切り下げ

*1,636.82-177.735=1,459.085 < 1,500 OK

世界測地系
（測地成果2011）
縮尺係数 0.999908

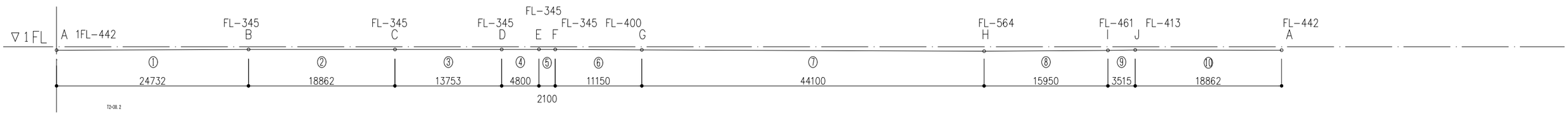
KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 2階床面積求積図 SCALE scale=1:300	DRAWING No. AA-017 DATE 2023/11/30

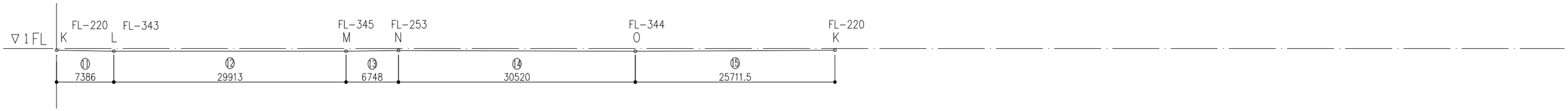


地盤算定表　南棟								
	高低差			外周　長さ				面積
	(mm)　(mm)			(mm)				(mm²)
1	(442.0 + 345.0)	×		24732	×	1／2	−	9732042
2	(345.0 + 345.0)	×		18862	×	1／2	−	6507390
3	(345.0 + 345.0)	×		13753	×	1／2	−	4744785
4	(345.0 + 345.0)	×		4800	×	1／2	−	1656000
5	(345.0 + 345.0)	×		2100	×	1／2	−	724500
6	(345.0 + 400.0)	×		11150	×	1／2	−	4153375
7	(400.0 + 564.0)	×		44100	×	1／2	−	21256200
8	(564.0 + 461.0)	×		15950	×	1／2	−	8174375
9	(461.0 + 413.0)	×		3515	×	1／2	−	1536055
10	(413.0 + 442.0)	×		18862	×	1／2	−	8063505
面積計	(mm²)							66548227
外周長	(mm)							157824
平均高さ	(mm)							421.6
地盤面高さ	(mm)							FL -421.6

地盤算定表　北棟								
	高低差			外周　長さ				面積
	(mm)　(mm)			(mm)				(mm²)
11	(220.0 + 343.0)	×		7386	×	1／2	−	2079159
12	(343.0 + 345.0)	×		29913	×	1／2	−	10290072
13	(345.0 + 253.0)	×		6748	×	1／2	−	2017652
14	(253.0 + 344.0)	×		30520	×	1／2	−	9110220
15	(344.0 + 220.0)	×		25711.5	×	1／2	−	7250643
面積計	(mm²)							30747746
外周長	(mm)							100279
平均高さ	(mm)							306.6
地盤面高さ	(mm)							FL -306.6

面積総計		97295973
外周長総計		258103
平均高さ		376.9664106
2棟合わせた地盤面高さ		FL-376.9664





KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所　東京都知事登録第 32752　号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 平均地盤面算定図 SCALE scale=1:400	DRAWING No. AA-018 DATE 2023/11/30

外部仕上表

部位	箇所	下地	仕上	備考
屋根	屋根一般部	ロ−150×75×2.3@606	鋼板葺き @606 断熱材（発泡ポリスチレン版）t25 改質アスファルトルーフィング t1.0 高圧木毛セメント板 t30	おさえCON t80 スタイロ敷き込み t30 改質アスファルトルーフィング t1.0
	軒裏	ロ−150×75×2.3@606	高圧木毛セメント板 t30	
外壁	外壁	RC躯体 ALC	防水型複層塗料E 防水型複層塗料E	
	木パネル	鋼製下地	炭化木材 30mm×130、260、390mmｍｍ程度 防カビ剤入り保護塗料 色付き	
開口部	一般ガラス窓		AL 電解二次着色 ／ SUS 指定色塗装 複層ガラス（Low−e入り） ／ 複層ガラス（Low−e入り）	
	出入口		AL 電解二次着色 自動ドア	
	ガラリ		AL 電解二次着色	
	大開口建具		SUS FU 複層ガラス（Low−e入り）	小松ウォール
外構	一般部	路盤転圧	脱色アスファルト舗装 t50 密粒度アスコン t100 砕石路盤 t200	
	建物廻り	砂利	玉砂利（20mm程度の5種類）傾斜部撹り付け	
	植栽部	植栽用土壌t600	芝張り＋植栽（地被、灌木、低木、中木）	
外部金物	側溝蓋		SUS 外構床仕上げ蓋	
	桝蓋		SUS 外構床仕上げ蓋	
	床見切材		SUS	
	竪樋		SUS押出材指定色 □75x75、竪樋：白ガス管指定色 □65x65、□120x120、□125x125	
	テラス部ドレイン		SUS	
	ベントキャップ		SUS 指定色塗装	
	手摺		SUS FU 桟φ19程度 指定色塗装	
	館銘板・表札、定礎板		SUS 文字（鏡面仕上30角程度10文字）	
	テラス部パラペット水切り		SUS 曲げ加工	

耐火・準耐火構造・耐火詳細図

階数	部位	耐火性能	構造方法又は建築材料の名称	備考
1階～2階	屋根	耐火30分	高圧木毛セメント板＋断熱材＋金属屋根葺き	FP030 RF−1852（8）
	外壁	耐火１時間	鉄筋コンクリート造	平12建告1399号第1
			ALCt125	平12建告1399号第1
	間仕切壁（非耐力壁）	耐火１時間	片面せっこうボード重張／軽量鉄骨下地間仕切壁	平12建告1399号第1
	柱	耐火１時間	鉄筋コンクリート造	平12建告1399号第2
			発泡性耐火塗料被覆／鉄骨柱	FP060CN−9472
			ロックウール	FP060CN−9458
	梁	耐火1時間	鉄筋コンクリート造	平12建告1399号第4
			発泡性耐火塗料被覆／鉄骨梁	FP060CN−9419
			ロックウール	FP060BM−9406
	床	耐火1時間	鉄筋コンクリート造	平12建告1399号第3
	階段	耐火30分	鉄骨造	平12建告1399号第6

昇降機設備

階数	場所	機種・形名・仕様	その他等	認定番号
1階～2階	南棟2停止	東芝 乗用(SP15−C045) 車いす仕様	15人乗り、一方向出入口、昇降行程8m	認定番号 CAS−1074(2)
1階～2階	北棟2停止	東芝 乗用(SP11−C045) 車いす仕様	11人乗り、二方向出入口、昇降行程8m	認定番号 CAS−1074(2)

不燃材料等

区分	名称		品質・規格・寸法等	認定番号等
不燃材料	石膏ボード	GB−R	厚 12.5mm	NM−8619
	強化石膏ボード	GB−F	厚 15・21mm	NM−8615
	普通硬質石膏ボード	GB−R−H	厚 9.5mm	NM−9645
	ケイ酸カルシウム板	ケイカル板	厚 6・9・12mm	NM−8578
	不燃化粧石膏ボード	不燃 GB−D	厚 9.5mm	NM−1864
	不燃金属屋根		厚 0.4mm	NM−8697
	不燃和紙		−	NM−2604
	ガラスクロス包グラスウールマット		厚 50mm	NM−8606
	ビニルクロス B		−	NM−1762
	ビニルクロス C		−	NM−2403
	ダイノックシート		−	NM−0680
	ガラスクロス		W1100	NM−2125
			W2040	NM−2767
	アルミルーバーC		内部	NM−2344
	防煙たれ壁		三和シャッター 防煙スクリーン BSM4	BCJ許定−BE0007
	不燃コート		キクスイ 不燃コート 同等	NM−3937
	GWボード		パラマウント硝子工業 GCボード 着色ガラスクロス	NM−8606
準不燃材料	石膏ボード	GB−R	厚 9.5mm	QM−9828
	ビニルクロス A		下地：不燃石膏ボード	QM−9261

仕上表注記

SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	AEP	アクリル樹脂エマルションペイント塗り	OF	オイルワックス拭き取り	ST	ステール	CO	コンクリート
DP	耐候性塗料塗り	EPG	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り	CO	コンクリート	SUS	ステンレス	MT	モルタル
FU	フッ素樹脂焼き付け塗装	NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り			AL	アルミニウム板	LC	軽量コンクリート
2-UE	2液型ポリウレタンエナメル塗り	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り			LGS	軽量鉄骨	PC	プレキャストコンクリート
2-FUE	常温乾燥形フッ素樹脂エナメル塗り	OS	オイルステイン塗り			HL	ヘアライン	CB	コンクリートブロック
ZP	溶融亜鉛めっきどぶ付けの上リン酸塩処理	LC	クリアラッカー塗り			VB	バイブレーション	ALC	軽量気泡コンクリート
HDZ	溶融亜鉛めっきどぶ付け	WP	木材保護塗料塗り			MR	鏡面	ECP	押出成形セメント板
ROVAL	常温亜鉛めっき塗装（水性ローバル工法）	UU	１液型ポリウレタン樹脂焼付塗装			ZP	リン酸処理	AS	アスファルト

GB−R	せっこうボード	DR	岩綿吸音板	FB	フラットバー	W	幅
GB−NC	不燃繊維せっこうボード	GWボード	グラスウール吸音ボード	PL	プレート	L	長さ
GB−S	シージングせっこうボード					H	高さ
GB−F	強化せっこうボード					D	奥行き
GB−H	硬質せっこうボード					φ	直径
GB−P	化粧穴あきせっこうボード					@	間隔
FK	繊維強化セメント板（けい酸カルシウム板）					T	厚さ

KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事

DRAWING TITLE 外部仕上表	DRAWING No. AA-019
SCALE −	DATE 2023/11/30

A棟／階	室名	居室	排煙	遮音性能値	床 下地	床 仕上	床 段差レベル（仕上に対して）	床 仕上レベル（FLに対して）	巾木 仕上	巾木 高さ	壁 下地	壁 仕上	壁 内装制限	天井 下地	天井 仕上	天井 内装制限	天井 天井高	見切り 天井見切り	見切り 天井造作類	備考（家具・備品・器具など）＊木製巾木の厚さ5mmとする。以下同様。
南棟／1階	風除室				CO全ゴテ	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤	−40	0	木製巾木	40	LGS+GB−Rt12.5+12.5 CO+GB−Rt12.5+12.5	AEP AEP	準不燃 （4項内装）	LGS+GB−R t12.5	AEP	準不燃 （4項内装）	3140~5900	−		建築工事： 備品：
	ギャラリー／イベントホール	●	機械排煙	NC30	CO全ゴテ	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤	−10	0	木製巾木	40	LGS+GB−F t21+9.5(GW充填) CO+GB−F t21+9.5(GW充填)	ポリエステル繊維系鳥獣張／AEP ポリエステル繊維系鳥獣張／AEP	準不燃 （4項内装）	直天上	GWマット直貼り	準不燃 （4項内装）	11780~14580 平均13180	−	−	建築工事：グリットバトン、舞台音響機器、舞台照明機器、ロールスクリーン
	ギャラリー／イベントホール内収納庫				CO全ゴテ	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+GB−F t21+9.5(GW充填)	AEP	準不燃 （4項内装）	LGS+GB−R t12.5	AEP	準不燃 （4項内装）	3200			
	エントランス		機械排煙		CO全ゴテ	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤	−10	0	木製巾木	40	LGS+GB−Rt12.5+12.5 CO+GB−Rt12.5+12.5	不燃突板＋STパイプ AEP	準不燃 （4項内装）	LGS+GB−R t12.5	AEP	準不燃 （4項内装）	3650~8245 平均7072.5	−	間接照明BOX	備品：からくり人形、インフォメーションカウンター、ベンチ、靴ふきマット
	歴史情報発信コーナー	●	機械排煙		CO+OAフロア	タイルカーペット	−100	0	木製巾木	40	LGS+GB−Rt12.5+12.5 CO+GB−Rt12.5+12.5	素地 素地	準不燃 （4項内装）	LGS+GB−R t12.5	AEP	準不燃 （4項内装）	2500,3650	−	間接照明BOX	
	小会議室	●	自然排煙		CO直均し	タイルカーペット	−10	0	木製巾木	40	LGS+GB−Rt12.5+12.5 CO+GB−Rt12.5+12.5	AEP AEP	準不燃 （4項内装）	LGS+GB−R t12.5	岩綿吸音板	準不燃 （4項内装）	2500	［塩ビ見切］	−	
	応接室	●	自然排煙		CO直均し	タイルカーペット	−10	0	木製巾木	40	LGS+GB−Rt12.5+12.5 CO+GB−Rt12.5+12.5	AEP AEP	準不燃 （4項内装）	LGS+GB−R t12.5	岩綿吸音板	準不燃 （4項内装）	2500	［塩ビ見切］	−	
	事務室	●	自然排煙		CO+OAフロア	タイルカーペット（静電気防止）	−100	0	ソフト巾木	60	LGS+GB−Rt12.5 CO+GB−Rt12.5	AEP AEP	準不燃 （4項内装）	LGS+GB−R t12.5	岩綿吸音板	準不燃 （4項内装）	2500	［塩ビ見切］	−	建築工事： カウンター、ミニキッチン 備品： 棚、椅子、机
	倉庫S1		告1436−4ニ(1)		CO全ゴテ	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤	−10	0	木製巾木	300	LGS+GB−Rt12.5+12.5 CO+GB−Rt12.5	素地 素地	不燃	−	−	不燃	敷天	［塩ビ見切］	−	
	更衣室（F）		告1436−4ニ(2)		CO直均し	長尺シート	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+GB−Rt12.5	AEP	不燃	LGS+GB−R t12.5	AEP	不燃	2500	［塩ビ見切］	−	備品： ロッカー、カーテン
	更衣室（M）		告1436−4ニ(2)		CO直均し	長尺シート	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+GB−Rt12.5 CO+GB−Rt12.5	AEP AEP	不燃	LGS+GB−R t12.5	AEP	不燃	2500	［塩ビ見切］	−	備品： ロッカー、カーテン
	機械室		告1436−4ニ(1)		CO全ゴテ	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤	−10	0	ソフト巾木	300	LGS+GB−Rt12.5+12.5 CO+GB−Rt12.5	素地 素地	不燃	直天上	GWマット直貼り	不燃	敷天	［塩ビ見切］	−	
	WC−S1（M）		告1436−4ニ(2)		CO直均し	長尺シート	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+耐水GB−Rt12.5+12.5 CO+耐水GB−Rt12.5+12.5	AEP AEP	不燃	LGS+GB−R t12.5	AEP	不燃	2500	［塩ビ見切］	間接照明BOX	建築工事： トイレブース、流し台、多目的流し
	WC−S1（F）		告1436−4ニ(2)		CO直均し	長尺シート	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+耐水GB−Rt12.5+12.5 CO+耐水GB−Rt12.5+12.5	AEP AEP	不燃	LGS+GB−R t12.5	AEP	不燃	2500	［塩ビ見切］	間接照明BOX	建築工事： トイレブース、流し台、多目的流し
	HCWC−S1		告1436−4ニ(2)		CO直均し	長尺シート	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+耐水GB−Rt12.5+12.5 CO+耐水GB−Rt12.5+12.5	AEP AEP	不燃	LGS+GB−R t12.5	AEP	不燃	2500	［塩ビ見切］	間接照明BOX	建築工事： 身体障がい者用設備、ベビーベット
	ゲストWC −S1		告1436−4ニ(2)		CO直均し	長尺シート	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+耐水GB−Rt12.5+12.5 CO+耐水GB−Rt12.5+12.5	AEP AEP	不燃	LGS+GB−R t12.5	AEP	不燃	2500	［塩ビ見切］	間接照明BOX	
	授乳室	●	告1436−4ニ(4)		CO直均し	ビニル床タイル	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+GB−Rt12.5+12.5 CO+GB−Rt12.5+12.5	AEP AEP	不燃	LGS+GB−R t12.5	AEP	不燃	2500	［塩ビ見切］	−	建築工事：手洗い器
	消火ポンプ室		告1436−4ニ(2)		CO全ゴテ	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤	−10	0	ソフト巾木	300	CO	AEP	不燃	CO直天井	AEP	不燃	敷天	［塩ビ見切］		
	階段S1−1		告1436−4ニ(2)		CO全ゴテ	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+GB−Rt12.5 CO+GB−Rt12.5	AEP AEP	不燃	LGS+GB−R t12.5	AEP	不燃	2500	［塩ビ見切］		
	通路S1−1		告1436−4ニ(2)		CO全ゴテ	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+GB−Rt12.5 CO+GB−Rt12.5	AEP AEP	不燃	LGS+GB−R t12.5	AEP	不燃	2500	［塩ビ見切］		
	通路S1−2		告1436−4ニ(2)		CO全ゴテ	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+GB−Rt12.5 CO+GB−Rt12.5	AEP AEP	不燃	LGS+GB−R t12.5	AEP	不燃	2500	［塩ビ見切］		
	通路S1−3		告1436−4ニ(2)		CO全ゴテ	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤	−10	0	木製巾木	40	LGS+GB−Rt12.5+12.5 CO+GB−Rt12.5+12.5	不燃突板＋STパイプ AEP	準不燃 （4項内装）	LGS+GB−R t12.5	AEP	準不燃 （4項内装）	2500			
南棟／2階	映像ホール1	●	機械排煙	NC25	CO+PSブロック t50防音浮き床＋鋼製下地＋構造用合板 t15	タイルカーペット	−930	0	木製巾木	40	LGS+GB−F t21+9.5(GW充填) CO+GB−F t21+9.5(GW充填)	GWマット GWマット	準不燃 （4項内装）	LGS+GB−F t21+21(GW敷き込み)	GWマット	準不燃 （4項内装）	4145~5825 平均5121	［塩ビ見切］	−	建築工事：固定イス、舞台、スクリーン
	映像ホール2	●	機械排煙	NC25	CO直均し	タイルカーペット	−10	0	木製巾木	40	LGS+GB−F t21+9.5(GW充填) CO+GB−F t21+9.5(GW充填)	GWマット GWマット	準不燃 （4項内装）	LGS+GB−F t21+21(GW敷き込み)	GWマット	準不燃 （4項内装）	3700	［塩ビ見切］	−	建築工事：巻き取りスクリーン
	映写／調整室1	●	告1436−4ニ(4)	NC40	CO+OAフロア（静電防止）	タイルカーペット	−300	0	木製巾木	40	LGS+GB−Rt12.5+12.5(GW充填) CO+GB−Rt12.5+12.5(GW充填)	GWマット GWマット	不燃 下地共	LGS+GB−R t12.5	GWマット	不燃 下地共	4450	［塩ビ見切］	−	建築工事：映写機架台 備品：映写機本体
	ホワイエ		機械排煙		CO直均し	タイルカーペット	−10	0	木製巾木	40	LGS+GB−Rt12.5+12.5 CO+GB−Rt12.5+12.5	不燃突板＋STパイプ AEP	準不燃 （4項内装）	LGS+GB−R t12.5	AEP	準不燃 （4項内装）	2595~5220 平均3907.5	−	間接照明BOX	備品：チケットカウンター
	WC−S2（M）		告1436−4ニ(2)		CO直均し	長尺シート	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+耐水GB−Rt12.5+12.5 CO+耐水GB−Rt12.5+12.5	AEP AEP	不燃	LGS+GB−R t12.5	AEP	不燃	2600	［塩ビ見切］	間接照明BOX	建築工事： トイレブース、流し台、多目的流し
	WC−S2（F）		告1436−4ニ(2)		CO直均し	長尺シート	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+耐水GB−Rt12.5+12.5 CO+耐水GB−Rt12.5+12.5	AEP AEP	不燃	LGS+GB−R t12.5	AEP	不燃	2600	［塩ビ見切］	間接照明BOX	建築工事： トイレブース、流し台、多目的流し
	HCWC−S2		告1436−4ニ(2)		CO直均し	長尺シート	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+耐水GB−Rt12.5+12.5 CO+耐水GB−Rt12.5+12.5	AEP AEP	不燃	LGS+GB−R t12.5	AEP	不燃	2600	［塩ビ見切］	間接照明BOX	建築工事： 身体障がい者用設備、ベビーベット
	収納庫		告1436−4ニ(2)		CO全ゴテ	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤	−10	0	ソフト巾木	300	LGS+GB−Rt12.5	素地	不燃	CO直天井	素地	不燃	5910	−	−	備品：スタッキングチェア
	階段S2−1		令126の2−1−3		CO全ゴテ	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+GB−Rt12.5 CO+GB−Rt12.5	AEP AEP	不燃	LGS+GB−R t12.5	AEP	不燃	2500	［塩ビ見切］		
	通路S2−1		告1436−4ニ(2)		CO全ゴテ	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+GB−Rt12.5	AEP	不燃	LGS+GB−R t12.5	AEP	不燃	2500	［塩ビ見切］		
	通路S2−2		告1436−4ニ(2)		CO直均し	タイルカーペット	−10	0	木製巾木	40	LGS+GB−Rt12.5+12.5 CO+GB−Rt12.5+12.5	AEP AEP	準不燃 （4項内装）	LGS+GB−R t12.5	AEP	準不燃 （4項内装）	2600	［塩ビ見切］		
各棟共通	EPS		令126の2−1−3		CO全ゴテ	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+GB−Rt12.5 CO+GB−Rt12.5	素地 素地	不燃	CO直天井	素地	不燃	敷天	［塩ビ見切］	−	架台を組んで電気盤は1FL+300とすること。
	PS／DS		令126の2−1−3		CO全ゴテ	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+GB−Rt12.5 CO+GB−Rt12.5	素地 素地	不燃	CO直天井	素地	不燃	敷天	［塩ビ見切］	−	
	PS／DS／EPS		令126の2−1−3		CO全ゴテ	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+GB−Rt12.5 CO+GB−Rt12.5	素地 素地	不燃	CO直天井	素地	不燃	敷天	［塩ビ見切］	−	

内部仕上表注記

◆FLは各階基準仕上げ床高を表す。
◆天井高は床仕上レベル（＝仕上高）からの天井高さを表す。
◆仕上高は床仕上レベルをFLからの高さとして表す。仕上表に表記無き場合は平面図表記値とする。
◆内部露出鉄骨や金属部は特記なき限りSOP塗装とする

◆スラブ高は下地コンクリート天端レベルをFLからの高さとして表す。
構造図表記のスラブレベルとの差は、増打ちコンクリートにより対応する。
◆ビニル床シート、ビニル床タイル張りなどの床下地でコンクリート直均しを行う場合は、
スラブ高と仕上げ高との差から仕上げ材の厚さを除いた高さを増打ちコンクリートとする。

◆壁下地「LGSボード」とは、壁種区分図に記載する「性能壁」及び「非性能壁」のうちLGS下地の壁の総称。
仕様については壁種区分図参照のこと。箇所及び範囲については間仕切壁符号のある図面を参照のこと。
◆特記なき場合、巾木下地は壁下地と同じものとする。
◆特記なき場合、天井下地はＬＧＳとする。

Ⓐ［AL目］ アルミ廻り目
Ⓥ［目有り］ 塩ビ廻り目
Ⓣ［目透し］ 塩ビ目透し

KENGO KUMA & ASSOCIATES
隈研吾建築都市設計事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号

一級建築士
登録第319352号
宮原賢次

DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION
CHECKED	CHECKED	実施設計図
APPROVED	APPROVED	

東海市創造の杜交流館建設工事

DRAWING TITLE: 内部仕上表(南棟)
SCALE: −
DRAWING No.: AA−020
DATE: 2023/11/30

A棟／階	室名	居室	排煙	遮音対象	床 下地	床 仕上	床 段差レベル（仕上に対して）	床 仕上レベル（FLに対して）	巾木 仕上	巾木 高さ	壁 下地	壁 仕上	壁 内装制限	天井 下地	天井 仕上	天井 内装制限	天井 天井高	見切り 天井見切り	見切り 天井造作類	備考（家具・備品・器具など）＊木製巾木の厚さ5mmとする。以下同様。
1F（北棟）	カフェ	●	自然排煙		CO全ゴテ	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤	−10	0	木製巾木	40	LGS+GB−Rt12.5+12.5	不燃突板	準不燃（4項内装）	LGS+GB−Rt12.5	AEP	準不燃（4項内装）	2500		間接照明BOX	建築工事： 備品：テーブル、椅子、ハイチェア、ハイカウンター
	レジカウンター	●	告1436−4ニ(4)		CO全ゴテ	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤	−10	0	木製巾木	60	LGS+GB−Rt12.5+12.5	AEP	不燃 下地共	LGS+GB−Rt12.5	AEP	不燃 下地共	2500			備品：レジカウンター
	厨房		告1436−4ニ(2)		CO+鋼製下地+シート防水+構造用合板	防水長尺シート	−350	0	木製巾木	40	LGS+GB−R t12.5+ケイカル板 t6	長尺シート	準不燃（4項内装）	LGS+GB−R t12.5+ケイカル板 t6	AEP	準不燃（4項内装）	2500	[塩ビ見切]	−	建築工事：厨房設備
	待合	●	告1436−4ニ(4)		CO全ゴテ	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤	−10	0	木製巾木	40	LGS+GB−Rt12.5+12.5	不燃突板+STパイプ	不燃 下地共	LGS+GB−Rt12.5	AEP	不燃 下地共	2500	−	間接照明BOX	備品：サイドテーブル、ベンチ、テーブル、椅子
	撮影収録スタジオ	●	告1436−4ニ(4)	遮音区画NC25	CO+PSブロック t50防音浮き床 +鋼製下地+構造用合板 t15	タイルカーペット	−300	0	ソフト巾木	60	LGS+GB−Ft21+21（GW充填） +GB−R t12.5(GW充填、遮音浮き壁)	GWマット	不燃 下地共	LGS+GB−R t12.5+12.5(GW敷き込み、 +防振ハンガー)	GWマット	不燃 下地共	2500	[塩ビ見切]	−	備品：映像音響設備
	収録調整室	●	告1436−4ニ(4)	遮音区画NC30	CO+鋼製下地+構造用合板	タイルカーペット	−300	0	ソフト巾木	60	LGS+GB−Ft21+9.5（GW充填）	GWマット	不燃 下地共	LGS+GB−R t12.5+12.5(GW敷き込み)	GWマット	不燃 下地共	2500	[塩ビ見切]	−	備品：映像音響設備
	編集室1	●	告1436−4ニ(4)	遮音区画NC40	CO直均し	タイルカーペット	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+GB−Ft21+9.5（GW充填）	GWマット	不燃 下地共	LGS+GB−R t12.5(GW敷き込み)	GWマット	不燃 下地共	2500	[塩ビ見切]	−	備品：映像音響設備
	編集室2	●	告1436−4ニ(4)	遮音区画NC40	CO直均し	タイルカーペット	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+GB−Ft21+9.5（GW充填）	GWマット	不燃 下地共	LGS+GB−R t12.5(GW敷き込み)	GWマット	不燃 下地共	2500	[塩ビ見切]	−	備品：映像音響設備
	休憩スペース		告1436−4ニ(2)		CO全ゴテ	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤	−10	0	木製巾木	40	LGS+GB−Rt12.5+12.5	不燃突板+STパイプ	準不燃（4項内装）	LGS+GB−Rt12.5	AEP	準不燃（4項内装）	2500	−	間接照明BOX	備品：ベンチ
	受付	●	告1436−4ニ(4)		CO+OAフロア	タイルカーペット	−100	0	ソフト巾木	60	LGS+GB−Rt12.5+12.5	AEP	不燃 下地共	LGS+GB−Rt12.5	AEP	不燃 下地共	2500	−	−	建築工事：受付カウンター
	サーバー室		告1436−4ニ(2)		CO全ゴテ	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+GB−Rt12.5+12.5	素地	不燃	直天井	素地	不燃	2500	[塩ビ見切]	−	＊架台を組んでサーバーラックは1FL+300とすること。
	倉庫・更衣室		告1436−4ニ(2)		CO全ゴテ	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+GB−Rt12.5	AEP	不燃	直天井	素地	不燃	2500	[塩ビ見切]	−	
	倉庫N1−1		告1436−4ニ(2)		CO全ゴテ	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+GB−Rt12.5	AEP	不燃	直天井	素地	不燃	3810	[塩ビ見切]		
	倉庫N1−2		告1436−4ニ(2)		CO全ゴテ	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+GB−Rt12.5 LGS+GB−Ft21+9.5（GW充填）	素地 素地	不燃 下地共 不燃 下地共	直天井	素地	不燃	3810			
	WC−N1		告1436−4ニ(2)		CO直均し	長尺シート	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+耐水GB−Rt12.5+12.5 CO+耐水GB−Rt12.5+12.5	AEP	不燃	LGS+耐水GB−Rt12.5+12.5	AEP	不燃	2500	[塩ビ見切]	間接照明BOX	
	HCWC−N1		告1436−4ニ(2)		CO直均し	長尺シート	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+耐水GB−Rt12.5+12.5 CO+耐水GB−Rt12.5+12.5	AEP AEP	不燃	LGS+耐水GB−Rt12.5+12.5	AEP	不燃	2500	[塩ビ見切]	間接照明BOX	
	通路N1−1		告1436−4ニ(2)		CO全ゴテ	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤	−10	0	木製巾木	40	LGS+GB−Rt12.5+12.5	不燃突板+STパイプ	不燃 下地共	LGS+GB−Rt12.5	AEP	不燃 下地共	2500		間接照明BOX	
	階段N1−1		令126の2−1−3		CO全ゴテ	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤	−10	0	木製巾木	40	LGS+GB−Rt12.5+12.5	不燃突板	不燃 下地共	LGS+GB−Rt12.5	AEP	不燃 下地共	2500	−	間接照明BOX	
2F（北棟）	会議室1	●	告1436−4ニ(4)		CO直均し	タイルカーペット	−10	0	木製巾木	40	LGS+GB−Rt12.5+12.5	AEP	不燃 下地共	LGS+GB−Rt12.5	AEP	不燃 下地共	3715~4700 平均4207.5		−	
	会議室2	●	告1436−4ニ(4)		CO直均し	タイルカーペット	−10	0	木製巾木	40	LGS+GB−Rt12.5+12.5	AEP	不燃 下地共	LGS+GB−Rt12.5	AEP	不燃 下地共	2700	−	−	
	会議室3	●	告1436−4ニ(4)		CO直均し	タイルカーペット	−10	0	木製巾木	40	LGS+GB−Rt12.5+12.5	AEP	不燃 下地共	LGS+GB−Rt12.5	AEP	不燃 下地共	2700	−	−	
	活動室	●	告1436−4ニ(4)	●	CO直均し	タイルカーペット	−10	0	木製巾木	40	LGS+GB−Rt12.5+12.5	AEP	不燃 下地共	LGS+GB−Rt12.5	AEP	不燃 下地共	3600~4450 平均4025	−	−	備品：ロールスクリーン
	待合スペース		告1436−4ニ(2)		CO直均し	タイルカーペット	−10	0	木製巾木	40	LGS+GB−Rt12.5+12.5	不燃突板+STパイプ	準不燃（4項内装）	LGS+GB−Rt12.5	AEP	準不燃（4項内装）	5390~6295 平均5842.5	−	間接照明BOX	備品：ベンチ、サイドテーブル
	倉庫N2−1		告1436−4ニ(2)		CO全ゴテ	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+GB−Rt12.5	素地	不燃	直天井	素地	不燃	2775~3230	[塩ビ見切]	−	
	倉庫N2−2		告1436−4ニ(2)		CO全ゴテ	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+GB−Rt12.5	素地	不燃	直天井	素地	不燃	可変			
	WC−N2（M）		告1436−4ニ(2)		CO直均し	長尺シート	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+耐水GB−Rt12.5+12.5 CO+耐水GB−Rt12.5+12.5	AEP	不燃	LGS+耐水GB−Rt12.5+12.5	AEP	不燃	2500	[塩ビ見切]	間接照明BOX	建築工事： トイレブース、流し台、多目的流し
	WC−N2（F）		告1436−4ニ(2)		CO直均し	長尺シート	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+耐水GB−Rt12.5+12.5 CO+耐水GB−Rt12.5+12.5	AEP	不燃	LGS+耐水GB−Rt12.5+12.5	AEP	不燃	2500	[塩ビ見切]	間接照明BOX	建築工事： トイレブース、流し台、多目的流し
	HCWC−N2		告1436−4ニ(2)		CO直均し	長尺シート	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+耐水GB−Rt12.5+12.5 CO+耐水GB−Rt12.5+12.5	AEP	不燃	LGS+耐水GB−Rt12.5+12.5	AEP	不燃	2500	[塩ビ見切]	間接照明BOX	建築工事： 身体障がい者用設備、ベビーベット
	通路N2−1		告1436−4ニ(2)		CO直均し	タイルカーペット	−10	0	木製巾木	40	LGS+GB−Rt12.5+12.5	不燃突板+STパイプ	準不燃（4項内装）	LGS+GB−Rt12.5	AEP	準不燃（4項内装）	2600		間接照明BOX	
	階段N2−1		令126の2−1−3		CO直均し	タイルカーペット	−10	0	木製巾木	40	LGS+GB−Rt12.5+12.5	不燃突板+STパイプ	準不燃（4項内装）	LGS+GB−Rt12.5	AEP	準不燃（4項内装）	5390~6295 平均5842.5	−	間接照明BOX	
各棟共通	EPS		令126の2−1−3		CO全ゴテ	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤	−10	+300	ソフト巾木	60	LGS+GB−Rt12.5	素地	不燃	直天井	素地	不燃	可変	[塩ビ見切]	−	
	PS		令126の2−1−3		CO全ゴテ	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+GB−Rt12.5	素地	不燃	直天井	素地	不燃	可変	[塩ビ見切]	−	
	PS／DS		令126の2−1−3		CO全ゴテ	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤	−10	0	ソフト巾木	60	LGS+GB−Rt12.5	素地	不燃	直天井	素地	不燃	可変	[塩ビ見切]	−	

内部仕上表注記

◆FLは各階基準仕上げ床高を表す。
◆天井高は床仕上レベル（＝仕上高）からの天井高さを表す。
◆仕上高は床仕上レベルをFLからの高さとして表す。仕上表に表記無き場合は平面図表記値とする。
◆内部露出鉄骨や金属部は特記なき限りSOP塗装とする

◆スラブ高は下地コンクリート天端レベルをFLからの高さとして表す。
構造図表記のスラブレベルとの差は、増打ちコンクリートにより対応する。
◆ビニル床シート、ビニル床タイル張りなどの床下地でコンクリート直均しを行う場合は、
スラブ高と仕上げ高との差から仕上げ材の厚さを除いた高さを増打ちコンクリートとする。

◆壁下地「LGSボード」とは、壁種区分図に記載する「性能壁」及び「非性能壁」のうちLGS下地の壁の総称。
仕様については壁種区分図参照のこと。箇所及び範囲については個仕切壁符号のある図面を参照のこと。
◆特記なき場合、巾木下地は壁下地と同じものとする。
◆特記なき場合、天井下地はＬＧＳとする。

Ⓐ［AL縁］ アルミ廻り縁
Ⓨ［縁有り］ 塩ビ廻り縁
Ⓣ［目透し］ 塩ビ目透し

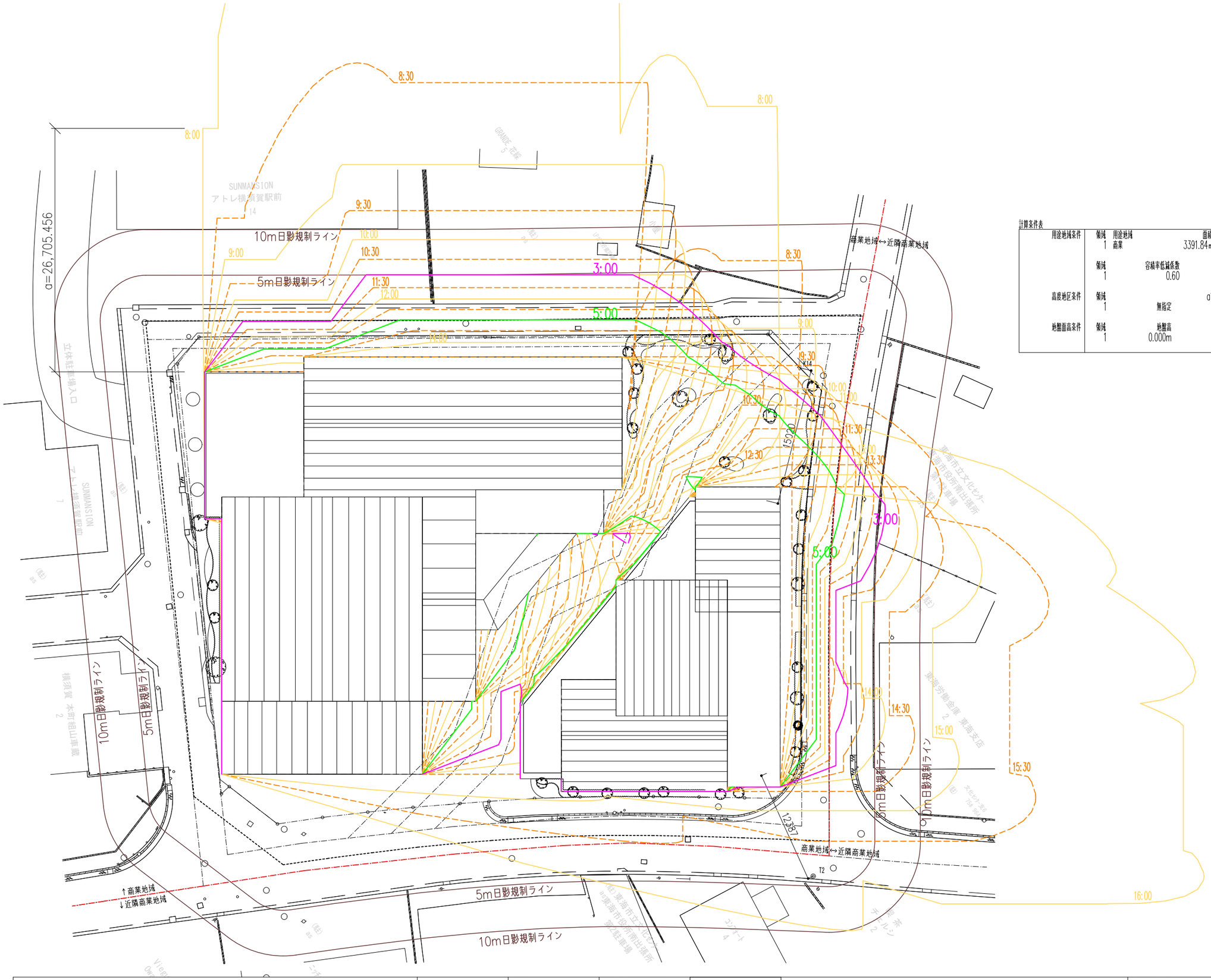
KENGO KUMA & ASSOCIATES
隈研吾建築都市設計事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号

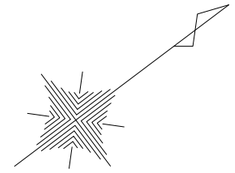
一級建築士
登録第319352号
宮原賢次

DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION
CHECKED		実施設計図
APPROVED	CHECKED	
	APPROVED	

東海市創造の杜交流館建設工事

DRAWING TITLE: 内部仕上表（北棟）
SCALE: −
DRAWING No.: AA−021
DATE: 2023/11/30





世界測地系
(測地成果2011)
縮尺係数 0.999908

計算条件表

用途地域条件	領域	用途地域	面積	建蔽率	容積率（ 採用 ）					
	1	商業	3391.84㎡	100%	400%(400.00%)					
	領域	容積率低減係数	道路斜線勾配	隣地斜線勾配	隣地斜線高さ					
	1	0.60	1.50	2.50	31.000m					
高度地区条件	領域		a1	a2	b1	b2	b3	c1	c2	
	1	無指定								
地盤面高条件	領域	地盤高								
	1	0.000m								

日影規制条件

領域番号	測定面高	規制時間1	規制時間2
		5.0m	10.0m
第1領域	4.000m	5時間00分	3時間00分

図面名	日影図
縮尺	S=1/400
緯度	北緯 35°00'44"
経度	東経 136°53'10"
節気/日付	冬至 [12月22日頃]
赤緯	-23°27'00"
時刻法	真太陽時
計算処理	ADS-win Ver 10.00.039

基準倍率表

時刻	方位角 [度]	倍率	X	Y
8:00	-53.4434	6.7116	-0.0504	6.7114
8:30	-48.3927	4.2490	0.3422	4.2352
9:00	-42.8985	3.1453	0.5523	3.0964
9:30	-36.9113	2.5283	0.7012	2.4291
10:00	-30.4021	2.1458	0.8250	1.9809
10:30	-23.3759	1.8993	0.9397	1.6509
11:00	-15.8853	1.7438	1.0525	1.3903
11:30	-8.0395	1.6572	1.1713	1.1724
12:00	0.0000	1.6294	1.3015	0.9803
12:30	8.0395	1.6572	1.4502	0.8021
13:00	15.8853	1.7438	1.6269	0.6278
13:30	23.3759	1.8993	1.8460	0.4469
14:00	30.4021	2.1458	2.1317	0.2460
14:30	36.9113	2.5283	2.5283	0.0033
15:00	42.8985	3.1453	3.1286	-0.3239
15:30	48.3927	4.2490	4.1650	-0.8402
16:00	53.4434	6.7116	6.4366	-1.9013

＊時刻日影図 日影長さ検証（8:00）
（高さ－4ｍ）x倍率＝長さ
（7,979－4,000）x6.7116=26.705456=a

＊使用ソフト：ADS-win Ver 10.00.039

KENGO KUMA & ASSOCIATES
隈研吾建築都市設計事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号

一級建築士
登録第319352号
宮原賢次

DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION
CHECKED	CHECKED	実施設計図
APPROVED	APPROVED	

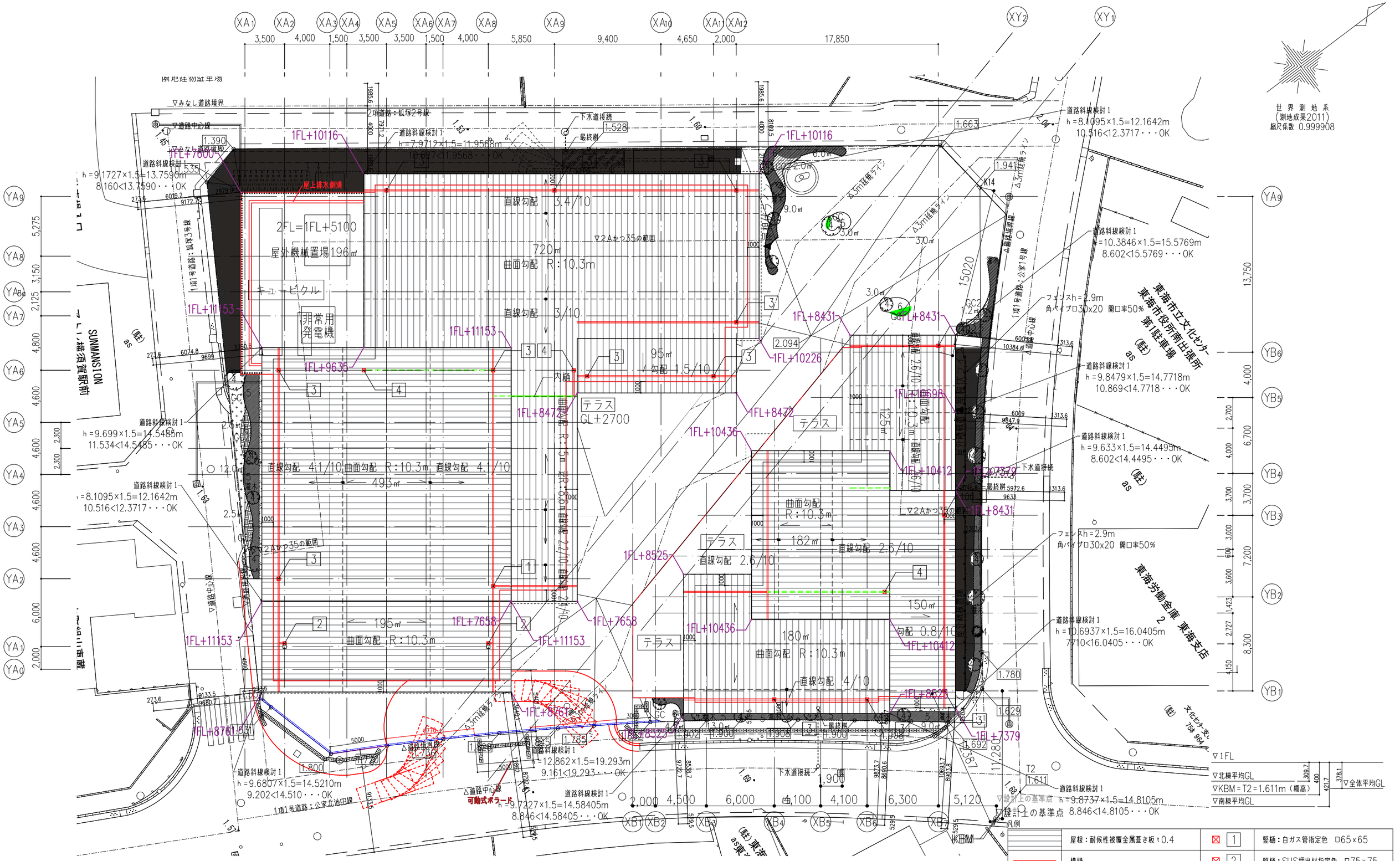
東海市創造の杜交流館建設工事

DRAWING TITLE: 日影図（形状図・等時間日影図）

SCALE: scale=1:400

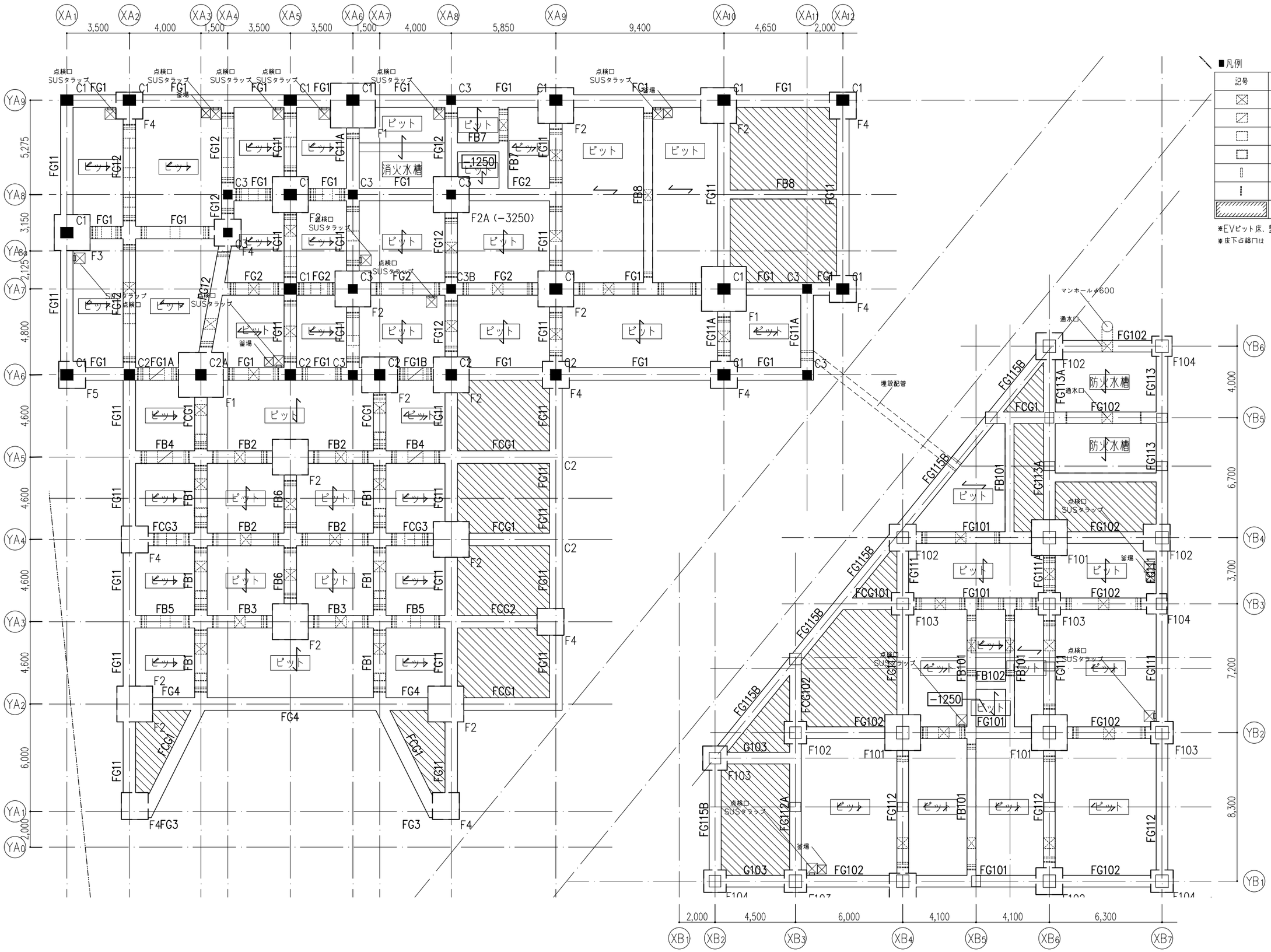
DRAWING No.: AA-022

DATE: 2023/11/30



KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事

DRAWING TITLE	DRAWING No.
配置図兼屋根伏図	AA-023
SCALE: scale=1:300	DATE: 2023/11/30



■凡例

記号	項目	仕様
	人通口	600Φ
	ダクト貫通孔	850×550
	ダクト貫通孔	550×500
	ダクト貫通孔	450×500
	連通管	硬質塩ビパイプ 100Φ 半割
	通気管	硬質塩ビパイプ 50Φ
	埋戻し	

※EVピット床、壁は塗膜防水仕上げとする。
※床下点検口は 耐荷重用を見込むこと。

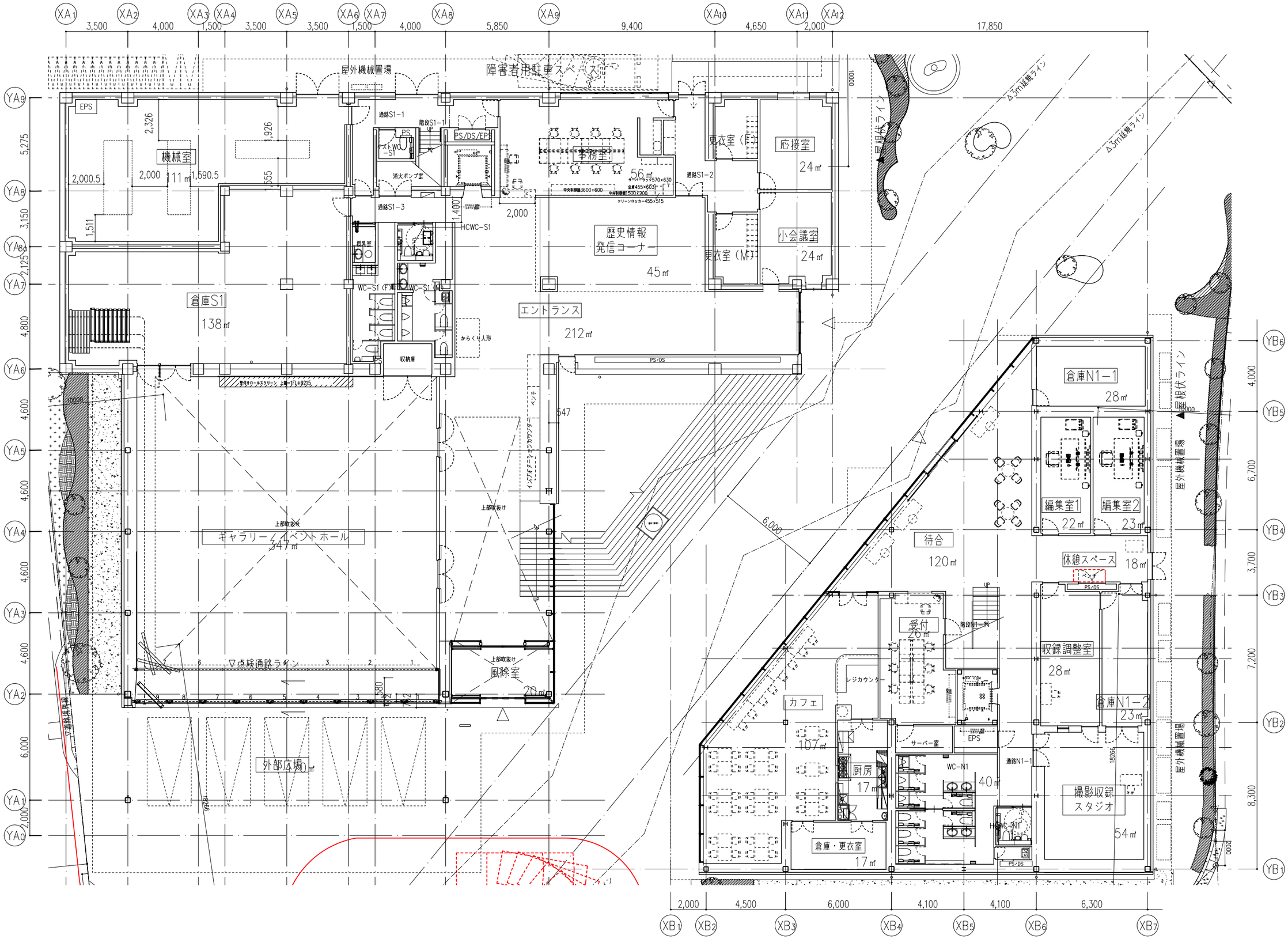
共通事項

特記なき限り下記による。

1. 設計GL= m
   1FL=設計GL+400= m
2. ピットレベル下端レベル
   1FL−2210
   ▭はピット上端レベルを示す。
3. 基礎梁天端レベル
   1FL−210
4. 基礎下端レベル
   1FL−2560
   ( )内数値は基礎梁下端レベルを示す。
5. ▨は埋戻しを示す。
6. スラブ符号はFS1とする。
   ⟷はスラブ主筋方向を示す。

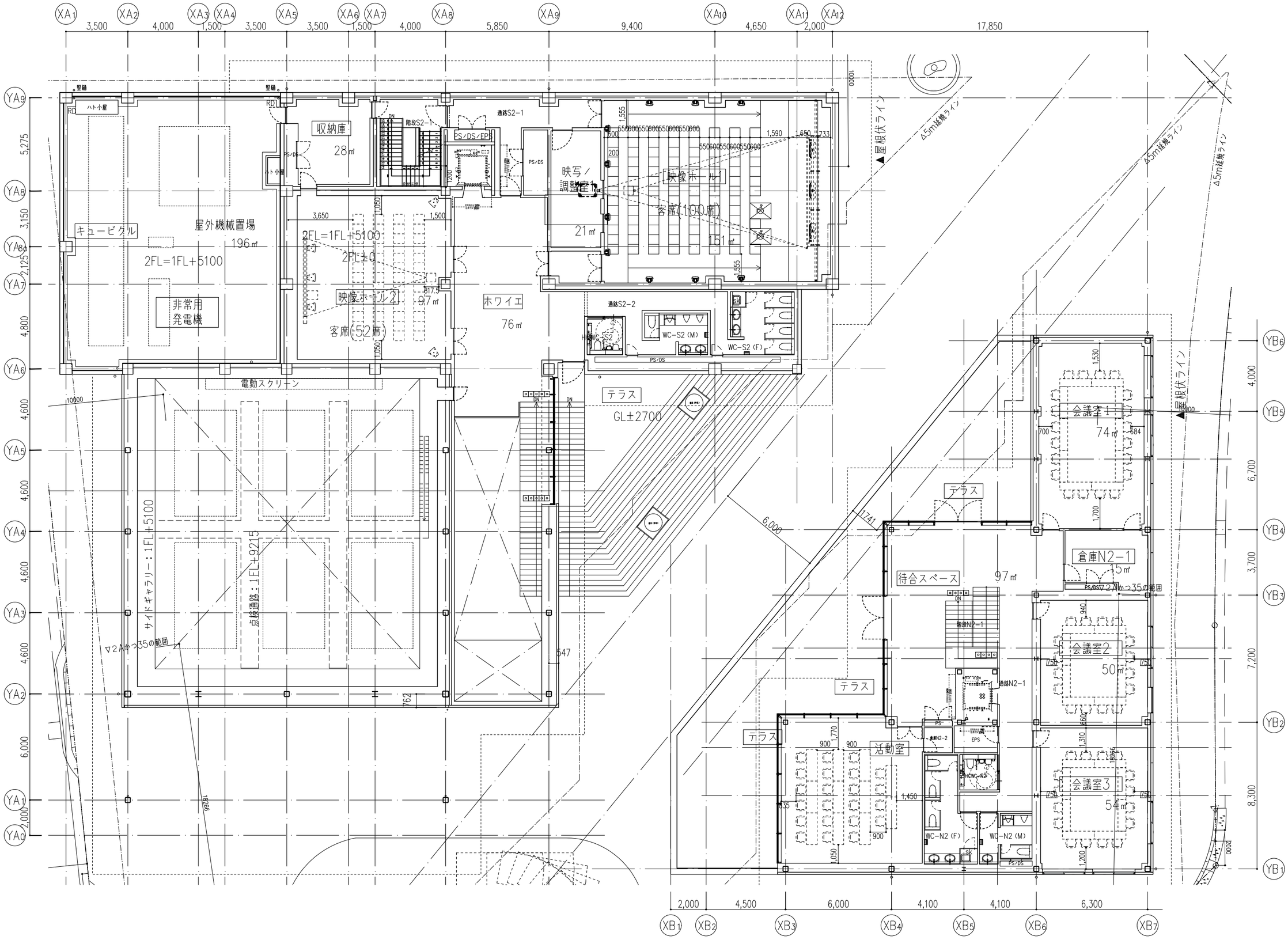
世界測地系
(測地成果2011)
縮尺係数 0.999908

KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 平面図（ピット階） SCALE scale=1:200	DRAWING No. AA-024 DATE 2023/11/30



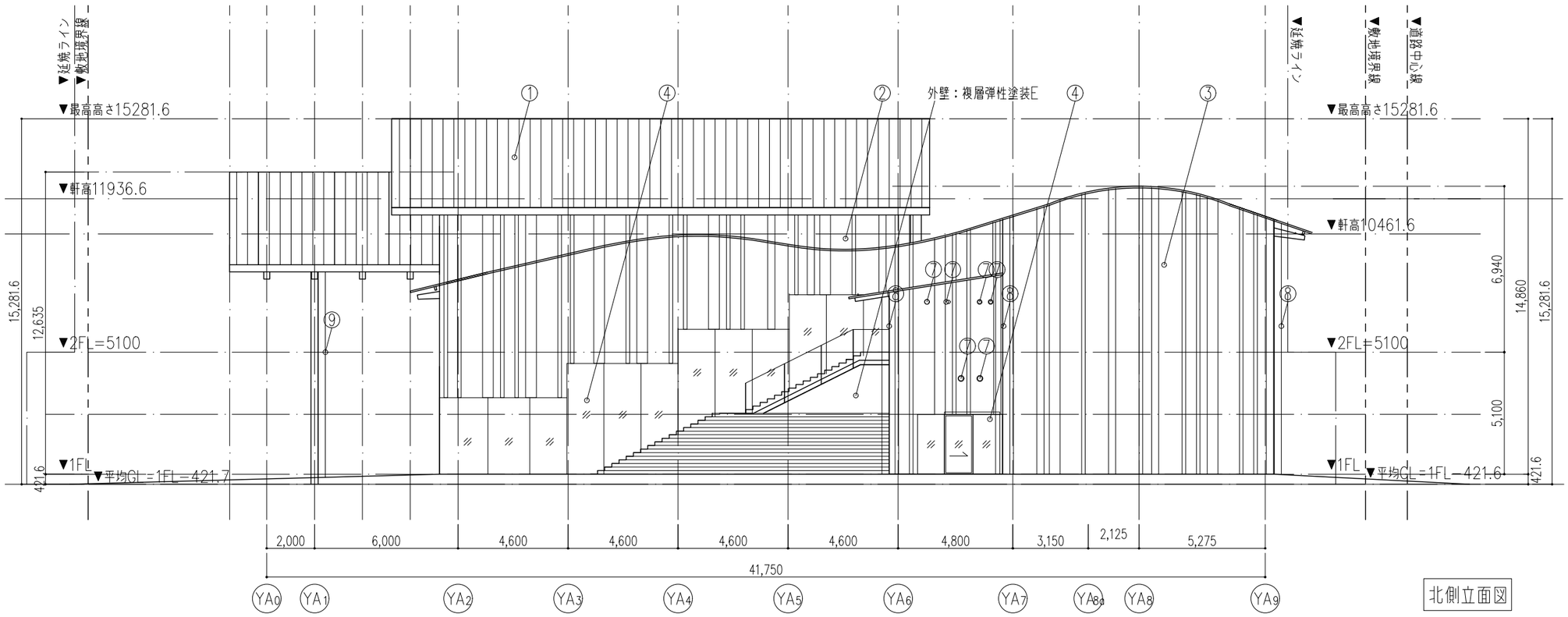
世界測地系
(測地成果2011)
縮尺係数 0.999908

KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 平面図（1階） SCALE scale=1:200	DRAWING No. AA-025 DATE 2023/11/30

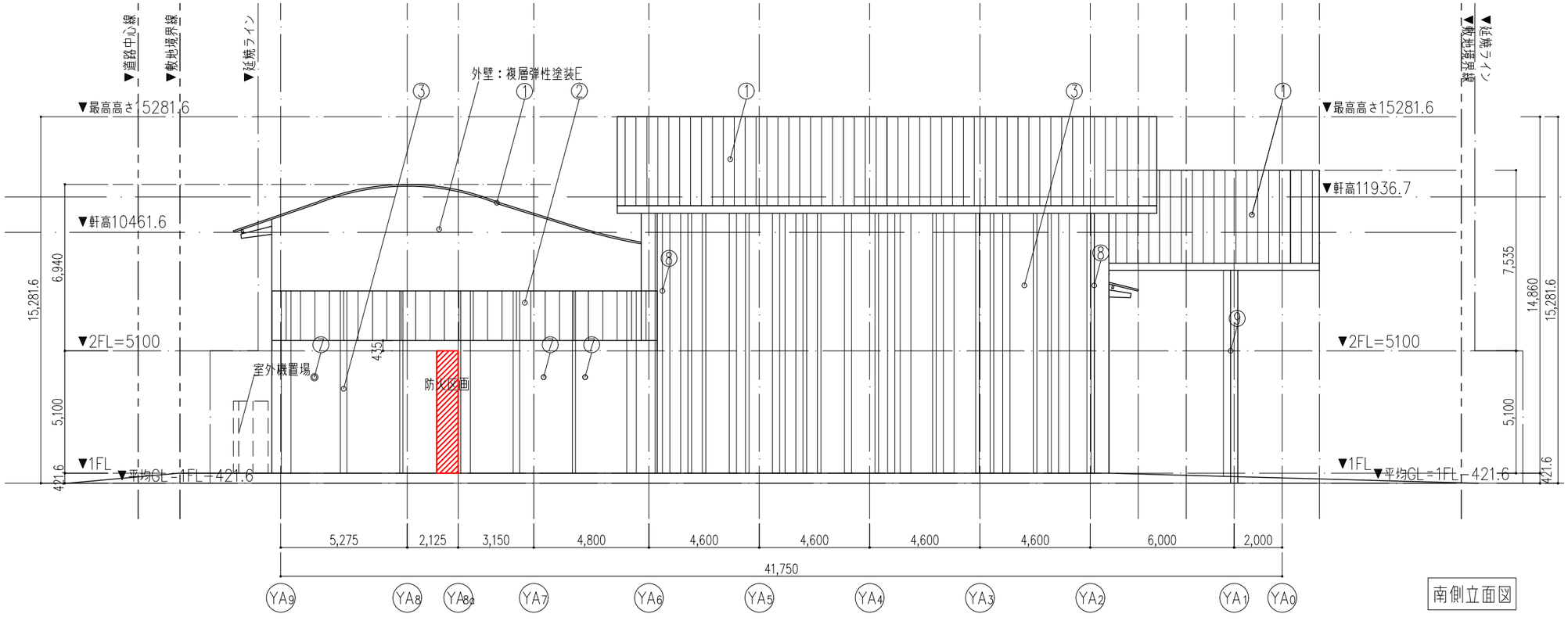


世界測地系
(測地成果2011)
縮尺係数 0.999908

KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 平面図（2階） SCALE scale=1:200	DRAWING No. AA-026 DATE 2023/11/30



北側立面図



南側立面図

①	屋根：鋼板葺き　@606
②	外壁：ALC　防水型複層塗料E
③	ファサード：炭化木材30×130mm,270mm,400mm
④	開口：アルミサッシ　UU
⑤	出入口：アルミサッシ　UU
⑥	手すり：ステンレス製、ガラス
⑦	ベントキャップ：ステンレス製
⑧	竪樋：鋼管製
⑨	竪樋：ステンレス製
⑩	提灯取りつけ箇所：ステンレス製金物

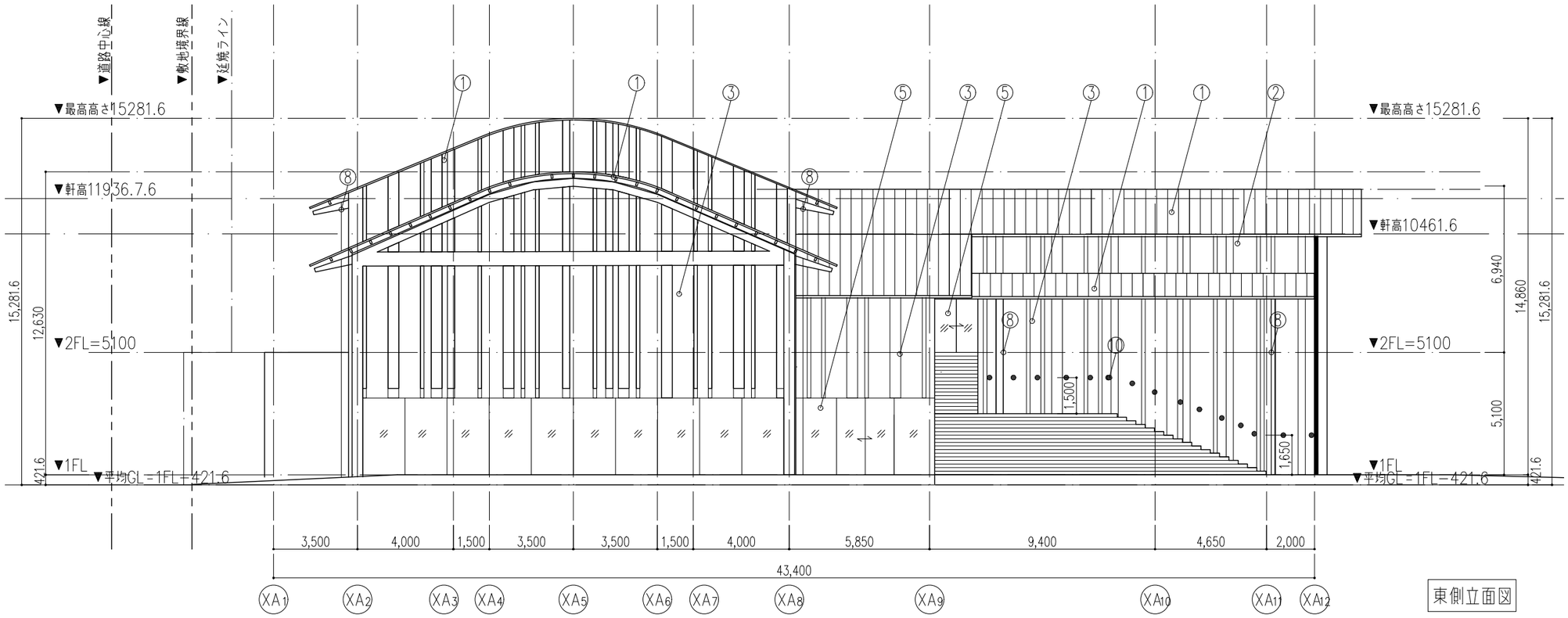
KENGO KUMA & ASSOCIATES
隈研吾建築都市設計事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号

一級建築士
登録第319352号
宮原賢次

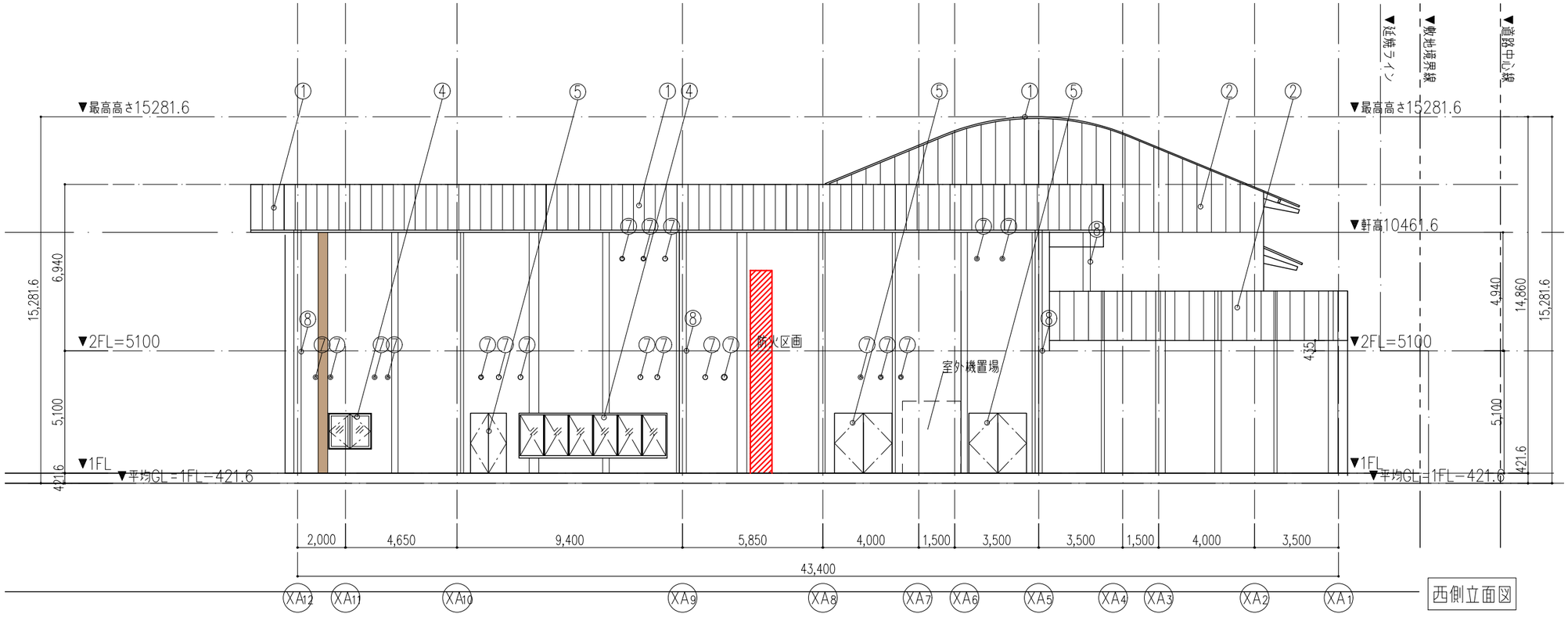
DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION
CHECKED	CHECKED	実施設計図
APPROVED	APPROVED	

東海市創造の杜交流館建設工事

DRAWING TITLE: 立面図1(南棟)
SCALE: scale=1:200
DRAWING No.: AA-027
DATE: 2023/11/30



東側立面図



西側立面図

①	屋根：鋼板葺き　@606
②	外壁：ALC　防水型複層塗料E
③	ファサード：炭化木材30×130mm,270mm,400mm
④	開口：アルミサッシ　UU
⑤	出入口：アルミサッシ　UU
⑥	手すり：ステンレス製、ガラス
⑦	ベントキャップ：ステンレス製
⑧	竪樋：鋼管製
⑨	竪樋：ステンレス製
⑩	提灯取りつけ箇所：ステンレス製金物

KENGO KUMA & ASSOCIATES
隈研吾建築都市設計事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号

一級建築士
登録第319352号
宮原賢次

DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION	
CHECKED	CHECKED	実施設計図	
APPROVED	APPROVED		

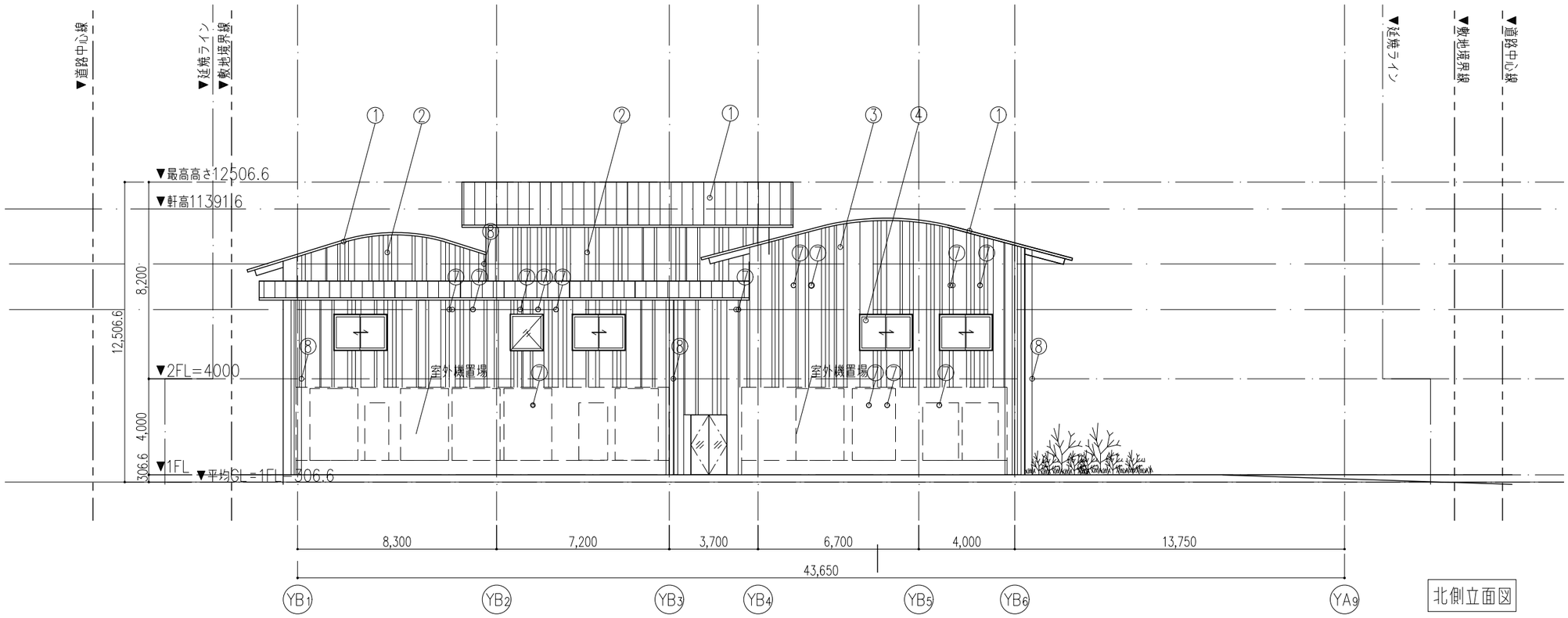
東海市創造の杜交流館建設工事

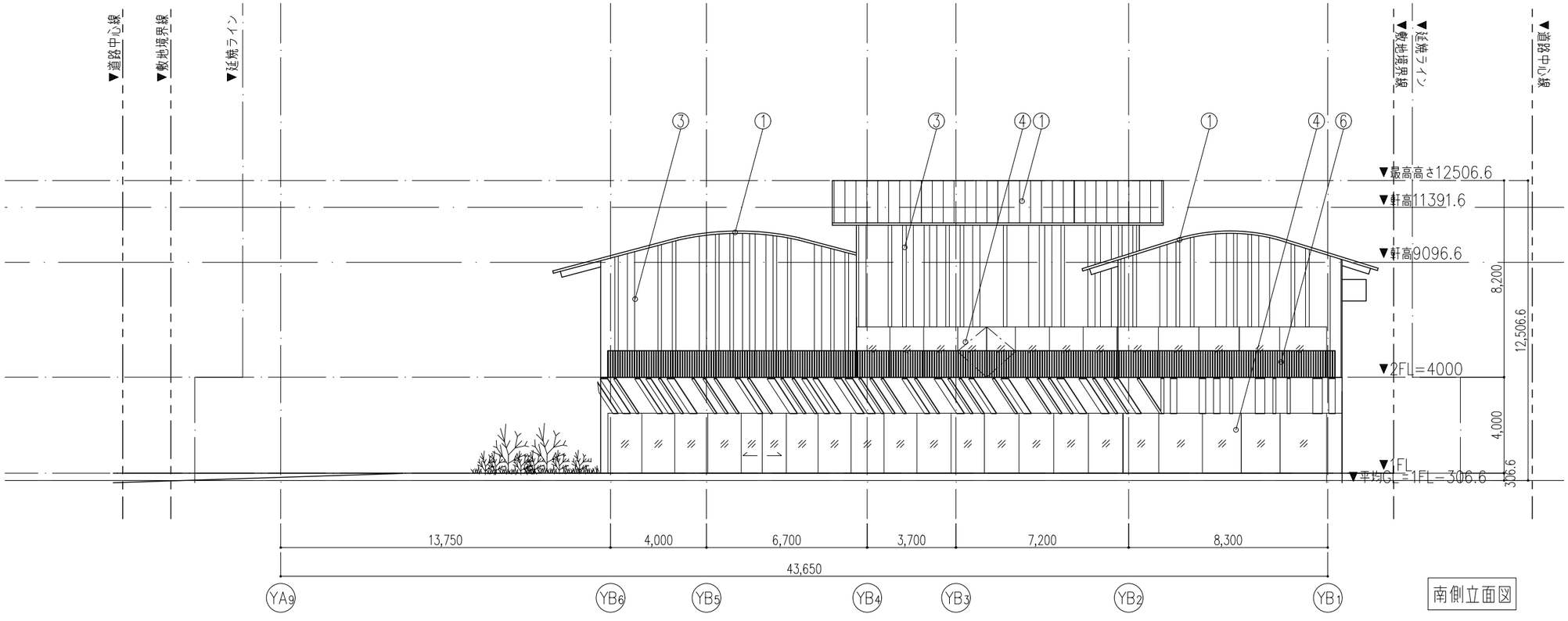
DRAWING TITLE: 立面図2(南棟)

SCALE: scale=1:200

DRAWING No.: AA-028

DATE: 2023/11/30





①	屋根：鋼板葺き　@606
②	外壁：ALC　防水型複層塗料E
③	ファサード：炭化木材30×130mm,270mm,400mm
④	開口：アルミサッシ　UU
⑤	出入口：アルミサッシ　UU
⑥	手すり：ステンレス製、ガラス
⑦	ベントキャップ：ステンレス製
⑧	竪樋：鋼管製
⑨	竪樋：ステンレス製
⑩	提灯取りつけ箇所：ステンレス製金物

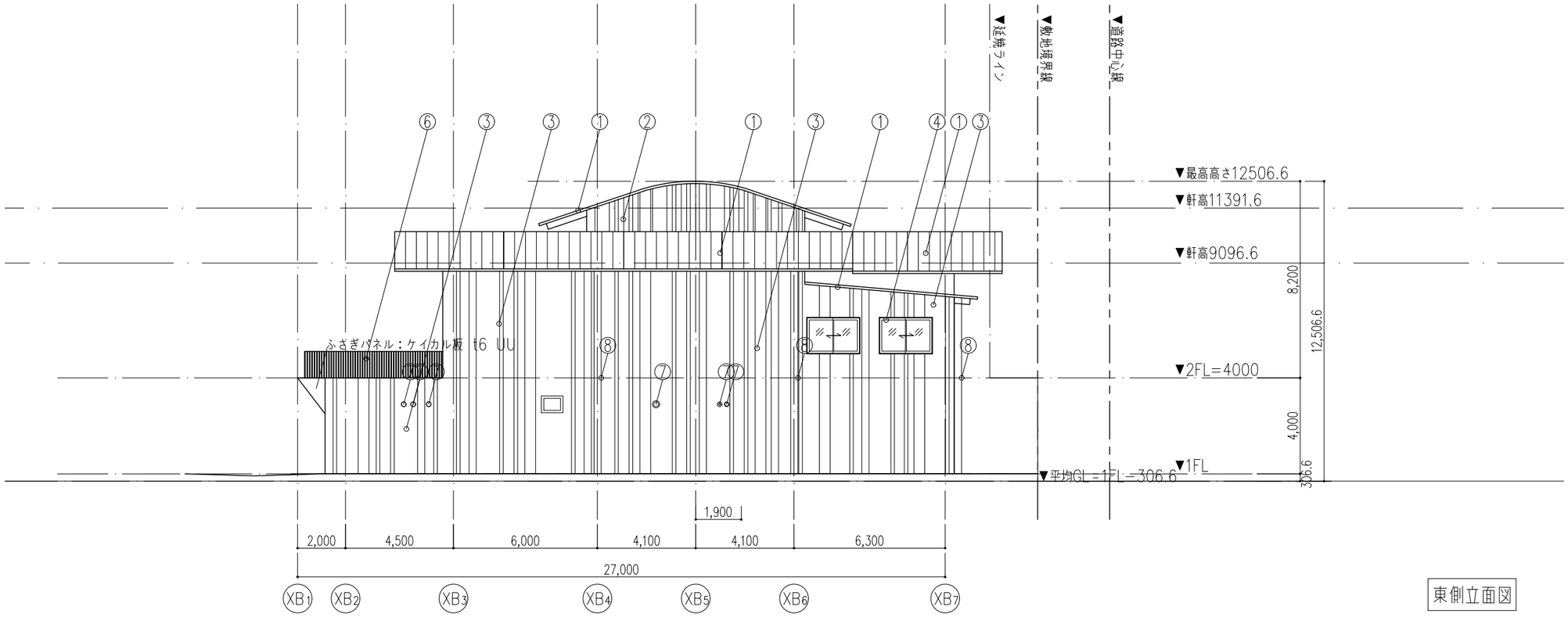
KENGO KUMA & ASSOCIATES
隈研吾建築都市設計事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号

一級建築士
登録第319352号
宮原賢次

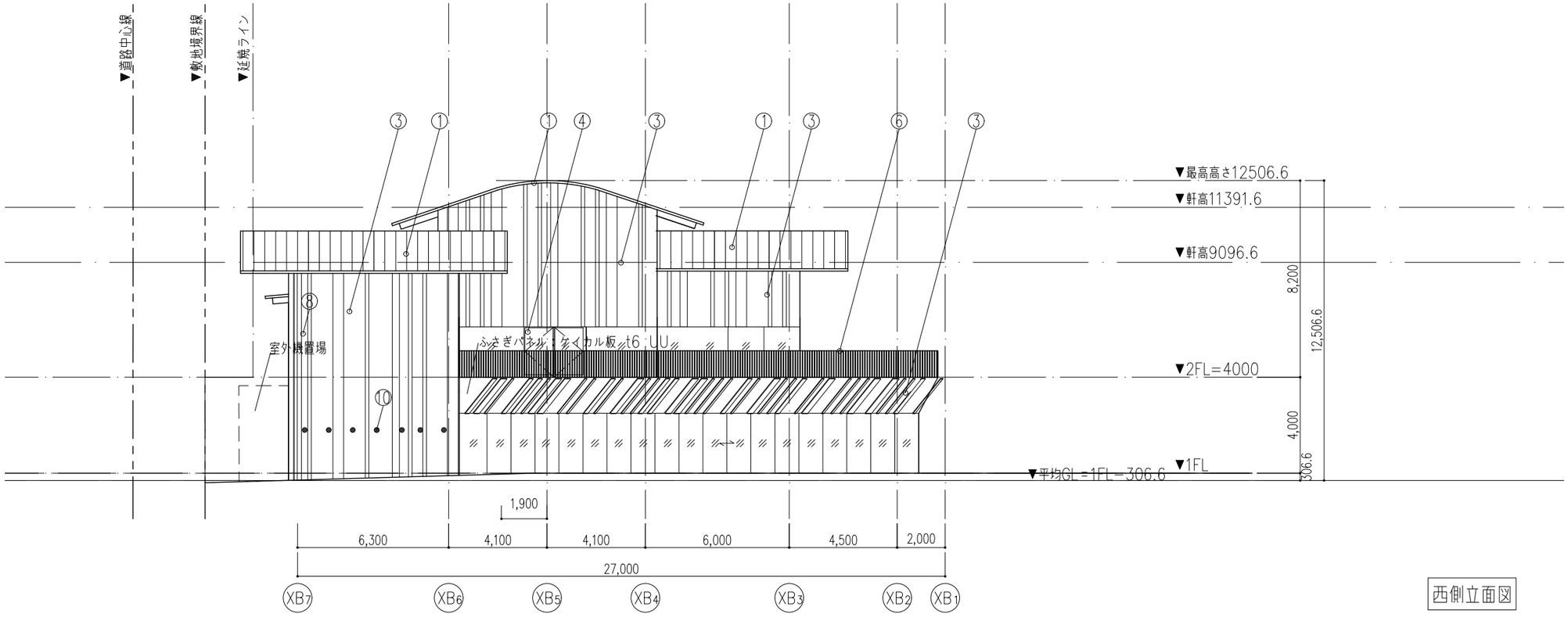
DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION
CHECKED	CHECKED	実施設計図
APPROVED	APPROVED	

東海市創造の杜交流館建設工事

DRAWING TITLE: 立面図3(北棟)
SCALE: scale=1:200
DRAWING No.: AA-029
DATE: 2023/11/30



東側立面図



西側立面図

①	屋根：鋼板葺き　@606
②	外壁：ALC　防水型複層塗料E
③	ファサード：炭化木材30×130mm,270mm,400mm
④	開口：アルミサッシ　UU
⑤	出入口：アルミサッシ　UU
⑥	手すり：ステンレス製、ガラス
⑦	ベントキャップ：ステンレス製
⑧	竪樋：鋼管製
⑨	竪樋：ステンレス製
⑩	提灯取りつけ箇所：ステンレス製金物

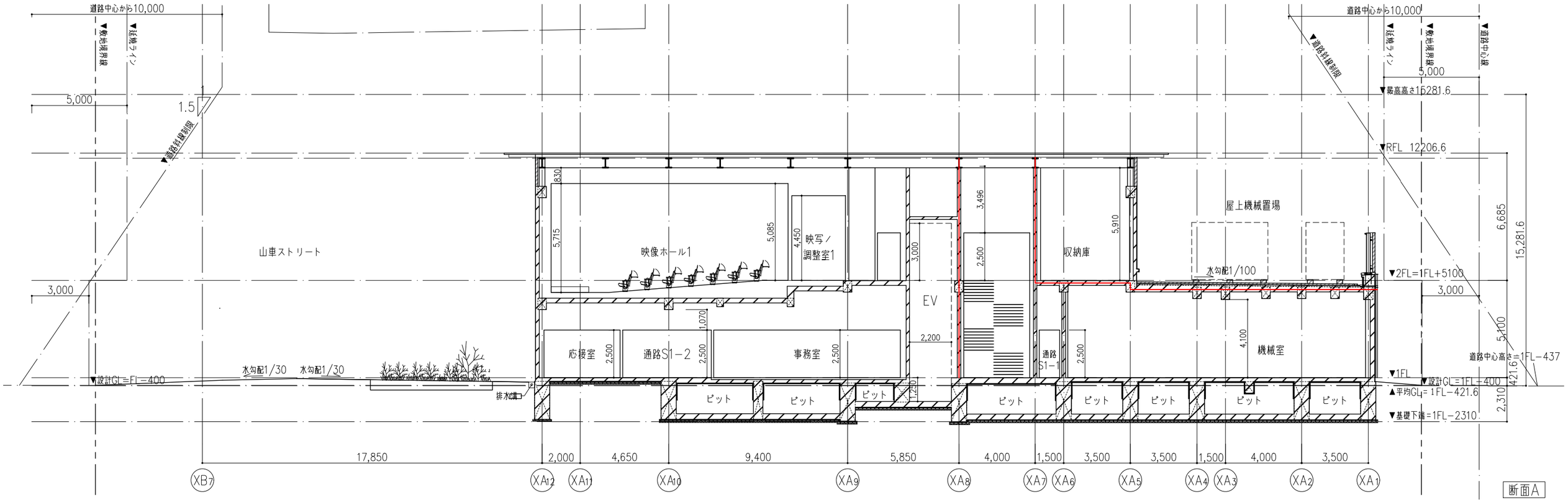
KENGO KUMA & ASSOCIATES
隈研吾建築都市設計事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号

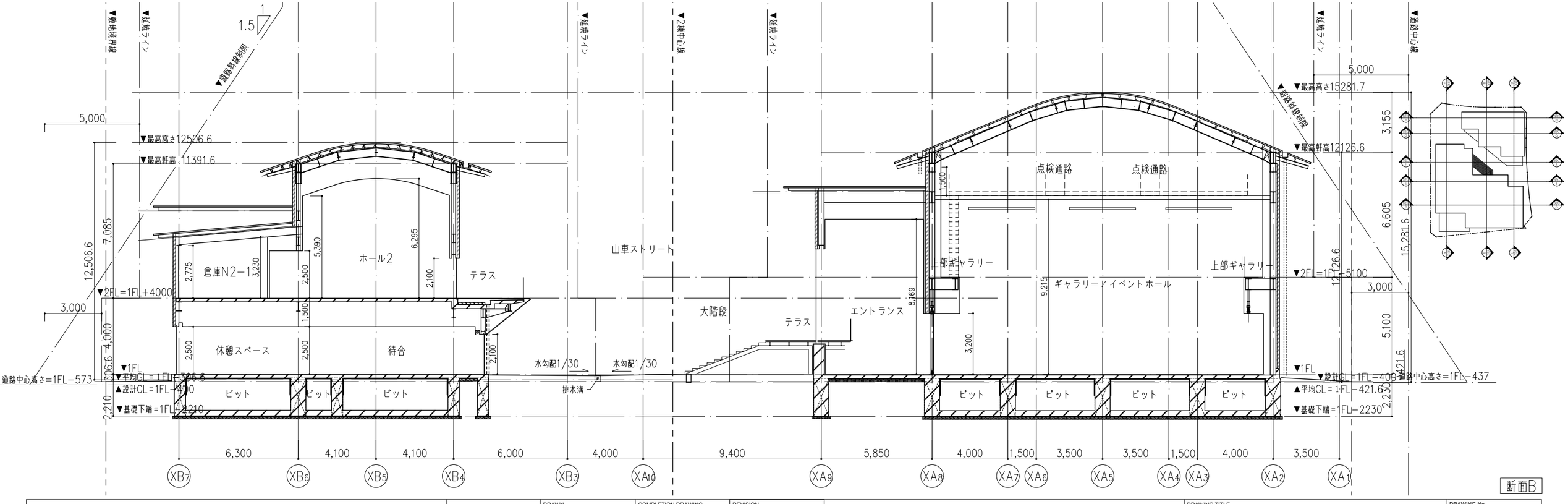
一級建築士
登録第319352号
宮原賢次

DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION
CHECKED	CHECKED	実施設計図
APPROVED	APPROVED	

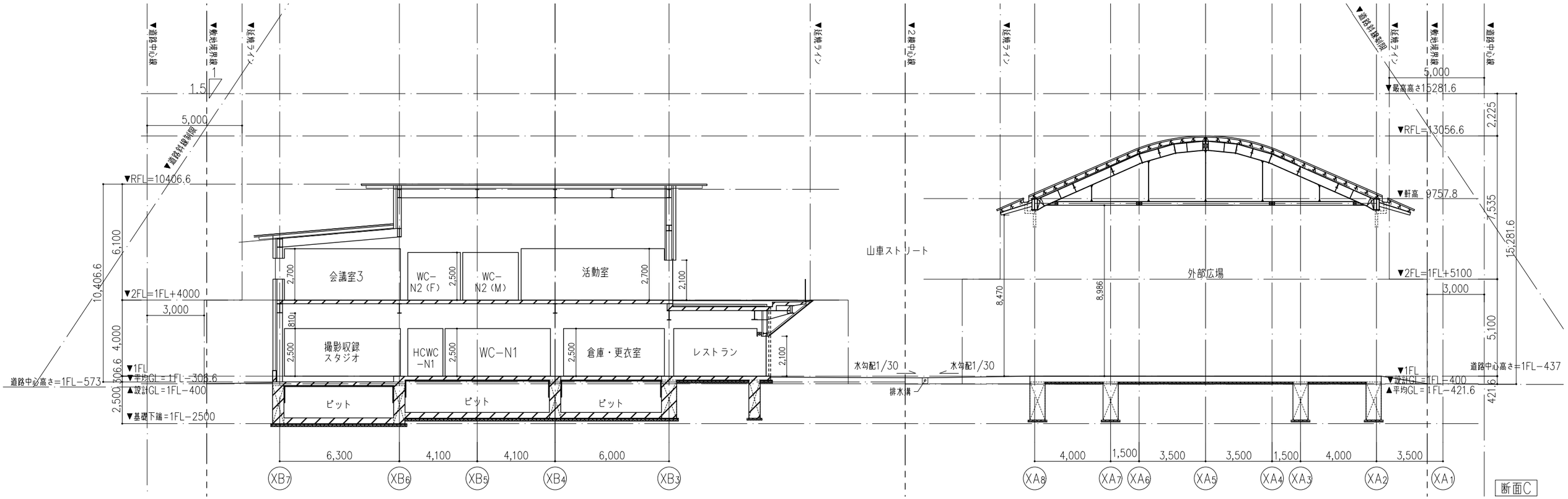
東海市創造の杜交流館建設工事

DRAWING TITLE: 立面図4(北棟)
SCALE: scale=1:200
DRAWING No.: AA-030
DATE: 2023/11/30

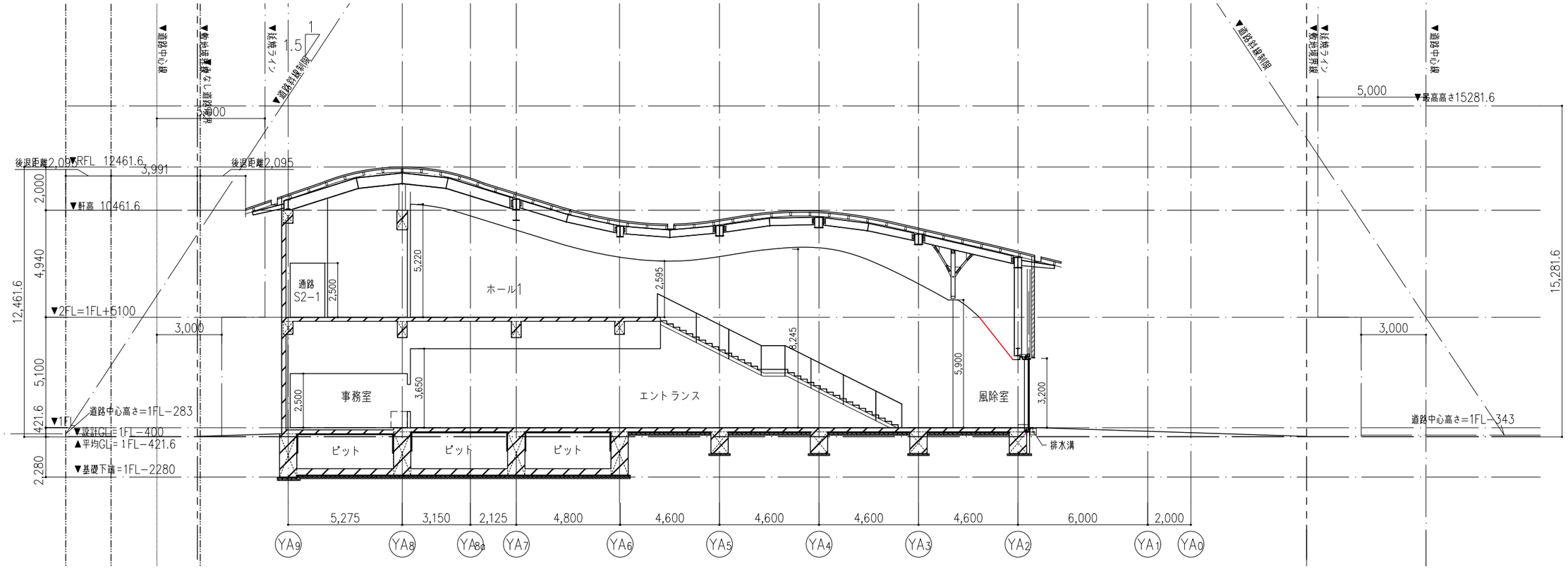




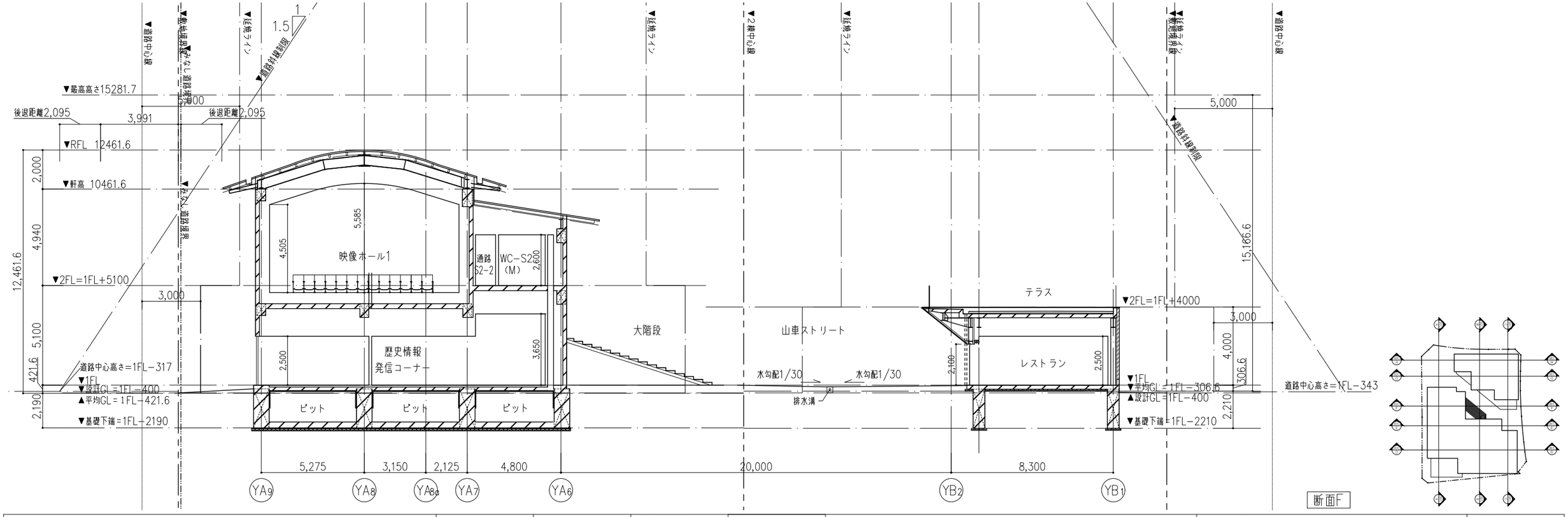
KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 断面図1 SCALE scale=1:200	DRAWING No. AA-031 DATE 2023/11/30



KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 断面図2 SCALE scale=1:200	DRAWING No. AA-032 DATE 2023/11/30

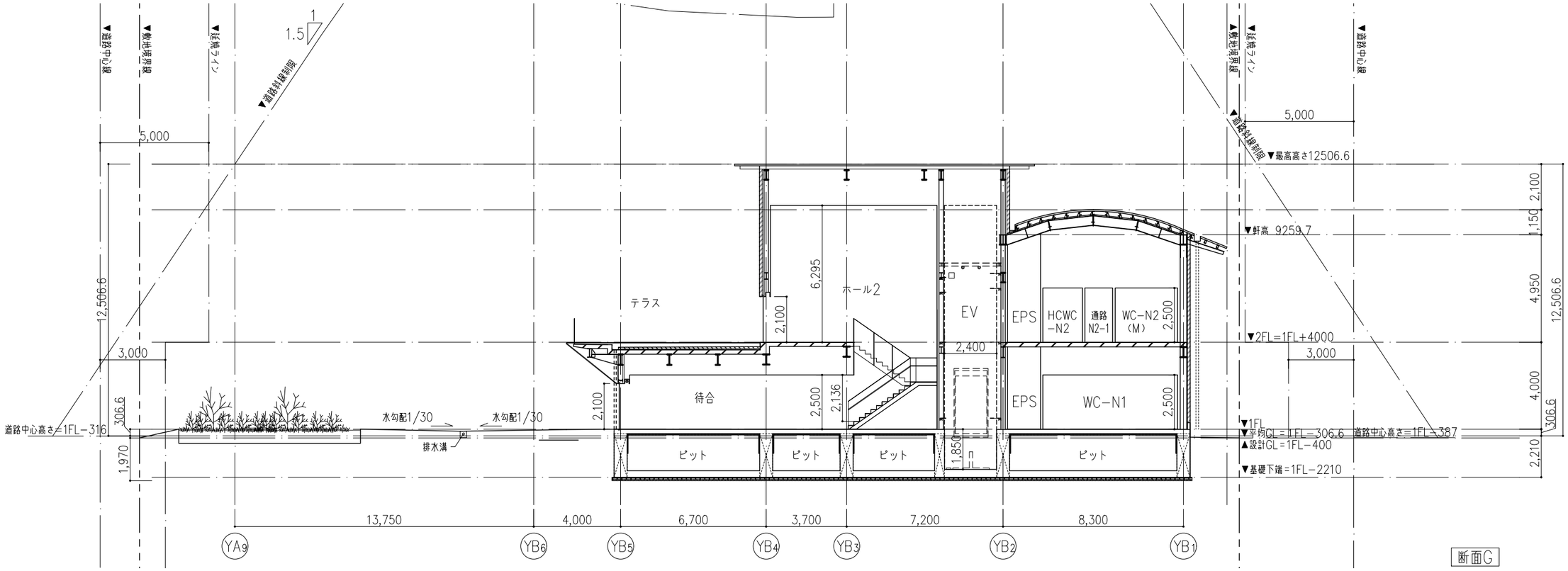


断面E



断面F

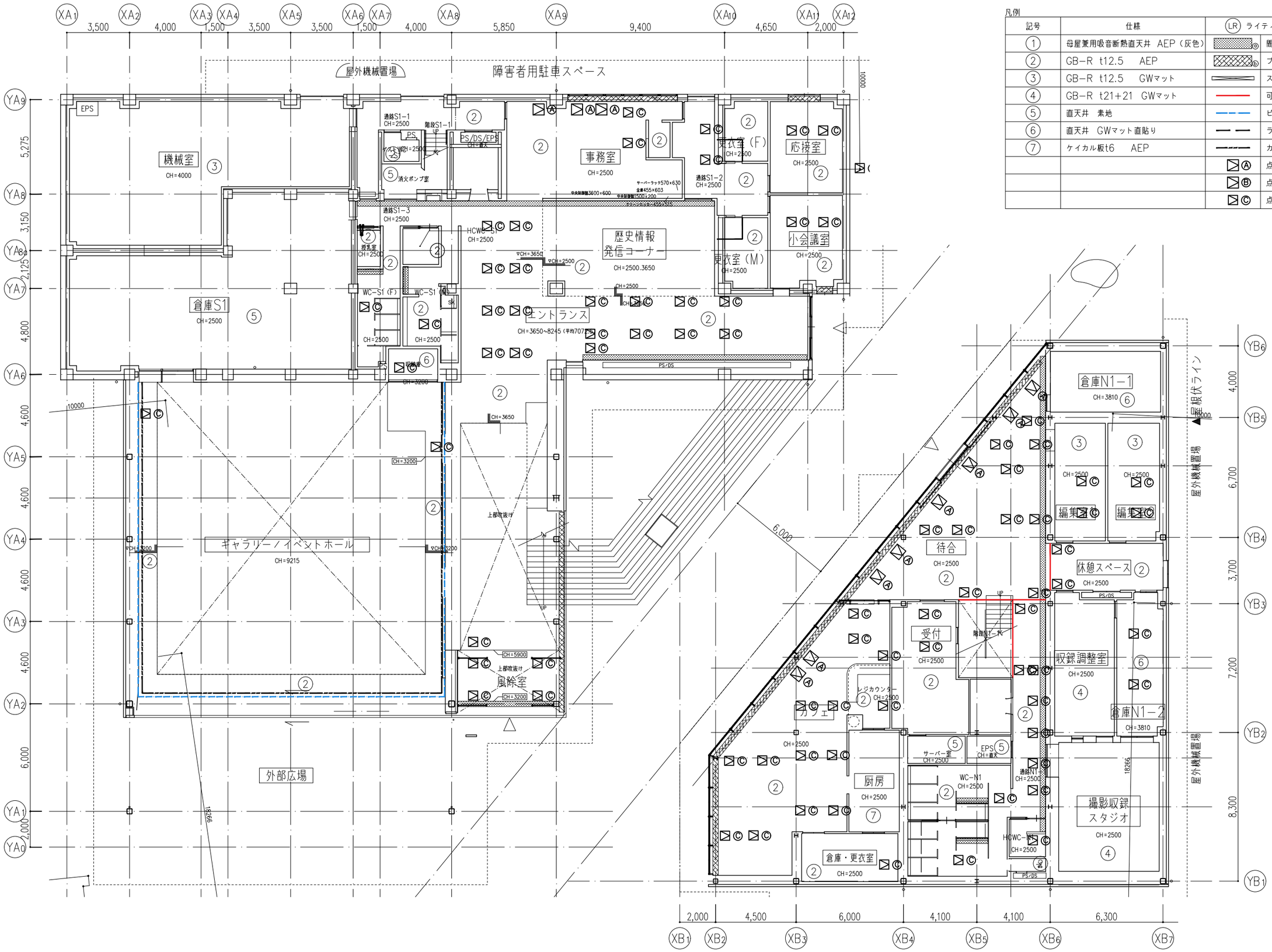
KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 断面図3 SCALE scale=1:200	DRAWING No. AA-033 DATE 2023/11/30



KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 断面図4 SCALE scale=1:200	DRAWING No. AA-034 DATE 2023/11/30

凡例

記号	仕様		
①	母屋兼用吸音断熱直天井 AEP（灰色）		間接照明ボックス：MDF EP
②	GB−R t12.5 AEP		ブラインドボックス：St製
③	GB−R t12.5 GWマット		スクリーンボックス
④	GB−R t21+21 GWマット		可動防煙垂れ壁
⑤	直天井 素地		ピクチャーレール
⑥	直天井 GWマット直貼り		ライティングレール
⑦	ケイカル板t6 AEP		カーテンレール
		Ⓐ	点検口（600x600）枠：FB見切り
		Ⓑ	点検口（600x600）枠：曲げ加工
		Ⓒ	点検口（450x450）枠：FB見切り



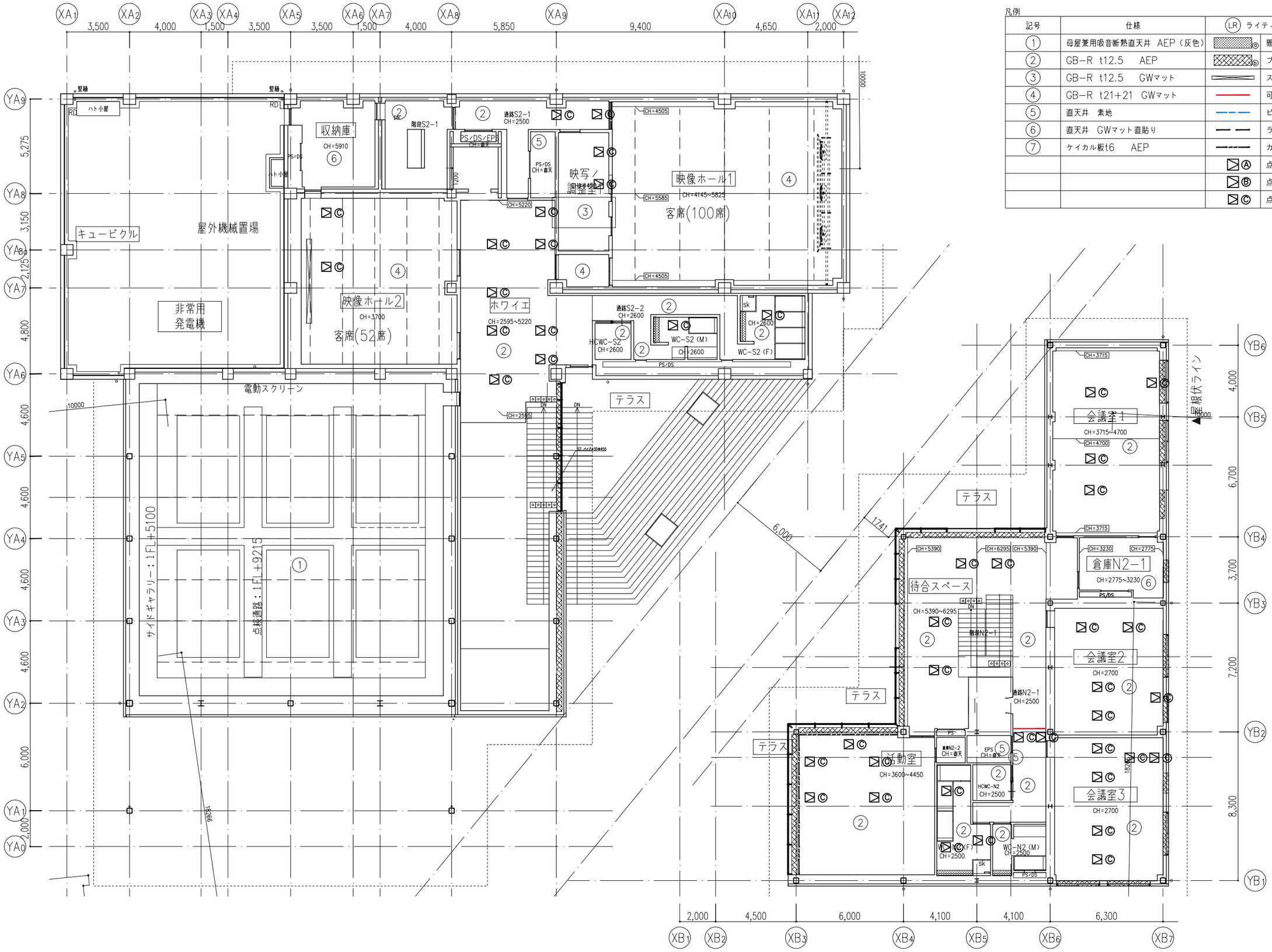
KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事

DRAWING TITLE 天井伏図（1階）	DRAWING No. AA−035
SCALE scale=1:200	DATE 2023/11/30

凡例

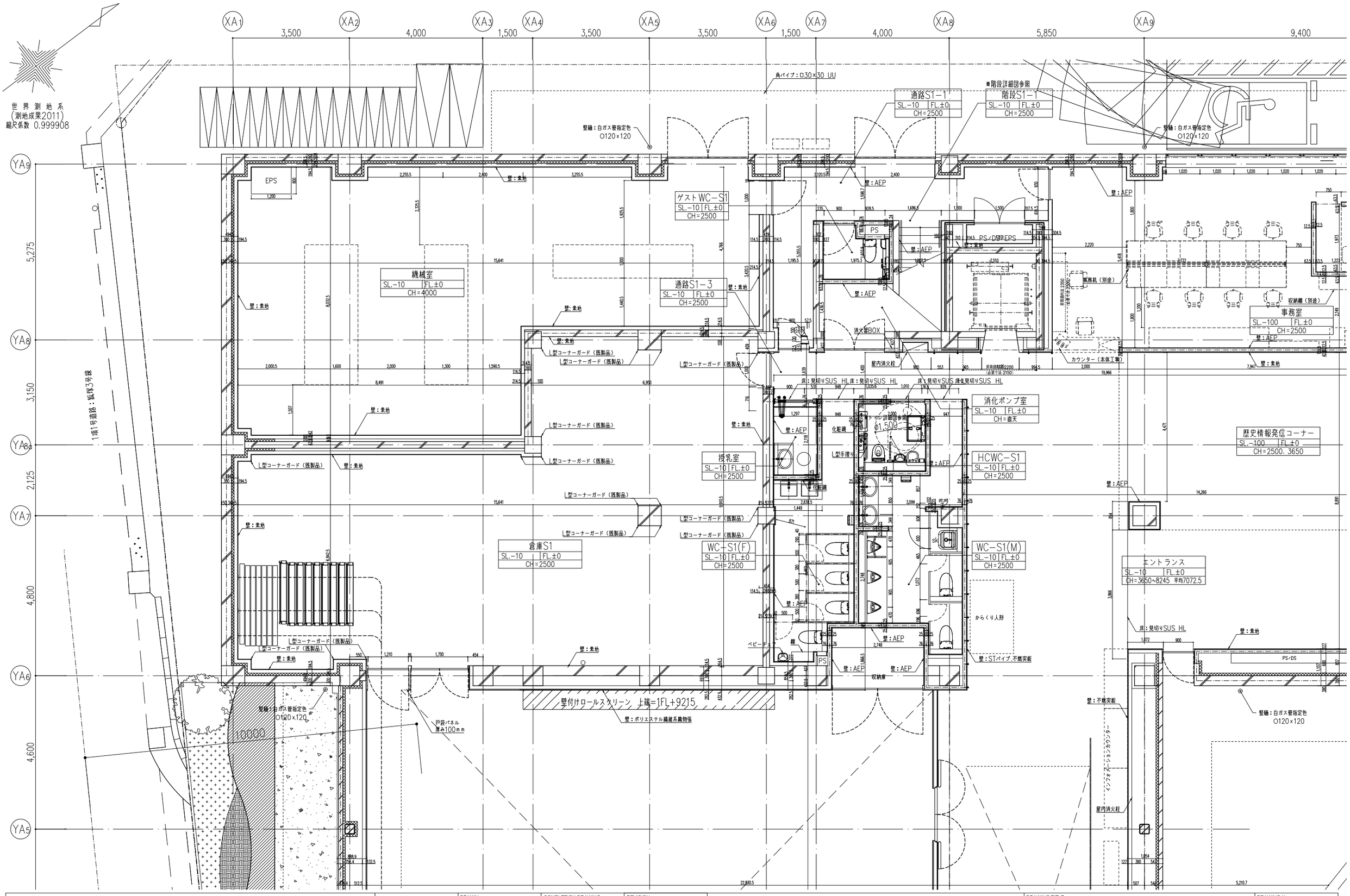
記号	仕様		
①	母屋兼用吸音断熱直天井 AEP（灰色）		間接照明ボックス：MDF EP
②	GB−R t12.5 AEP		ブラインドボックス：St製
③	GB−R t12.5 GWマット		スクリーンボックス
④	GB−R t21+21 GWマット		可動防煙垂れ壁
⑤	直天井 素地		ピクチャーレール
⑥	直天井 GWマット直貼り		ライティングレール
⑦	ケイカル板t6 AEP		カーテンレール
		Ⓐ	点検口（600x600）枠：FB見切り
		Ⓑ	点検口（600x600）枠：曲げ加工
		Ⓒ	点検口（450x450）枠：FB見切り

LR ライティングレール

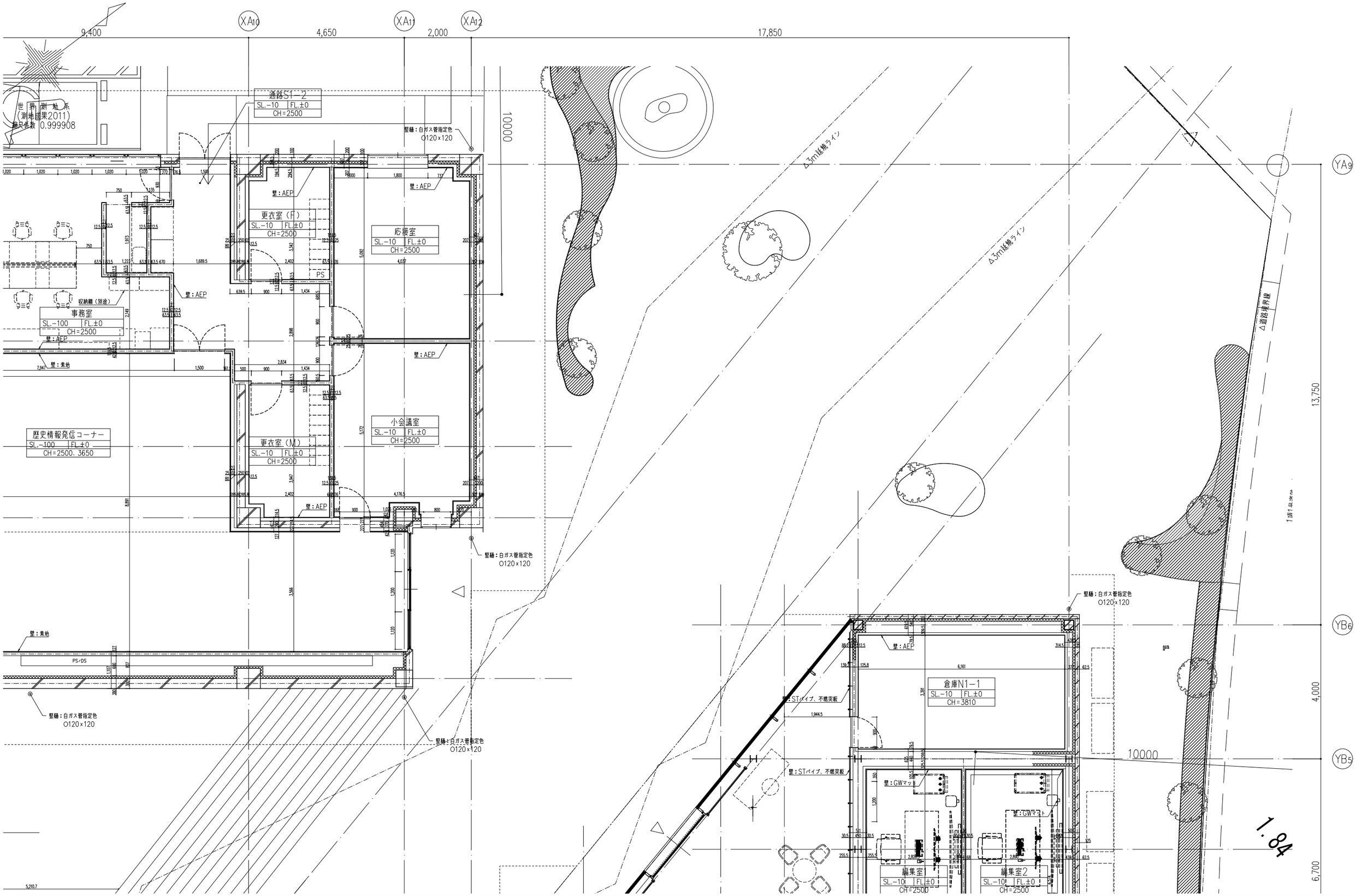


世界測地系
（測地成果2011）
縮尺係数 0.999908

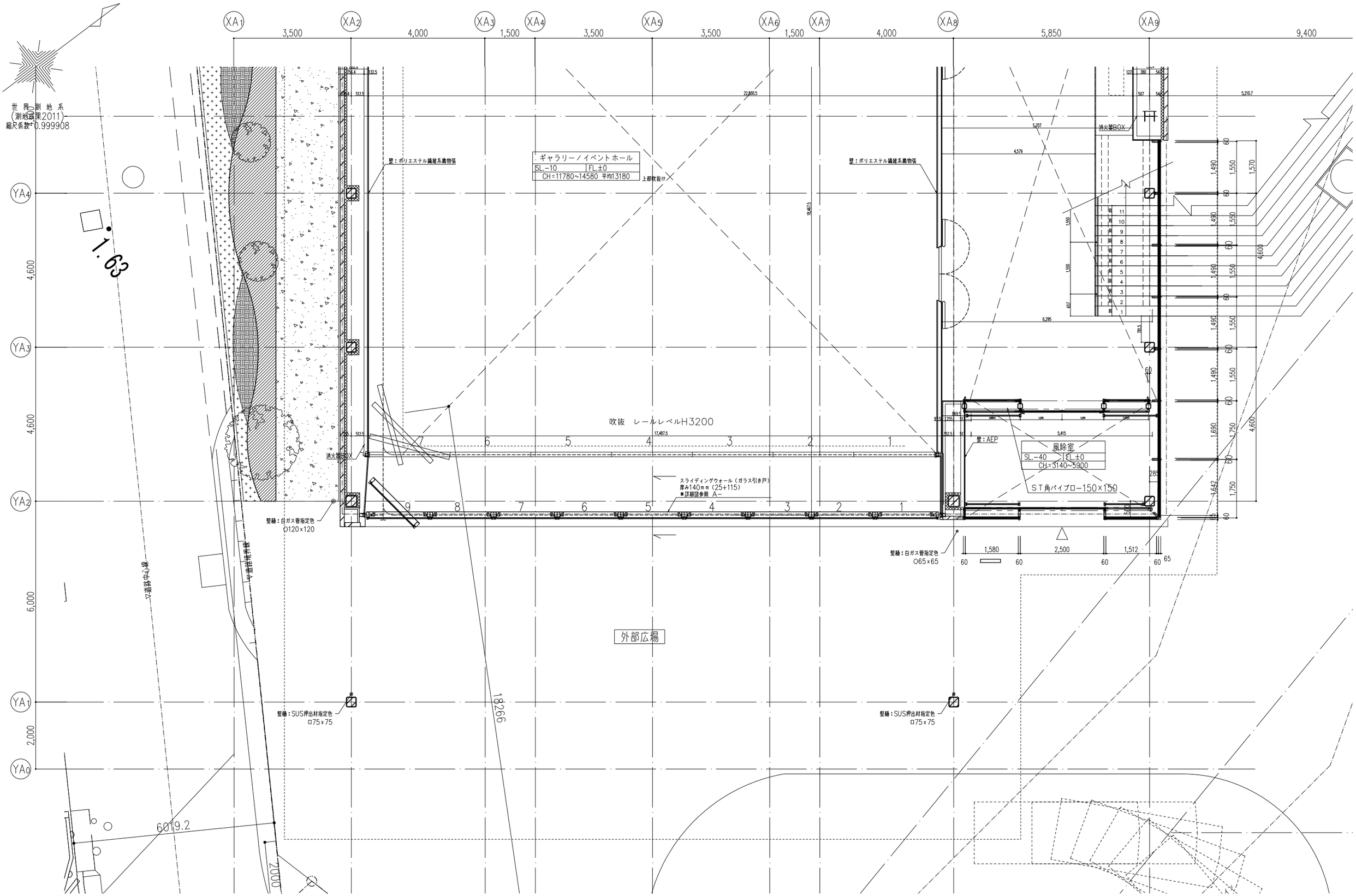
KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 天井伏図（2階） SCALE scale=1:200	DRAWING No. AA−036 DATE 2023/11/30



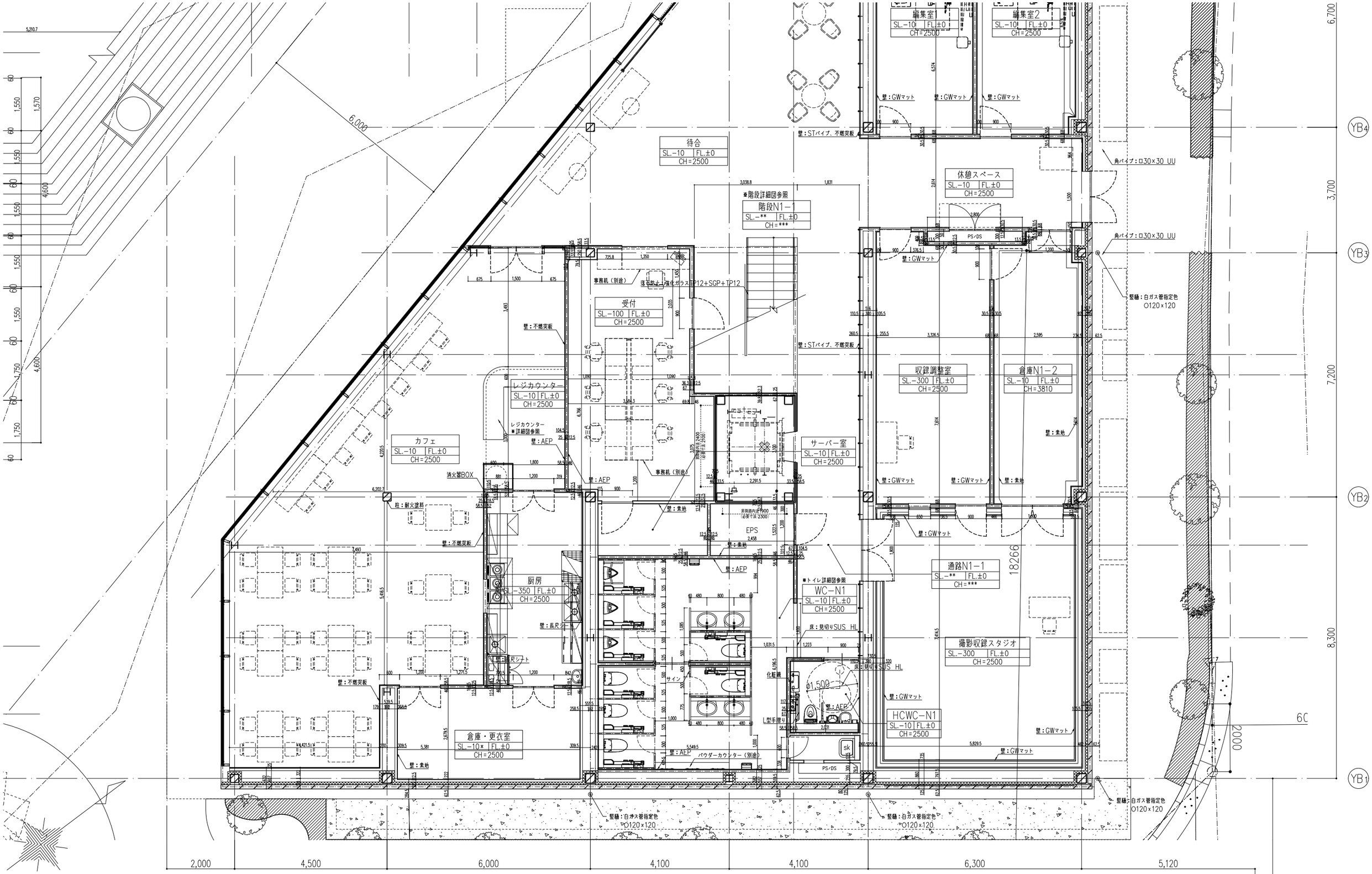
KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 平面詳細図（1階-1） SCALE scale=1:100	DRAWING No. AA-037 DATE 2023/11/30



KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 平面詳細図（1階-2） SCALE scale=1:100	DRAWING No. AA-038 DATE 2023/11/30



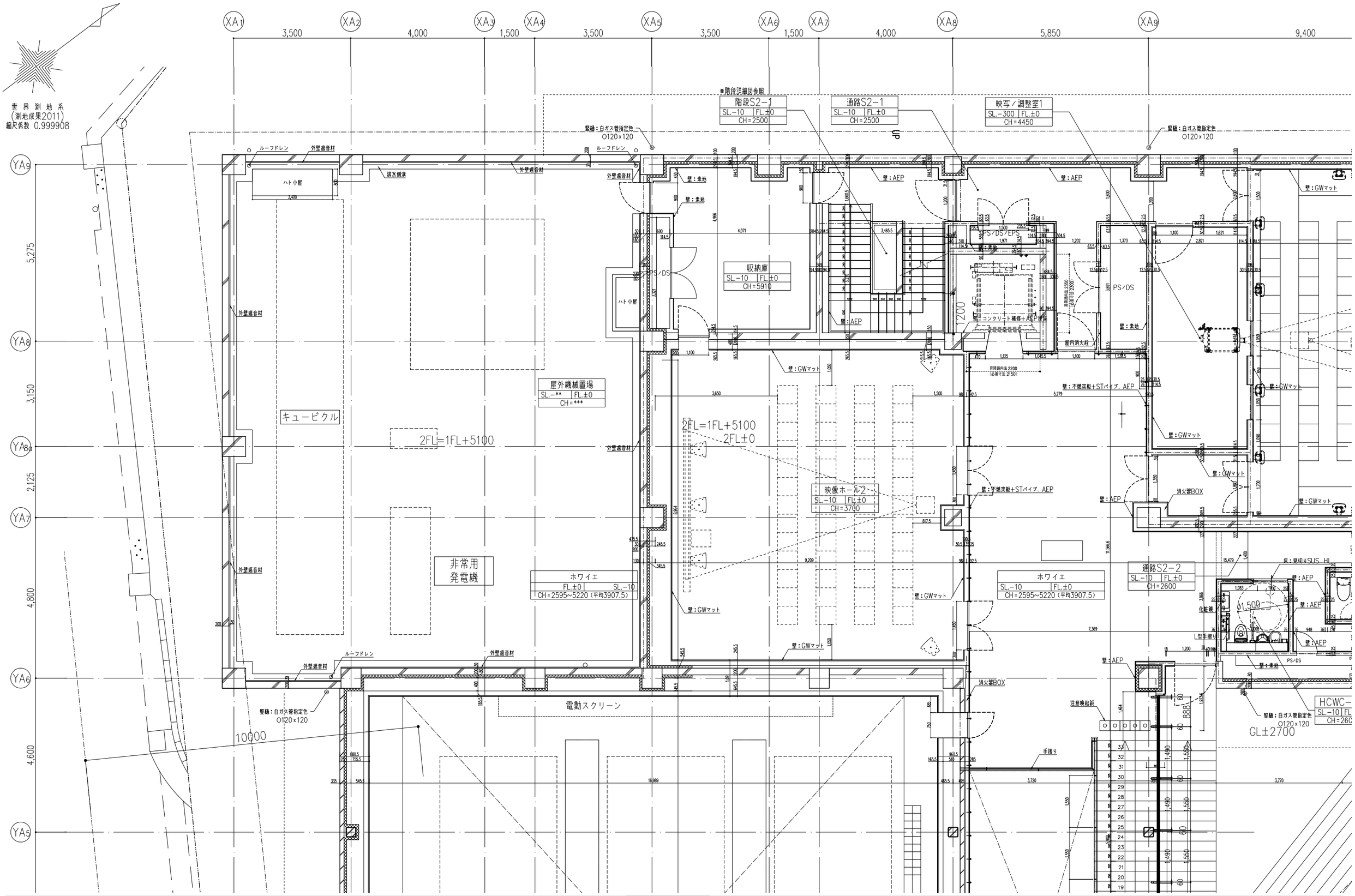
KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 平面詳細図（1階−3） SCALE scale=1:100	DRAWING No. AA−039 DATE 2023/11/30



世界測地系
(測地成果2011)
縮尺係数 0.999908

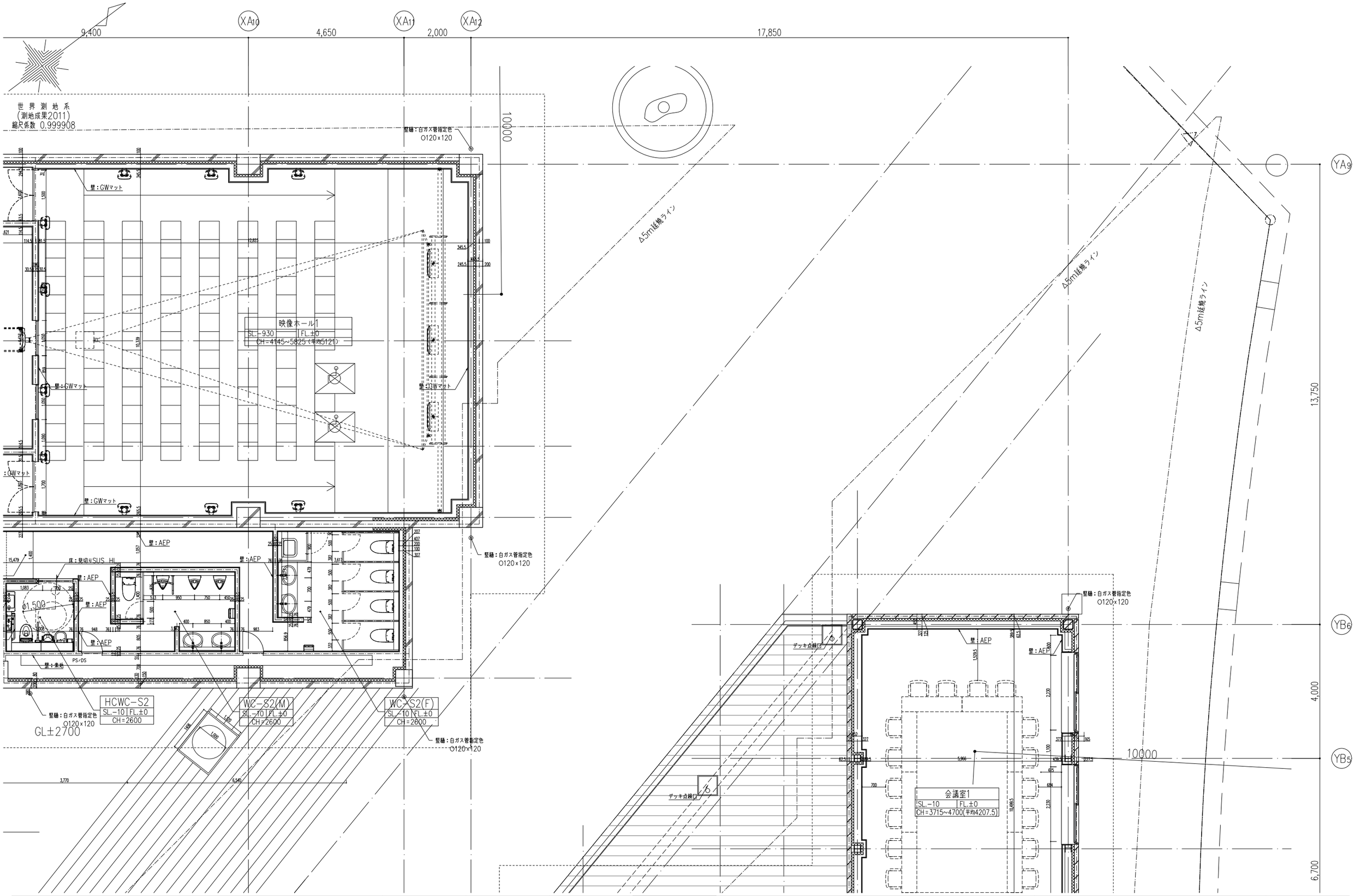
KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事

DRAWING TITLE	平面詳細図（1階-4）
SCALE	scale=1:100
DRAWING No.	AA-040
DATE	2023/11/30

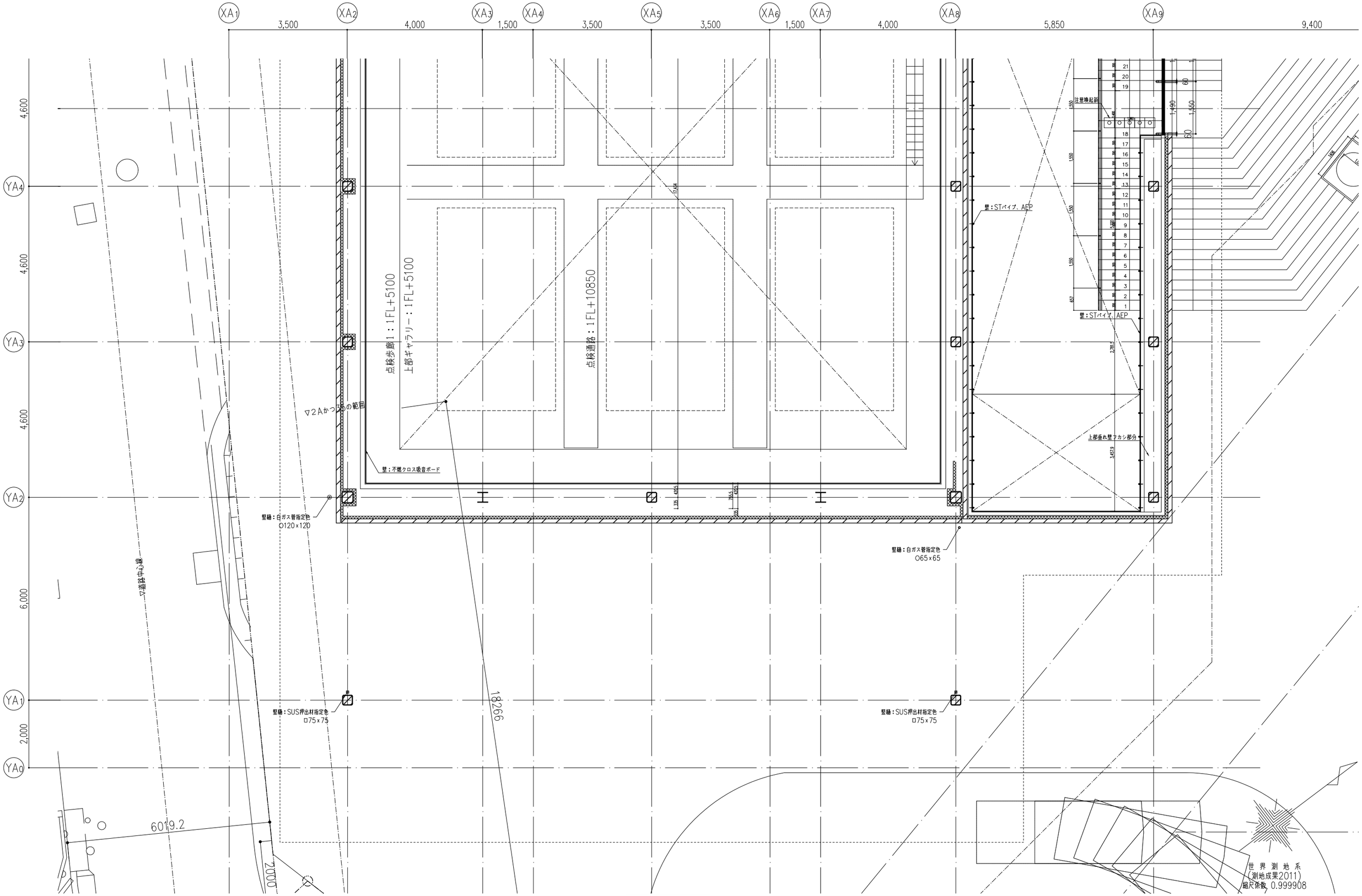


KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事

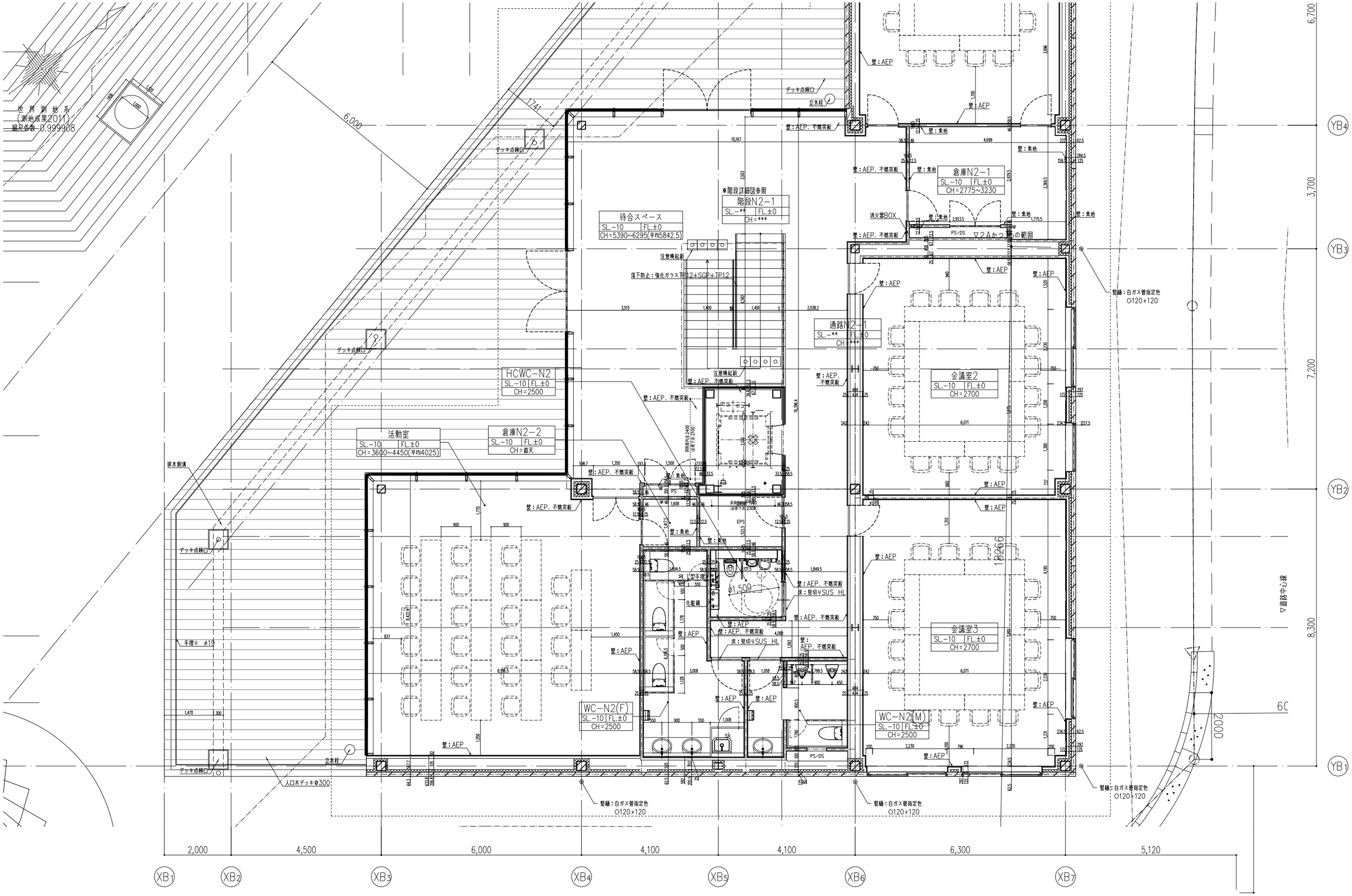
DRAWING TITLE	DRAWING No.
平面詳細図（2階−1）	AA−041
SCALE: scale=1:100	DATE: 2023/11/30



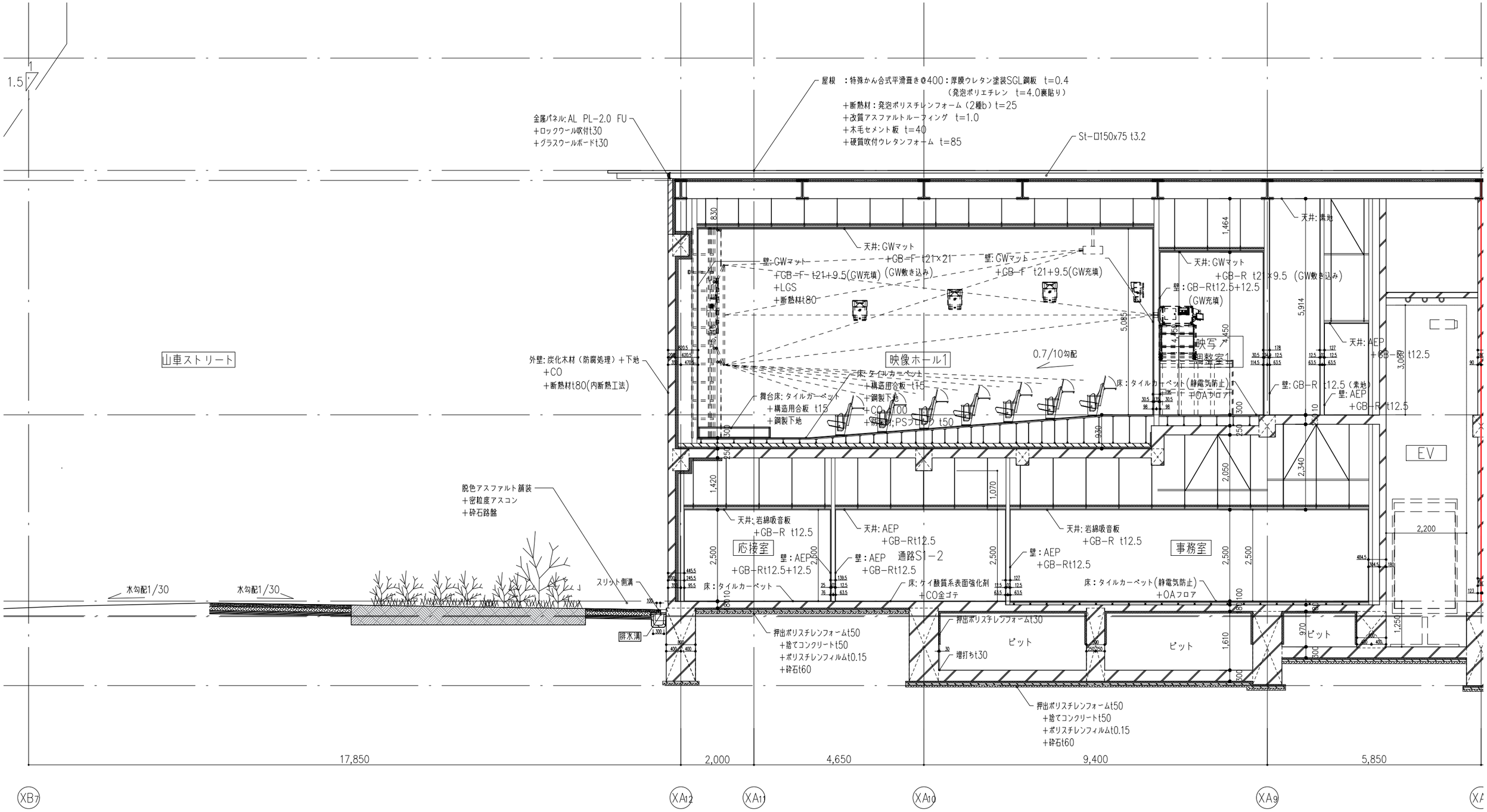
KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 平面詳細図（2階-2） SCALE scale=1:100	DRAWING No. AA-042 DATE 2023/11/30



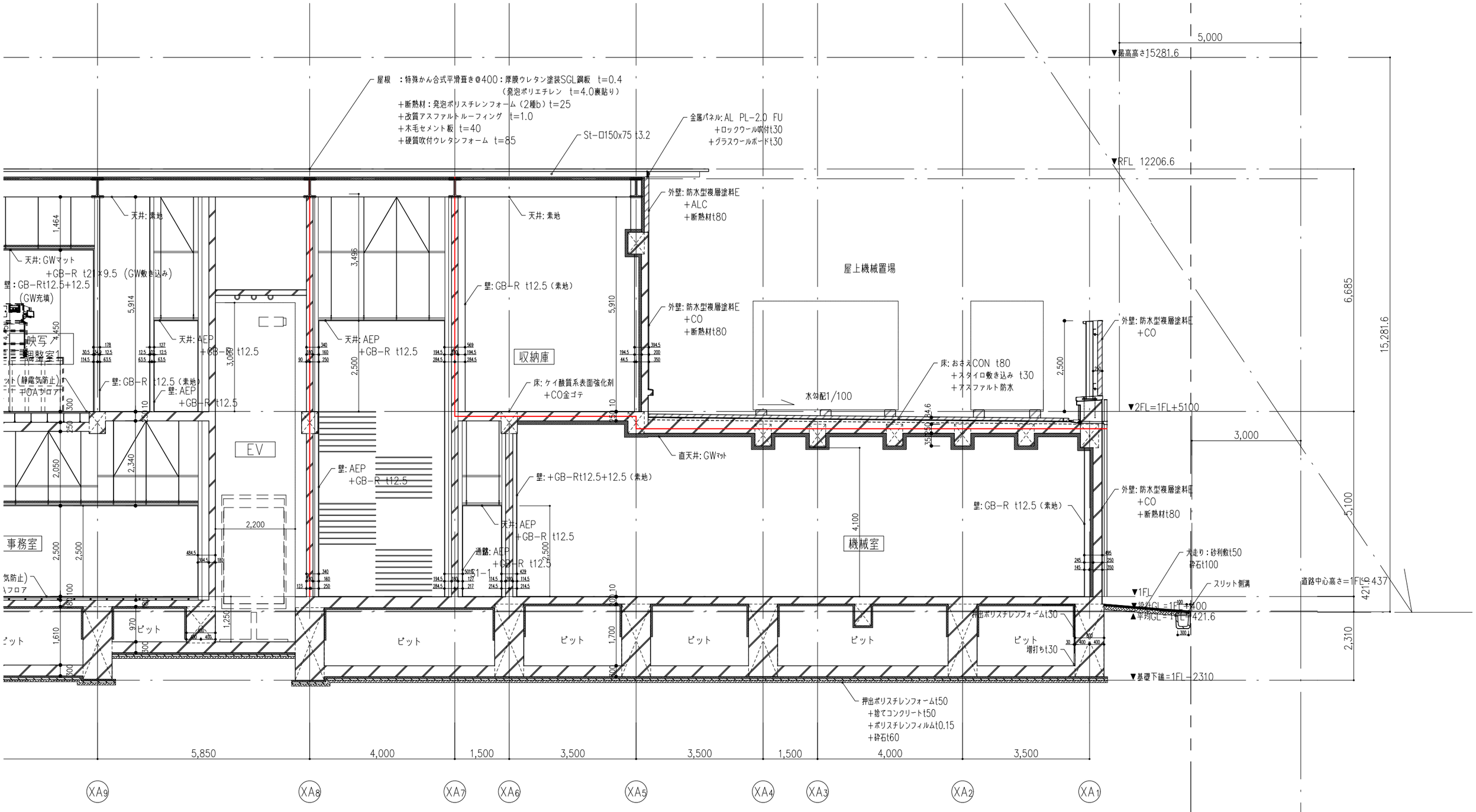
KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 平面詳細図（2階-3） SCALE scale=1:100	DRAWING No. AA-043 DATE 2023/11/30



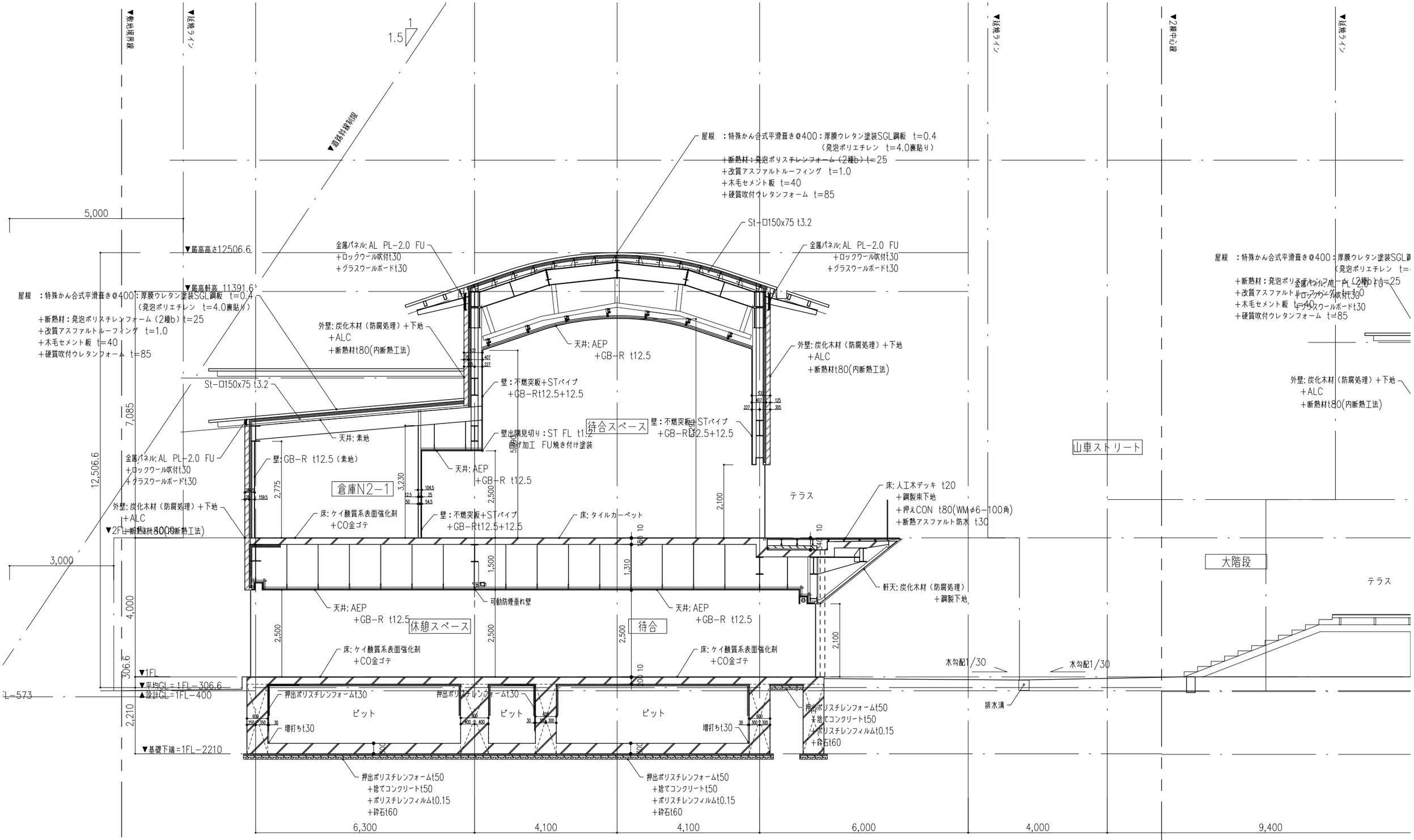
KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 平面詳細図（2階-4） SCALE scale=1:100	DRAWING No. AA-044 DATE 2023/11/30



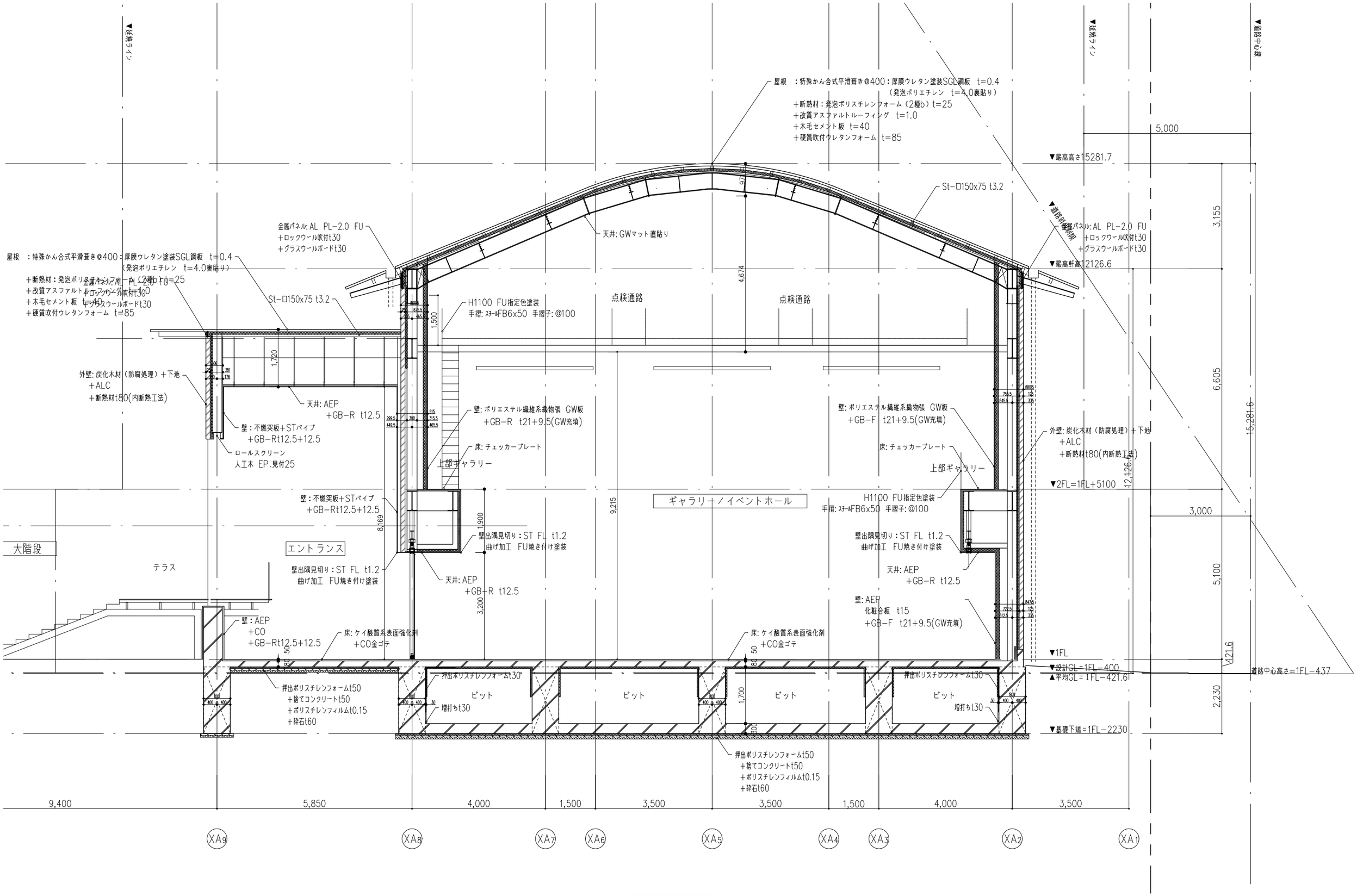
KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 矩計図 1 SCALE scale=1:100	DRAWING No. AA-045 DATE 2023/11/30



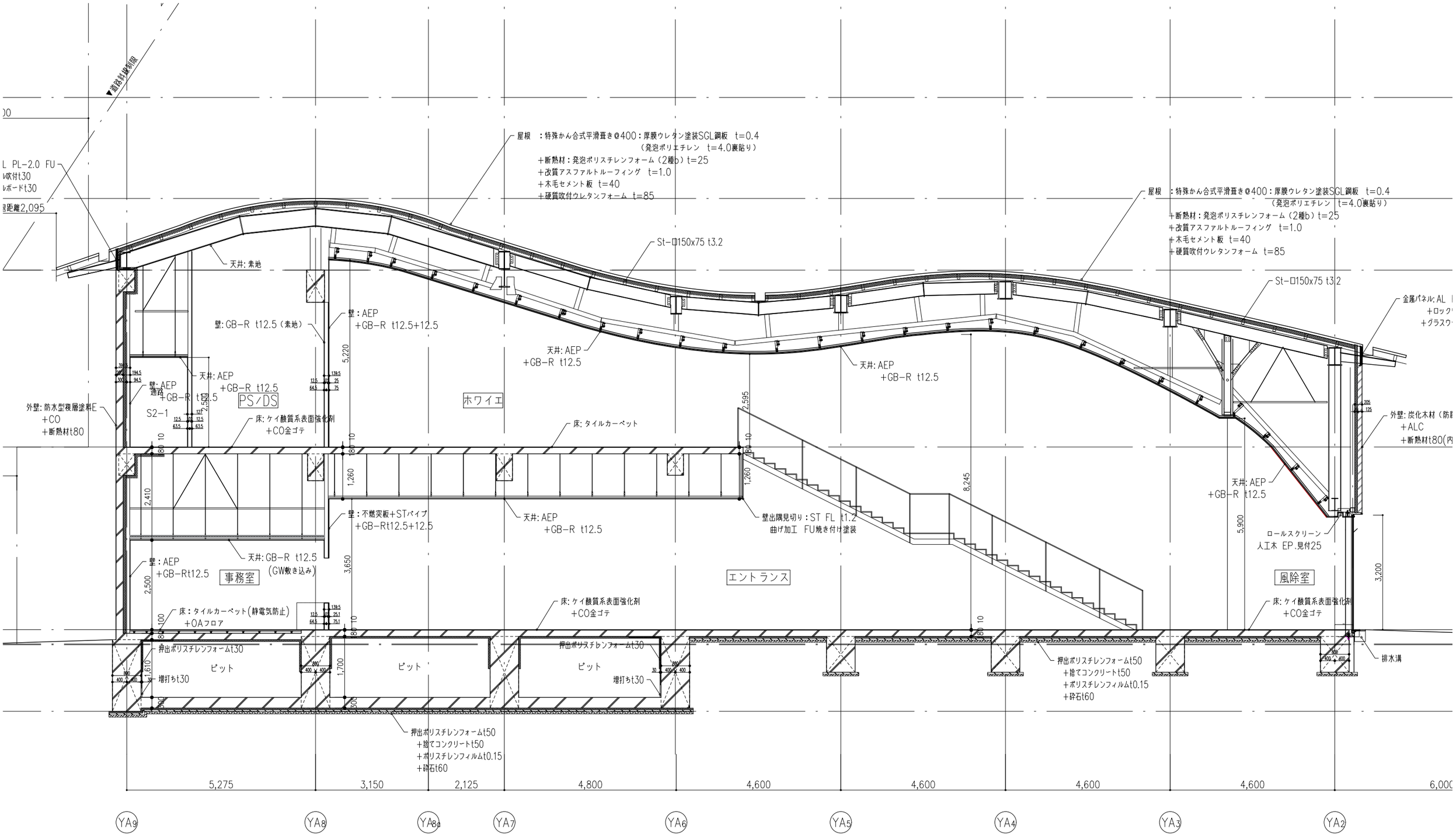
KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 矩計図２ SCALE scale=1:100	DRAWING No. AA-046 DATE 2023/11/30



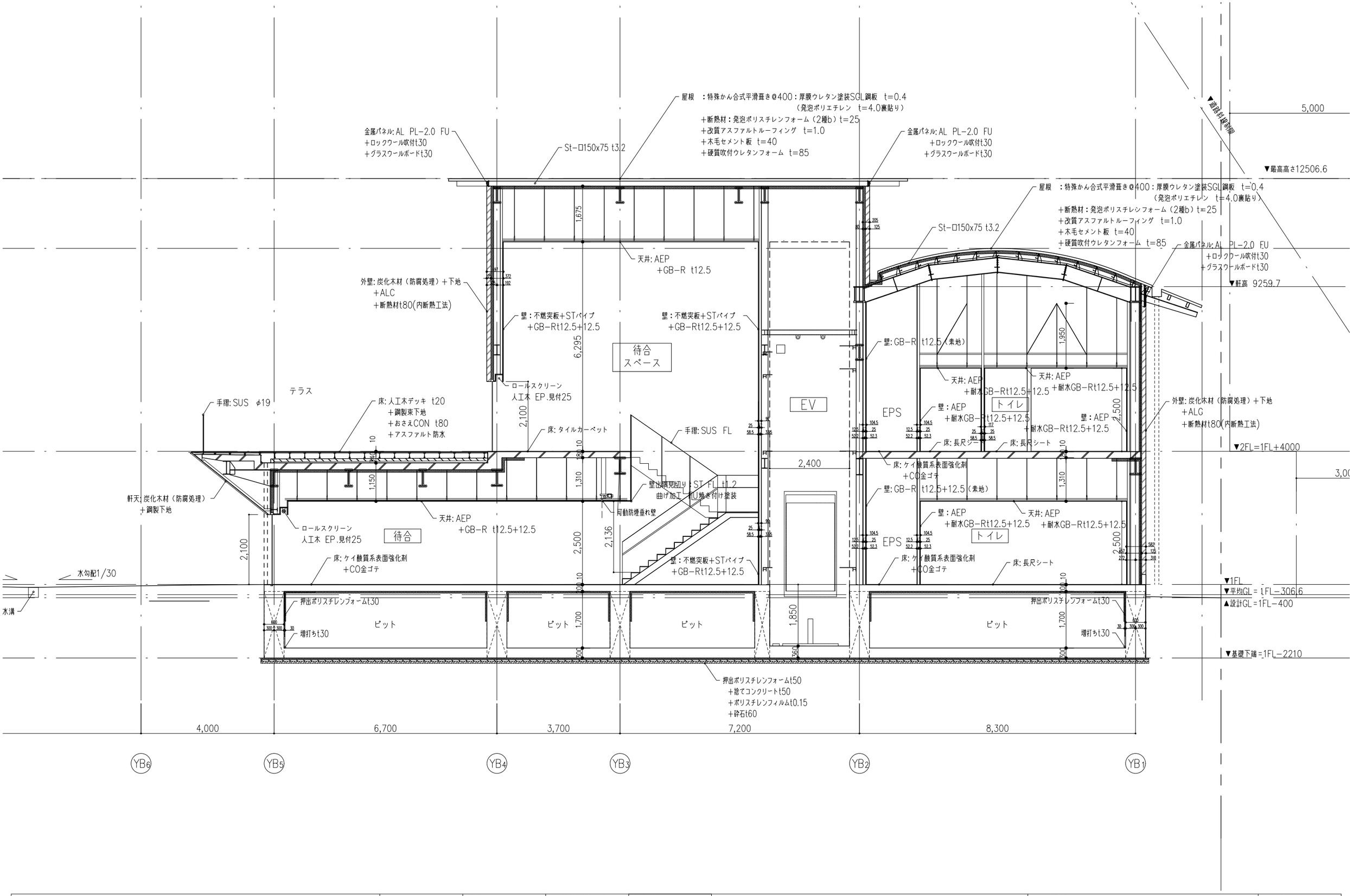
KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 矩計図 3 SCALE scale=1:100	DRAWING No. AA-047 DATE 2023/11/30



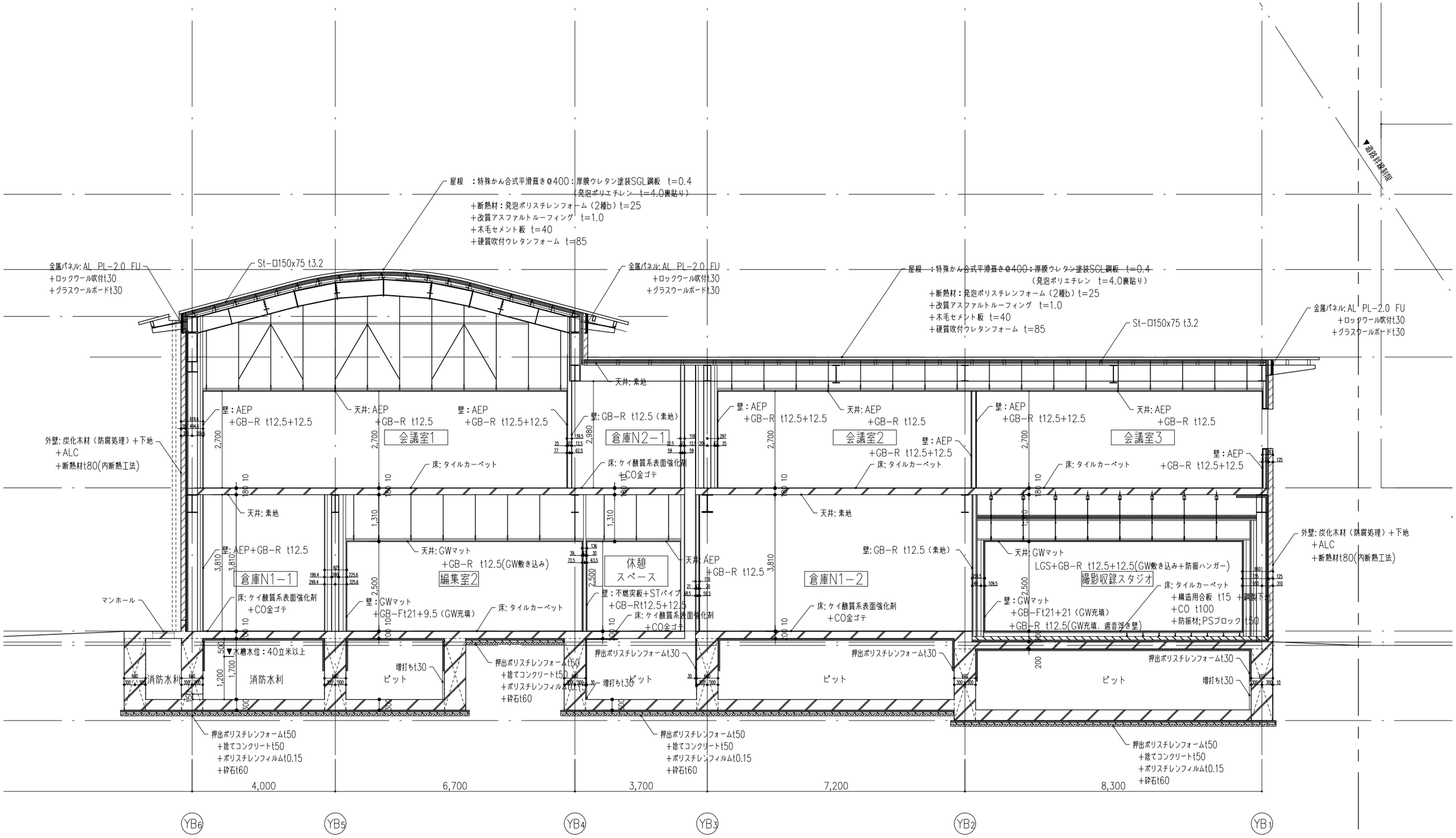
KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 矩計図 4 SCALE scale=1:100	DRAWING No. AA-048 DATE 2023/11/30



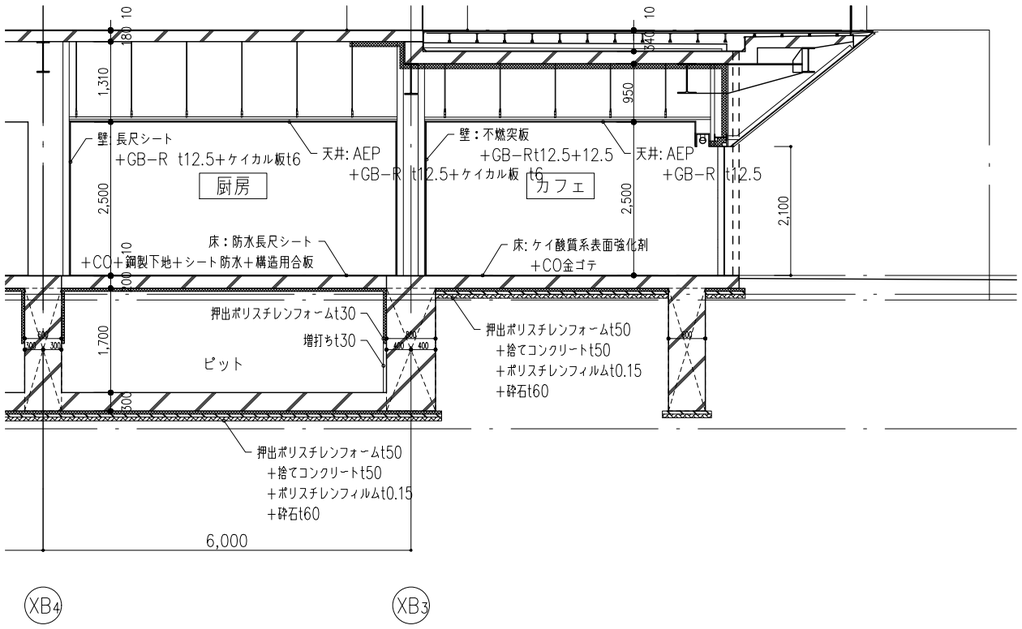
KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 矩計図 5 SCALE scale=1:100	DRAWING No. AA-049 DATE 2023/11/30

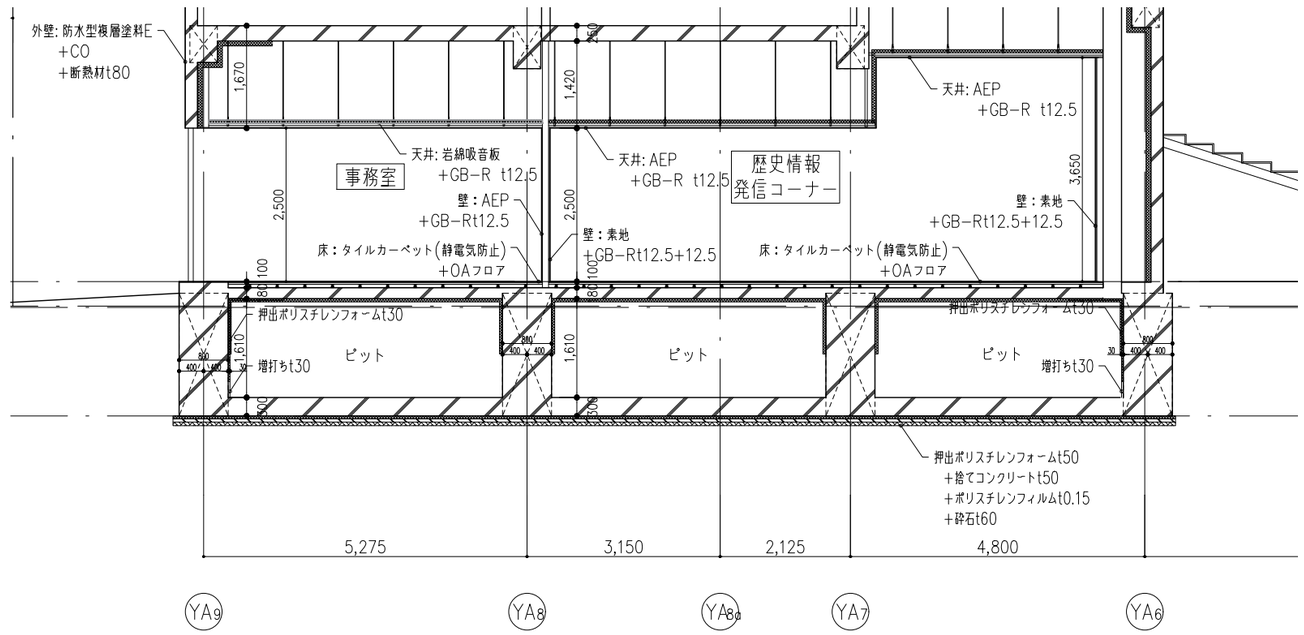


KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 矩計図 6 SCALE scale=1:100	DRAWING No. AA-050 DATE 2023/11/30



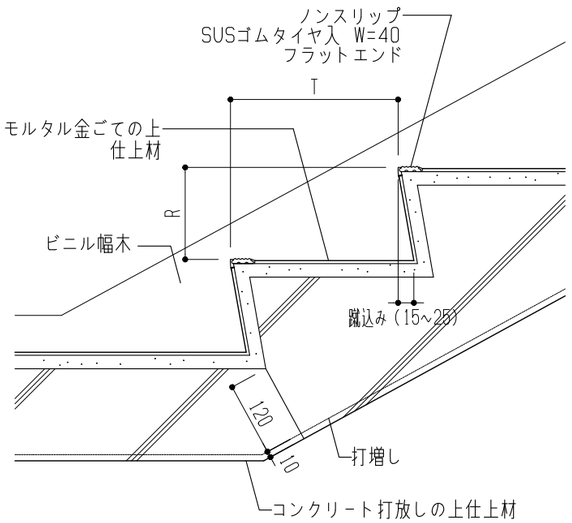
KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所　東京都知事登録第 32752　号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 矩計図 7 SCALE scale=1:100	DRAWING No. AA-051 DATE 2023/11/30



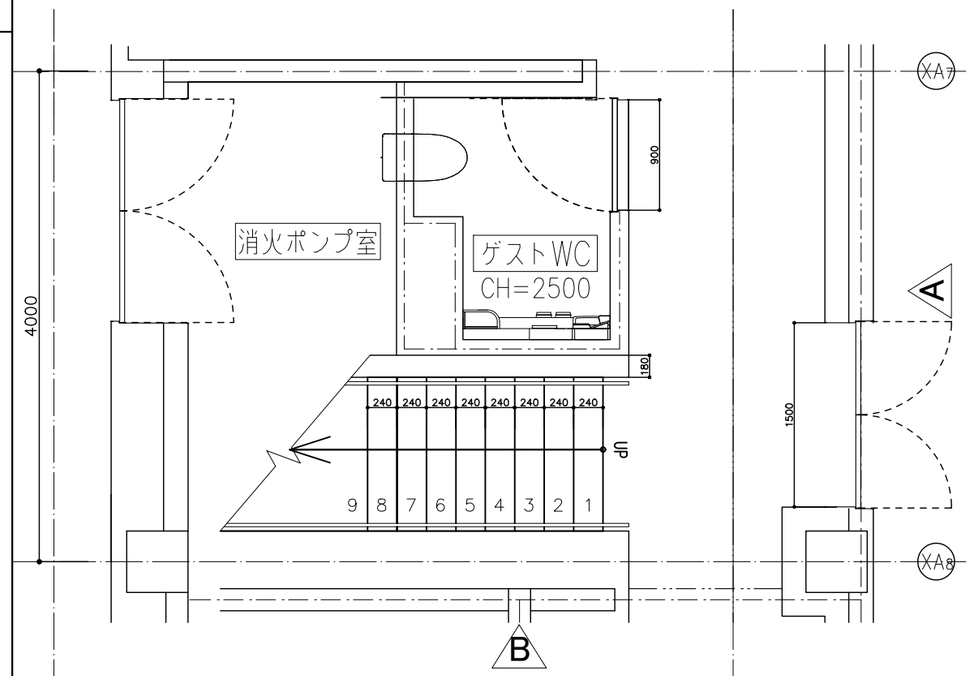


KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 矩計図8 SCALE scale=1:100	DRAWING No. AA-051-2 DATE 2023/11/30

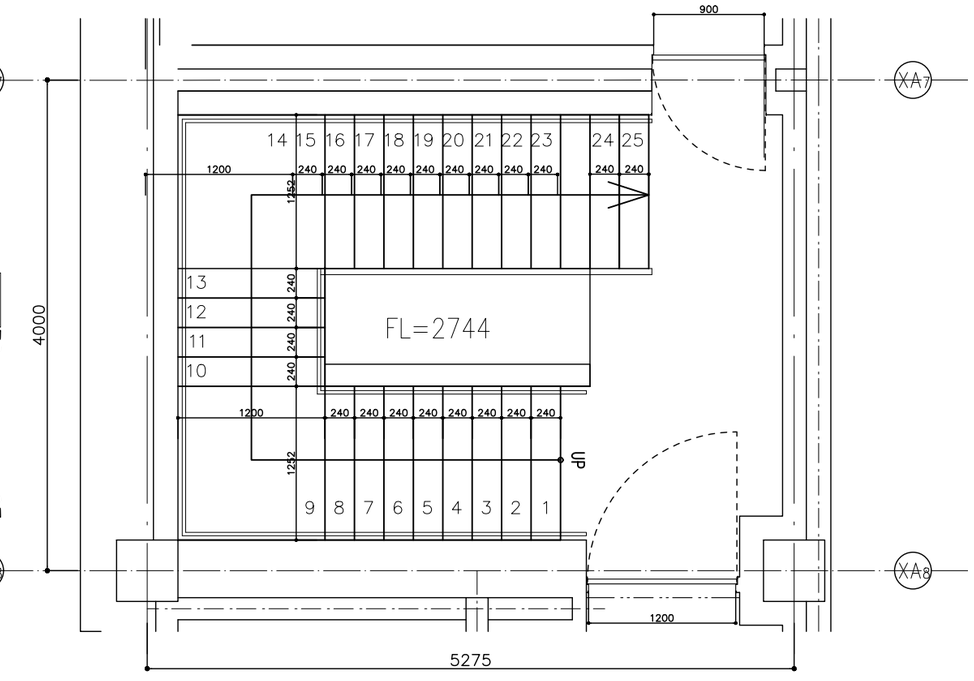
内部コンクリート階段



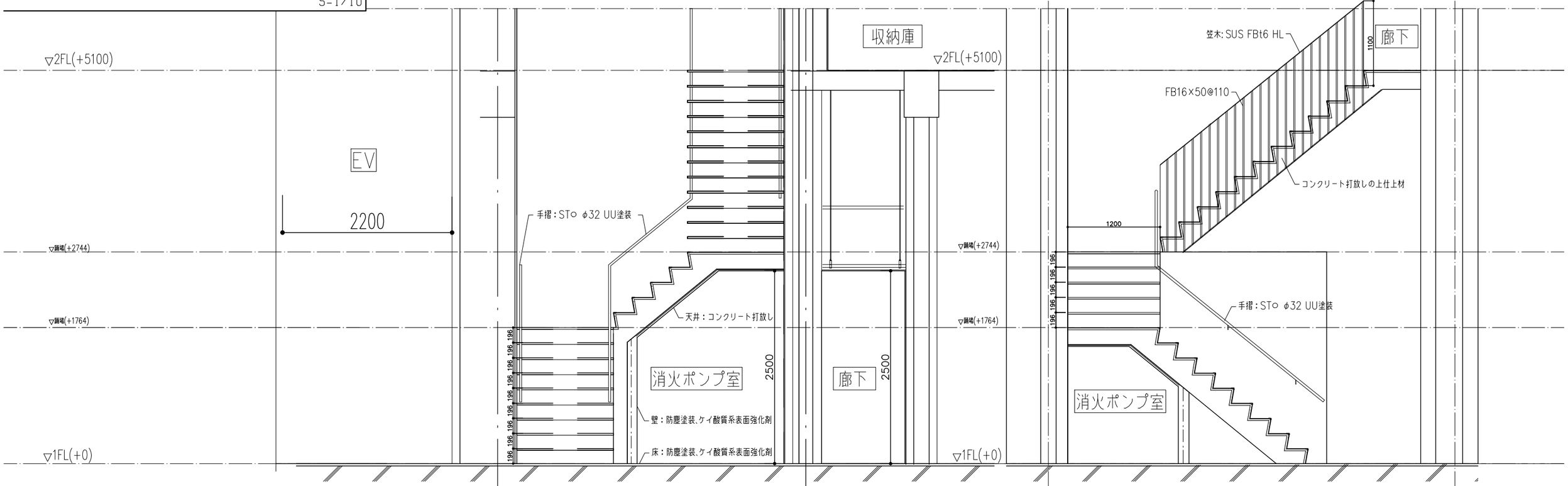
S=1/10



南棟階段室　1階平面図



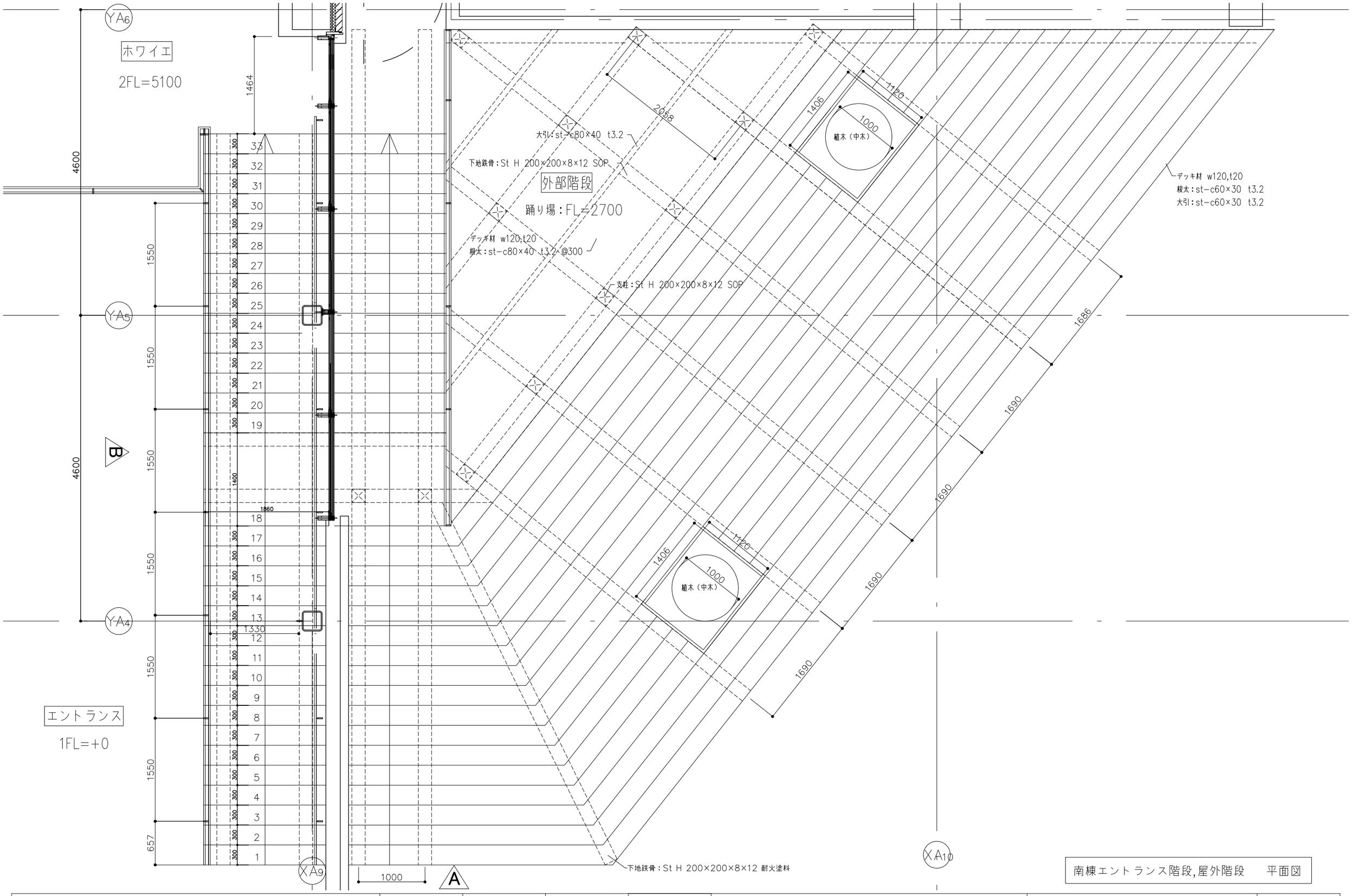
南棟階段室　2階平面図



南棟階段室　A断面図

南棟階段室　B断面図

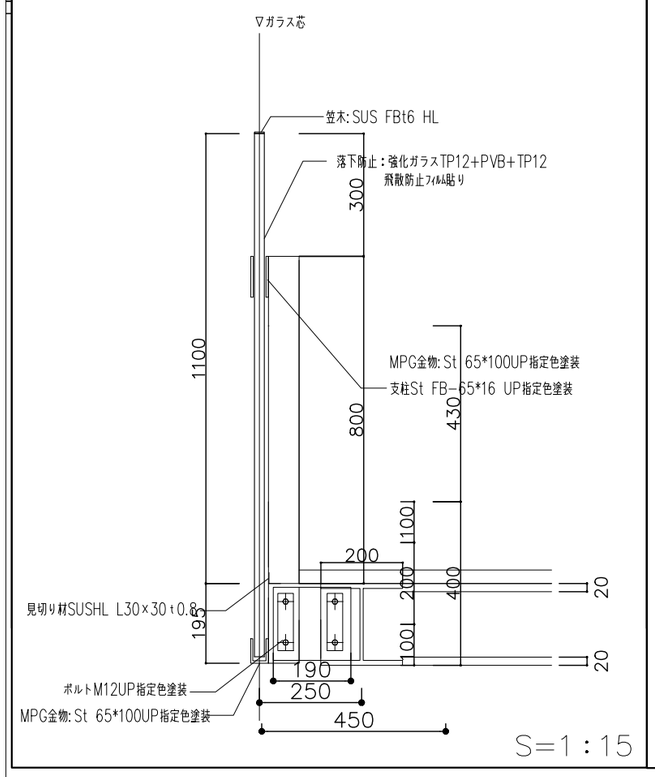
KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 階段詳細図（1） SCALE scale=1:50	DRAWING No. AA-052 DATE 2023/11/30



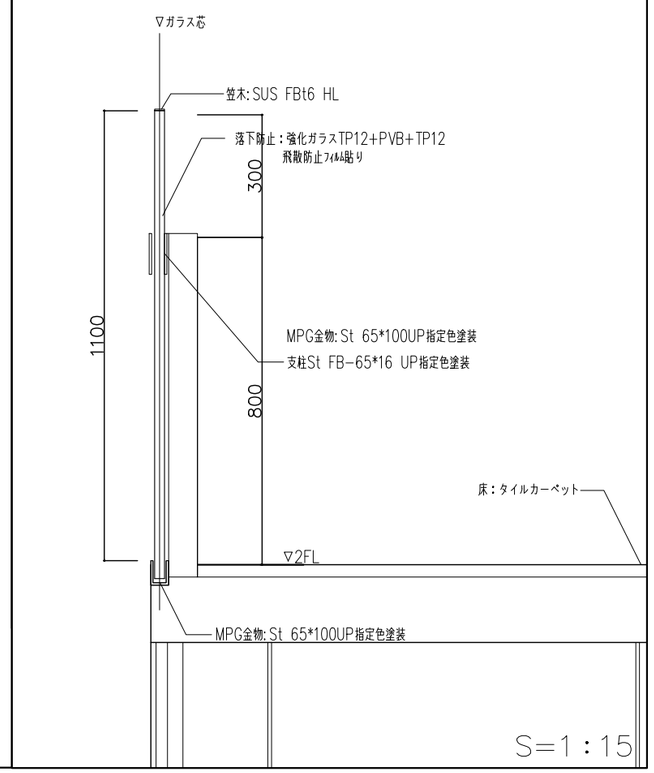
南棟エントランス階段,屋外階段　平面図

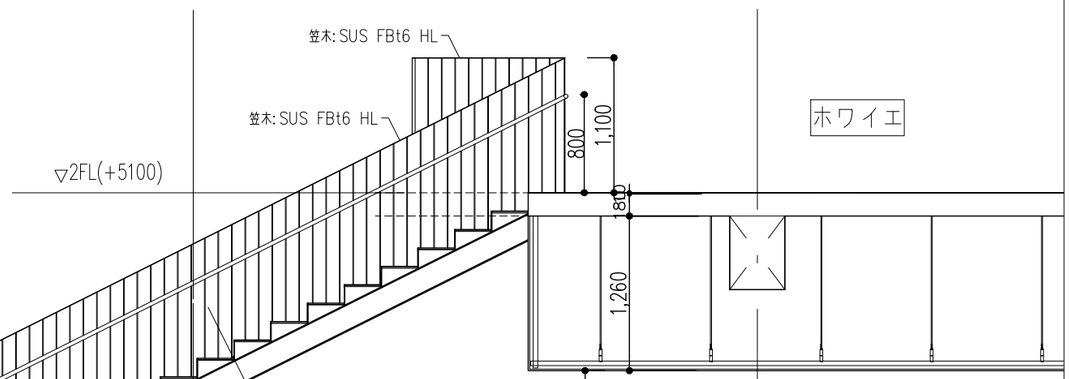
KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 階段詳細図（2）	DRAWING No. AA−053
						SCALE scale=1:50	DATE 2023/11/30

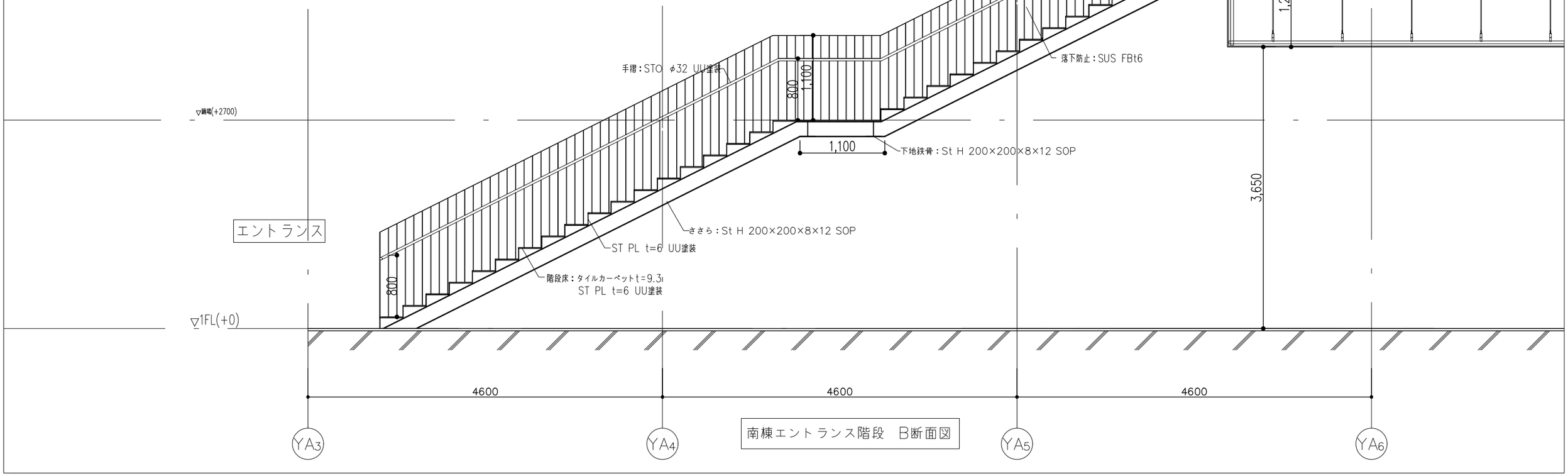
内部階段手摺　詳細断面



2階手摺　詳細断面



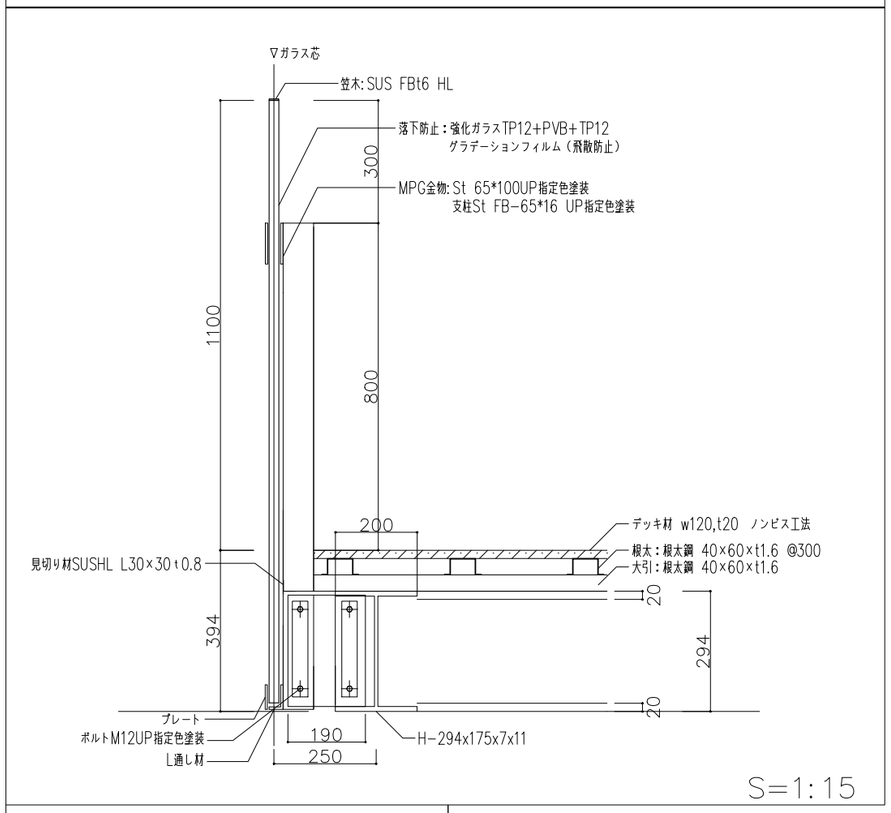


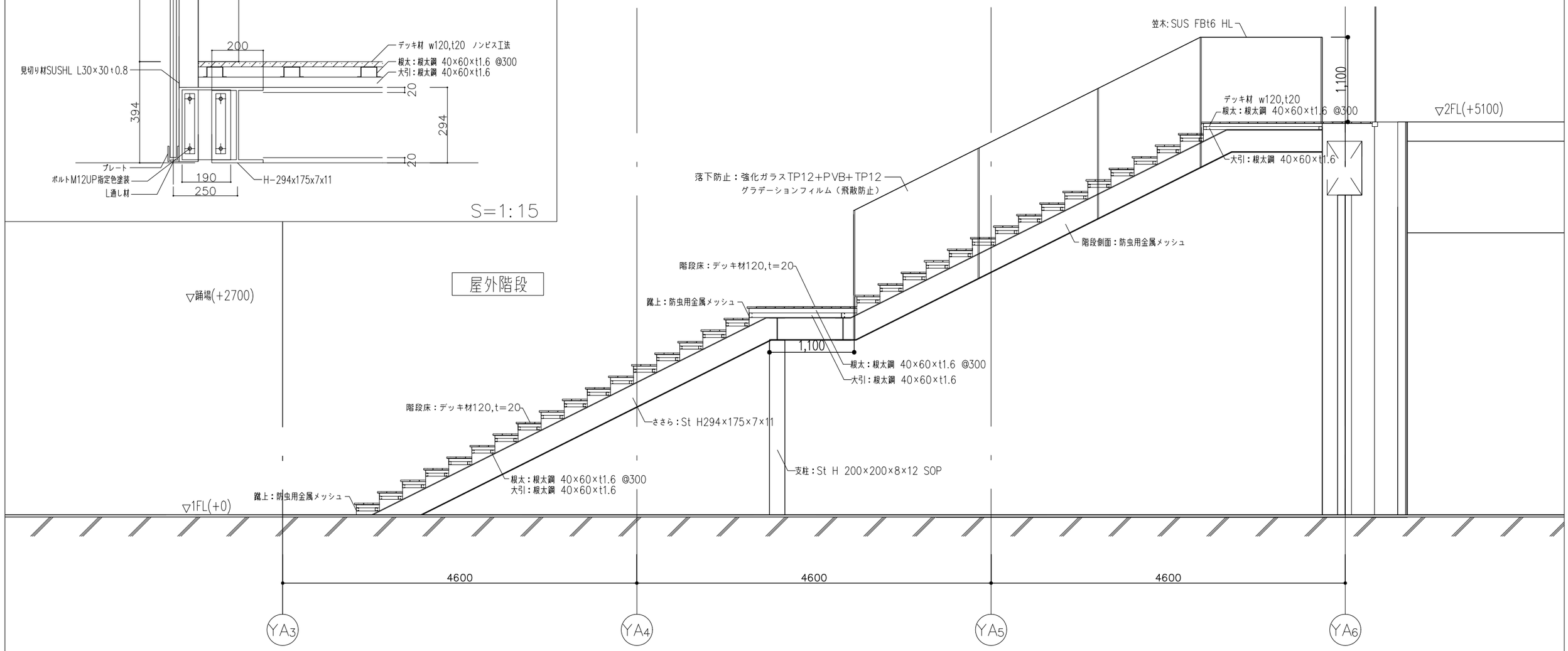


南棟エントランス階段　B断面図

KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 階段詳細図（3） SCALE scale=1:50	DRAWING No. AA-054 DATE 2023/11/30

外部階段手摺　詳細断面

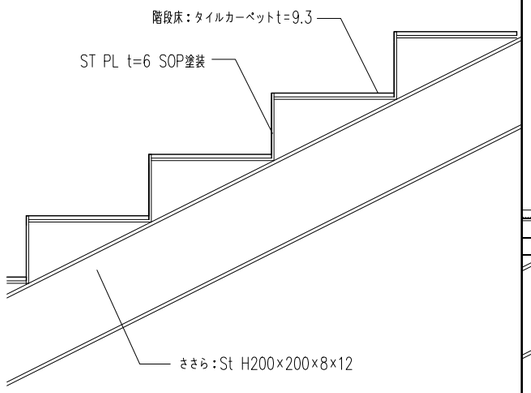




南棟屋外階段　B断面図

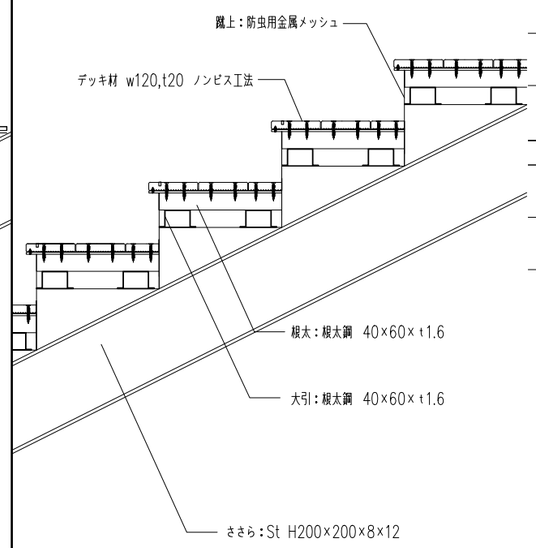
KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 階段詳細図（4） SCALE scale=1:50	DRAWING No. AA-055 DATE 2023/11/30

内部鉄骨階段詳細図



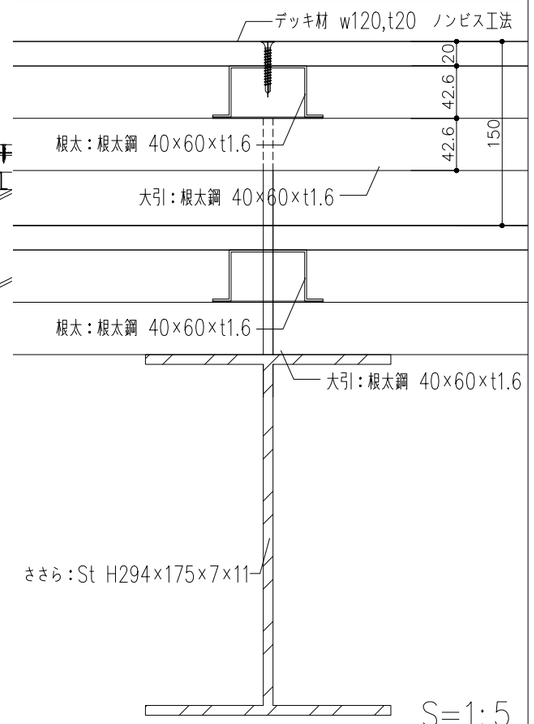
S=1：15

外部階段詳細図　断面

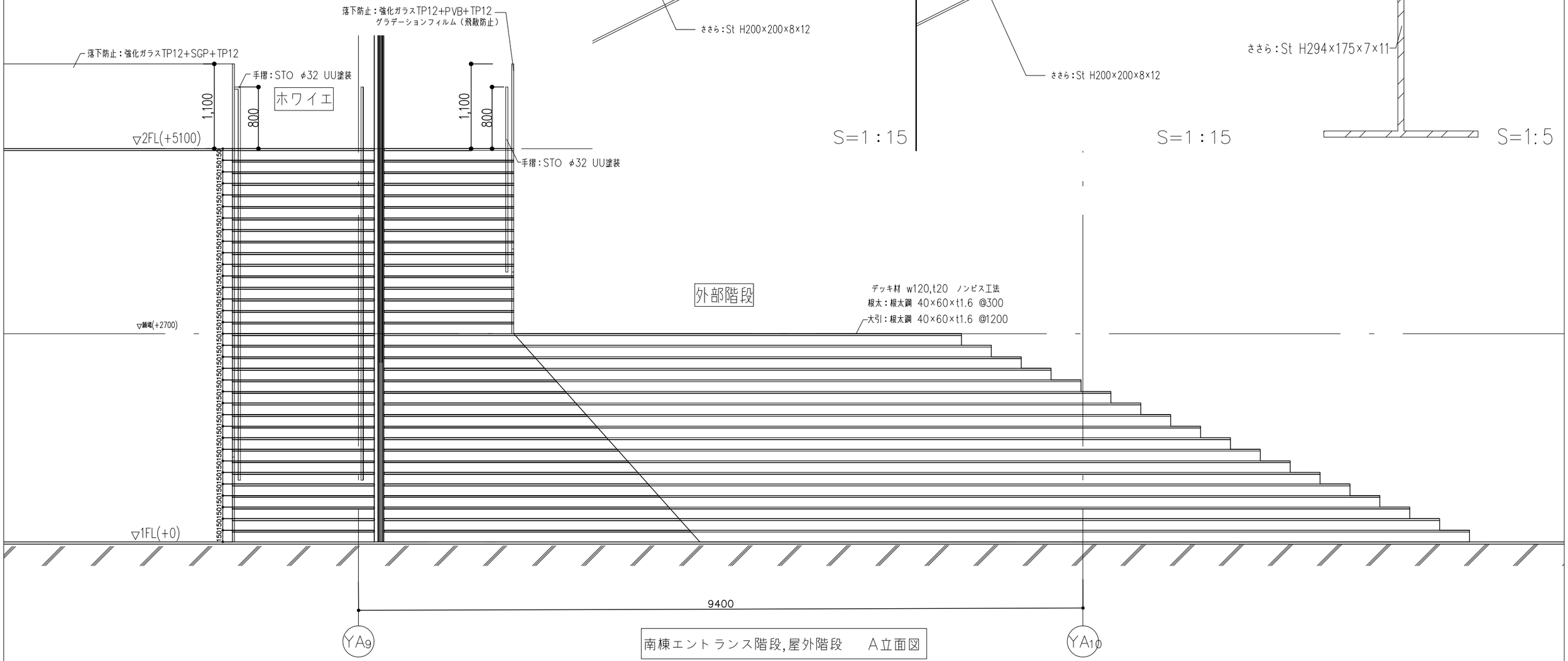


S=1：15

外部階段詳細図

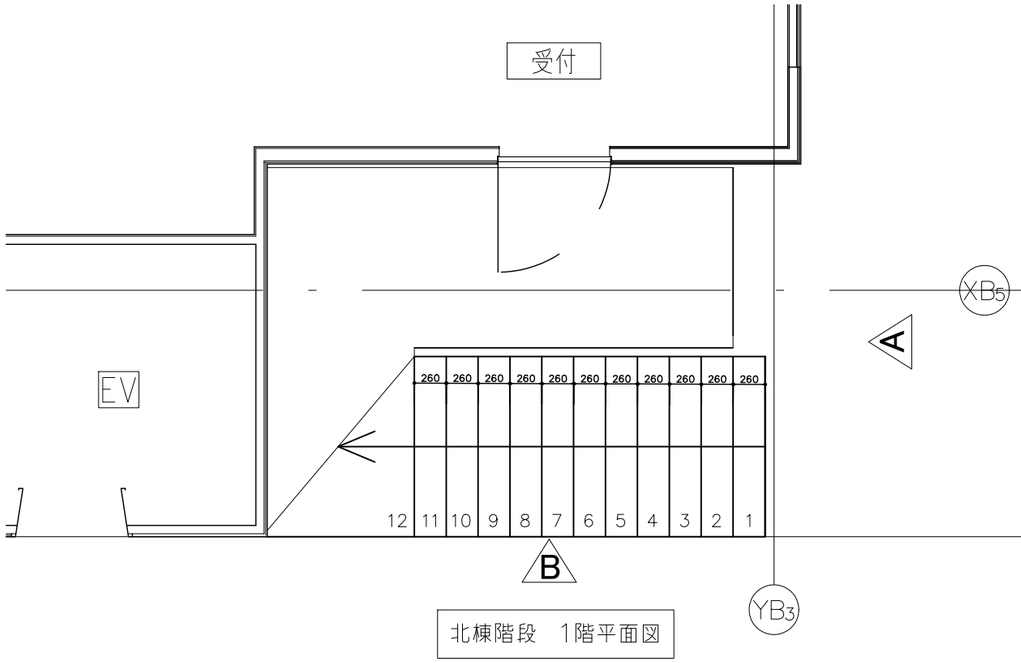


S=1:5

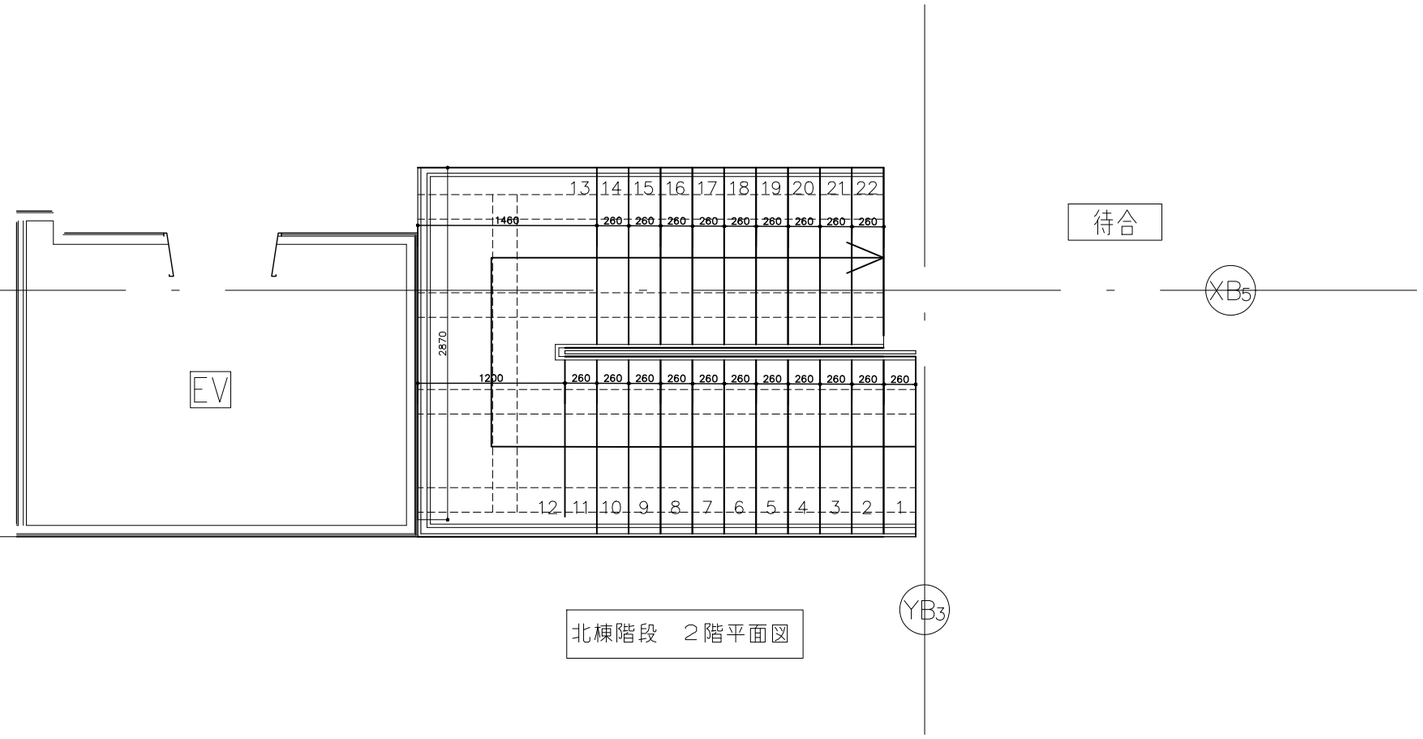


南棟エントランス階段,屋外階段　A立面図

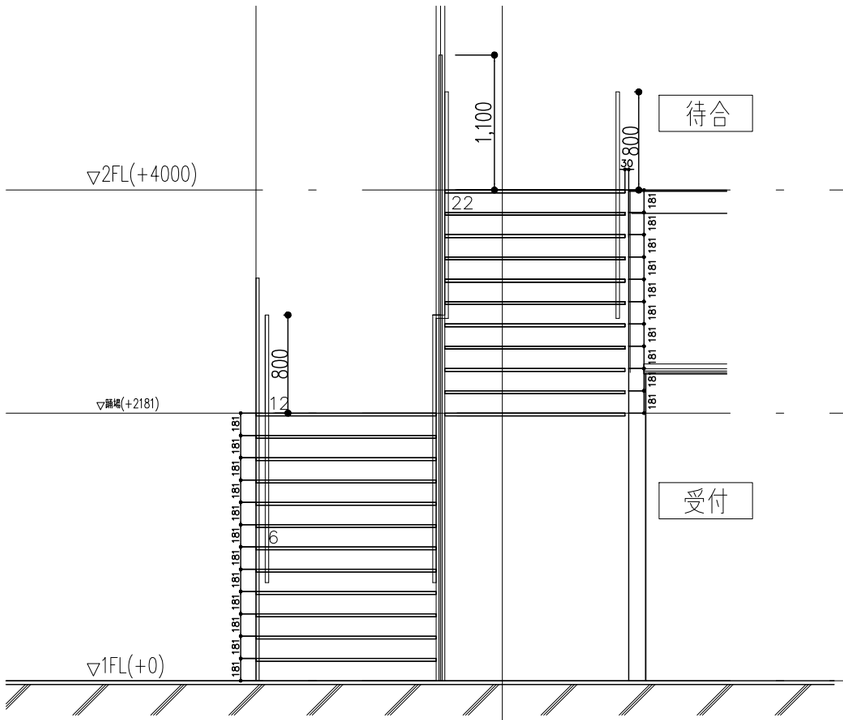
KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 階段詳細図（5） SCALE scale=1:50	DRAWING No. AA-056-1 DATE 2023/11/30



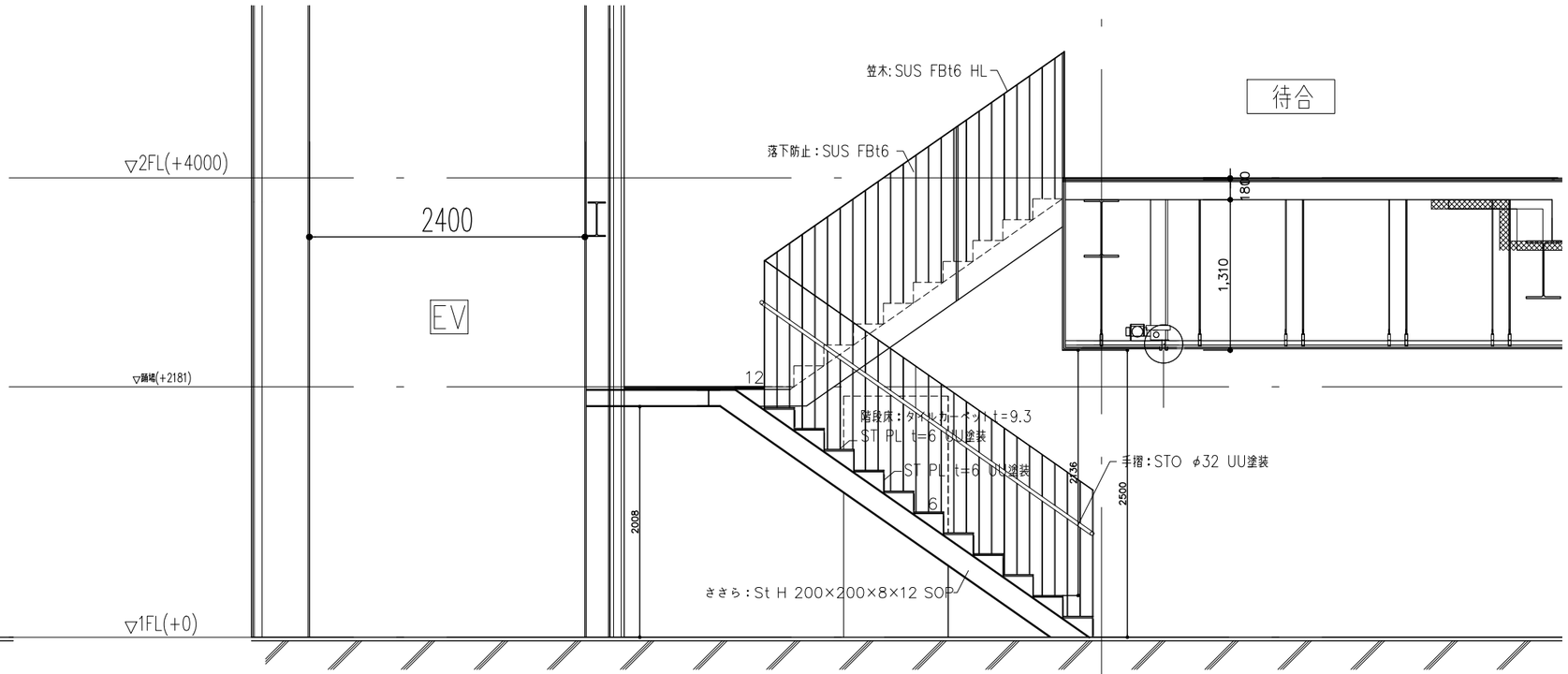
北棟階段　1階平面図



北棟階段　２階平面図

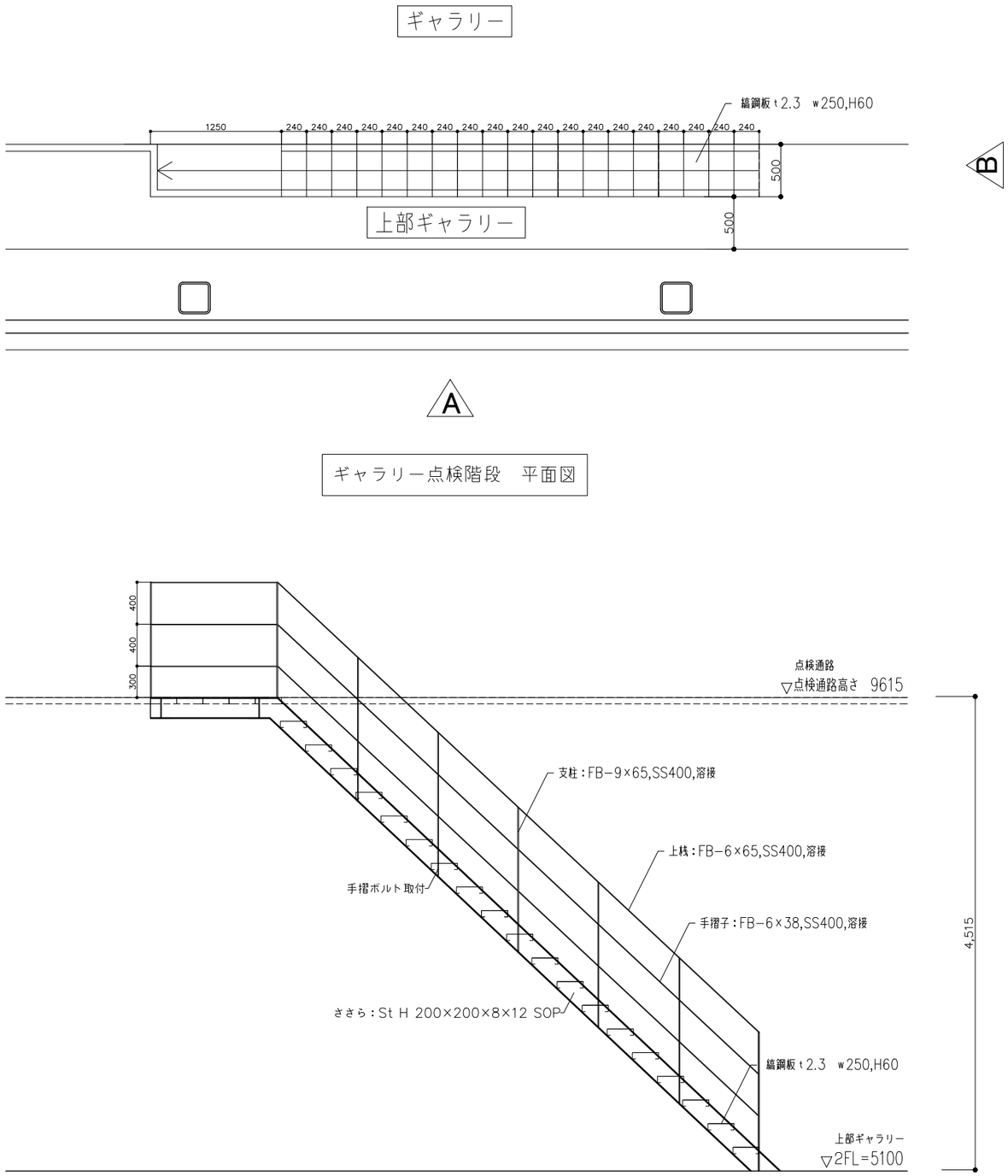


北棟階段　A立面図



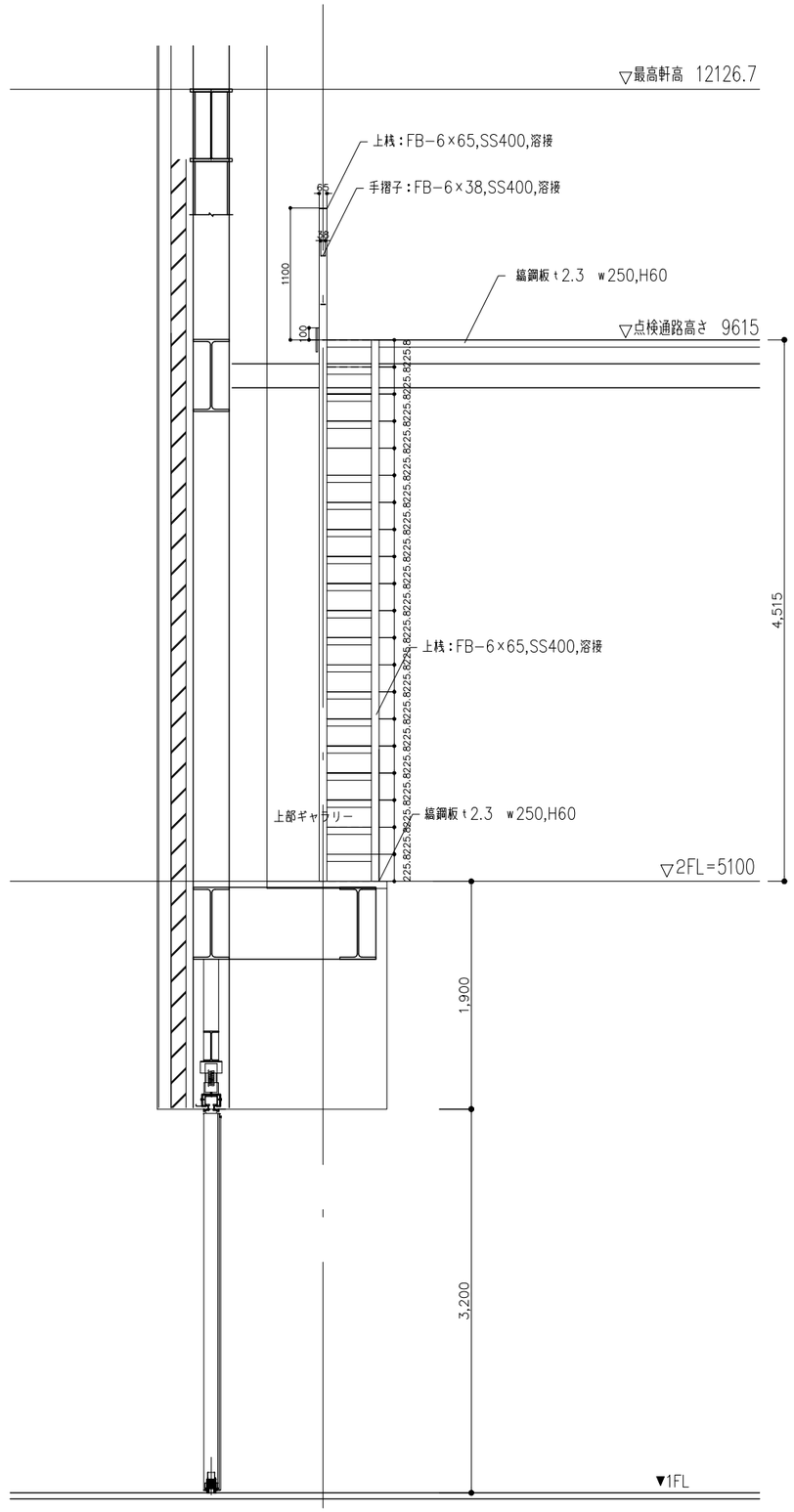
北棟階段　B立面図

KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 階段詳細図 (6) SCALE scale=1:50	DRAWING No. AA-056-2 DATE 2023/11/30



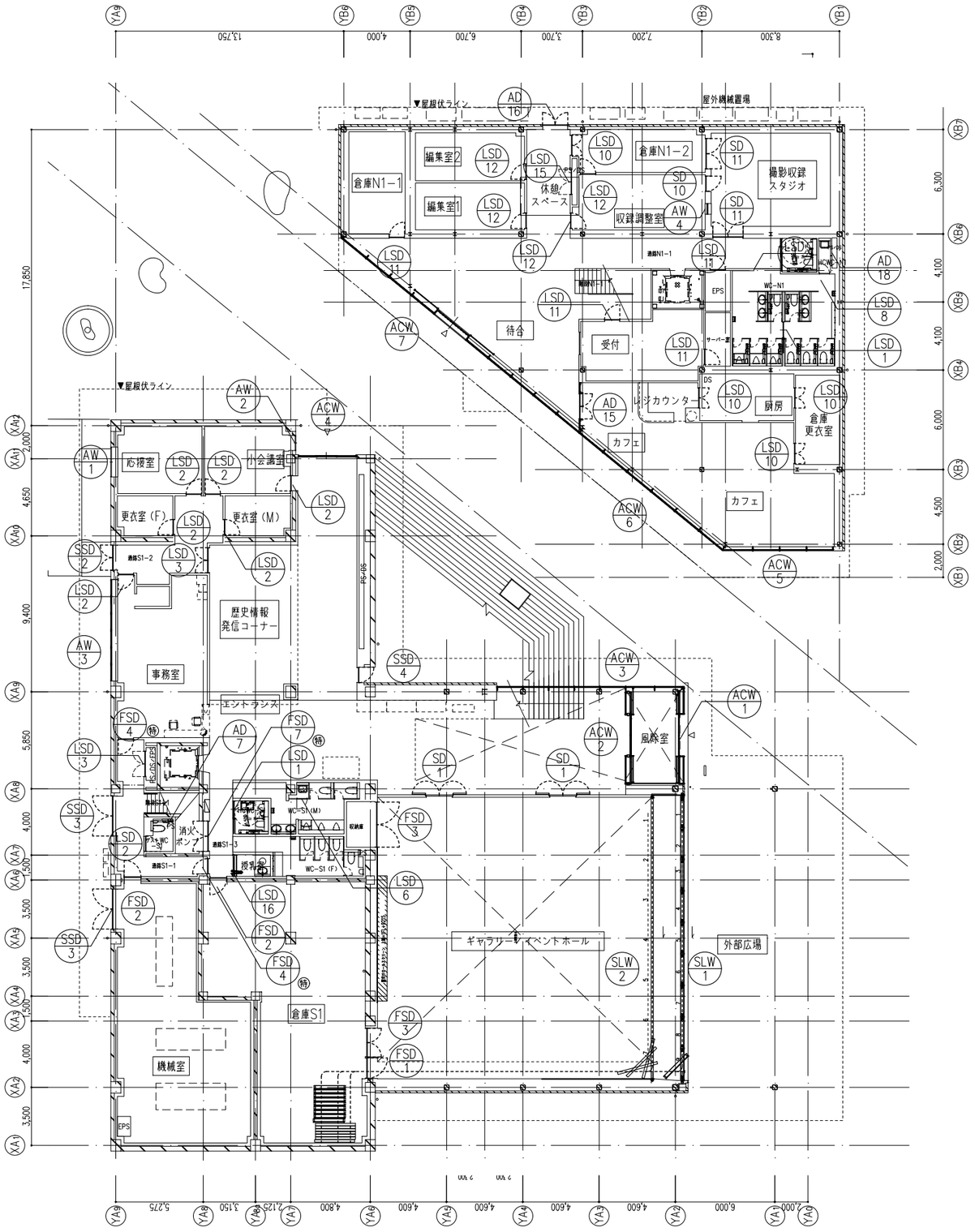
ギャラリー点検階段　平面図

ギャラリー点検階段　A立面図

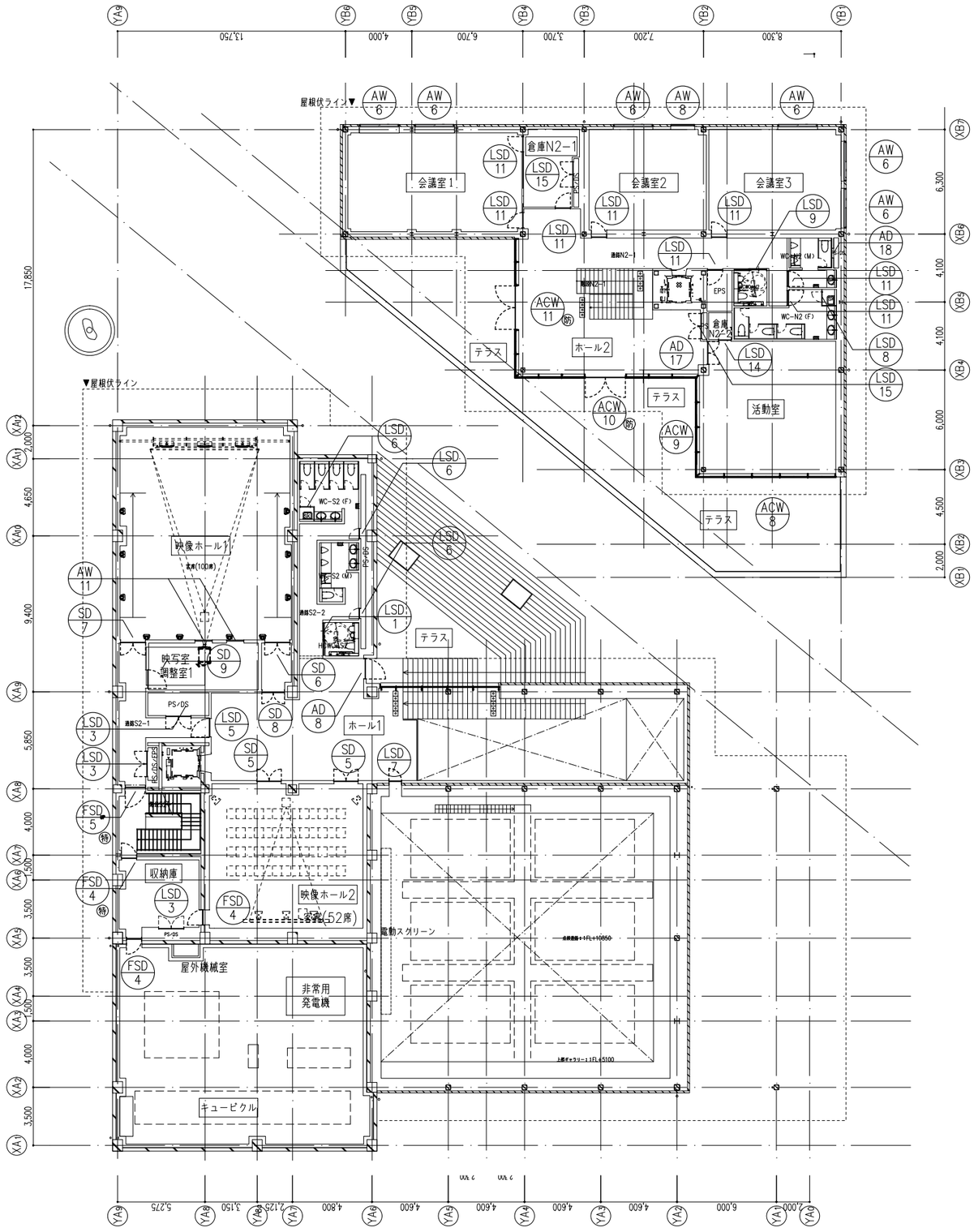


ギャラリー点検階段　B立面図

KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 階段詳細図（7） SCALE scale=1:50	DRAWING No. AA−056−3 DATE 2023/11/30



1階平面図

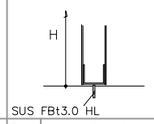


2階平面図

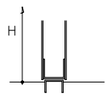
KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 建具表キープラン SCALE scale=1:300	DRAWING No. AA-057 DATE 2023/11/30

沓摺形状

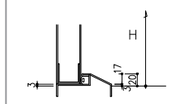
沓摺1	SUS FB



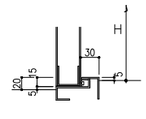
沓摺2	SUS製曲げ



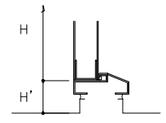
沓摺3	SUS製曲げ



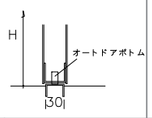
沓摺4	SUS製曲げ



沓摺5	SUS製曲げ

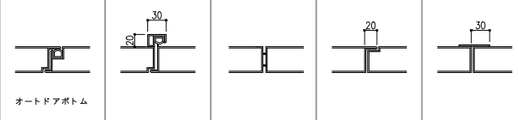


沓摺6	SUS製曲げ



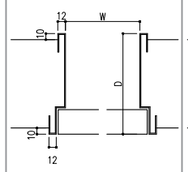
召し合わせ部形状

D−1	D−2	D−3	D−4	D−5

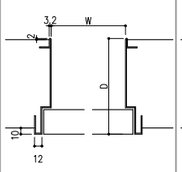


枠形状

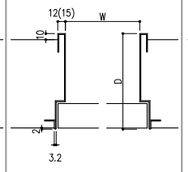
B−1	大枠　曲げ　面



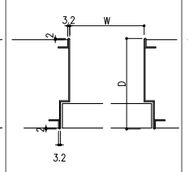
B−2	大枠　曲げ＋つぶし　面



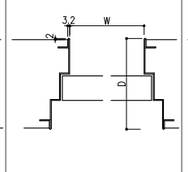
B−3	大枠　つぶし＋曲げ　面



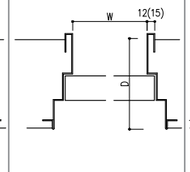
B−4	大枠　つぶし　面



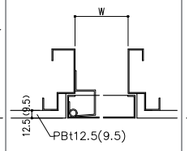
B−5	大枠　つぶし　ダキ



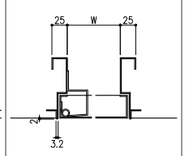
B−6	大枠　つぶしダキ（曲げ）



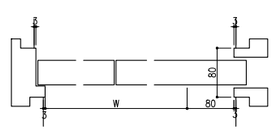
M−1	点検口枠　曲げ(ﾎﾞｰﾄﾞﾀﾞｷ)



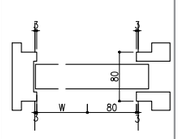
M−2	点検口枠　つぶし＋曲げ



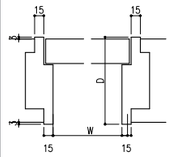
W−1	木枠　親子扉



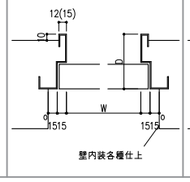
W−2	木枠　引き戸



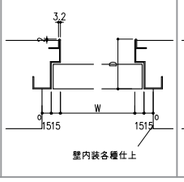
W−3	木枠　開き戸



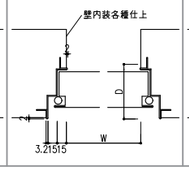
S−1	小枠　曲げ　ダキ



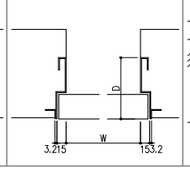
S−2	小枠　つぶし　ダキ



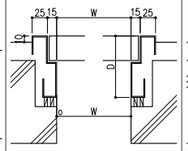
S−3	小枠　つぶし　ダキ



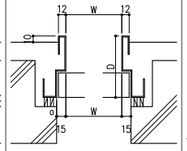
S−4	小枠　つぶし　面



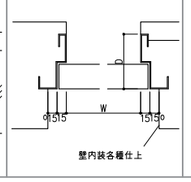
S−5	小枠　曲げ　面



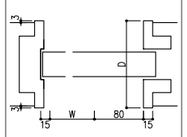
S−6	小枠　曲げ　ダキ



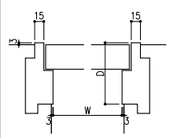
S−7	小枠　曲げ　ダキ



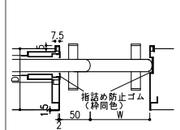
W−4	木枠　引き戸



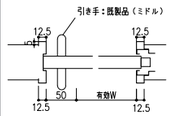
W−5	木枠　開き戸



SL−1	LSD引込み扉



SL−2	LSD引込み扉



一般事項	本表は特記事項の他、出入口、窓枠及び建具の形状、開閉方法、材質、仕上、付属金物、標準詳細を一括して示す。
使用メーカー	
サッシ性能	水密性能：W4、耐風圧性能：S−4（2000Pa）、気密性能：A−4、遮音性能：T−2

建具の種類と記号	記号	種類
	SD	スチール製扉（1.6mm以上）
	FSD	スチール製扉（特定防火設備又は防火設備仕様）
	LSD	軽量鋼製扉
	AD	アルミ製扉
	WD	木製扉
	SSD	ステンレス製扉
	GD	ガラス扉
	SW	スチール製窓
	AW	アルミ製窓
	CW	スチールカーテンウォール
	SS	スチール製シャッター
	FSH	シートシャッター（特定防火設備又は防火設備仕様）
	GW	ガラス壁

ガラスの種類と記号	記号	種類
	FL	透明フロート板ガラス
	PWG	透明網入り磨板ガラス
	TP	強化透明フロート板ガラス
	A	空気層
	HS	倍強度ガラス

建具の性能と記号	分類	記号	性能
	遮音	AT−A	防音扉（グラスウール充填、エアタイトゴム(シングル)、剣先付、グレモンハンドル）　T−2相当
		AT−B	防音扉（グラスウール充填、エアタイトゴム(シングル)、剣先付、レバーハンドル）　T−2相当
		AT−C1	防音扉（グラスウール充填、エアタイトゴム(シングル)、下部ATゴム、面タッチ、レバーハンドル）
		AT−C2	防音扉（グラスウール充填、エアタイトゴム(シングル)、オートドアボトム、面タッチ、レバーハンドル）
		AT−D	防音扉（グラスウール充填）
	空調	DG	ドアガラリ
		UC	アンダーカット
	鍵	D	IDタグによる電気錠制御
		L	機械錠センサー（サムターン位置検出）
		CR	カードリーダー
	防火	F1	防火設備仕様　（常時閉鎖扉、令１１２条第１４項第一号）
		F1S	防火設備仕様　（随時閉鎖式扉、煙感知器連動、令１１２条第１４項第一号）
		F2	防火設備仕様　（常時閉鎖扉、令１１２条第１４項第二号）
		F2S	防火設備仕様　（随時閉鎖式扉、煙感知器連動、令１１２条第１４項第二号）
		SF1	特定防火設備仕様（常時閉鎖扉、令１１２条第１４項第一号）
		SF1S	特定防火設備仕様（随時閉鎖式扉、煙感知器連動、令１１２条第１４項第一号）
		SF2	特定防火設備仕様（常時閉鎖扉、令１１２条第１４項第二号）
		SF2S	特定防火設備仕様（随時閉鎖式扉、煙感知器連動、令１１２条第１４項第二号）
		SS1	特定防火設備仕様（随時閉鎖式シャッター、煙感知器連動、令１１２条第１４項第一号）
		SS2	特定防火設備仕様（随時閉鎖式シャッター、煙感知器連動、令１１２条第１４項第二号）

建具塗装の種類と記号	記号	種類		
	MR	鏡面仕上	FU	フッ素樹脂焼付塗装
	VB	バイブレーション仕上	UU	ウレタン焼付塗装
	HL	ヘアライン仕上	JU	ジュラクロン焼付け塗装
	AL	アルマイト処理	UP	ウレタン塗装
	電解	二次電解着色	AEP	アクリルエマルジョン塗装
	ZP	溶融亜鉛めっきドブ付けリン酸塩処理(OMZP)	SOP	合成樹脂調合塗装

標準金物リスト	記号	仕様	ヒンジ	鍵	引手	自閉装置
	A	外部1	蝶番	シリンダー本締	レバーハンドル	ドアクローザー コンシールド型
	B	外部2	蝶番	シリンダー本締	レバーハンドル	ドアクローザー
	C	外部3	蝶番	シリンダー本締	着脱式グレモンハンドル	ドアクローザー
	D	内部1	ピボットヒンジ	シリンダー本締	レバーハンドル	ドアクローザー コンシールド型
	E	内部2	ピボットヒンジ	シリンダー本締	レバーハンドル	ドアクローザー
	F	内部4	ピボットヒンジ	シリンダー本締	押し棒	ドアクローザー
	G	内部5	隠し蝶番	イカリ型ハンドル	着脱式イカリ型ハンドル	ドアクローザー
	H	内部6	隠し蝶番	シリンダー本締	掘り込み引手	ドアクローザー
	I	内部6	隠し蝶番	シリンダー本締	レバーハンドル または押し棒	ドアクローザー
	J	内部7	サイクロンヒンジ	シリンダー本締	押し棒	ドアクローザー
	K	内部8	サイクロンヒンジ	シリンダー本締	押し棒	ドアクローザー コンシールド型
	L	内部9	サイクロンヒンジ	シリンダー本締	着脱式グレモンハンドル	ドアクローザー
	M	ガラス框扉	フロアヒンジ	シリンダー本締	押棒	ドアクローザー コンシールド型
	N	点検口	点検口ヒンジ	イカリ型ハンドル	着脱式イカリ型ハンドル	開放制限ワイヤー
		隣閉式防火戸	オートヒンジ		掘り込み引手 ケースハンドル（潜り戸）	

標準事項		
	寸法	建具寸法は、現場採寸を行い製作すること。
		枠見付寸法はみえ寸法とする。
		引き戸の建具寸法は、枠内有効寸法を示す。
		表中に示すFLからの高さは、床仕上げレベルから開口部下端までの高さとする。
	金物	建具金物は見本品を提出の上、設計者の承認を受けること。
		レバーハンドル等の高さは特記なき限り床から1,000mmとすること。
		ドアチェック色は特記による(一部扉同色焼付け塗装)
		両開扉及び親子扉は原則として、フランス落し・順位調整器を扉小口に納めて取り付けること。
		アルミサッシの付属金物類、その他はサッシ同色とすること。
		窓開口部は特記なき限り、結露受（サッシ同材同色）を取り付けること。
		戸当たりは原則としてラバー付き床付タイプを全てに取り付けること。
		防火戸でない建具のドアクローザーは角度固定式とする

標準事項		
	枠加工	シャッターガイドレールはステンレスFBt6.0とすること。
		ステンレス製建具の曲加工は原則として角出しとすること。
		外部に面するガラリは全て製作チャンバー（取付フランジつき）とすること。
		木質系額縁の壁面との取り合いは、特記なき限りチリなしとする
		枠形状に示する形状は、標準形状を示し、各所必要機能（エアタイト等）に応じて形状をアレンジすること。
		建具の取付にあたっては、CO躯体に対しM1充填とする。押出成形セメント板下地及びLGSに対してはロックウール充填とする。
	施錠	施錠は原則として、片面シリンダー片面サムターンとすること。（製作前に設計者の承認を得ること。）
		キーシステムは、グランドマスターとすること。
		電気錠の制御盤は本工事とする。
		特記なき限りオートドアにはパニックオープン機構(バッテリー搭載)を取り付けること。
	ガラス	フロートガラスは特記なき限りすべて飛散防止フィルムを貼ること。3mを超える強化ガラスは飛散防止フィルムを張ること
	網戸	網戸はSUS製とする。
		防鳥網はＳＵＳ製20×20とする。
	代替進入口	開放時の有効W750xH1200を確保する仕様とする。
		開き扉の場合、外部より開放できるレバーハンドル付とする。（＊設置位置は外部建具キープランによる）
	排煙窓	手動開放装置は床面から800mm以上1500mm以下の位置に設置する。
	その他	ガラス下枠結露受はFUとする。
		防火性能欄の記載は枠・ガラス共に適用される。

KENGO KUMA & ASSOCIATES
隈研吾建築都市設計事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号

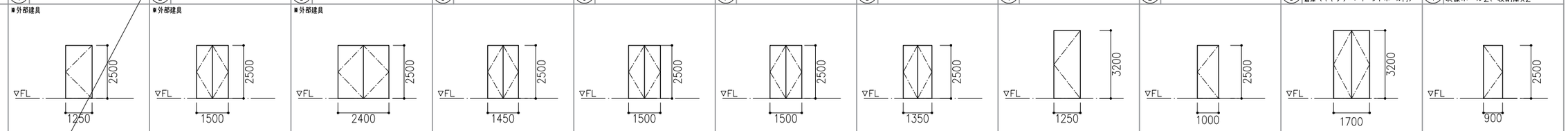
一級建築士
登録第319352号
宮原賢次

DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION
CHECKED	CHECKED	実施設計図
APPROVED	APPROVED	

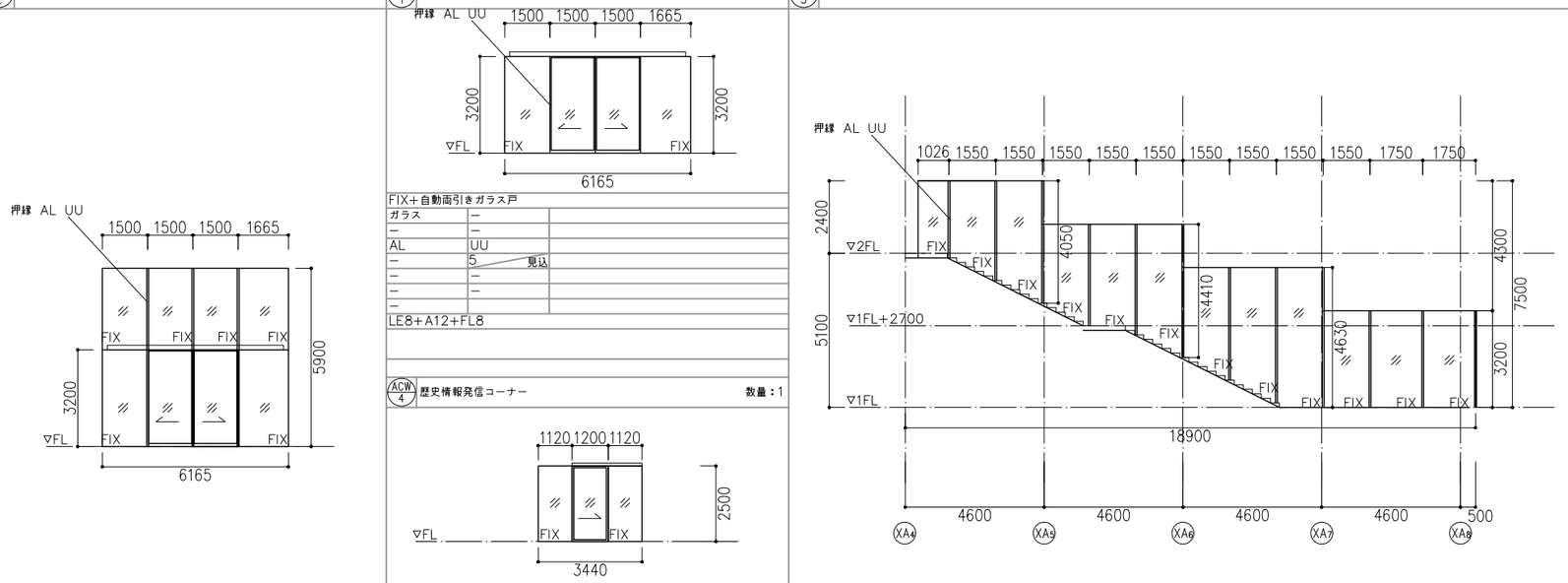
東海市創造の杜交流館建設工事

DRAWING TITLE	DRAWING No.
建具仕様表	AA−058
SCALE: −	DATE: 2023/11/30

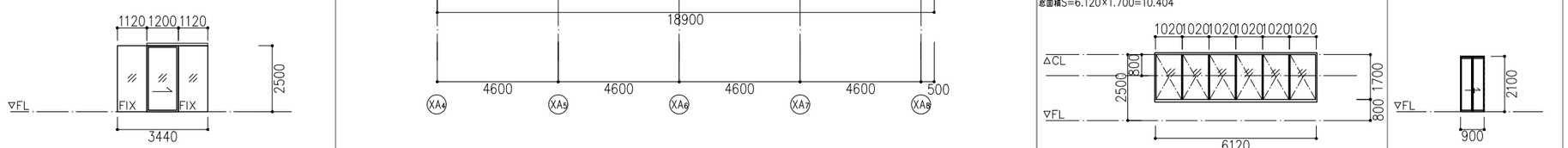
符号	使用箇所	数量	SSD 1 機械室 数量：1	SSD 2 通路S1−2 数量：1	SSD 3 通路S1−1、機械室 数量：2	SD 5 映像ホール2 数量：2	SD 6 映像ホール1 数量：1	SD 7 映像ホール1 数量：1	SD 8 映像ホール1 数量：1	FSD 1 倉庫S1 数量：1	FSD 2 倉庫S1、機械室 数量：2	FSD 3 倉庫S1 倉庫（ギャラリーノイベントホール内） 数量：2	FSD 4 1F廊下、事務室、映像ホール2、収納庫x2 数量：5
			*外部建具	*外部建具	*外部建具								
形式			片開きフラッシュ戸	両開きフラッシュ戸	両開きフラッシュ戸	両開きフラッシュ戸	両開きフラッシュ戸	両開きフラッシュ戸	両開きフラッシュ戸	常時閉鎖式特定防火戸	常時閉鎖式特定防火戸	常時閉鎖式特定防火戸	片開きフラッシュ戸
建具	材質	仕上	SUS / UU	SUS / UU	SUS / UU	ST / UU	ST / UU	ST / UU	ST / UU	ST / UU	ST / UU	ST / UU	ST / UU
	厚み	性能	40 / T2	40 / T2	40 / T2	40 / T2	40 / T2	40 / T2	40 / T2	40 / T2	40 / T2	40 / T2	40 / T2
枠	材質	仕上	SUS / UU	SUS / UU	SUS / UU	ST / UU	ST / UU	ST / UU	ST / UU	ST / UU	ST / UU	ST / UU	ST / UU
	形状	見付 / 見込	S−6 / 15 / 100	S−6 / 15 / 100	S−6 / 15 / 100	B−3 / 3.2 / 410	S−4 / 3.2 / 100	B−1 / 3.2 / 210	B−1 / 3.2 / 210	S−1 / 3.2 / 100	S−1 / 3.2 / 100	S−1 / 3.2 / 100	S−1 / 3.2 / 100
額縁	材質	仕上	− / −	− / −	− / −	− / −	− / −	− / −	− / −	− / −	− / −	− / −	− / −
	見付	見込	− / −	− / −	− / −	− / −	− / −	− / −	− / −	− / −	− / −	− / −	− / −
建具金物		吝摺形状	B / 吝摺4	B / 吝摺4	B / 吝摺4	F / 吝摺6	F / 吝摺6	F / 吝摺6	F / 吝摺6	E / 吝摺1	E / 吝摺2	E / 吝摺2	E / 吝摺2
ガラス			−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
備考			パニックオープン　グラスウール充填	パニックオープン　グラスウール充填	パニックオープン　グラスウール充填	遮音等級NC25　グラスウール充填	遮音等級NC25　グラスウール充填	遮音等級NC25　グラスウール充填 カーテン	遮音等級NC25　グラスウール充填	軽量ドア　防火設備、自火報連動	軽量ドア　防火設備、自火報連動	軽量ドア　防火設備、自火報連動	軽量ドア　特定防火設備、自火報連動



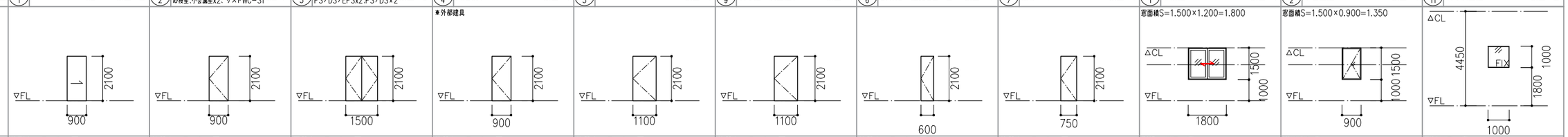
符号	使用箇所	数量	ACW 2 風除室 数量：1	ACW 1 風除室 数量：1	ACW 3 エントランス 数量：1	FSD 5 階段室 S2−1 数量：1	FSD 6 機械室 数量：1	FSD 7 消火ポンプ室 数量：1
*面積は少数第四位切り捨て								
形式				FIX+自動両引きガラス戸		片開きフラッシュ戸	片開きフラッシュ戸	片開きフラッシュ戸
建具	材質	仕上		ガラス / −		ST / UU	ST / UU	ST / UU
	厚み	性能		− / −		40 / T2	40 / T2	40 / T2
枠	材質	仕上		AL / UU		ST / UU	ST / UU	ST / UU
	形状	見付 / 見込		− / 5 / 見込		S−1 / 3.2 / 100	S−1 / 3.2 / 100	S−4 / 3.2 / 100
額縁	材質	仕上		− / −		− / −	− / −	− / −
	見付	見込		− / −		− / −	− / −	− / −
建具金物		吝摺形状		− / −		E / 吝摺2	E / 吝摺2	G / 吝摺2
ガラス				−		−	−	−
備考				LE8+A12+FL8		軽量ドア　特定防火設備	軽量ドア　防火設備	軽量ドア　特定防火設備



符号	使用箇所	数量	ACW 4 歴史情報発信コーナー 数量：1	AW 3 事務室 数量：1	LSD 16 授乳室 数量：1
*面積は少数第四位切り捨て				窓面積S=6.120×1.700=10.404	
形式			FIX+自動両引きガラス戸	たて滑り出しガラス窓	折れ戸
建具	材質	仕上	ガラス / −	アルミ製 / FE	ST / UU
	厚み	性能	− / −	− / −	40 / −
枠	材質	仕上	AL / UU	アルミ製 / FE	ST / UU
	形状	見付 / 見込	− / 5 / 80	− / − / 100	S−4 / 3.2 / 100
額縁	材質	仕上	− / −	− / −	− / −
	見付	見込	− / −	− / −	− / −
建具金物		吝摺形状	− / −	製品標準 / −	E / 吝摺2
ガラス			LE6+A12+FL6	LE6+A12+FL6	−
備考				ロールスクリーン	表示錠



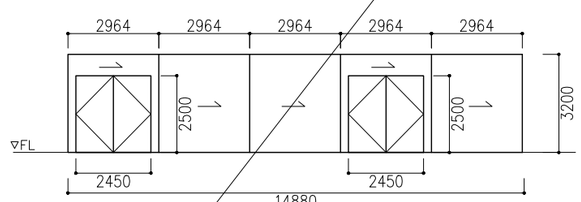
符号	使用箇所	数量	LSD 1 バリアフリートイレx2 数量：2	LSD 2 事務室、更衣室（M）、更衣室（F）、応接室、小会議室x2、ゲストWC−S1 数量：7	LSD 3 歴史情報発信コーナー PS/DS/EPSx2、PS/DS×2 数量：5	SSD 4 大階段下 数量：1	LSD 5 ホワイエ 数量：1	SD 9 映写室・調整室1 数量：1	LSD 6 SKx3、通路S2−2 数量：4	LSD 7 上部ギャラリー 数量：1	AW 1 応接室 数量：1	AW 2 小会議室 数量：1	AW 11 映写調整室 数量：2
*面積は少数第四位切り捨て						*外部建具					窓面積S=1.500×1.200=1.800	窓面積S=1.500×0.900=1.350	
形式			片引きフラッシュ戸	片開きフラッシュ戸	両開きフラッシュ戸	片開きフラッシュ戸	片開きフラッシュ戸	片開きフラッシュ戸	片開きフラッシュ戸	片開きフラッシュ戸	引違いガラス窓	滑り出し窓	FIXガラス窓
建具	材質	仕上	ST / UU	ST / UU	ST / UU	アルミ製 / 電解	ST / UU	アルミ製 / 電解	ST / UU	ST / UU	AL / UU	AL / UU	AL / UU
	厚み	性能	40 / −	40 / −	40 / −	− / −	40 / −	− / −	40 / −	40 / −	70 / −	70 / −	70 / −
枠	材質	仕上	ST / UU	ST / UU	ST / UU	アルミ製 / 電解	ST / UU	アルミ製 / 電解	ST / UU	ST / UU	AL / UU	AL / UU	AL / UU
	形状	見付 / 見込	SL−1 / 3.2	S−4 / 3.2 / 100	S−4 / 3.2 / 100	B1 / −	S−4 / 3.2 / 100	B1 / −	S−4 / 3.2 / 100	S−4 / 3.2 / 100	− / −	− / −	− / −
額縁	材質	仕上	− / −	− / −	− / −	− / −	− / −	− / −	− / −	− / −	人工木 / EP	人工木 / EP	人工木 / EP
	見付	見込	− / −	− / −	− / −	− / −	− / −	− / −	− / −	− / −	5 / 100	5 / 100	5 / 100
建具金物		吝摺形状	− / 吝摺1	E / 吝摺2	E / 吝摺2	製品標準 / T2	E / 吝摺2	製品標準 / T3	E / 吝摺2	E / 吝摺2	− / −	− / −	− / −
ガラス			−	−	−	−	−	−	−	−	LE6+A12+FL6	LE6+A12+FL6	FL6+A12+FL6
備考			ハンガーレール、SUS押し棒、表示錠		歴史情報発信コーナー；レバーハンドル有			遮音等級NC40　グラスウール充填		遮音等級NC40　グラスウール充填	ロールスクリーン	ロールスクリーン	遮音等級NC25

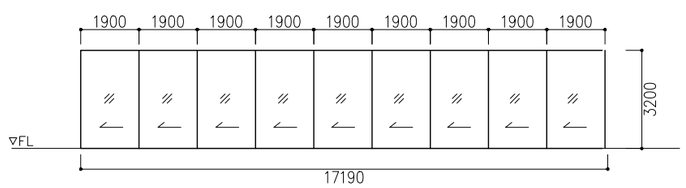


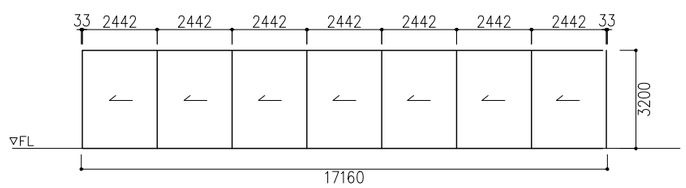
KENGO KUMA & ASSOCIATES 限研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN / CHECKED / APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN / CHECKED / APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 建具表(南棟1) SCALE −	DRAWING No. AA−059 DATE 2023/11/30

符号	使用箇所	数量
SLW 3	ギャラリー	数量：1
SLW 1	ギャラリー	数量：1
SLW 2	ギャラリー	数量：1

＊面積は少数第四位切り捨て



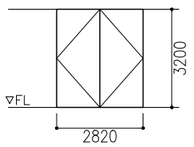


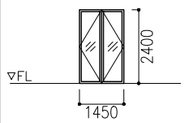


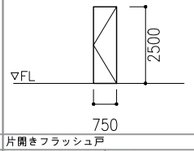
符号	使用箇所	数量	SLW 3	SLW 1	SLW 2
形式			スライディングウォール（フラッシュ戸）	スライディングウォール（フラッシュ戸）	スライディングウォール（フラッシュ戸）
建具	材質	仕上	ST / UU	ST / UU	ST / UU
	厚み	性能	詳細図による / T2	詳細図による / T2	詳細図による / T2
枠	材質	仕上	ST / UU	ST / UU	ST / UU
	形状	見付 / 見込	詳細図による / —	詳細図による / —	詳細図による / —
額縁	材質	仕上	— / —	— / —	— / —
	見付	見込	— / —	— / —	— / —
建具金物		沓摺形状	— / —	— / —	— / —
ガラス			—	LE12+A12+TP12	—
備考			詳細図参照 透過損失約20ｄB　グラスウール充填	詳細図参照 透過損失約30ｄB　グラスウール充填　ロールスクリーン	詳細図参照 透過損失約20ｄB　グラスウール充填

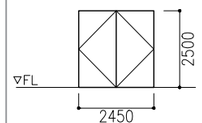
符号	使用箇所	数量	SD 4	AD 7	AD 8	LSD 17	SD 1
			収納庫（ギャラリーノイベントホール内） 数量：1	トイレ 数量：1	ホール1 数量：1	屋外室外機置場 数量：1	ギャラリー 数量：2

＊面積は少数第四位切り捨て









符号	使用箇所	数量	SD 4	AD 7	AD 8	LSD 17	SD 1
形式			常時閉鎖式特定防火戸	点検口	両開きガラス框戸	片開きフラッシュ戸	両開きフラッシュ戸
建具	材質	仕上	ST / UU	AL / UU	AL / UU	ST / UU	ST / UU
	厚み	性能	40 / T2	60 / —	60 / —	40 / —	詳細図による / T2
枠	材質	仕上	ST / UU	AL / UU	AL / UU	ST / UU	ST / UU
	形状	見付 / 見込	S−1 / 3.2 / 100	— / — / —	— / — / —	S−4 / 3.2 / 100	詳細図による / —
額縁	材質	仕上	— / —	— / —	— / —	— / —	— / —
	見付	見込	— / —	— / —	— / —	— / —	— / —
建具金物		沓摺形状	E / 沓摺2	— / —	A / T1	E / 沓摺2	— / —
ガラス			—		LE6+A12+FL6	—	—
備考			軽量ドア　特定防火設備、自火報連動 遮音等級NC25　グラスウール充填	カギ金具／ZP			透過損失約20ｄB　グラスウール充填

符号	使用箇所	数量

＊面積は少数第四位切り捨て

形式		
建具	材質	仕上
	厚み	性能
枠	材質	仕上
	形状	見付 / 見込
額縁	材質	仕上
	見付	見込
建具金物		沓摺形状
ガラス		
備考		

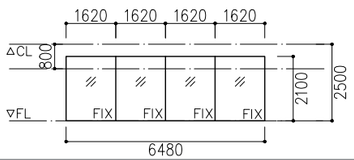
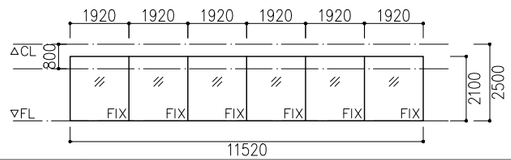
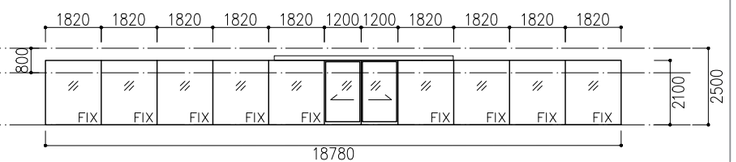
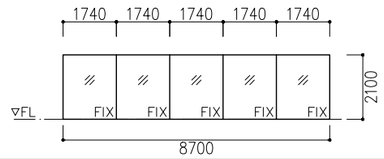
KENGO KUMA & ASSOCIATES
隈研吾建築都市設計事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号

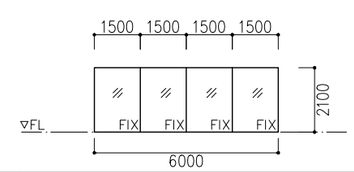
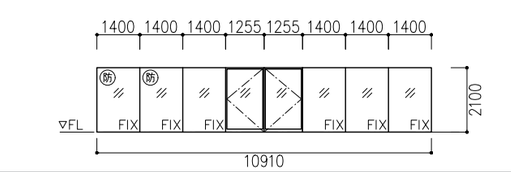
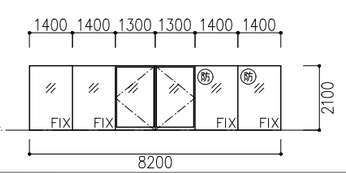
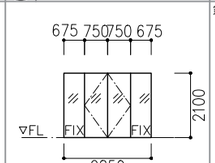
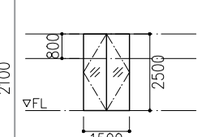
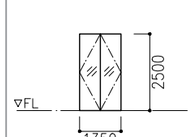
一級建築士
登録第319352号
宮原賢次

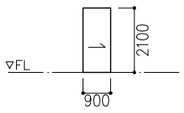
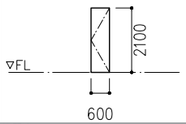
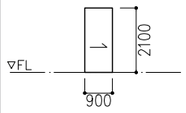
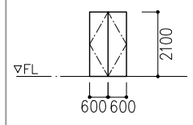
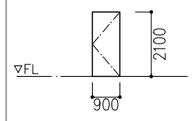
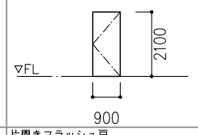
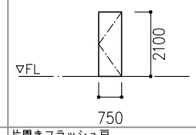
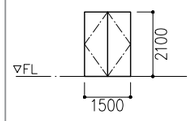
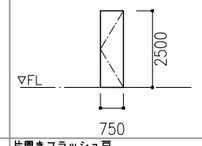
DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION
CHECKED	CHECKED	実施設計図
APPROVED	APPROVED	

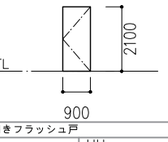
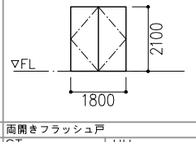
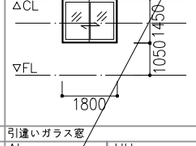
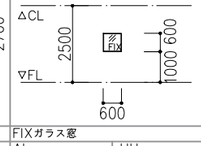
東海市創造の杜交流館建設工事

DRAWING TITLE: 建具表(南棟2)
SCALE: —
DRAWING No.: AA−060
DATE: 2023/11/30

符号	使用箇所	数量	ACW 5 カフェ 数量：1	ACW 6 カフェ 数量：1	ACW 7 待合 数量：1	ACW 8 活動室 数量：1
＊面積は少数第四位切り捨て			窓面積S=7.432×2.500=18.580	窓面積S=11.560×2.500=28.850	窓面積S=18.610×2.500=46.525	
						
形式			FIXガラス窓＋両開きガラス戸	FIX窓＋片開きガラス戸	FIX＋自動両引き分けガラス戸	FIXガラス窓＋両開きガラス戸
建具	材質	仕上	ガラス / —	ガラス / —	ガラス / —	ガラス / —
	厚み	性能	— / —	— / —	— / —	— / —
枠	材質	仕上	AL / UU	AL / UU	AL / UU	AL / UU
	形状	見付 / 見込	— / 5 / 80	— / 5 / 80	— / 5 / 80	— / 5 / 80
額縁	材質	仕上	— / —	— / —	— / —	— / —
	見付	見込	— / —	— / —	— / —	— / —
建具金物		吝摺形状	— / —	— / —	— / —	— / —
ガラス			LE6+A12+FL6	LE6+A12+FL6	LE6+A12+FL6	LE6+A12+FL6
備考			バックマリオン方式 ロールスクリーン	バックマリオン方式 ロールスクリーン	有効排煙面積には、一体空間の受付も含む。 バックマリオン方式　ロールスクリーン	バックマリオン方式 ロールスクリーン、吸音カーテン

符号	使用箇所	数量	ACW 9 活動室 数量：1	ACW 10 防 待合スペース 数量：1	ACW 11 防 待合スペース 数量：1	AD 15 カフェ 数量：1	AD 16 休憩スペース 数量：1	AD 17 活動室 数量：1	AD 18 HCWC-N1、WC-N2（M） 数量：2
＊面積は少数第四位切り捨て							窓面積S=1.500×2.500=3.750		
									
形式			FIX＋片引きガラス戸	FIX＋両開きガラス戸	FIX＋両開きガラス戸	FIX＋両開きガラス戸	両開きガラス戸	両開きガラス戸	点検口
建具	材質	仕上	ガラス / —	ガラス / —	ガラス / —	アルミ製 / HL	アルミ製 / HL	アルミ製 / FE	AL / UU
	厚み	性能	— / —	— / —	— / —	— / —	— / —	— / —	60 / —
枠	材質	仕上	AL / UU	AL / UU	AL / UU	アルミ製 / HL	アルミ製 / HL	アルミ製 / FE	AL / UU
	形状	見付 / 見込	— / 5 / 80	— / 5 / 80	— / 5 / 80	— / —	— / —	B1 / —	— / —
額縁	材質	仕上	— / —	— / —	— / —	— / —	— / —	— / —	— / —
	見付	見込	— / —	— / —	— / —	— / —	— / —	— / —	— / —
建具金物		吝摺形状	— / —	— / —	— / —	— / T3	製品標準 / T2	製品標準 / T3	— / —
ガラス			LE6+A12+FL6	LE6+A12+LE6/LE8+A12+TP8	LE6+A12+LE6/LE8+A12+TP8	TP10　飛散防止フィルム貼り	LE6+A12+FL6	TP10　飛散防止フィルム貼り	
備考			バックマリオン方式 ロールスクリーン、吸音カーテン	一部防火設備　バックマリオン方式 ロールスクリーン	一部防火設備　バックマリオン方式 ロールスクリーン				カギ金具／ZP

符号	使用箇所	数量	LSD 1 WC−N1 数量：1	LSD 8 SK 数量：2	LSD 9 バリアフリートイレ 数量：2	LSD 10 倉庫N1−2 数量：1	LSD 11 厨房、会議室1、2、3、2F倉庫受付、トイレ、EPS、倉庫更衣室 数量：13	LSD 12 編集室1、2、収録調整室×2 数量：4	LSD 14 倉庫 数量：1	LSD 15 PS／DS／EPS PS／DS.PS 数量：3	LSD 17 屋外室外機置場 数量：2
＊面積は少数第四位切り捨て							倉庫N2−1				
											
形式			片引きフラッシュ戸	片開きフラッシュ戸	片引きフラッシュ戸	両開きフラッシュ戸	片開きフラッシュ戸	片開きフラッシュ戸	片開きフラッシュ戸	両開きフラッシュ戸	片開きフラッシュ戸
建具	材質	仕上	ST / UU	ST / UU	ST / UU	アルミ製 / 電解	アルミ製 / 電解	アルミ製 / 電解	アルミ製 / 電解	ST / UU	ST / UU
	厚み	性能	40 / —	40 / —	40 / —	— / —	— / —	— / —	— / —	40 / —	40 / —
枠	材質	仕上	ST / UU	ST / UU	ST / UU	アルミ製 / 電解	アルミ製 / 電解	アルミ製 / 電解	アルミ製 / 電解	ST / UU	ST / UU
	形状	見付 / 見込	S−1 / 3.2	S−4 / 3.2 / 100	SL−1 / 3.2	B1 / —	B1 / —	B1 / —	B1 / —	S−4 / 3.2 / 100	S−4 / 3.2 / 100
額縁	材質	仕上	— / —	— / —	— / —	— / —	— / —	— / —	— / —	— / —	— / —
	見付	見込	— / —	— / —	— / —	— / —	— / —	— / —	— / —	— / —	— / —
建具金物		吝摺形状	— / 吝摺1	E / 吝摺2	— / 吝摺1	製品標準 / T3	製品標準 / T3	製品標準 / T3	製品標準 / T3	E / 吝摺2	E / 吝摺2
ガラス			—	—	—	—	—	—	—	—	—
備考					ハンガーレール、SUS押し棒、表示錠			遮音等級NC40　グラスウール充填			

符号	使用箇所	数量	SD 10 収録調整スタジオ 数量：1	SD 11 撮影収録スタジオ 数量：2	AW 4 編集室1 数量：1	AW 5 待合スペース 数量：1	AW 6 会議室1、2、3 6	AW 7 会議室3 数量：1	AW 8 会議室2 数量：1	AW 9 倉庫N2−1 数量：1	AW 10 会議室1 数量：1	AW 4 収録調整室 数量：1
＊面積は少数第四位切り捨て						窓面積S=1.650×1.450=2.393						
												
形式			片開きフラッシュ戸	両開きフラッシュ戸	FIXガラス窓	引違いガラス窓	引違いガラス窓	FIXガラス窓	縦すべり出し ガラス窓	FIXガラス窓	FIXガラス窓	FIXガラス窓
建具	材質	仕上	ST / UU	ST / UU	AL / UU	AL / UU	AL / UU	AL / UU	AL / UU	AL / UU	AL / UU	AL / UU
	厚み	性能	40 / T4	40 / T2	70 / —	70 / —	70 / —	70 / —	70 / —	70 / —	70 / —	70 / —
枠	材質	仕上	ST / UU	ST / UU	AL / UU	AL / UU	AL / UU	AL / UU	AL / UU	AL / UU	AL / UU	AL / UU
	形状	見付 / 見込	B−1 / 3.2 / 210	B−1 / 3.2 / 210	— / —	— / —	— / —	— / —	— / —	— / —	— / —	— / —
額縁	材質	仕上	— / —	— / —	人工木 / EP	人工木 / EP	人工木 / EP	人工木 / EP	人工木 / EP	人工木 / EP	人工木 / EP	人工木 / EP
	見付	見込	— / —	— / —	5 / 100	5 / 100	5 / 100	5 / 100	5 / 100	5 / 100	5 / 100	5 / 100
建具金物		吝摺形状	F / 吝摺6	F / 吝摺6	— / —	— / —	— / —	— / —	— / —	— / —	— / —	— / —
ガラス			—	—	LE8+A12+FL6	LE8+A12+FL6	LE8+A12+FL6	LE8+A12+FL6	LE8+A12+FL6	LE8+A12+FL6	LE8+A12+FL6	FL6+A12+FL6
備考			遮音等級NC40　グラスウール充填 AT枠とし気密材にATゴムを見込む	遮音等級NC40　グラスウール充填	遮音等級NC40　グラスウール充填		網戸あり ロールスクリーン		ロールスクリーン			遮音等級NC25

KENGO KUMA & ASSOCIATES
隈研吾建築都市設計事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号

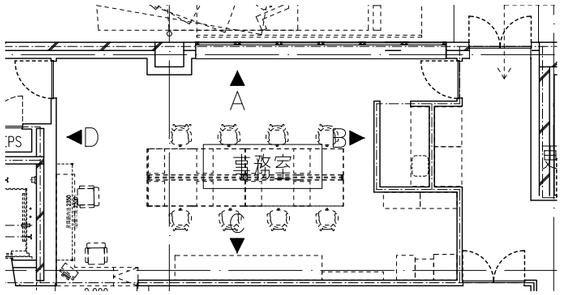
一級建築士
登録第319352号
宮原賢次

DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION
CHECKED	CHECKED	実施設計図
APPROVED	APPROVED	

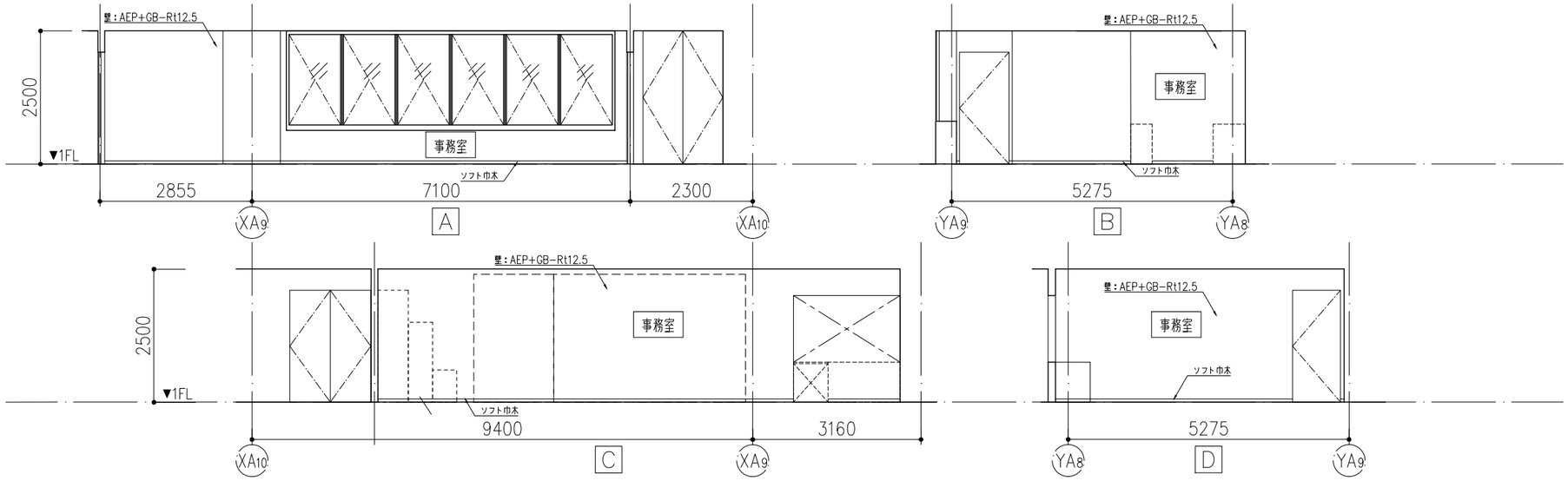
東海市創造の杜交流館建設工事

DRAWING TITLE: 建具表(北棟)
SCALE: —
DRAWING No.: AA−061
DATE: 2023/11/30

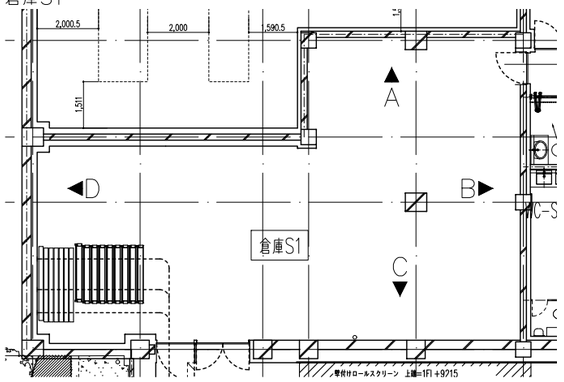
事務室



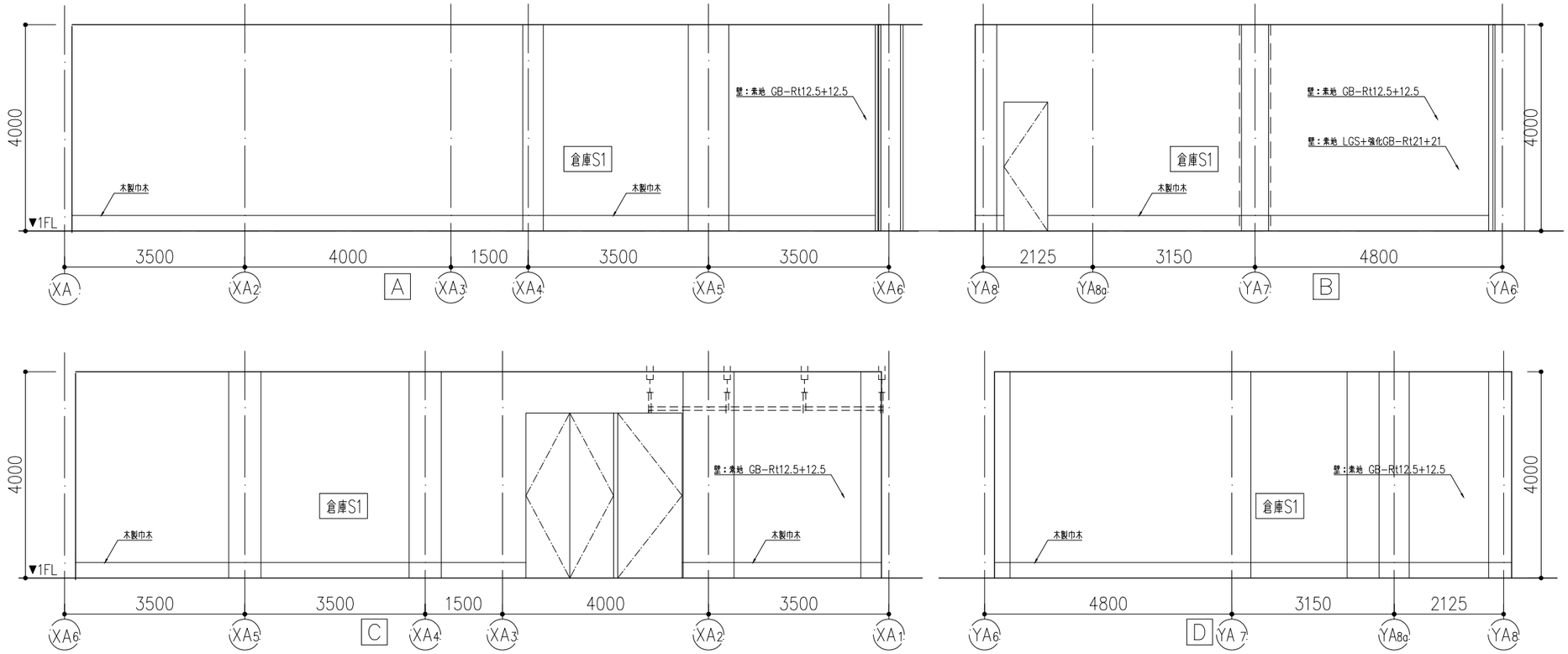
部位	仕様	
床	仕上	タイルカーペット(静電気防止)
	下地	CO+OAフロア
壁	仕上	AEP
	下地	LGS+GB-Rt12.5　CO+GB-Rt12.5
	巾木	ソフト巾木
天井	仕上	岩綿吸音板
	下地	LGS+GB-R　t12.5



倉庫S1



部位	仕様	
床	仕上	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤
	下地	CO全ゴテ
壁	仕上	素地
	下地	LGS+GB-Rt12.5 CO+GB-Rt12.5
	巾木	木製巾木
天井	仕上	―
	下地	―

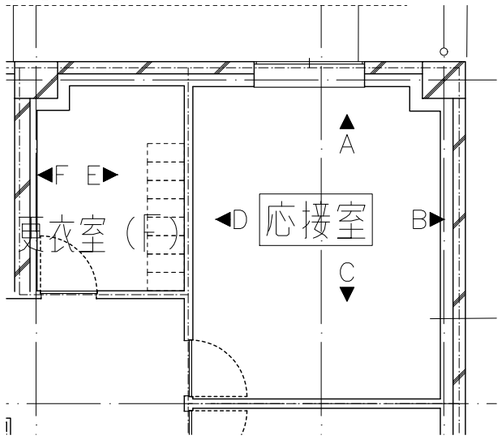


KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図

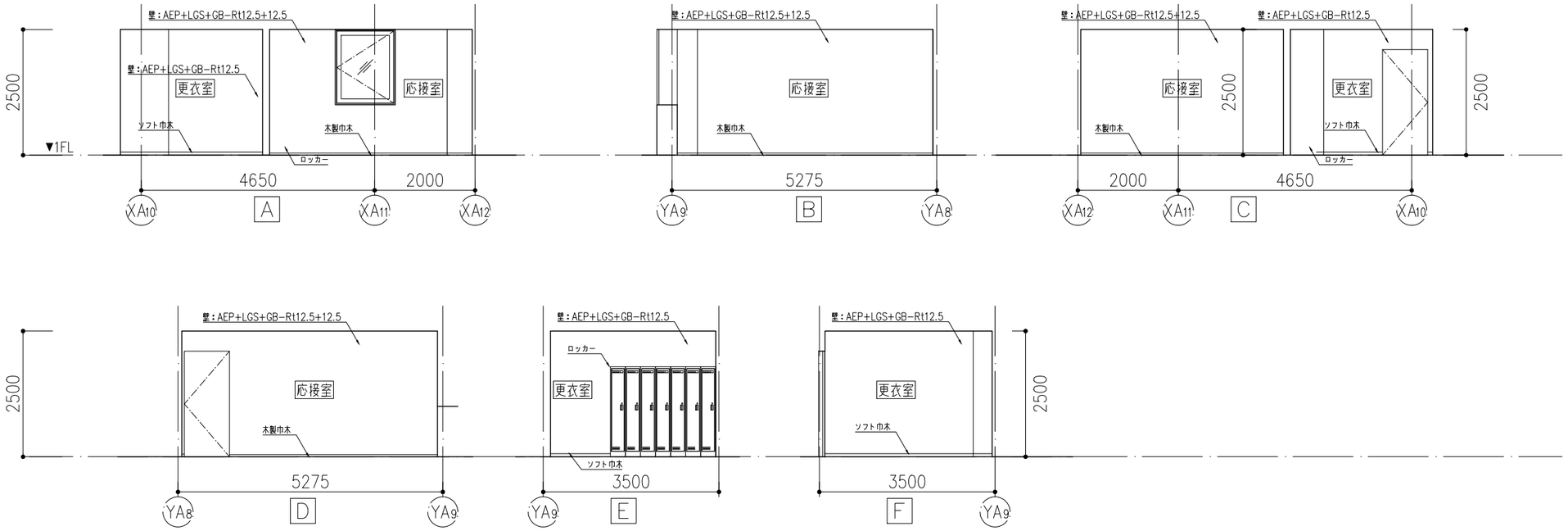
東海市創造の杜交流館建設工事

DRAWING TITLE	展開図 (1)
SCALE	scale=1:100
DRAWING No.	AA-062
DATE	2023/11/30

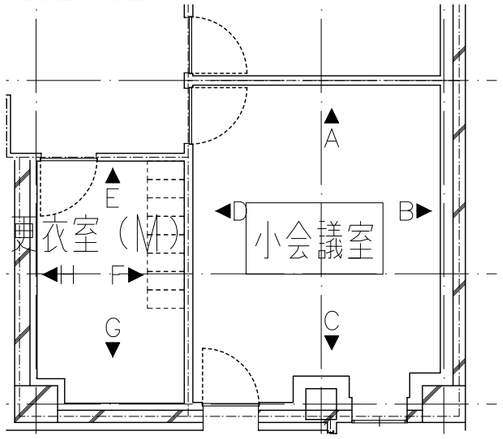
応接室・更衣室



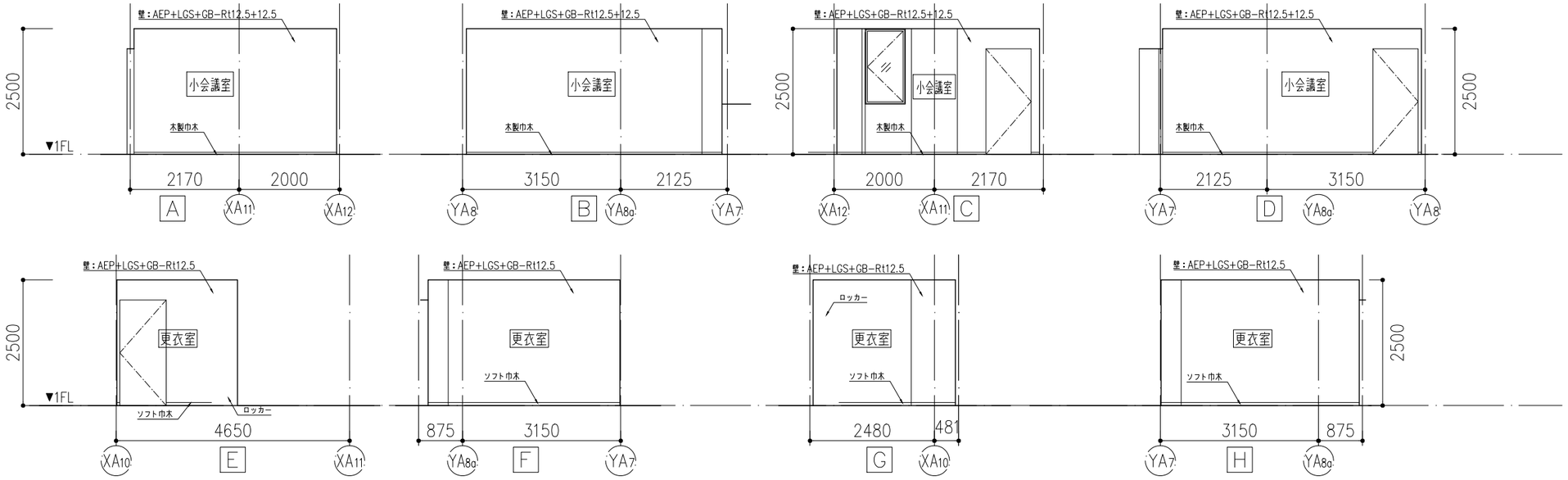
部位	仕様	
床	仕上	タイルカーペット（応接室）、長尺シート（更衣室）
	下地	CO直均し
壁	仕上	AEP
	下地	LGS+GB-Rt12.5+12.5　CO+GB-Rt12.5+12.5
	巾木	木製巾木（応接室）　ソフト巾木（更衣室）
天井	仕上	岩綿吸音板（応接室）　AEP（更衣室）
	下地	LGS+GB-R　t12.5



小会議室・更衣室



部位	仕様	
床	仕上	タイルカーペット（応接室）、長尺シート（更衣室）
	下地	CO直均し
壁	仕上	AEP
	下地	LGS+GB-Rt12.5+12.5(木製壁)、LGS+GB-Rt12.5(軽量壁)、CO+GB-Rt12.5+12.5
	巾木	木製巾木（応接室）　ソフト巾木（更衣室）
天井	仕上	岩綿吸音板（応接室）　AEP（更衣室）
	下地	LGS+GB-R　t12.5

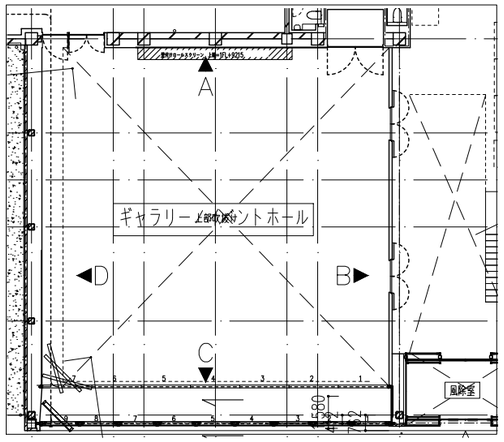


KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図

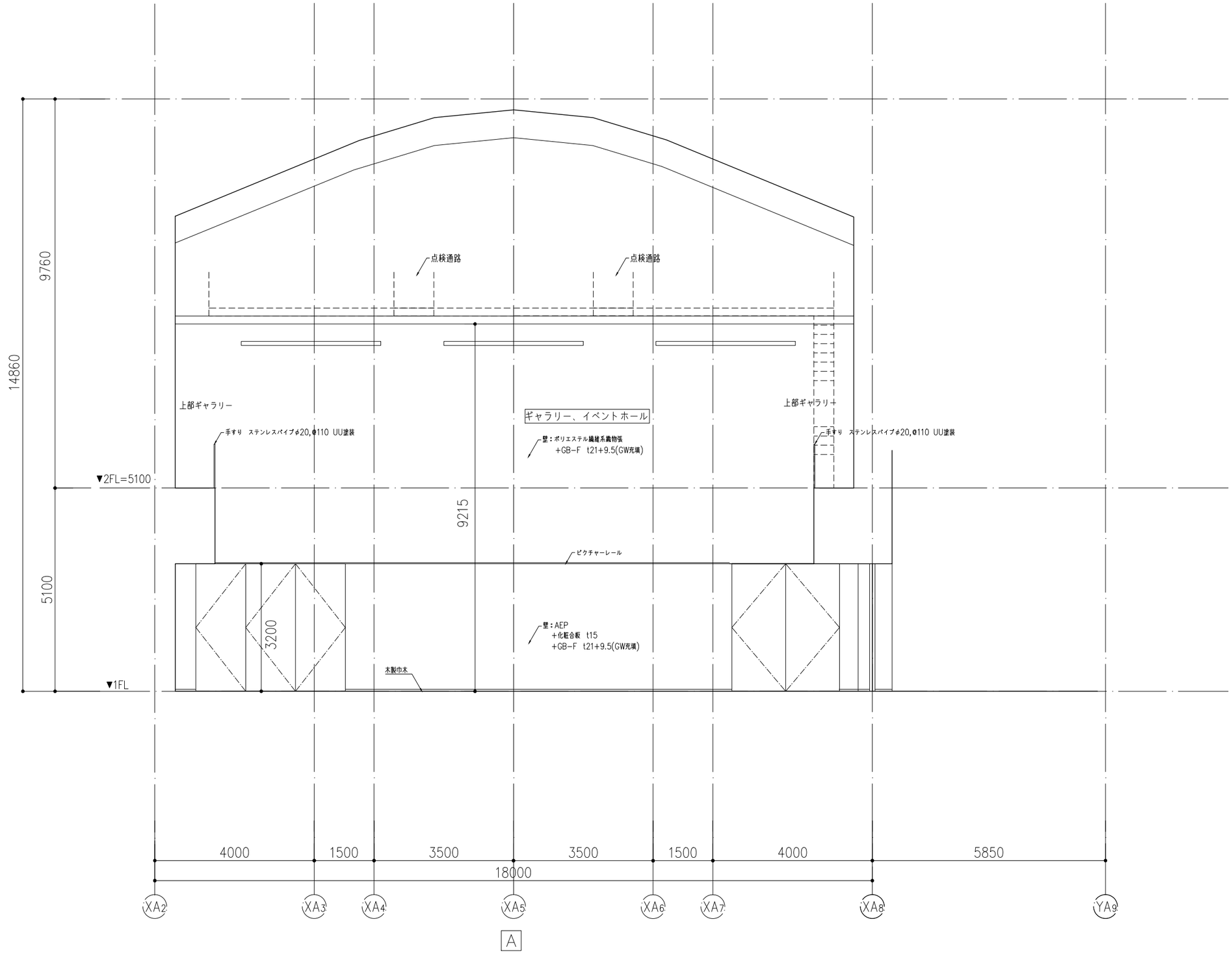
東海市創造の杜交流館建設工事

DRAWING TITLE	展開図（2）
SCALE	scale=1:100
DRAWING No.	AA-063
DATE	2023/11/30

ギャラリー／イベントホール

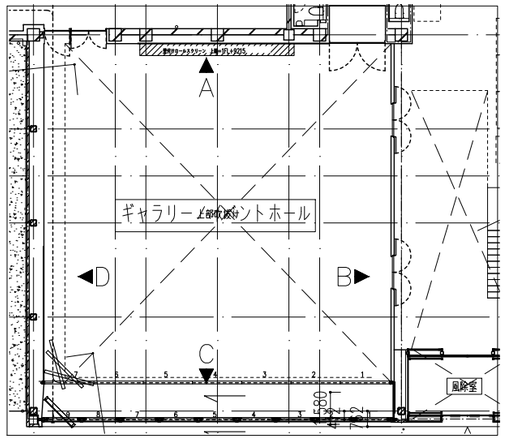


部位	仕様	
床	仕上	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤
	下地	CO全ゴテ
壁	仕上	ポリエステル繊維系織物張
	下地	LGS+GB-Ft21+9.5(GW充填)　CO+GB-Ft21+9.5(GW充填)
	巾木	木製巾木
天井	仕上	GWマット直貼り
	下地	直天井

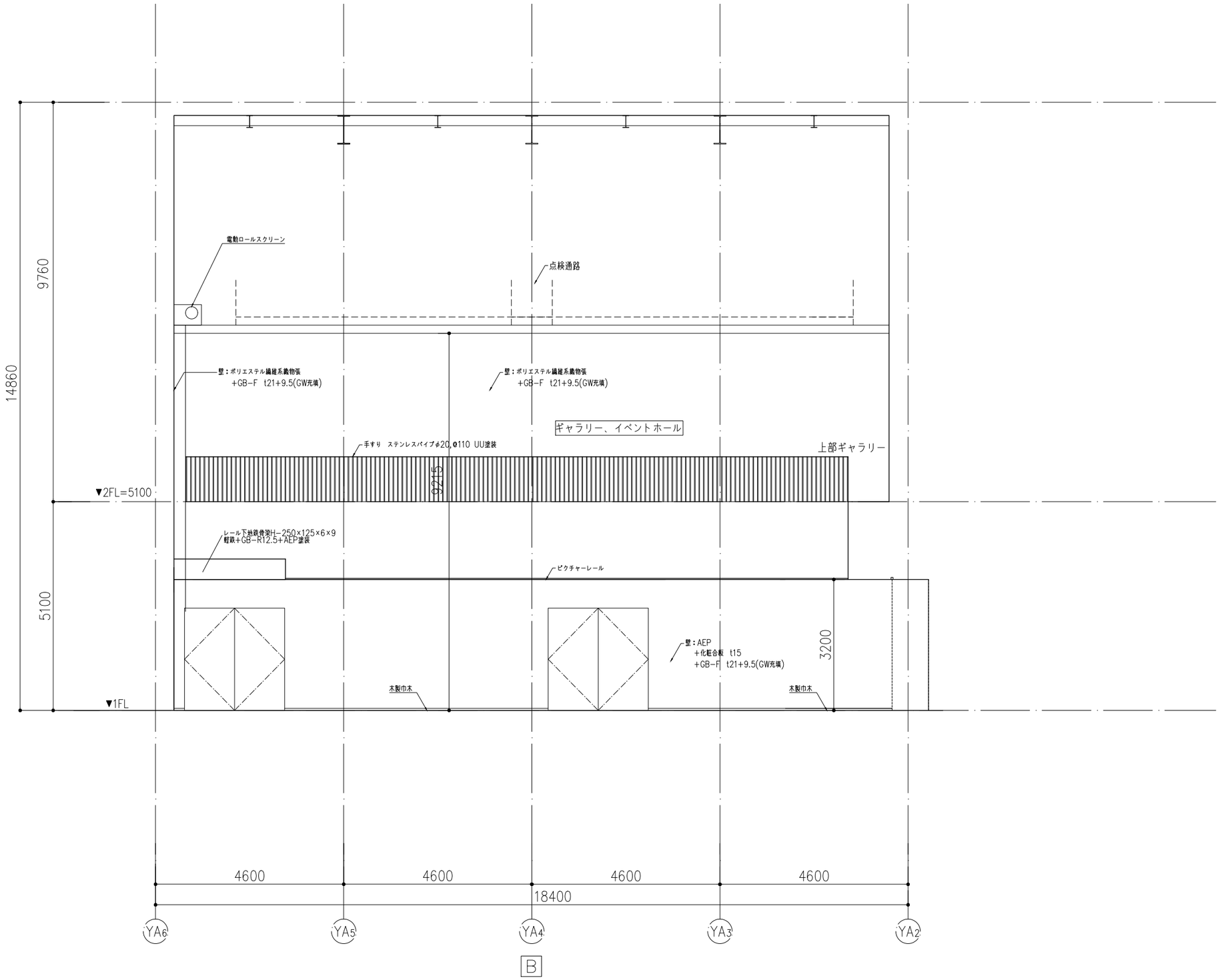


KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 展開図（3） SCALE scale=1:100	DRAWING No. AA-064 DATE 2023/11/30

ギャラリー／イベントホール

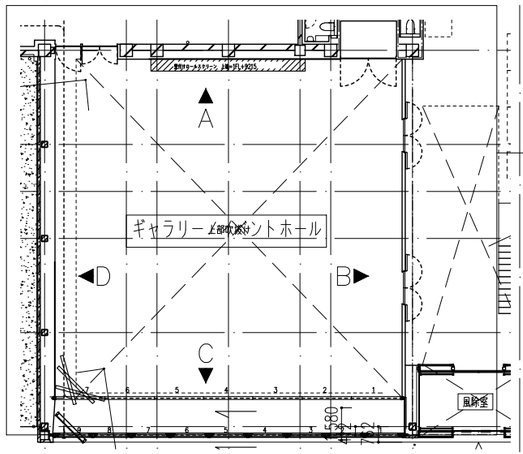


部位	仕様	
床	仕上	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤
	下地	CO全ゴテ
壁	仕上	ポリエステル繊維系織物張　GW板
	下地	LGS+GB-Ft21+9.5(GW充填)　CO+GB-Ft21+9.5(GW充填)
	巾木	木製巾木
天井	仕上	GWマット直貼り
	下地	直天井

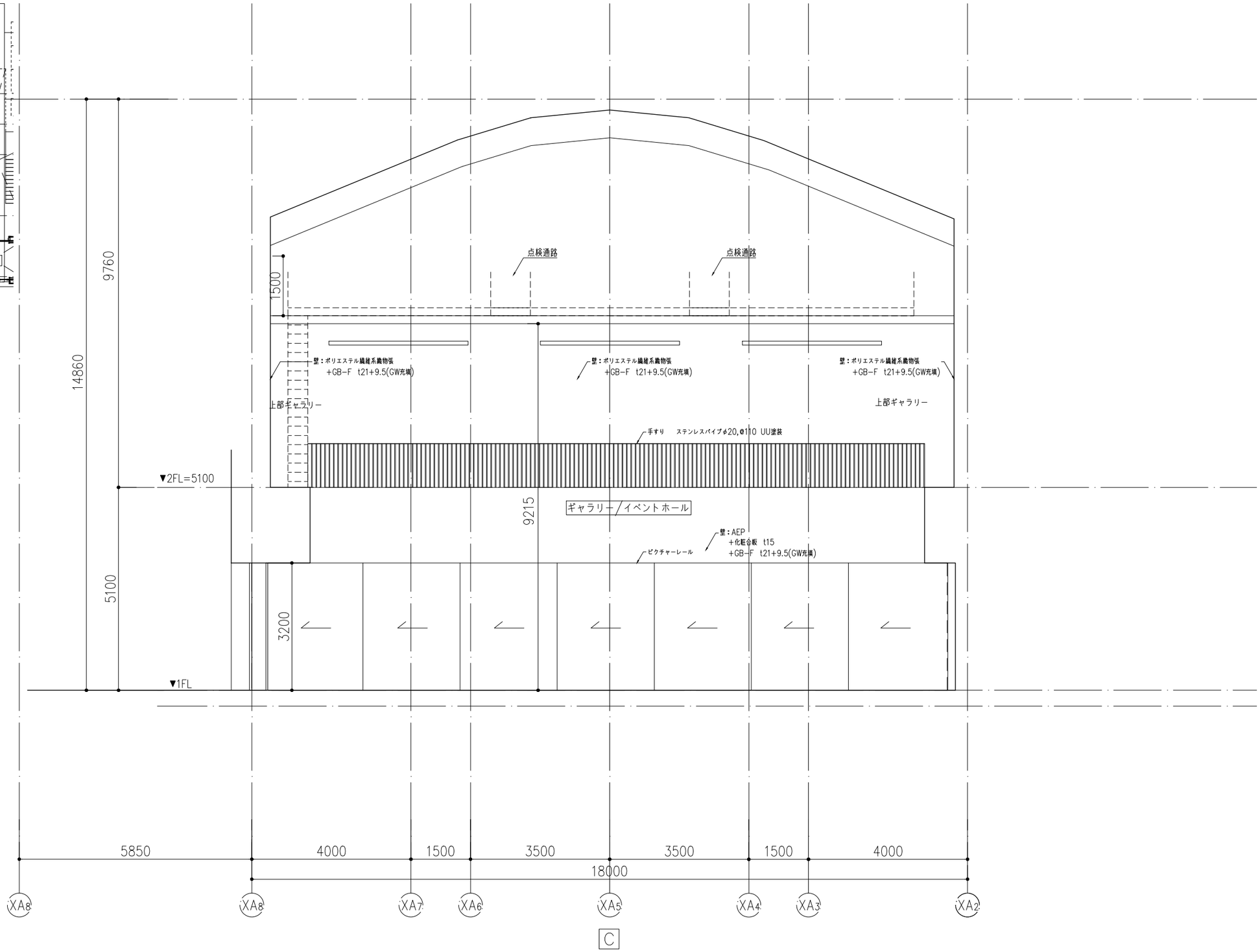


KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 展開図（4） SCALE scale=1:100	DRAWING No. AA-065 DATE 2023/11/30

ギャラリー／イベントホール

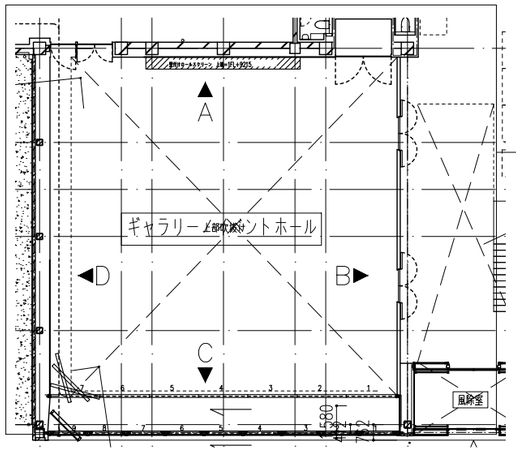


部位	仕様	
床	仕上	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤
	下地	CO金ゴテ
壁	仕上	ポリエステル繊維系織物張　GW板
	下地	LGS+GB-Ft21+9.5(GW充填)　CO+GB-Ft21+9.5(GW充填)
	巾木	木製巾木
天井	仕上	GWマット直貼り
	下地	直天井

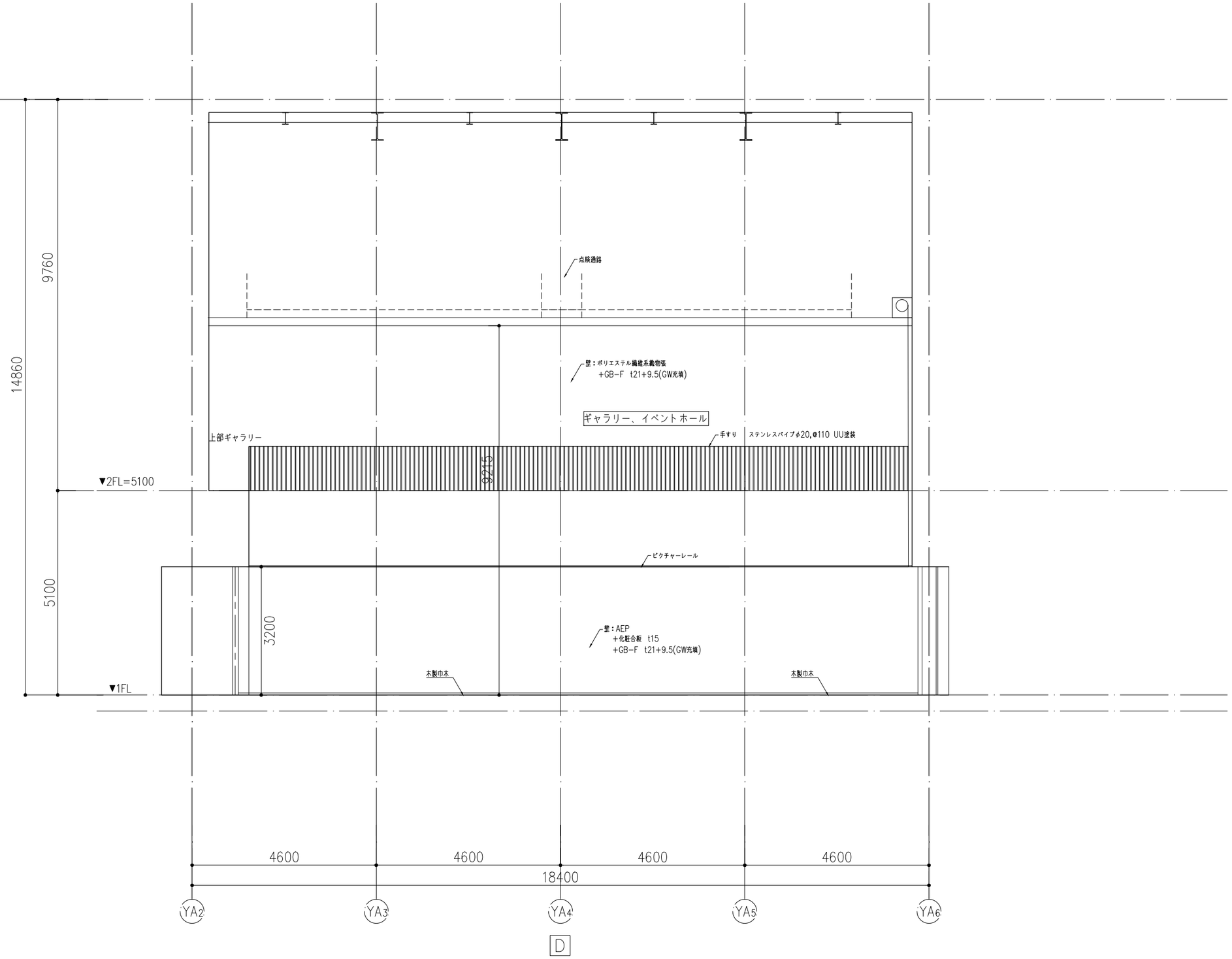


KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所　東京都知事登録第 32752　号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 展開図（5） SCALE scale=1:100	DRAWING No. AA-066 DATE 2023/11/30

ギャラリー／イベントホール



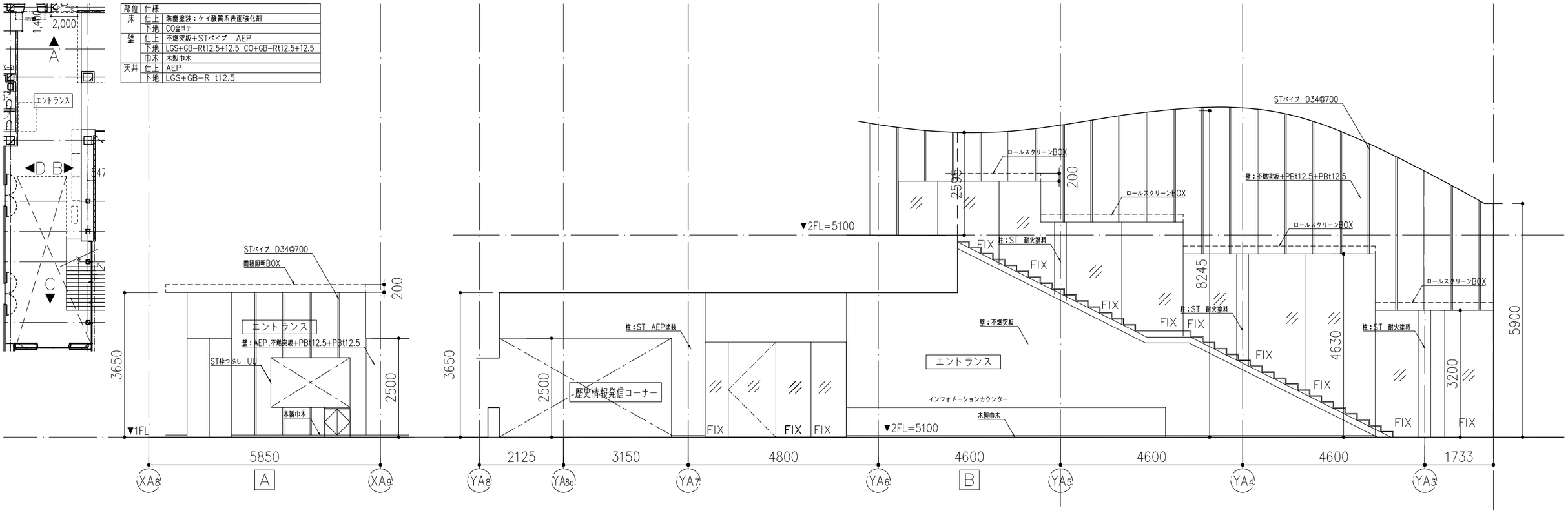
部位	仕様	
床	仕上	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤
	下地	CO金ゴテ
壁	仕上	ポリエステル繊維系織物張　GW板
	下地	LGS+GB-Ft21+9.5(GW充填)　CO+GB-Ft21+9.5(GW充填)
	巾木	木製巾木
天井	仕上	GWマット直貼り
	下地	直天井

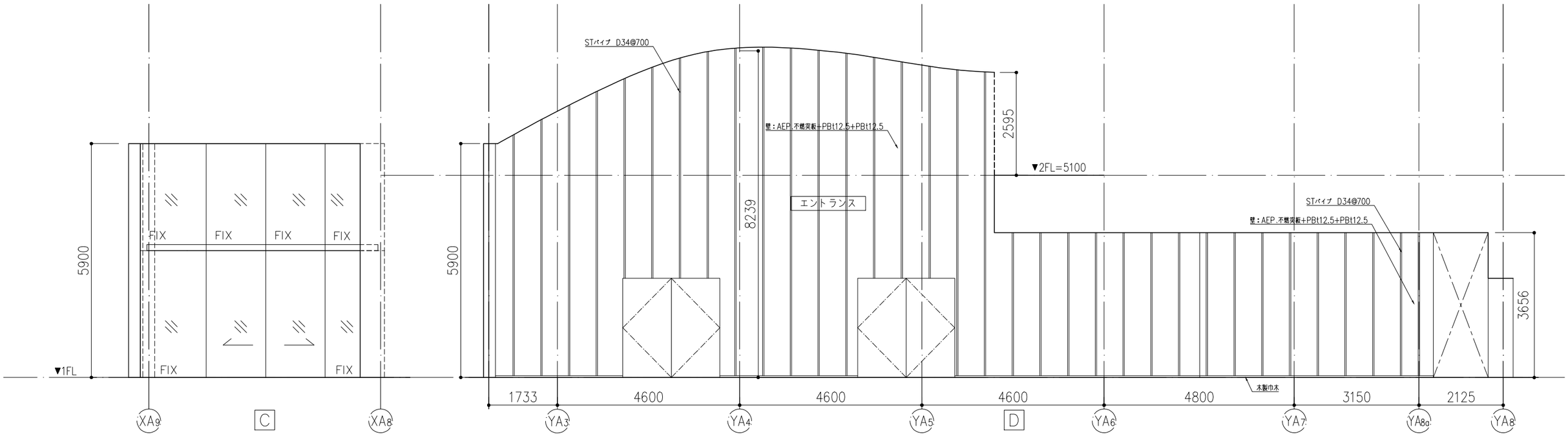


KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 展開図（6） SCALE scale=1:100	DRAWING No. AA-067 DATE 2023/11/30

エントランス

部位	仕様	
床	仕上	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤
	下地	CO金ゴテ
壁	仕上	不燃突板＋STパイプ　AEP
	下地	LGS+GB-Rt12.5+12.5　CO+GB-Rt12.5+12.5
	巾木	木製巾木
天井	仕上	AEP
	下地	LGS+GB-R　t12.5



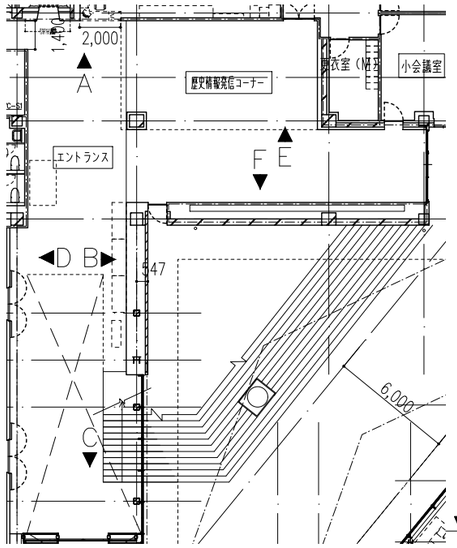


KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図

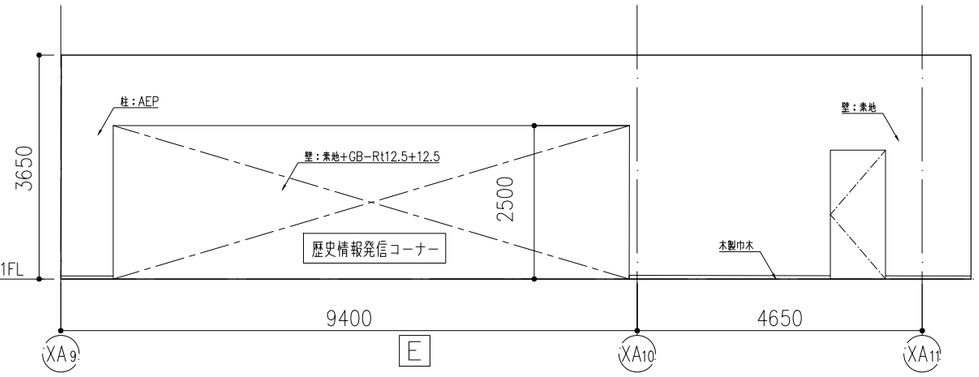
東海市創造の杜交流館建設工事

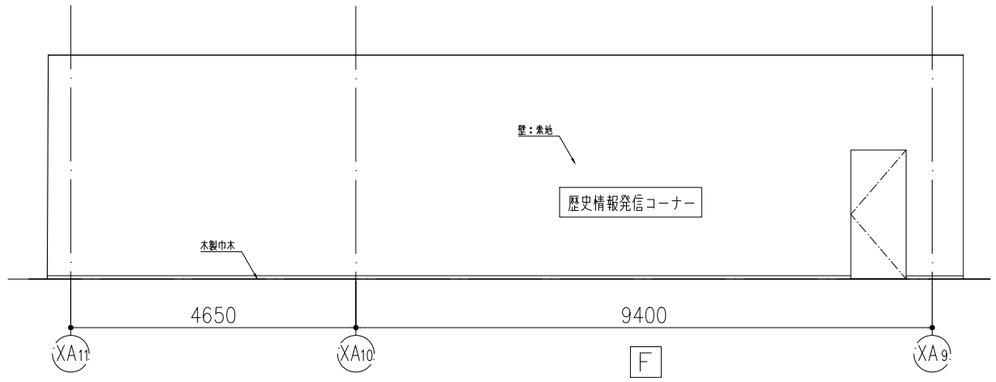
DRAWING TITLE	展開図（7）
SCALE	scale=1:100
DRAWING No.	AA-068
DATE	2023/11/30

歴史情報発信コーナー

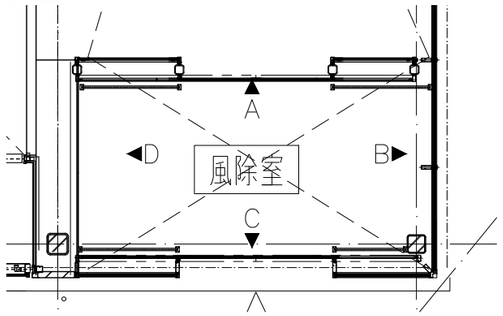


部位	仕様	
床	仕上	タイルカーペット
	下地	CO+OAフロア
壁	仕上	素地
	下地	LGS+GB−Rt12.5+12.5 CO+GB−Rt12.5+12.5
	巾木	木製巾木
天井	仕上	AEP
	下地	LGS+GB−R t12.5

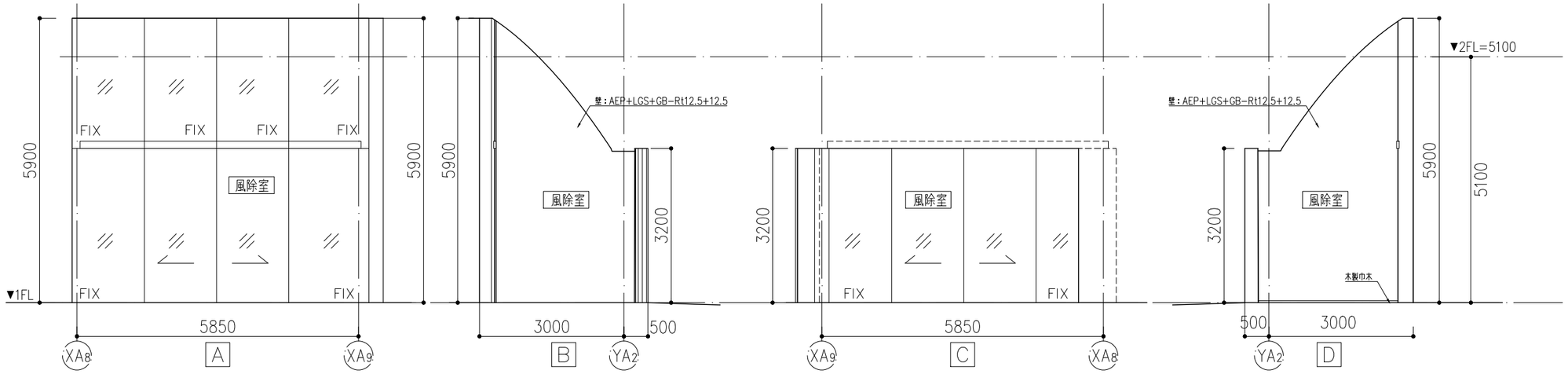




風除室

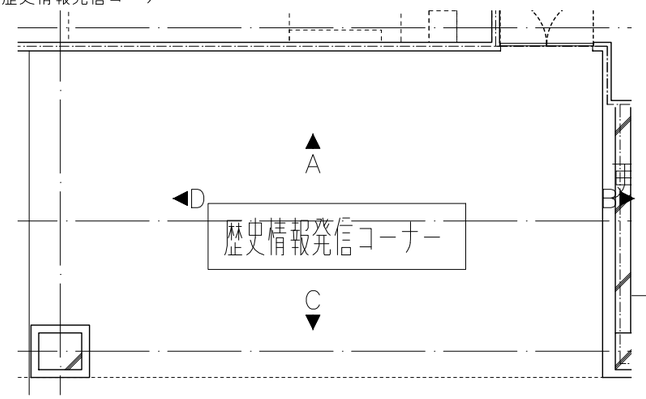


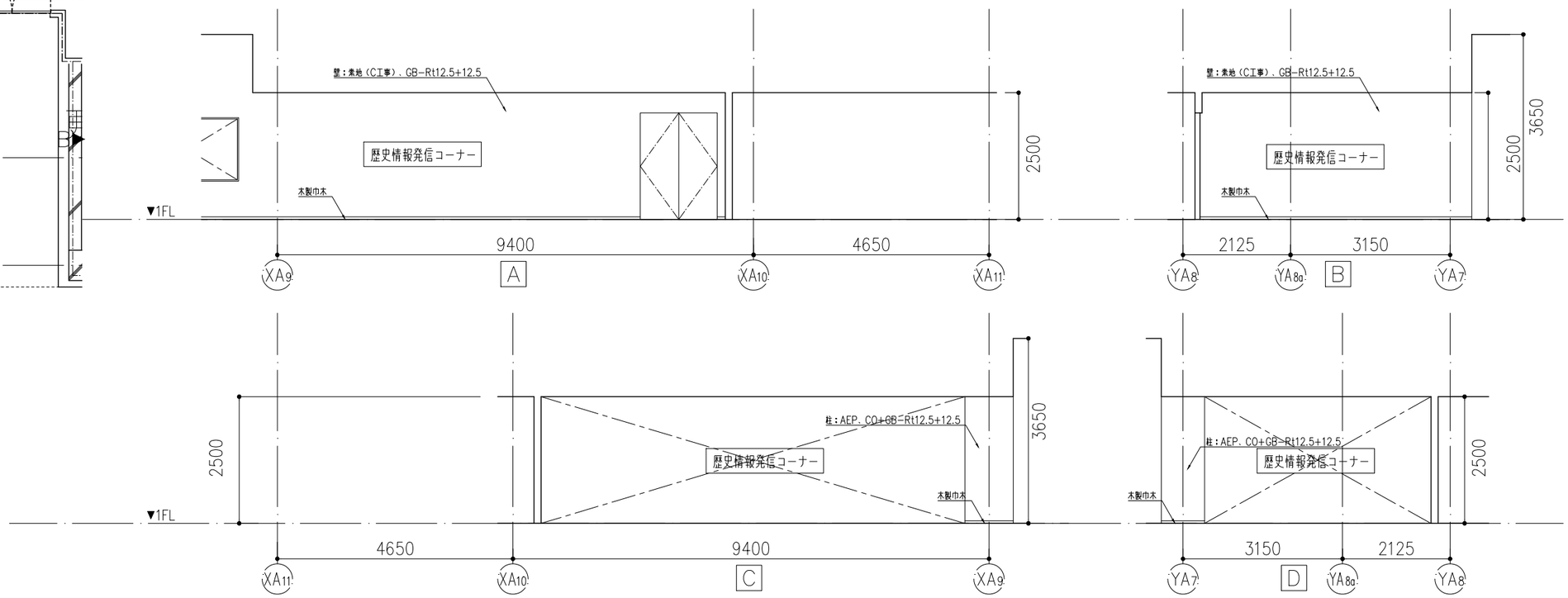
部位	仕様	
床	仕上	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤
	下地	CO全ｺﾞﾃ
壁	仕上	AEP
	下地	LGS+GB−Rt12.5+12.5 CO+GB−Rt12.5+12.5
	巾木	木製巾木
天井	仕上	AEP
	下地	LGS+GB−R t12.5



KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 展開図（8） SCALE scale=1:100	DRAWING No. AA−069 DATE 2023/11/30

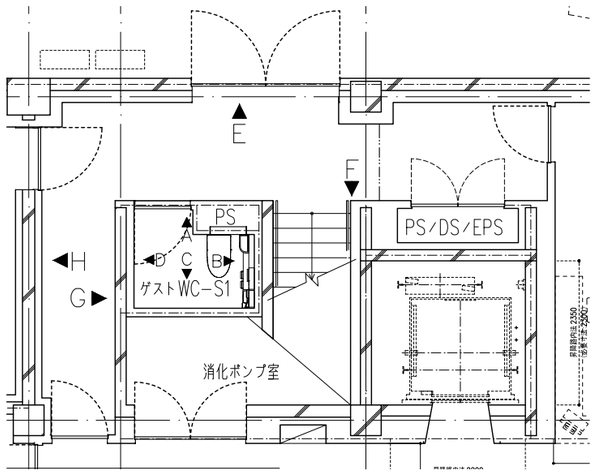
歴史情報発信コーナー

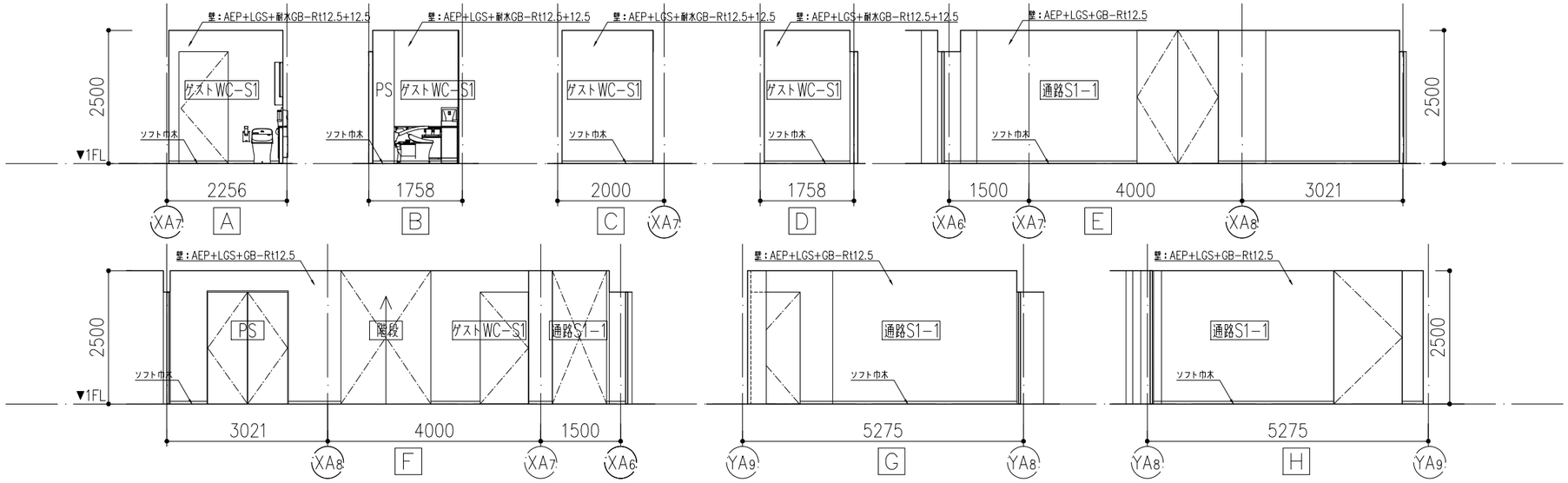




部位	仕様	
床	仕上	タイルカーペット
	下地	CO+OAフロア
壁	仕上	素地
	下地	LGS+GB-Rt12.5+12.5、CO+GB-Rt12.5+12.5
	巾木	木製巾木
天井	仕上	AEP
	下地	LGS+GB-R t12.5

ゲストWC-S1・通路S1-1



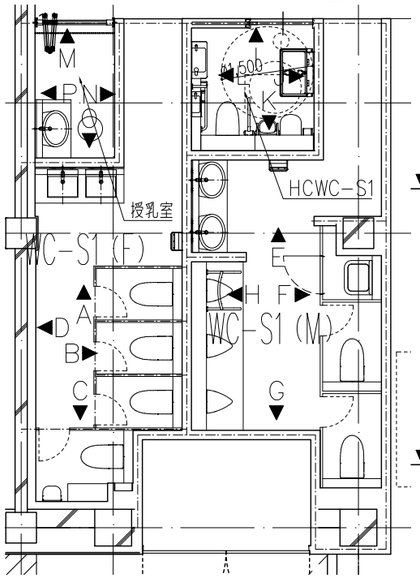


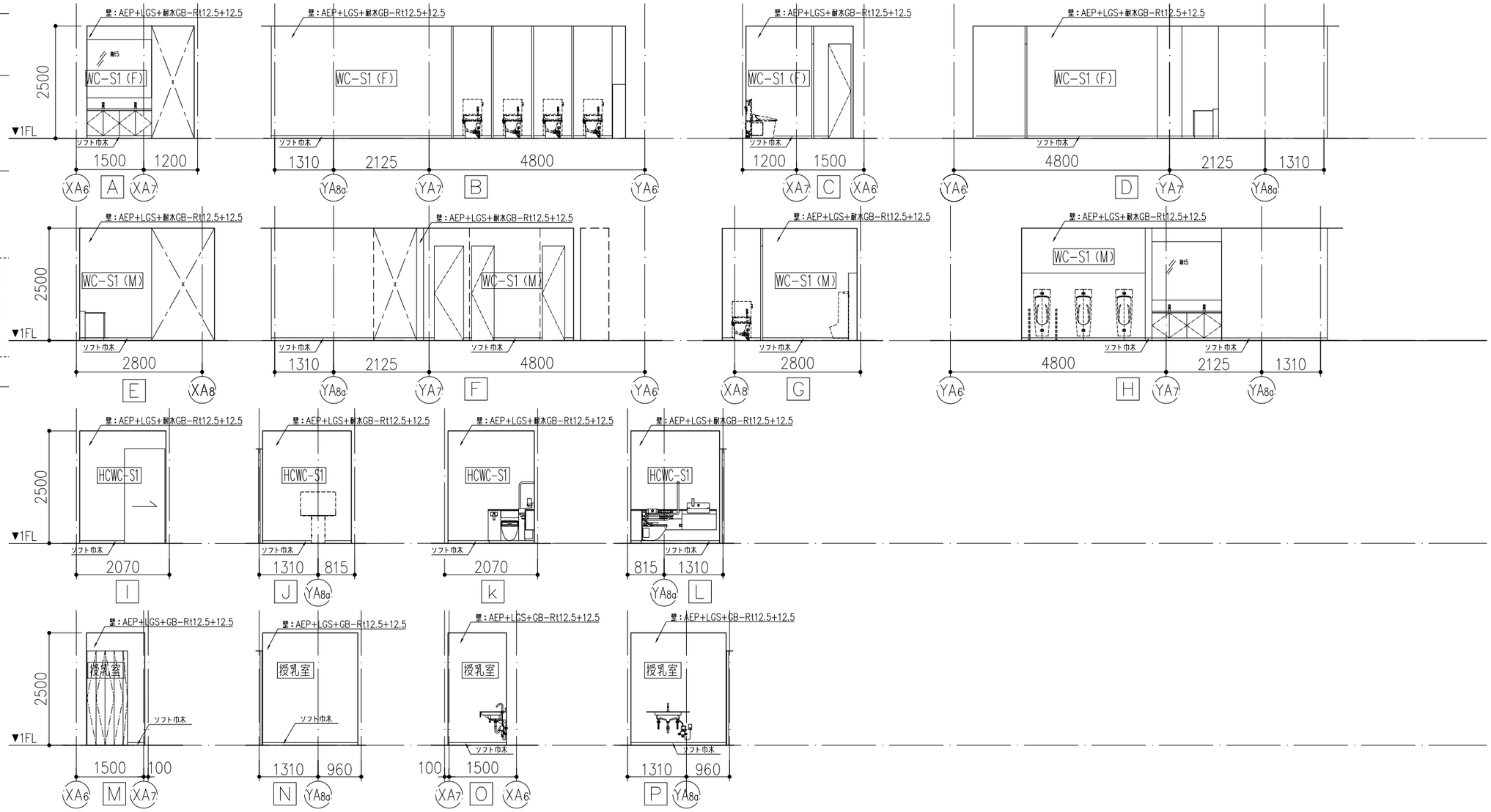
部位	仕様	ゲストWC-S1
床	仕上	長尺シート
	下地	CO直均し
壁	仕上	AEP
	下地	LGS+耐水GB-Rt12.5+12.5、CO+耐水GB-Rt12.5+12.5
	巾木	ソフト巾木
天井	仕上	AEP
	下地	LGS+GB-R t12.5

部位	仕様	通路S1-1
床	仕上	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤
	下地	CO金ゴテ
壁	仕上	AEP
	下地	LGS+GB-Rt12.5、CO+GB-Rt12.5
	巾木	ソフト巾木
天井	仕上	AEP
	下地	LGS+GB-R t12.5

KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 展開図（9） SCALE scale=1:100	DRAWING No. AA-070 DATE 2023/11/30

WC−S1（F）・WC−S1（M）・授乳室・HCWC−S1



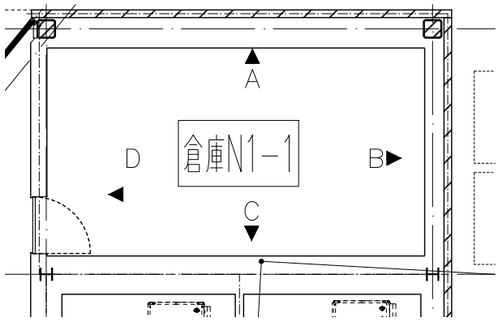


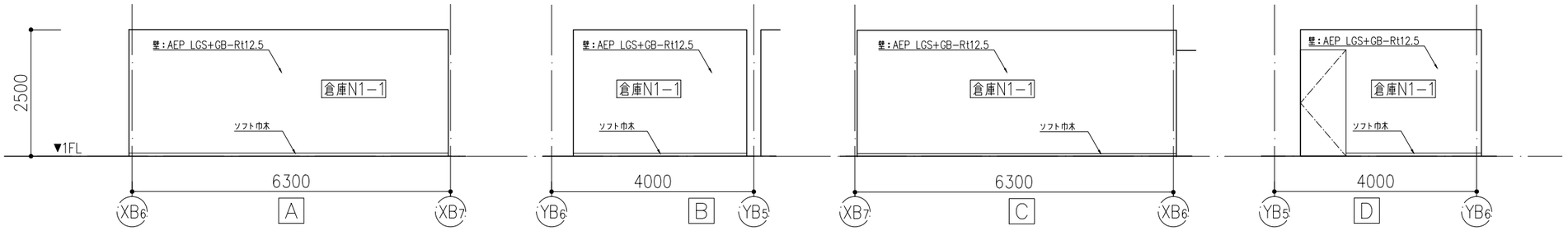
部位	仕様	WC−S1（F）・WC−S1（M）・HCWC−S1
床	仕上	長尺シート
	下地	CO直均し
壁	仕上	AEP
	下地	LGS+耐水GB−Rt12.5+12.5. CO+耐水GB−Rt12.5+12.5
	巾木	ソフト巾木
天井	仕上	AEP
	下地	LGS+GB−R t12.5

部位	仕様	授乳室
床	仕上	ビニル床タイル
	下地	CO直均し
壁	仕上	AEP
	下地	LGS+GB−Rt12.5+12.5. CO+GB−Rt12.5+12.5
	巾木	ソフト巾木
天井	仕上	AEP
	下地	LGS+GB−R t12.5

KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 展開図（10） SCALE scale=1:100	DRAWING No. AA−071 DATE 2023/11/30

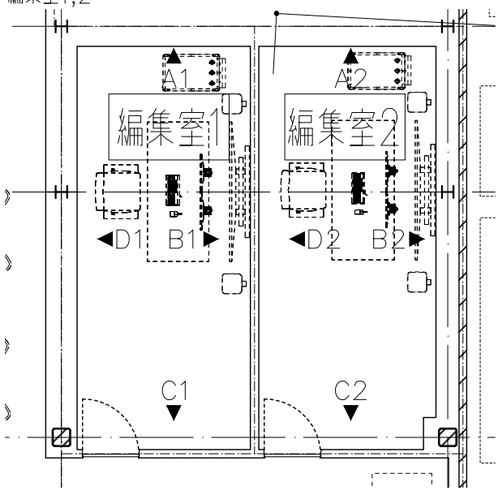
倉庫N1−1

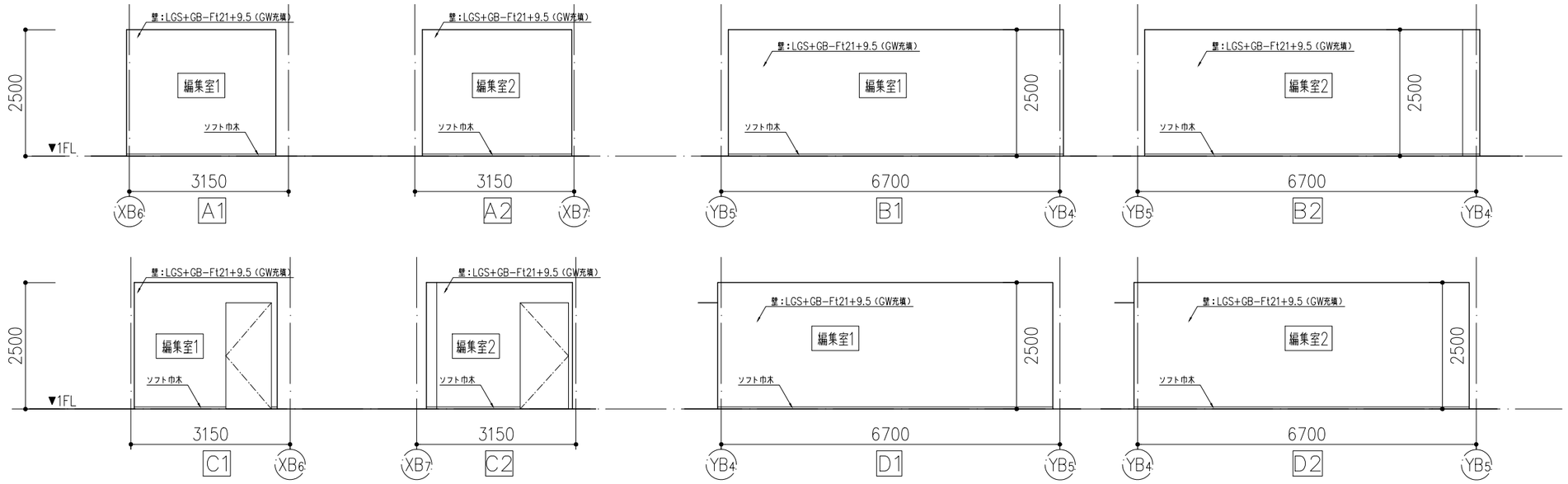




部位	仕様	
床	仕上	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤
	下地	CO金ゴテ
壁	仕上	AEP
	下地	LGS+GB−Rt12.5
	巾木	ソフト巾木
天井	仕上	未地
	下地	直天井

編集室1,2





部位	仕様	
床	仕上	タイルカーペット
	下地	CO直均し
壁	仕上	GWマット
	下地	LGS+GB−Ft21+9.5（GW充填）
	巾木	ソフト巾木
天井	仕上	GWマット
	下地	LGS+GB−R　t12.5(GW敷き込み)

KENGO KUMA & ASSOCIATES
隈研吾建築都市設計事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号

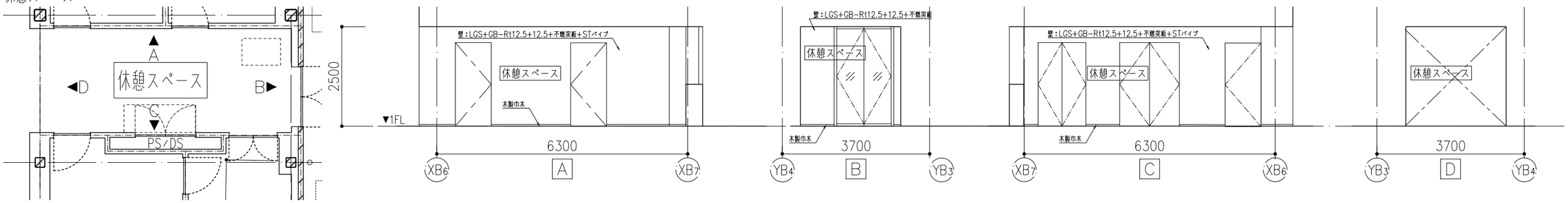
一級建築士
登録第319352号
宮原賢次

DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION
CHECKED		実施設計図
APPROVED	CHECKED	
	APPROVED	

東海市創造の杜交流館建設工事

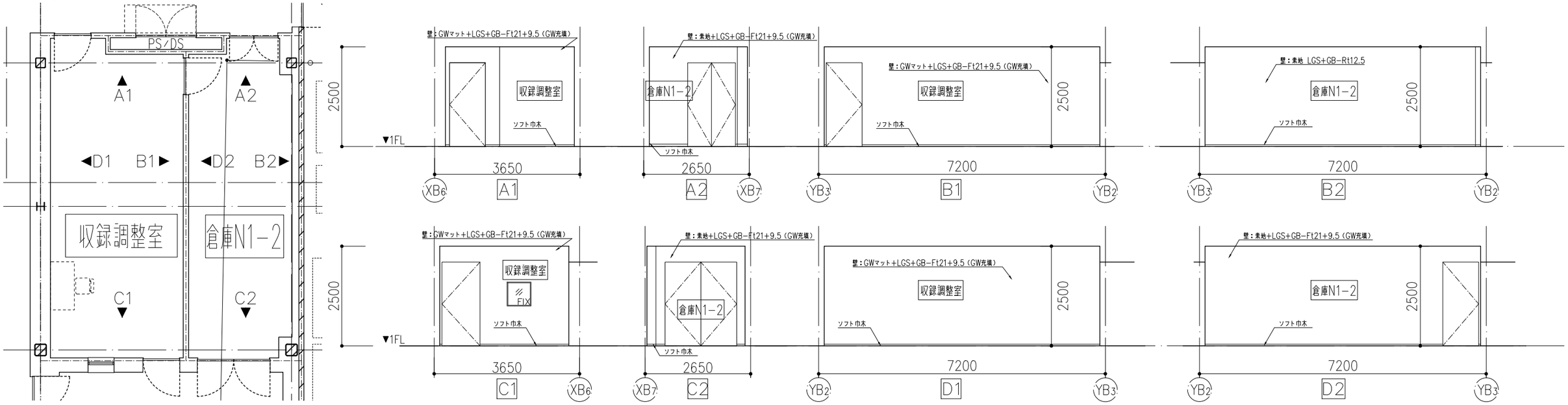
DRAWING TITLE	DRAWING No.
展開図（11）	AA−072
SCALE: scale=1:100	DATE: 2023/11/30

休憩スペース



部位	仕様	
床	仕上	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤
	下地	CO全ゴテ
壁	仕上	不燃突板+STパイプ
	下地	LGS+GB−Rt12.5+12.5
	巾木	木製巾木
天井	仕上	AEP
	下地	LGS+GB−Rt12.5

収録調整室・倉庫N1−2

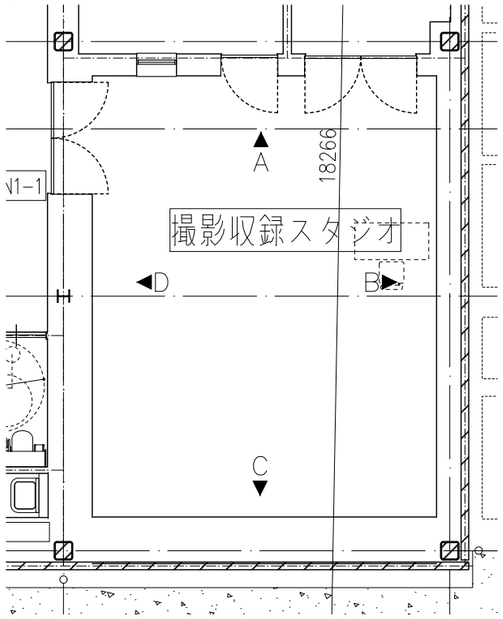


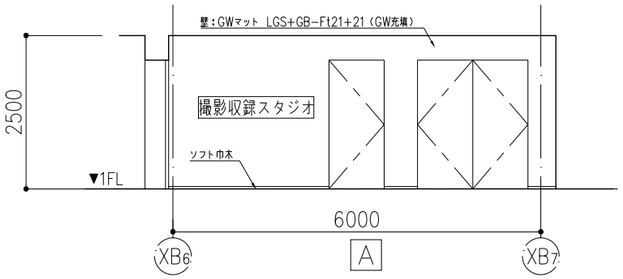
部位	仕様	収録調整室
床	仕上	タイルカーペット
	下地	CO+調製下地+構造用合板
壁	仕上	GWマット
	下地	LGS+GB−Ft21+9.5（GW充填）
	巾木	ソフト巾木
天井	仕上	GWマット
	下地	LGS+GB−R t12.5+12.5(GW敷き込み)

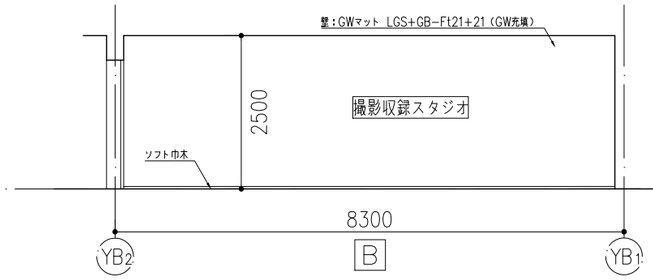
部位	仕様	倉庫N1−2
床	仕上	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤
	下地	CO全ゴテ
壁	仕上	素地
	下地	LGS+GB−Ft21+9.5（GW充填）
	巾木	ソフト巾木
天井	仕上	素地
	下地	直天井

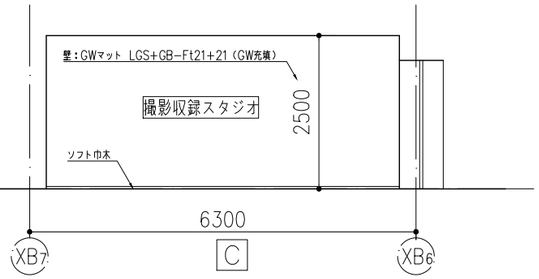
KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 展開図（12） SCALE scale=1:100	DRAWING No. AA−073 DATE 2023/11/30

撮影収録スタジオ

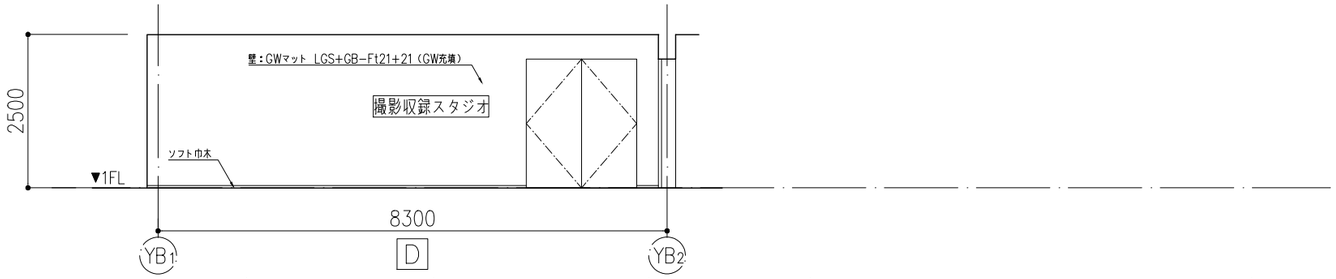




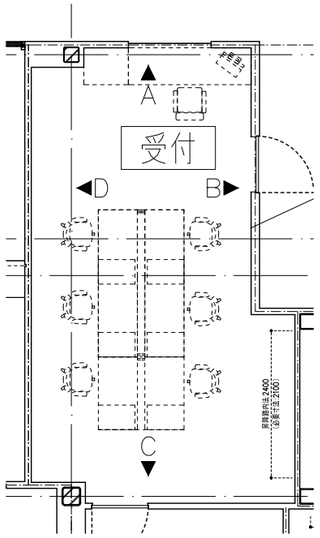


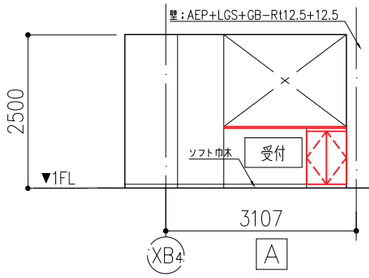


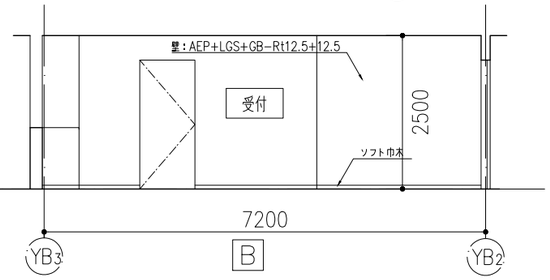
部位	仕様	
床	仕上	タイルカーペット
	下地	CO+PSブロック t50防音浮き床＋鋼製下地＋構造用合板 t15
壁	仕上	GWマット
	下地	LGS+GB−Ft21+21（GW充填）+GB−R t12.5(GW充填、遮音浮き壁)
	巾木	ソフト巾木
天井	仕上	GWマット
	下地	LGS+GB−R t12.5+12.5(GW敷き込み＋防振ハンガー)

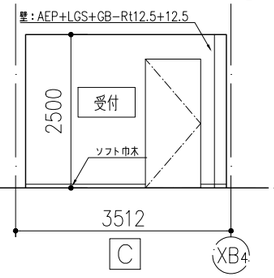


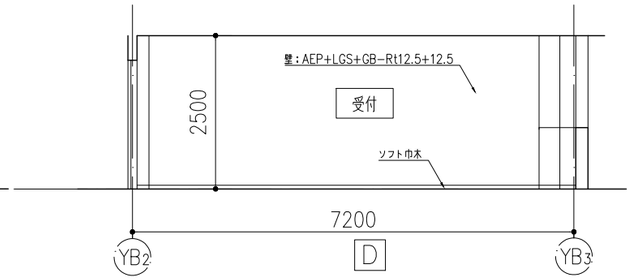
受付









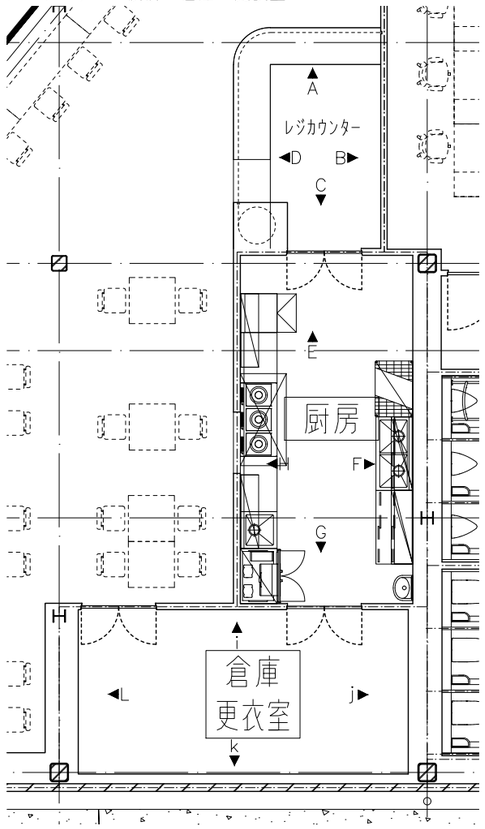


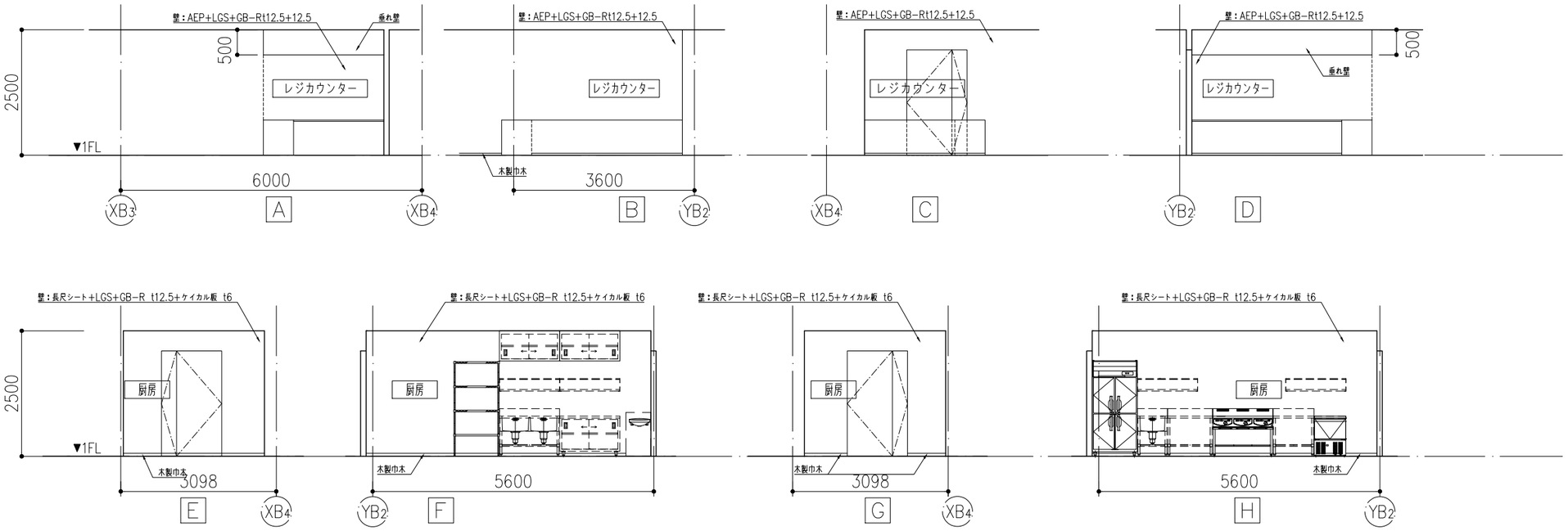
部位	仕様	
床	仕上	タイルカーペット
	下地	CO+OAフロア
壁	仕上	AEP
	下地	LGS+GB−Rt12.5+12.5
	巾木	ソフト巾木
天井	仕上	AEP
	下地	LGS+GB−Rt12.5

KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事

DRAWING TITLE	DRAWING No.
展開図（13）	AA−074
SCALE: scale=1:100	DATE: 2023/11/30

レジカウンター・厨房・倉庫・更衣室

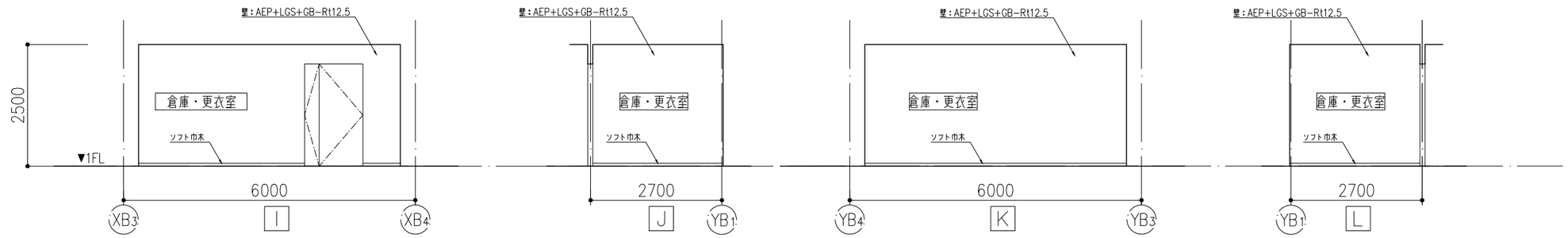




部位	仕様	レジカウンター
床	仕上	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤
	下地	CO金ゴテ
壁	仕上	AEP
	下地	LGS+GB−Rt12.5+12.5
	巾木	木製巾木
天井	仕上	AEP
	下地	LGS+GB−Rt12.5

部位	仕様	厨房
床	仕上	防水長尺シート
	下地	CO+調製下地+シート防水+構造用合板
壁	仕上	長尺シート
	下地	LGS+GB−R t12.5+ケイカル板 t6
	巾木	木製巾木
天井	仕上	AEP
	下地	LGS+GB−R t12.5+ケイカル板 t6

部位	仕様	倉庫・更衣室
床	仕上	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤
	下地	CO金ゴテ
壁	仕上	AEP
	下地	LGS+GB−Rt12.5
	巾木	ソフト巾木
天井	仕上	素地
	下地	直天井



KENGO KUMA & ASSOCIATES
隈研吾建築都市設計事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号

一級建築士
登録第319352号
宮原賢次

DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION
CHECKED	CHECKED	実施設計図
APPROVED	APPROVED	

東海市創造の杜交流館建設工事

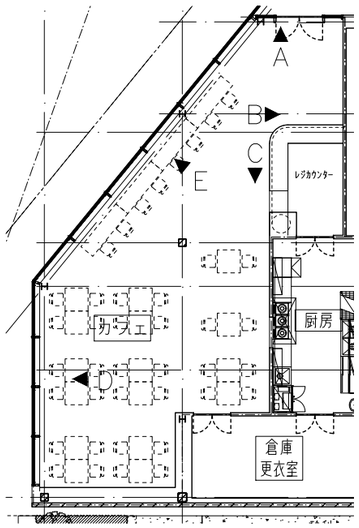
DRAWING TITLE: 展開図（14）

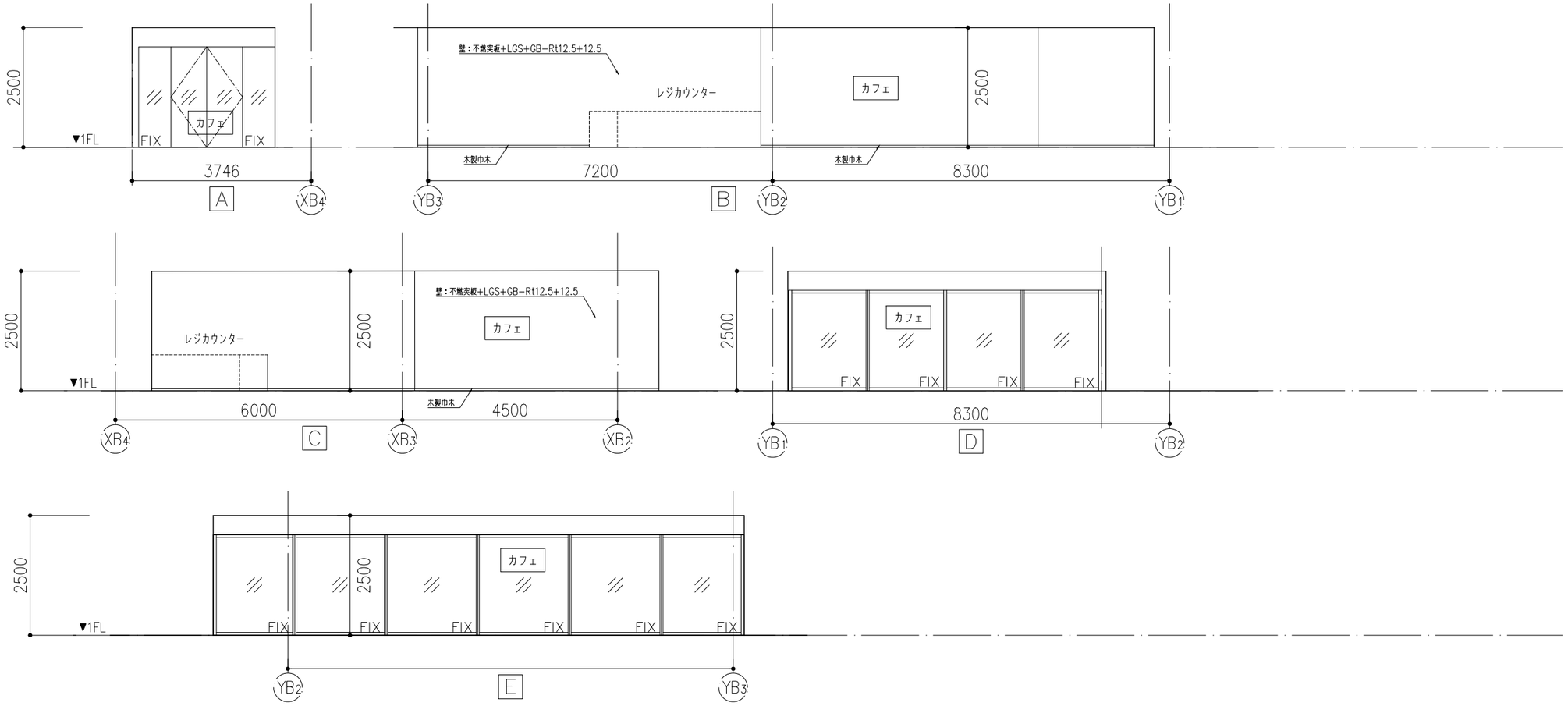
SCALE: scale=1:100

DRAWING No.: AA−075

DATE: 2023/11/30

カフェ

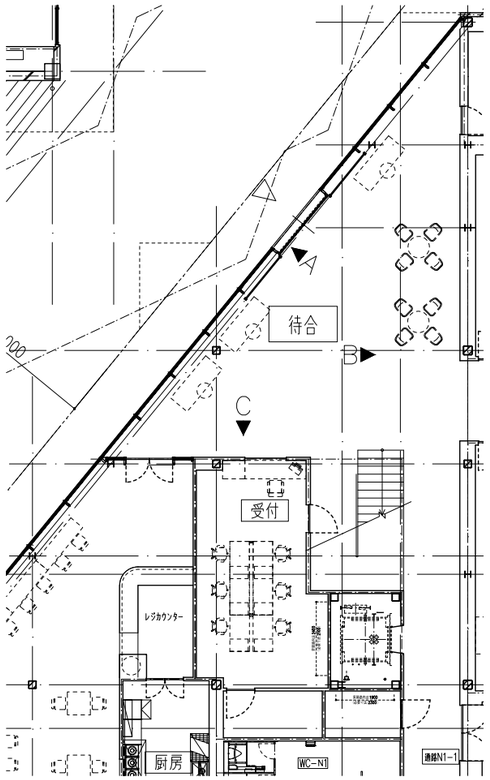




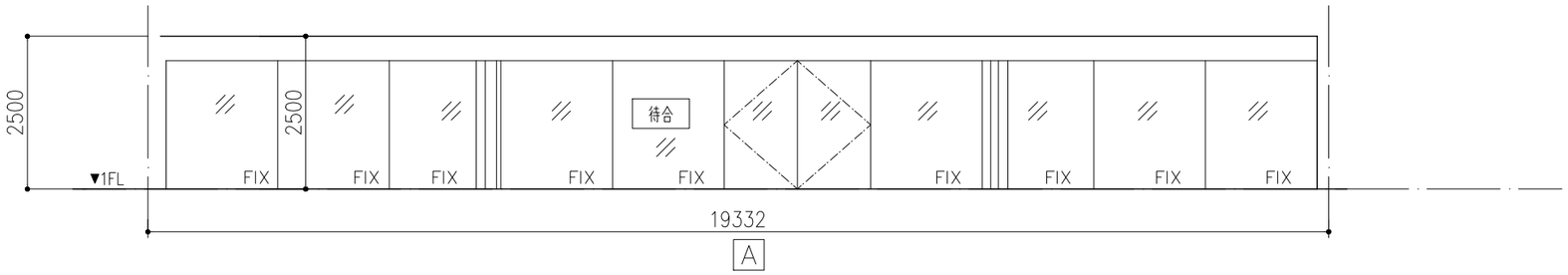
部位	仕様	
床	仕上	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤
	下地	CO全ゴテ
壁	仕上	不燃突板
	下地	LGS+GB-Rt12.5+12.5
	巾木	木製巾木
天井	仕上	AEP
	下地	LGS+GB-Rt12.5

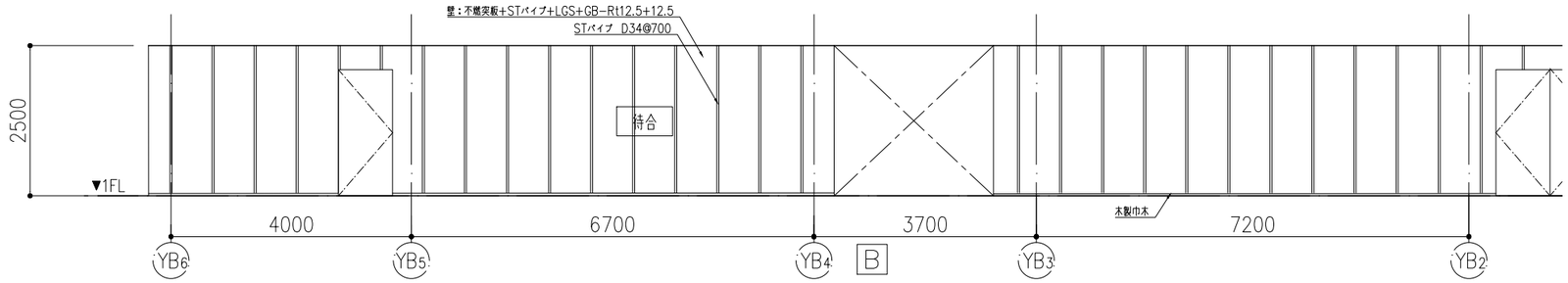
KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 展開図（15） SCALE scale=1:100	DRAWING No. AA-076 DATE 2023/11/30

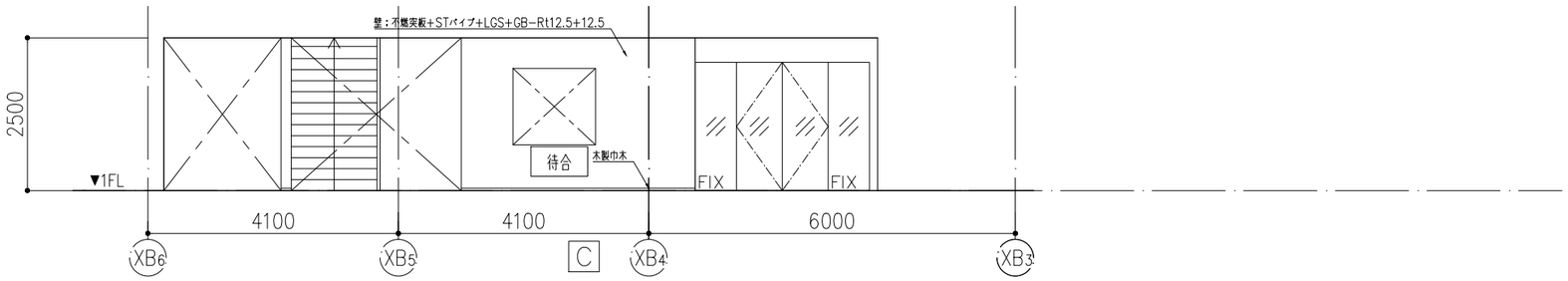
待合



部位	仕様	
床	仕上	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤
	下地	CO金ゴテ
壁	仕上	不燃突板+STパイプ
	下地	LGS+GB-Rt12.5+12.5
	巾木	木製巾木
天井	仕上	AEP
	下地	LGS+GB-Rt12.5

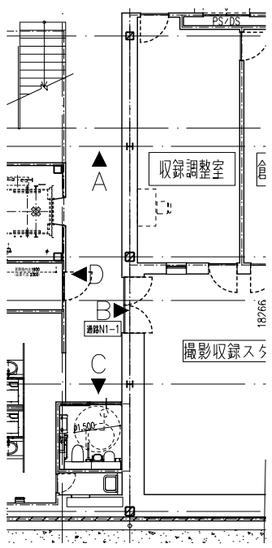


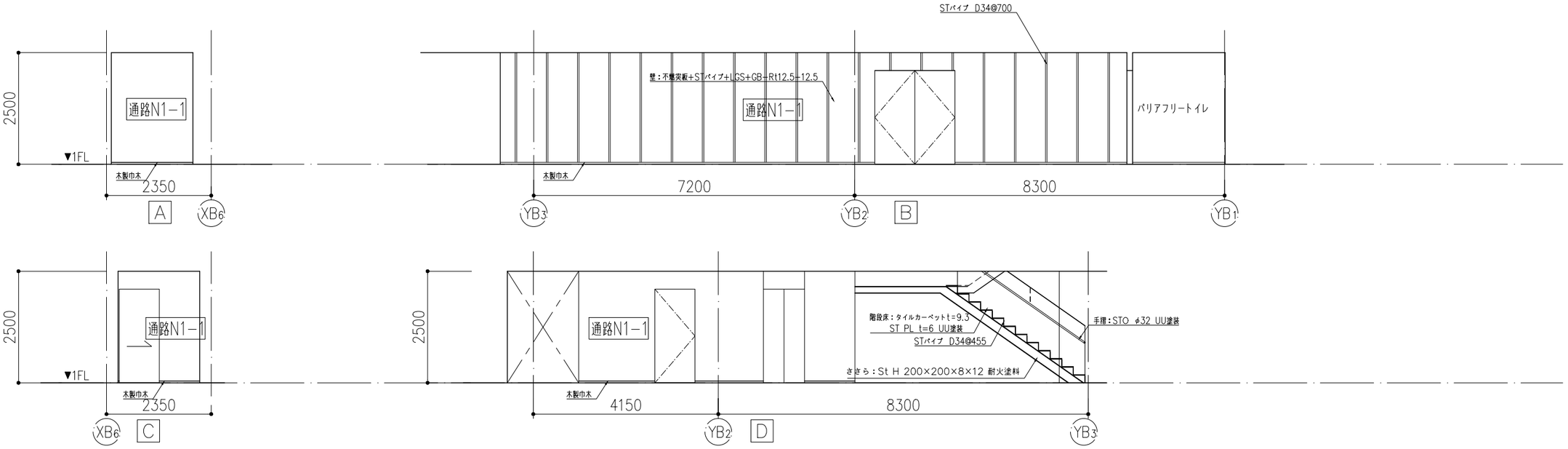




KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図
東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 展開図（16） SCALE scale=1:100	DRAWING No. AA-077 DATE 2023/11/30		

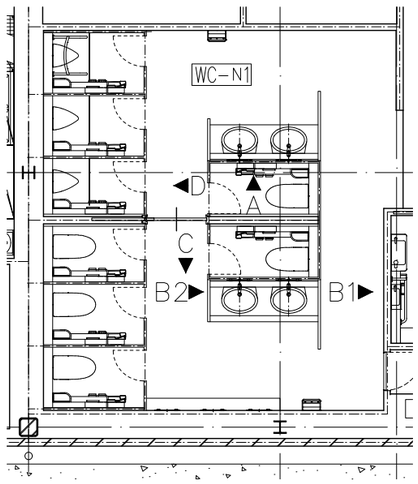
通路N1−1

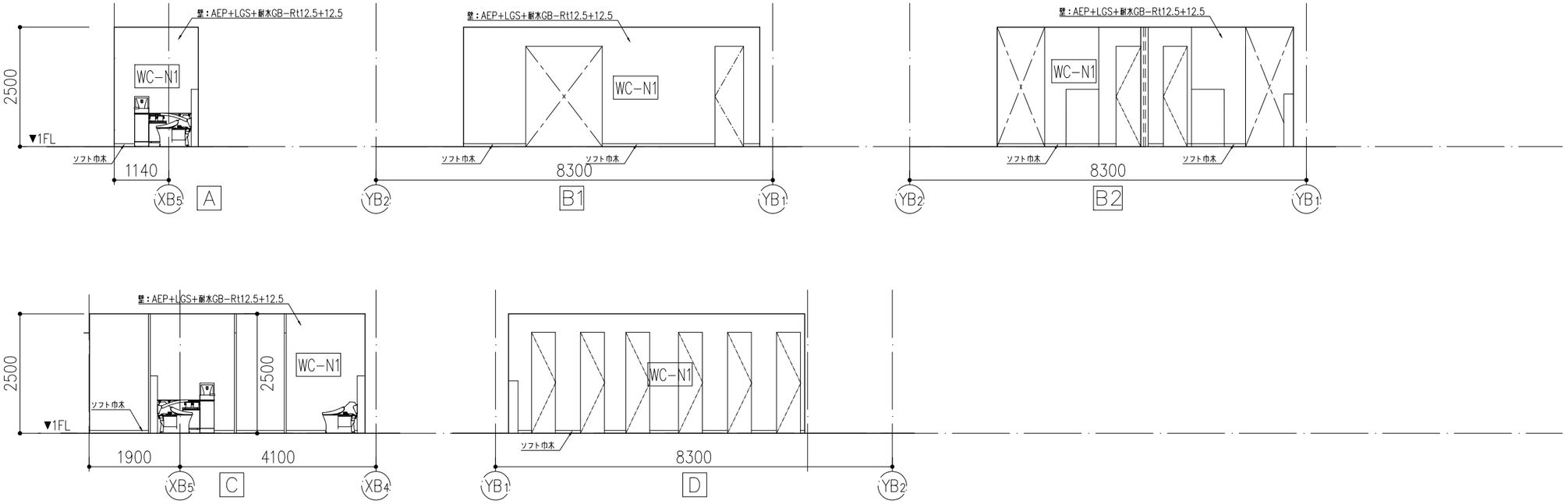




部位	仕様	
床	仕上	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤
	下地	CO金ゴテ
壁	仕上	不燃突板+STパイプ
	下地	LGS+GB−Rt12.5+12.5
	巾木	木製巾木
天井	仕上	AEP
	下地	LGS+GB−R t12.5

WC−N1





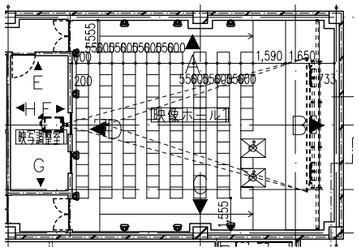
部位	仕様	
床	仕上	長尺シート
	下地	CO直均し
壁	仕上	AEP
	下地	LGS+耐水GB−Rt12.5+12.5
	巾木	ソフト巾木
天井	仕上	AEP
	下地	LGS+耐水GB−Rt12.5+12.5

KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図

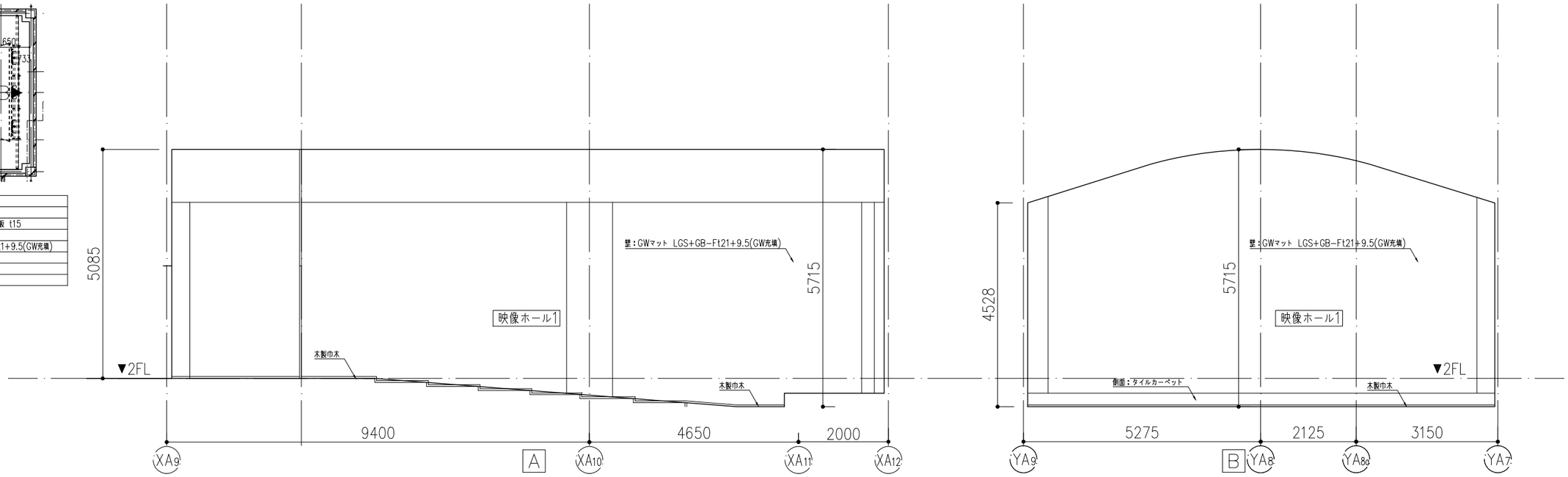
東海市創造の杜交流館建設工事

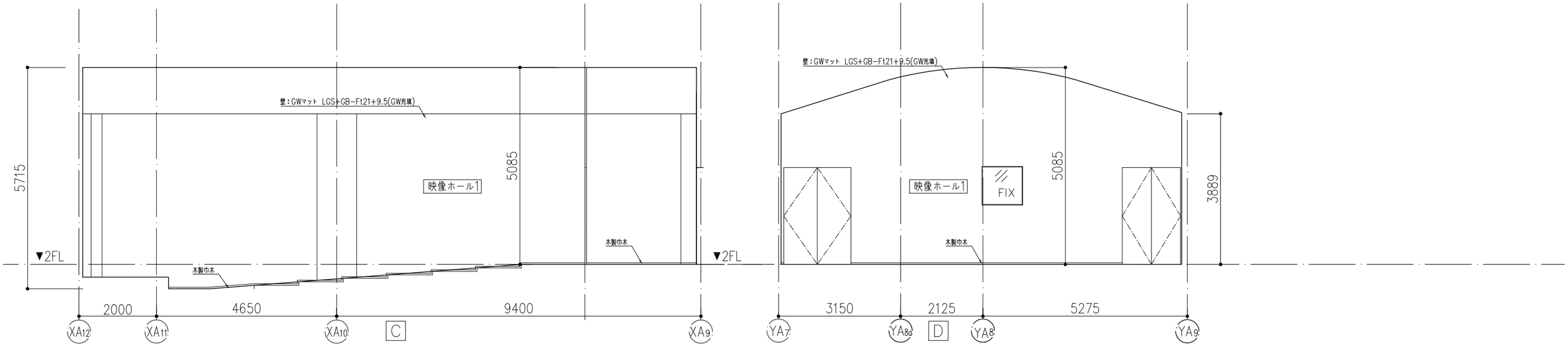
DRAWING TITLE	展開図（17）
SCALE	scale=1:100
DRAWING No.	AA−078
DATE	2023/11/30

映像ホール1



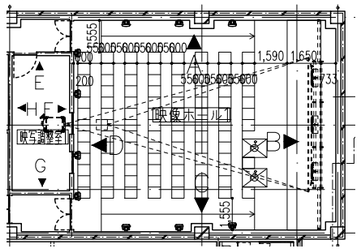
部位	仕様	
床	仕上	タイルカーペット
	下地	CO+PSブロック t50防音浮き床+鋼製下地+構造用合板 t15
壁	仕上	GWマット
	下地	LGS+GB-Ft21+9.5(GW充填)　CO+GB-Ft21+9.5(GW充填)
	巾木	木製巾木
天井	仕上	GWマット
	下地	LGS+GB-R t21+21(GW敷き込み)



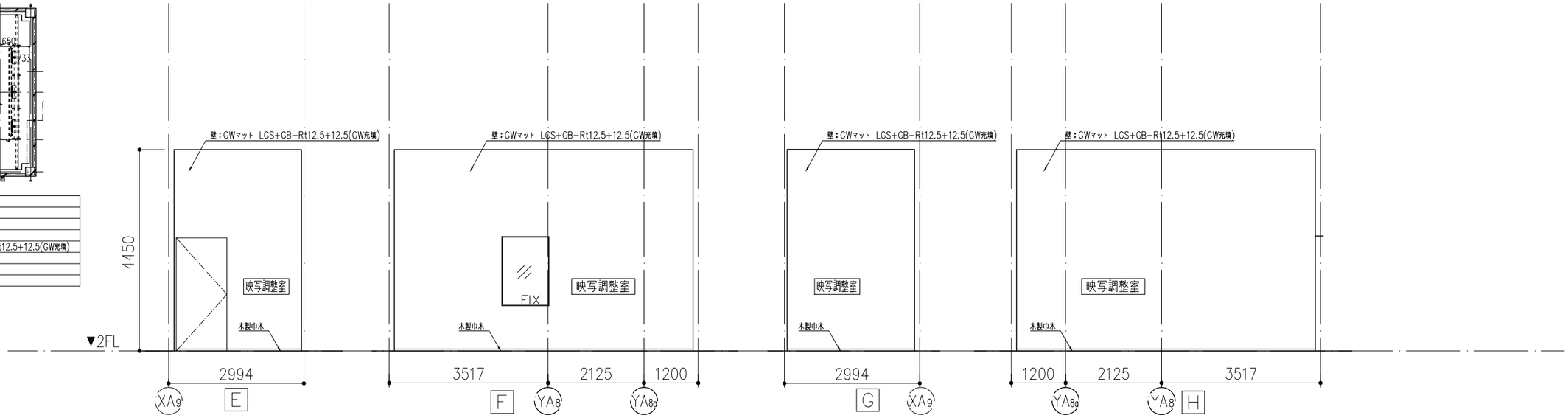


KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 展開図（18） SCALE scale=1:100	DRAWING No. AA-079 DATE 2023/11/30

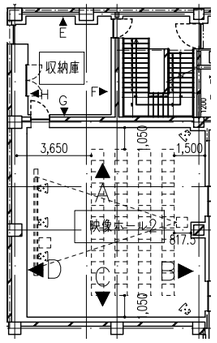
映写調整室



部位	仕様	
床	仕上	タイルカーペット
	下地	CO+OAフロア（静電防止）
壁	仕上	GWマット
	下地	LGS+GB−Rt12.5+12.5(GW充填)　CO+GB−Rt12.5+12.5(GW充填)
	巾木	木製巾木
天井	仕上	GWマット
	下地	LGS+GB−R t12.5

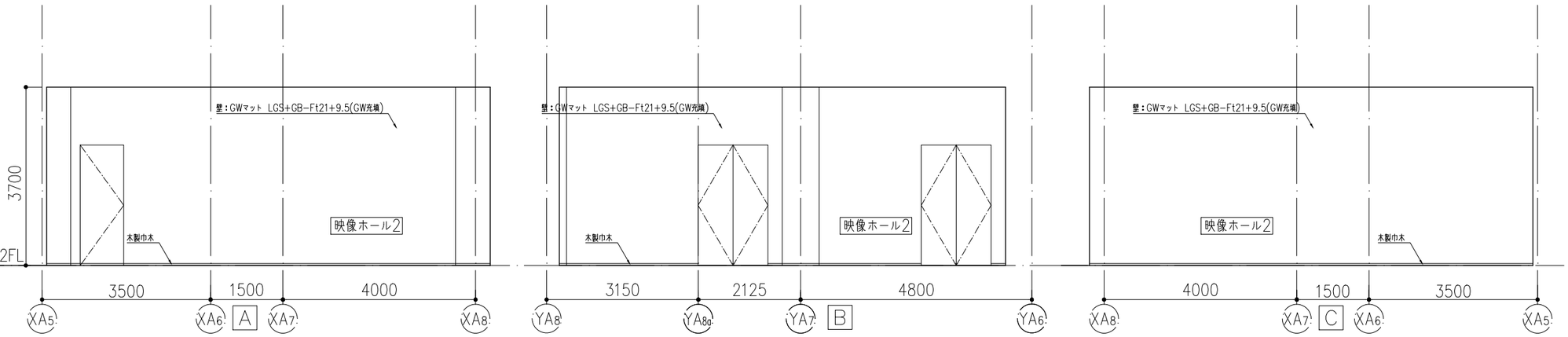


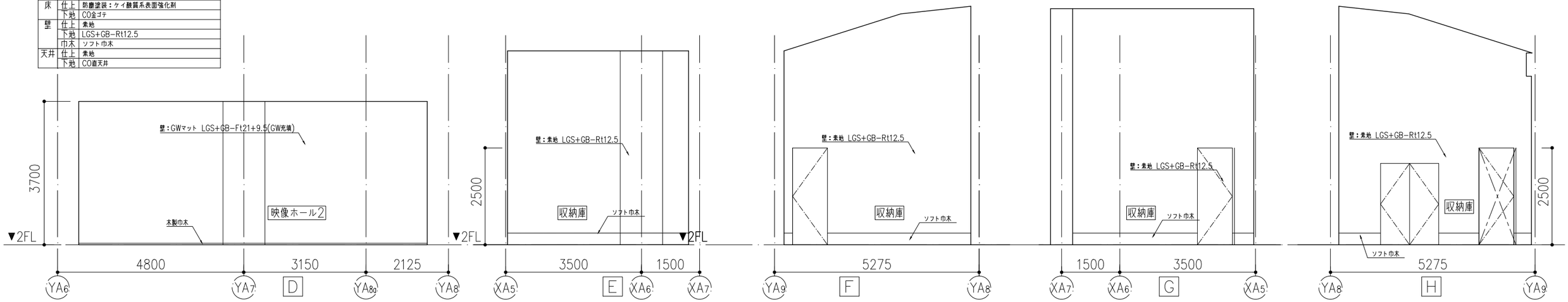
映像ホール2、収納庫



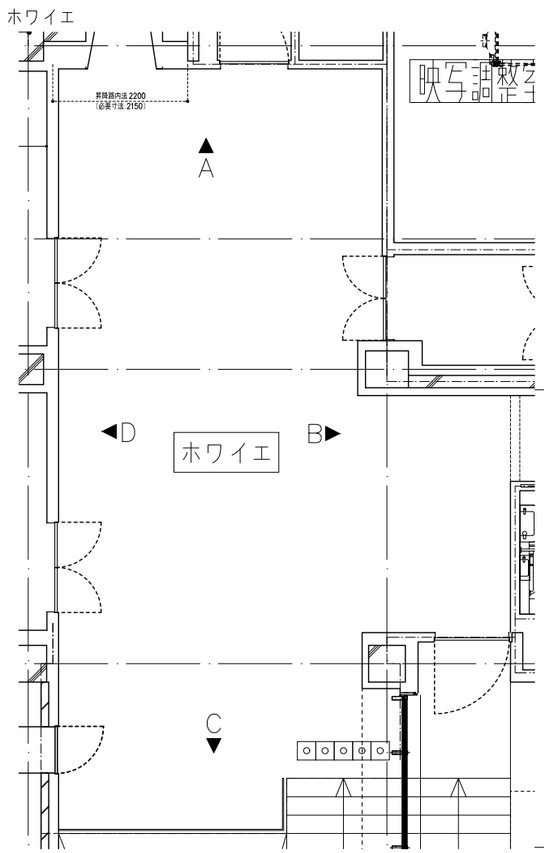
部位	仕様	映像ホール2
床	仕上	タイルカーペット
	下地	CO直均し
壁	仕上	GWマット
	下地	LGS+GB−Ft21+9.5(GW充填)　CO+GB−Ft21+9.5(GW充填)
	巾木	木製巾木
天井	仕上	GWマット
	下地	LGS+GB−Ft21+21(GW敷き込み)

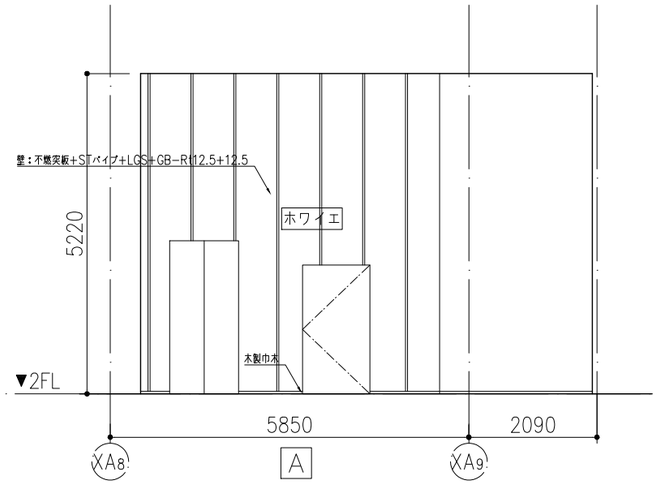
部位	仕様	収納庫
床	仕上	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤
	下地	CO金ゴテ
壁	仕上	素地
	下地	LGS+GB−Rt12.5
	巾木	ソフト巾木
天井	仕上	素地
	下地	CO直天井

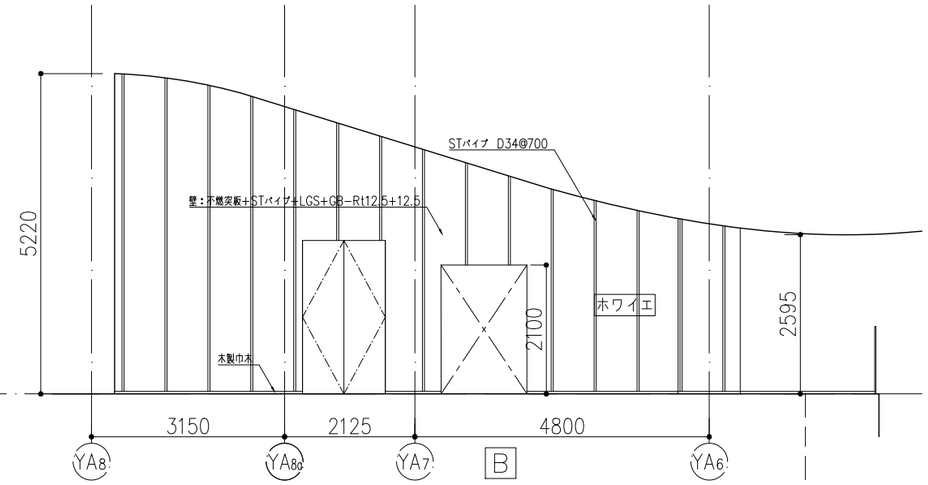


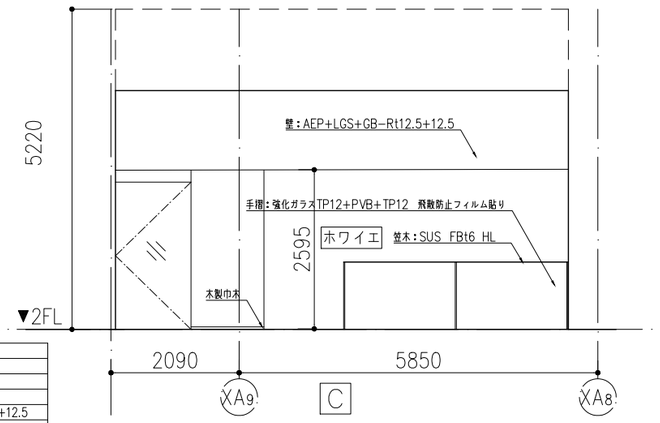


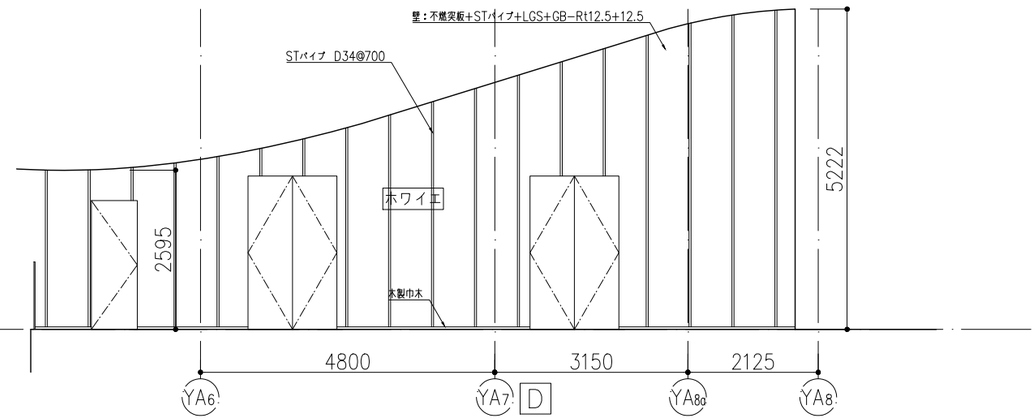
KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 展開図（19） SCALE scale=1:100	DRAWING No. AA-080 DATE 2023/11/30





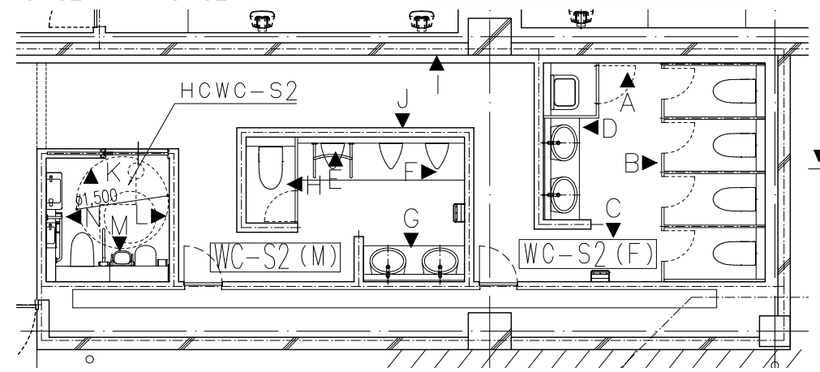


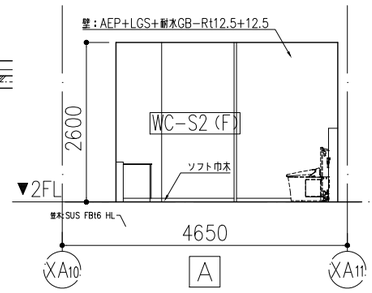


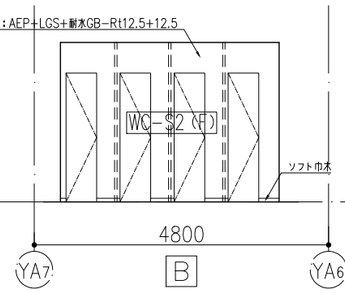


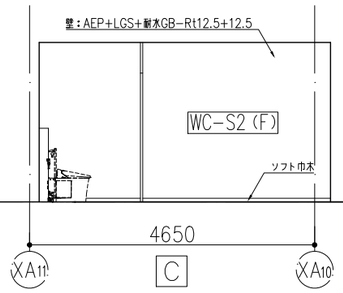
部位	仕様	
床	仕上	タイルカーペット
	下地	CO直均し
壁	仕上	不燃突板+STパイプ 、AEP
	下地	LGS+GB-Rt12.5+12.5 CO+GB-Rt12.5+12.5
	巾木	木製巾木
天井	仕上	AEP
	下地	LGS+GB-R t12.5

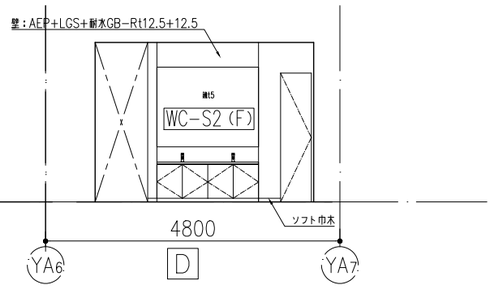
WC-S2（F）・WC-S2（M）



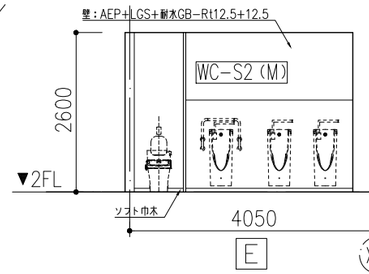


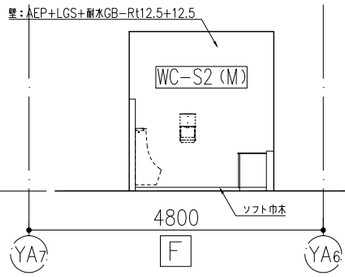


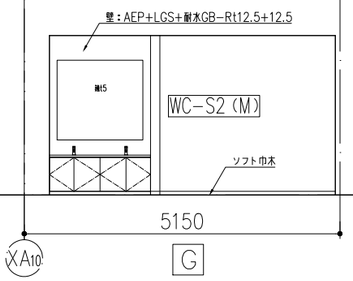


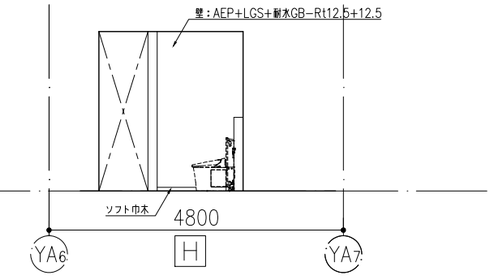


部位	仕様	
床	仕上	長尺シート
	下地	CO直均し
壁	仕上	AEP
	下地	LGS+耐水GB-Rt12.5+12.5. CO+耐水GB-Rt12.5+12.5
	巾木	ソフト巾木
天井	仕上	AEP
	下地	LGS+GB-R t12.5



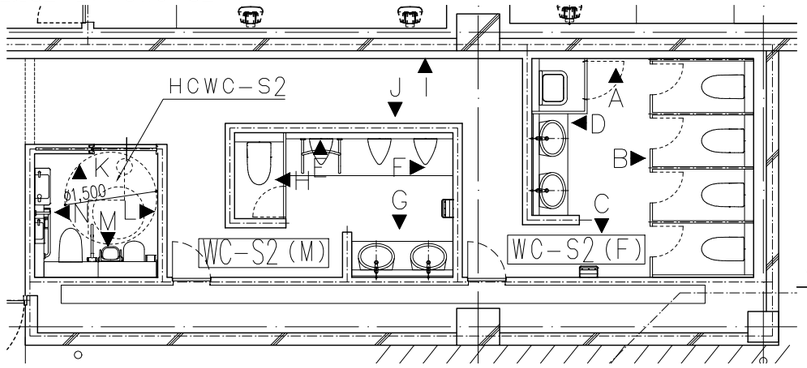


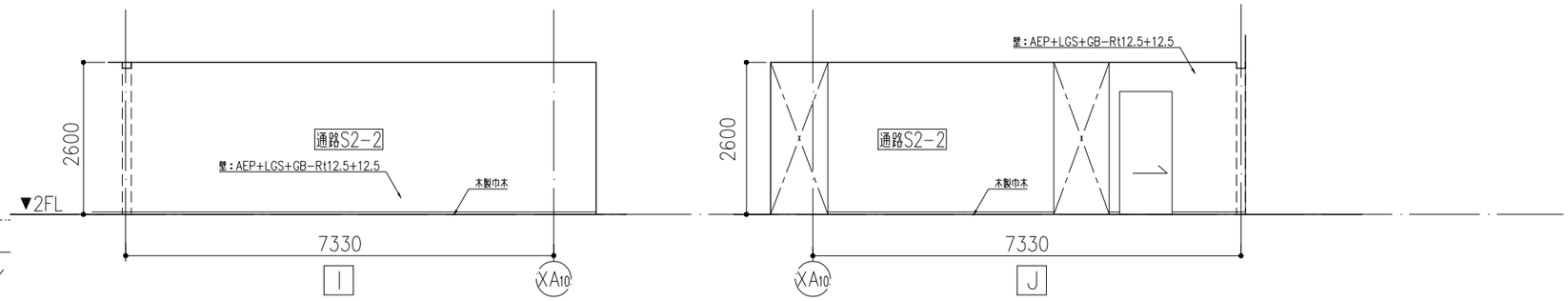




KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 展開図（20） SCALE scale=1:100	DRAWING No. AA-081 DATE 2023/11/30

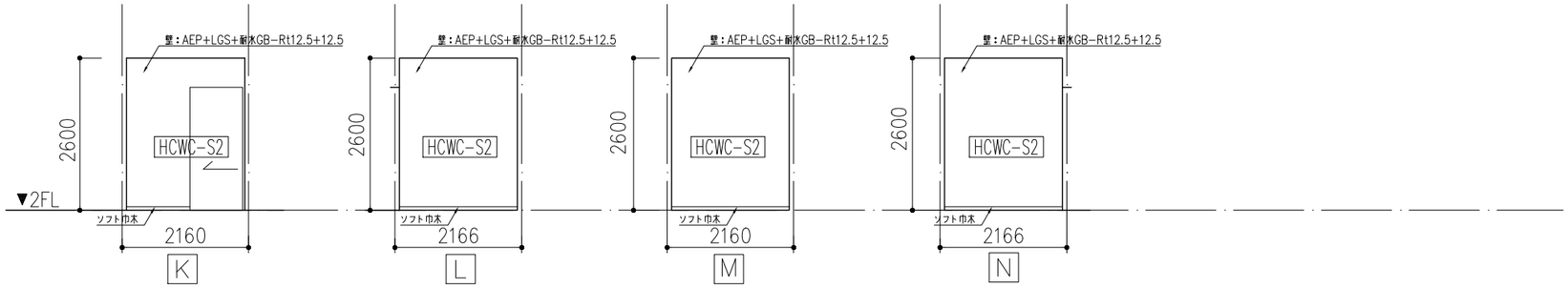
通路S2−2、HCWC−S2



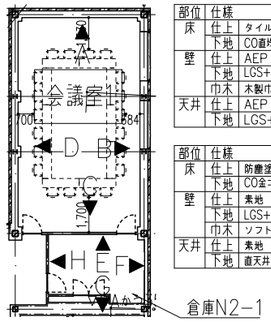


部位	仕様	HCWC−S2
床	仕上	長尺シート
	下地	CO直均し
壁	仕上	AEP
	下地	LGS+耐水GB−Rt12.5+12.5、CO+耐水GB−Rt12.5+12.5
	巾木	ソフト巾木
天井	仕上	AEP
	下地	LGS+GB−R t12.5

部位	仕様	通路S2−2
床	仕上	タイルカーペット
	下地	CO直均し
壁	仕上	AEP
	下地	LGS+GB−Rt12.5+12.5、CO+GB−Rt12.5+12.5
	巾木	木製巾木
天井	仕上	AEP
	下地	LGS+GB−R t12.5

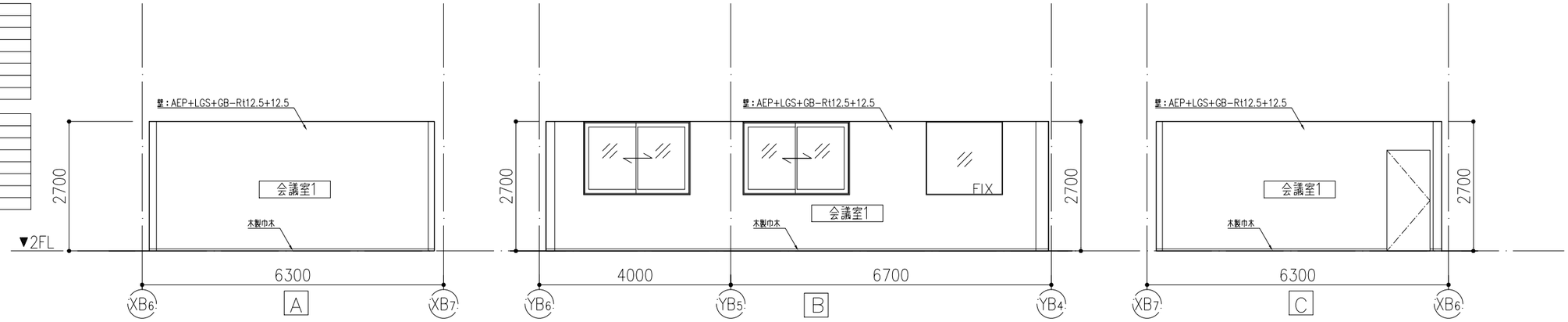


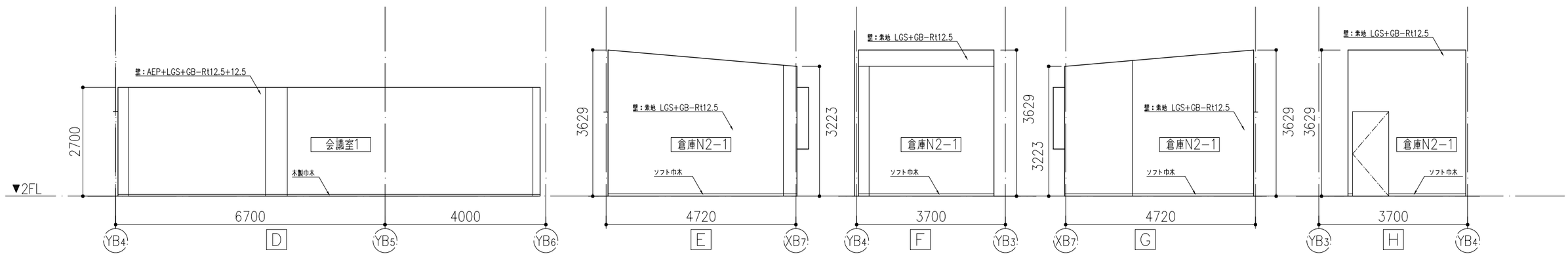
北棟2F会議室1・倉庫N2−1



部位	仕様	会議室1
床	仕上	タイルカーペット
	下地	CO直均し
壁	仕上	AEP
	下地	LGS+GB−Rt12.5+12.5
	巾木	木製巾木
天井	仕上	AEP
	下地	LGS+GB−Rt12.5

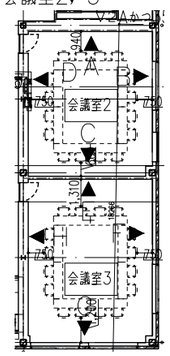
部位	仕様	倉庫N2−1
床	仕上	防塵塗装：ケイ酸質系表面強化剤
	下地	CO金ゴテ
壁	仕上	素地
	下地	LGS+GB−Rt12.5
	巾木	ソフト巾木
天井	仕上	素地
	下地	直天井



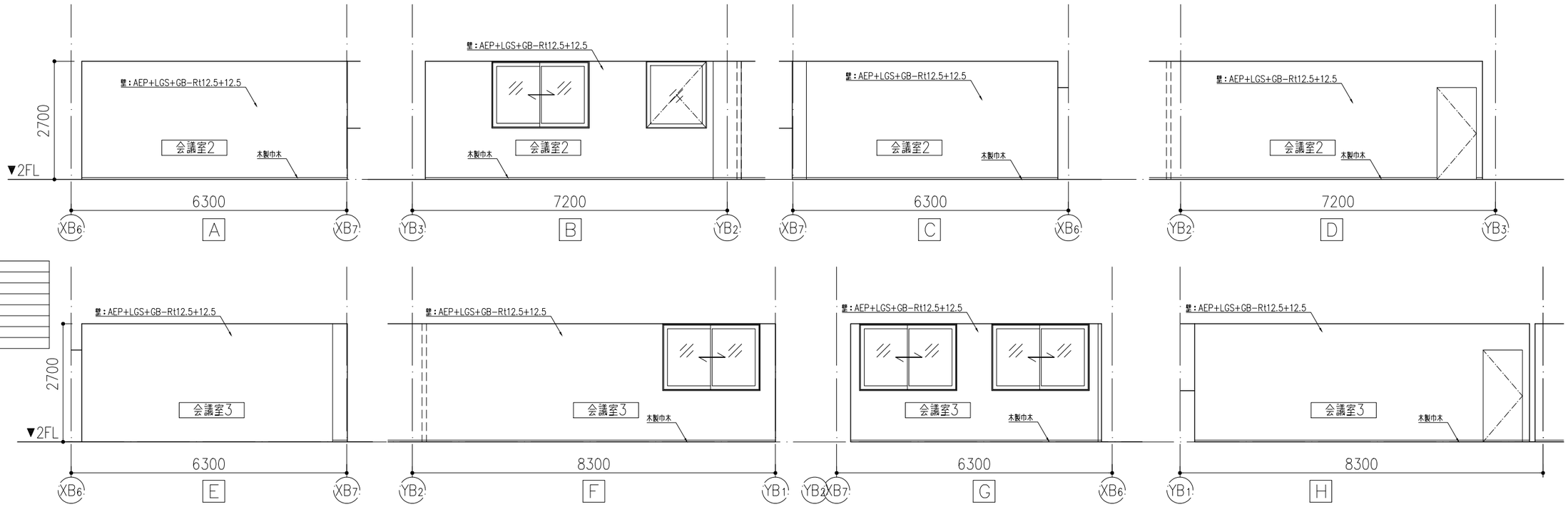


KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN / CHECKED / APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN / CHECKED / APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 展開図（21） SCALE scale=1:100	DRAWING No. AA−082 DATE 2023/11/30

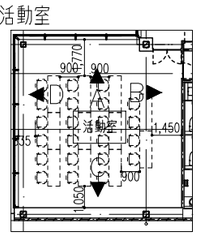
会議室2，3



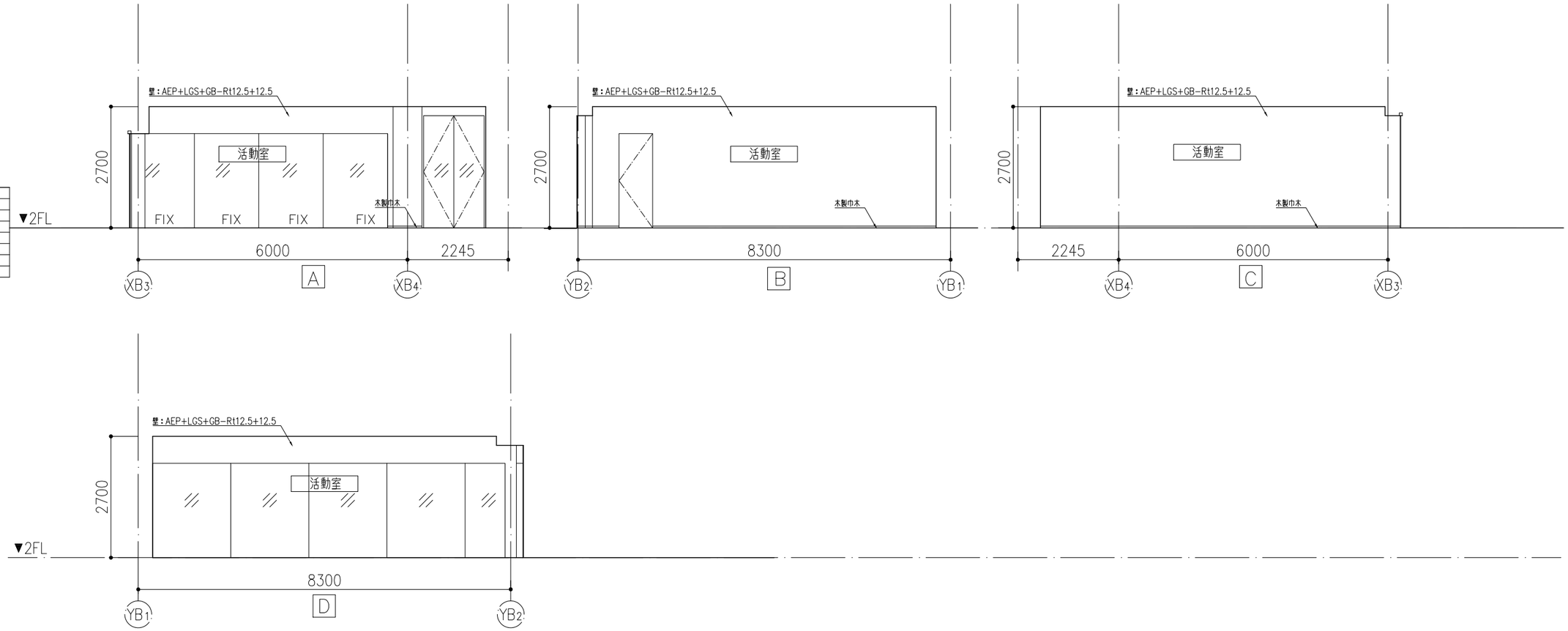
部位	仕様	
床	仕上	タイルカーペット
	下地	CO直均し
壁	仕上	AEP
	下地	LGS+GB−Rt12.5+12.5
	巾木	木製巾木
天井	仕上	AEP
	下地	LGS+GB−Rt12.5



活動室

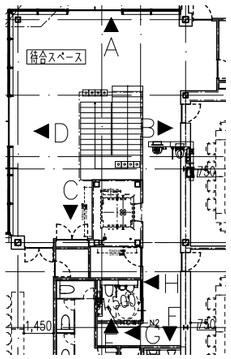


部位	仕様	
床	仕上	タイルカーペット
	下地	CO直均し
壁	仕上	AEP
	下地	LGS+GB−Rt12.5+12.5
	巾木	木製巾木
天井	仕上	AEP
	下地	LGS+GB−Rt12.5

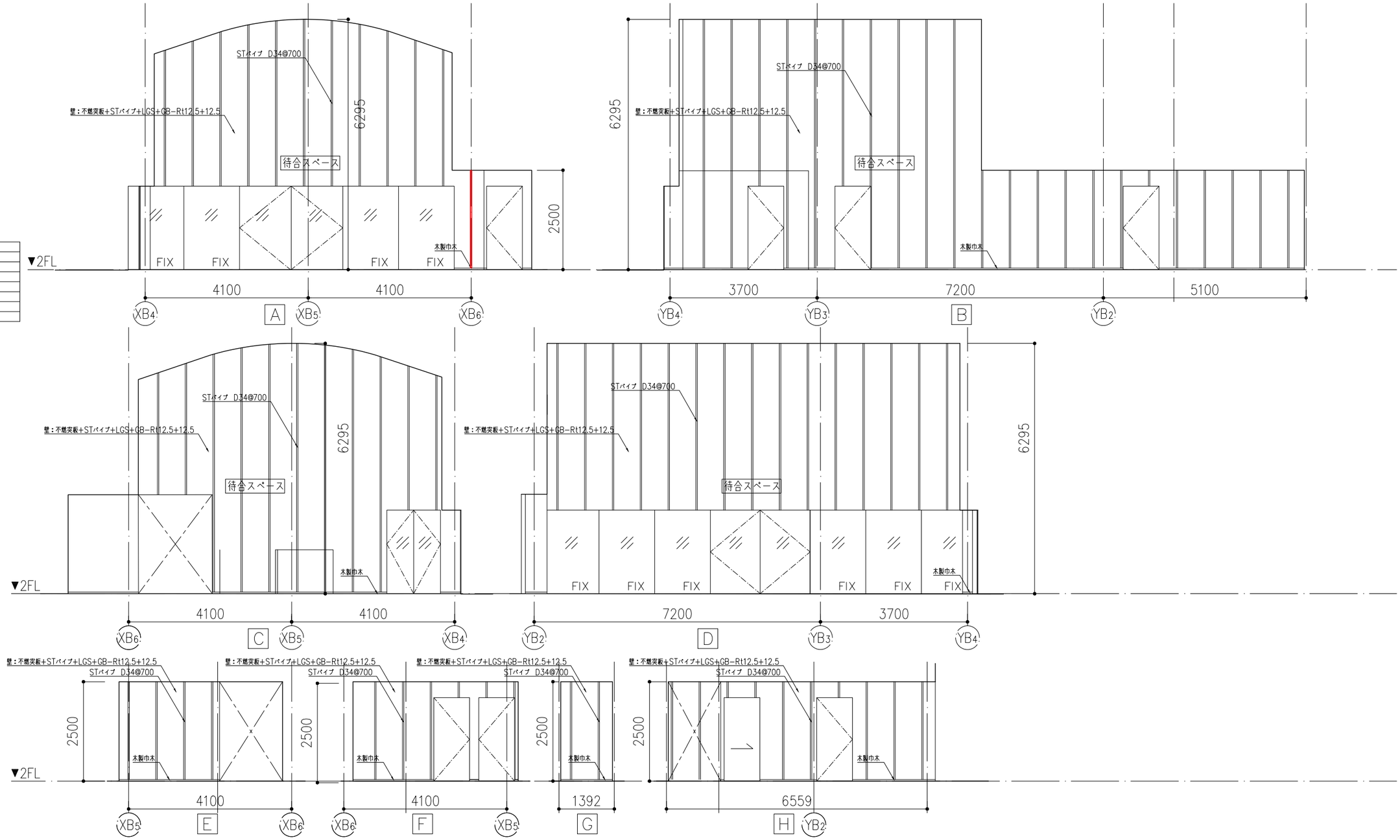


KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 展開図（22） SCALE scale=1:100	DRAWING No. AA−083 DATE 2023/11/30

待合スペース



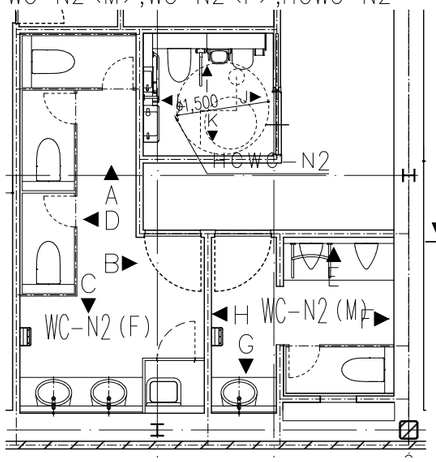
部位	仕様	
床	仕上	タイルカーペット
	下地	CO直均し
壁	仕上	不燃突板+STパイプ
	下地	LGS+GB-Rt12.5+12.5
	巾木	木製巾木
天井	仕上	LGS+GB-Rt12.5
	下地	AEP



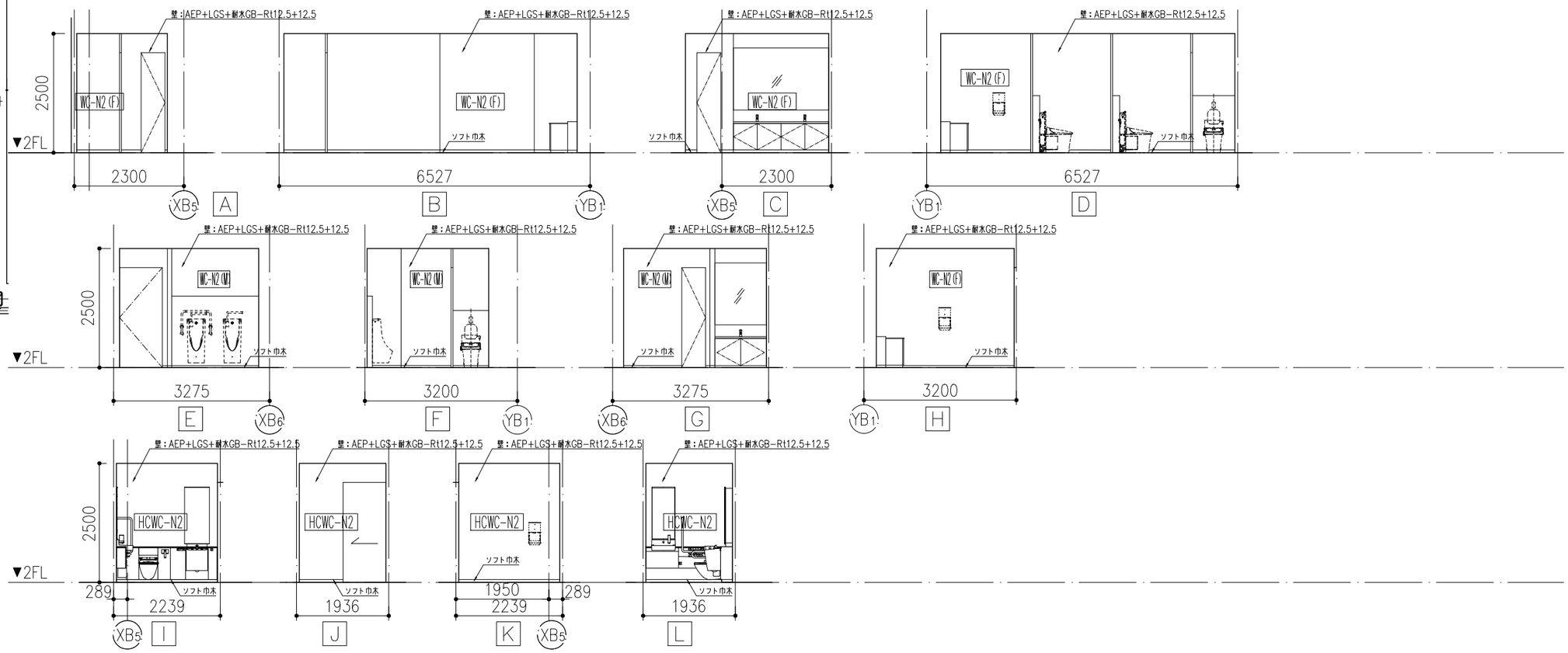
KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事

DRAWING TITLE	展開図（23）
SCALE	scale=1:100
DRAWING No.	AA-084
DATE	2023/11/30

WC−N2（M）,WC−N2（F）,HCWC−N2



部位		仕様
床	仕上	長尺シート
	下地	CO直均し
壁	仕上	AEP
	下地	LGS+耐水GB−Rt12.5+12.5、CO+耐水GB−Rt12.5+12.5
	巾木	ソフト巾木
天井	仕上	AEP
	下地	LGS+GB−R t12.5



KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION	東海市創造の杜交流館建設工事
		CHECKED	CHECKED	実施設計図	
		APPROVED	APPROVED		

DRAWING TITLE	展開図（24）
SCALE	scale=1:100
DRAWING No.	AA−085
DATE	2023/11/30

間仕切壁共通事項

間仕切壁符号凡例

壁番号（W+壁種別記号+通し番号）

WG1*gw+FK8

壁種別記号　付加記号

GW充填されたWG1壁にけい酸カルシウム板を上張りした間仕切り壁

間仕切り符号は間仕切り壁符号図（平面図など）の壁に
添えて記入する。
記入方法は数式と同じ考え方とする。

ボードの種類

GB-R	せっこうボード
防水GB-R	防水せっこうボード
GB-F	強化せっこうボード
GB-H	硬質せっこうボード
ケイカル板	ケイ酸カルシウム板

鋼製壁下地の標準寸法（単位：mm）（表1）

型	最高許容壁高（m）	スタッド（mm） @450の場合
50形	2.7以下	50x45x0.8
65形	4.0以下	65x45x0.8
90形	4.5以下	90x45x0.8
100形	5.0以下	100x45x0.8
125形	10.0以下	100x45x0.8

5M以上の箇所スタッド寸法（単位：mm）（表2）

型	最高許容壁高（m）	スタッド（mm） @450の場合
125形	10.0以下	・上ランナー：125型 t1.2 ・下ランナー：125型 t1.2 ・スタッド：125型t0.8@227.5 ・横胴縁：N30@1200

壁種別記号

Q	LGSボード（性能壁）
R	RC
A	ALC
E	押出成形セメント板
G	せっこうボード
F	無石綿セメントけい酸カルシウム板
S	石張り
ST	スチールパーティション
B	ブロック
T	垂れ壁又は下り壁
AL	アルミパネル

付加記号

・LGS壁の天井内部分のボードの有無（記号無し・a・b）　ex. WG1a
・仕上材等追加を示す場合「+」記号で表示する
（+FK8等）　ex. WG1+FK8
・立上りを示す場合「-」記号で表示する
（-立1、-防1等）　ex. WG1-防1
・GW等充填の場合*記号で表示する　ex. WG1*gw、WG2*gw+FK8

表記方法

WG1 / WF1	・間仕切壁符号は原則片面ごとの表記とする。
WG1-W	・壁仕様に「-W」がある場合は両面貼りとする。
事務室 / WR1	・部屋内において室名下に壁符号がある場合は特記なき限りは全て適用する。
(WG1)	・天井裏のみにある間仕切り壁は（　）表記とする。

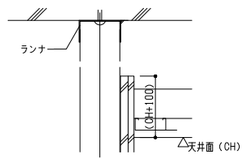
（注）

・間仕切壁符号では、躯体・下地・仕上を含めた壁の種類を示す。
・スタッドの高さが5.0mを超える場合は表2を参照にすること。
・耐火壁の耐火シール材及び遮音壁のシール材はメーカーの指定仕様とする。
・性能壁とは耐火壁、遮音壁を示す。

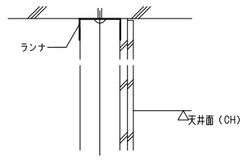
付加記号

LGS壁の天井内部分のボードの有無

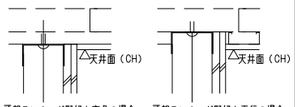
記号無　ボードを延ばさない



a　（スラブまで）ボードを延ばす



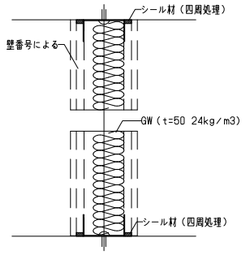
b　LGSを天井面でとめる



頭部ランナーが野縁と直角の場合　頭部ランナーが野縁と平行の場合

充填材

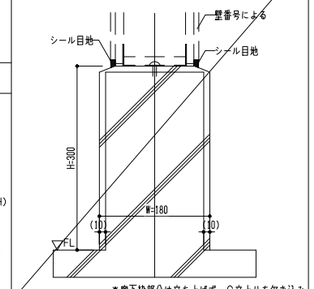
***gw**　グラスウール充填



・性能壁の場合は原則として記入しない。
・特記なき限りGW（t=50 24kg/m3）を充填とする。

立上り

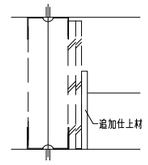
-立1　コンクリート立上り



*廊下枠部分は立ち上げず、C立上りを欠き込み

仕上材

+○○　その他仕上材等追加を示す場合

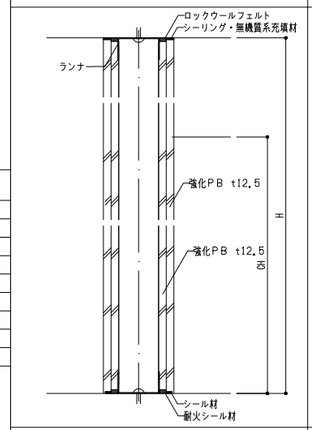


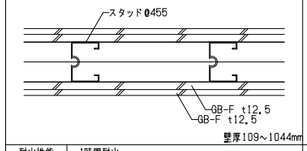
仕上材リスト

+FK	FK t6(目地工法：目地シール)

壁番号（性能壁）

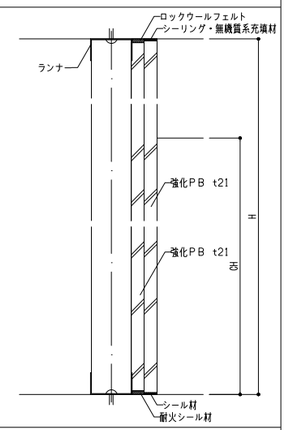
WF1　耐火壁（両面）

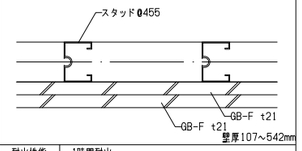




耐火性能	1時間耐火
遮音性能	遮音参考値：TLD-44（スタッド千鳥@300の場合）
備考	*コンセントボックス取付けの場合、耐火・遮音性能を確保すること。（製造所認定仕様による） シール処理は四周とする。

WF2　耐火壁（片面）



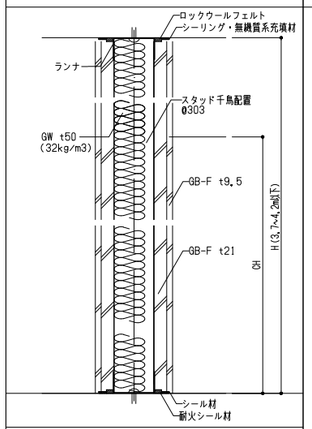


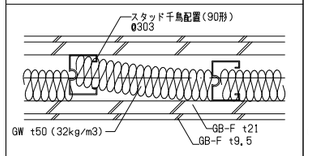
耐火性能	1時間耐火
遮音性能	遮音参考値：TLD-23
備考	確保すること。（製造所認定仕様による） シール処理は四周とする。

壁番号（性能壁）

WF3　遮音壁（両面）

壁高3.7～4.2m以下

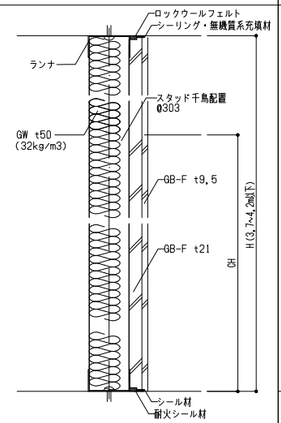


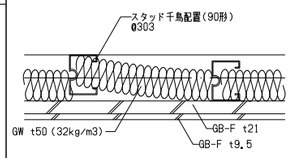


耐火性能	1時間耐火
遮音性能	遮音性能目標値：TLD-60
備考	*コンセントボックス取付けの場合、耐火・遮音性能を確保すること。（製造所認定仕様による） シール処理は四周とする。

WF4　遮音壁（片面）

壁高3.7～4.2m以下

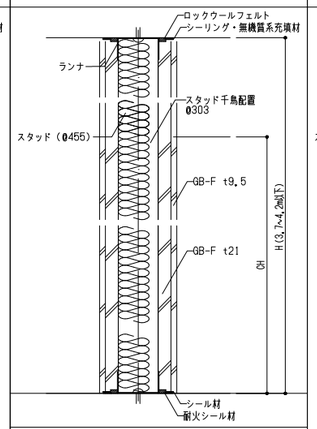


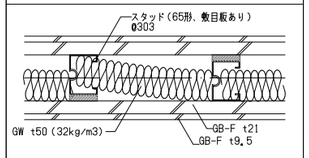


耐火性能	1時間耐火
遮音性能	遮音性能目標値：TLD-60
備考	*コンセントボックス取付けの場合、耐火・遮音性能を確保すること。（製造所認定仕様による） シール処理は四周とする。

WF5　遮音壁（両面）

壁高3.7～4.2m以下

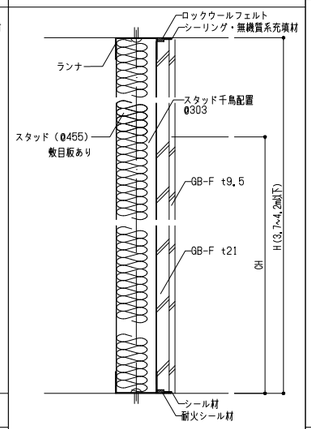


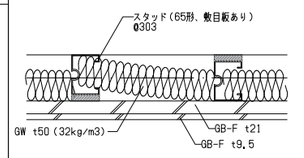


耐火性能	1時間耐火
遮音性能	遮音性能目標値：TLD-50
備考	*コンセントボックス取付けの場合、耐火・遮音性能を確保すること。（製造所認定仕様による） シール処理は四周とする。

WF6　遮音壁（片面）

壁高3.7～4.2m以下

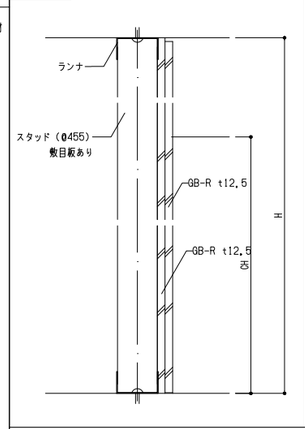


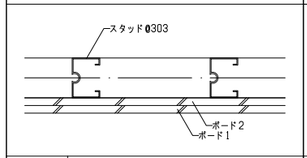


耐火性能	1時間耐火
遮音性能	遮音性能目標値：TLD-50
備考	*コンセントボックス取付けの場合、耐火・遮音性能を確保すること。（製造所認定仕様による） シール処理は四周とする。

壁番号（非性能壁）

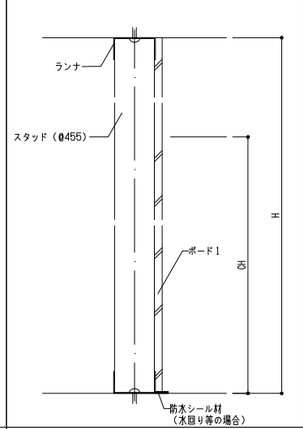
W1　W6　一般壁

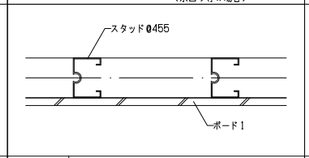




W1	ボード1：GB-R t12.5　ボード2：GB-R t12.5
W6	ボード1：ケイカル t6　ボード2：GB-R t12.5
備考	

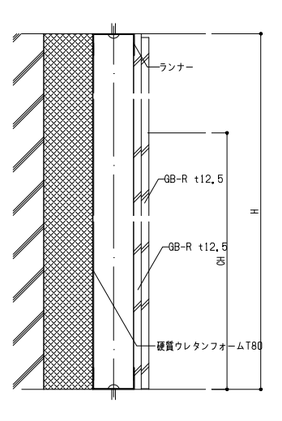
W2　W3　一枚貼り

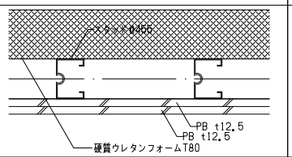




W2	ボード1：GB-R t12.5
W3	ボード1：防水GB-R t12.5
備考	

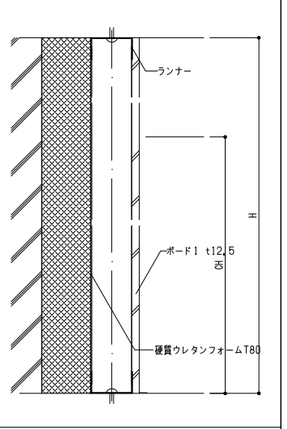
W4　一般壁

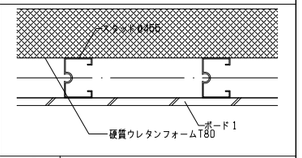




W4	ボード1：GB-R t12.5　ボード2：GB-R t12.5
備考	

W5　一般壁





W5	ボード1：GB-R t12.5
備考	

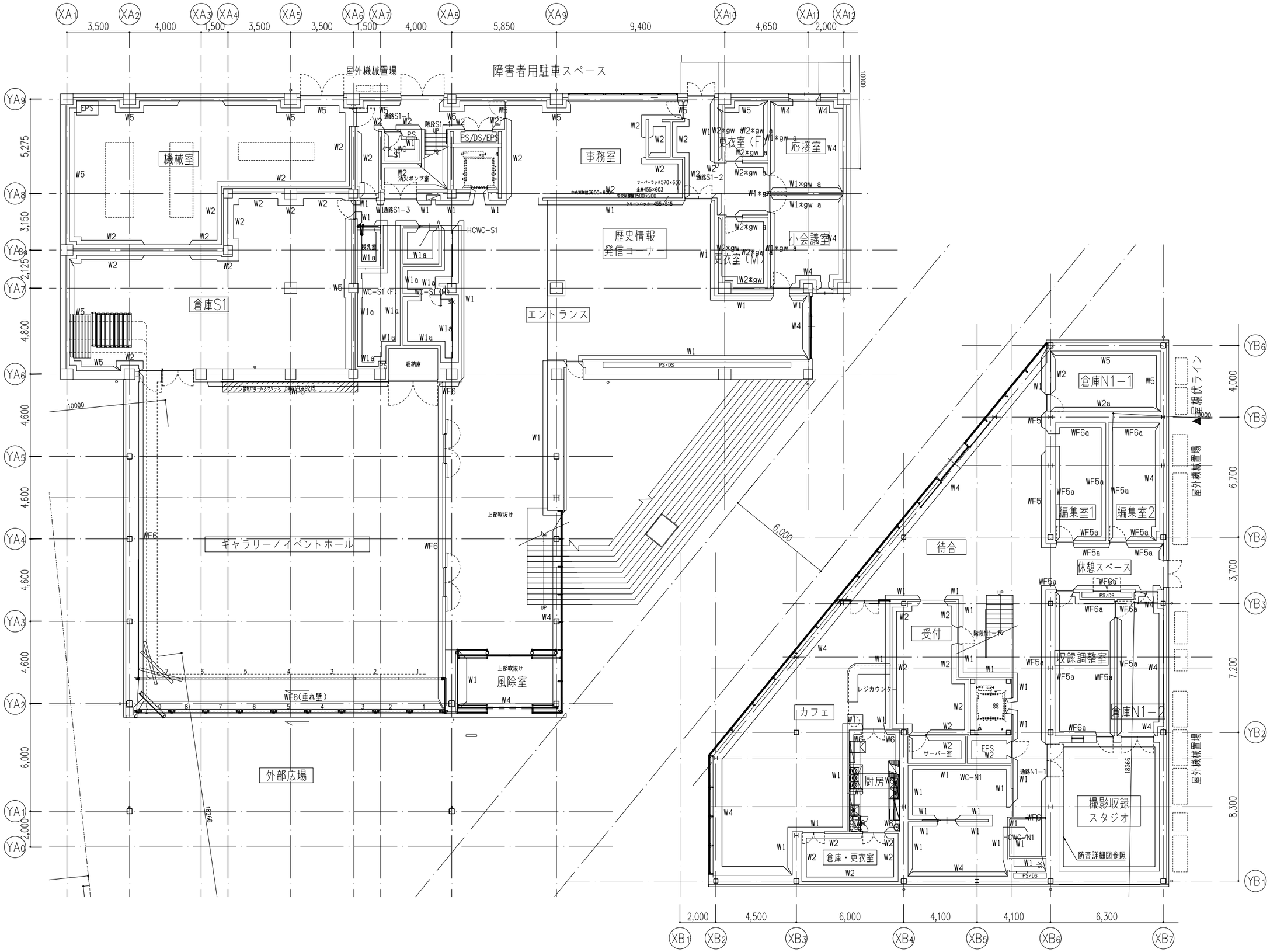
KENGO KUMA & ASSOCIATES
限研吾建築都市設計事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号

一級建築士
登録第319352号
宮原賢次

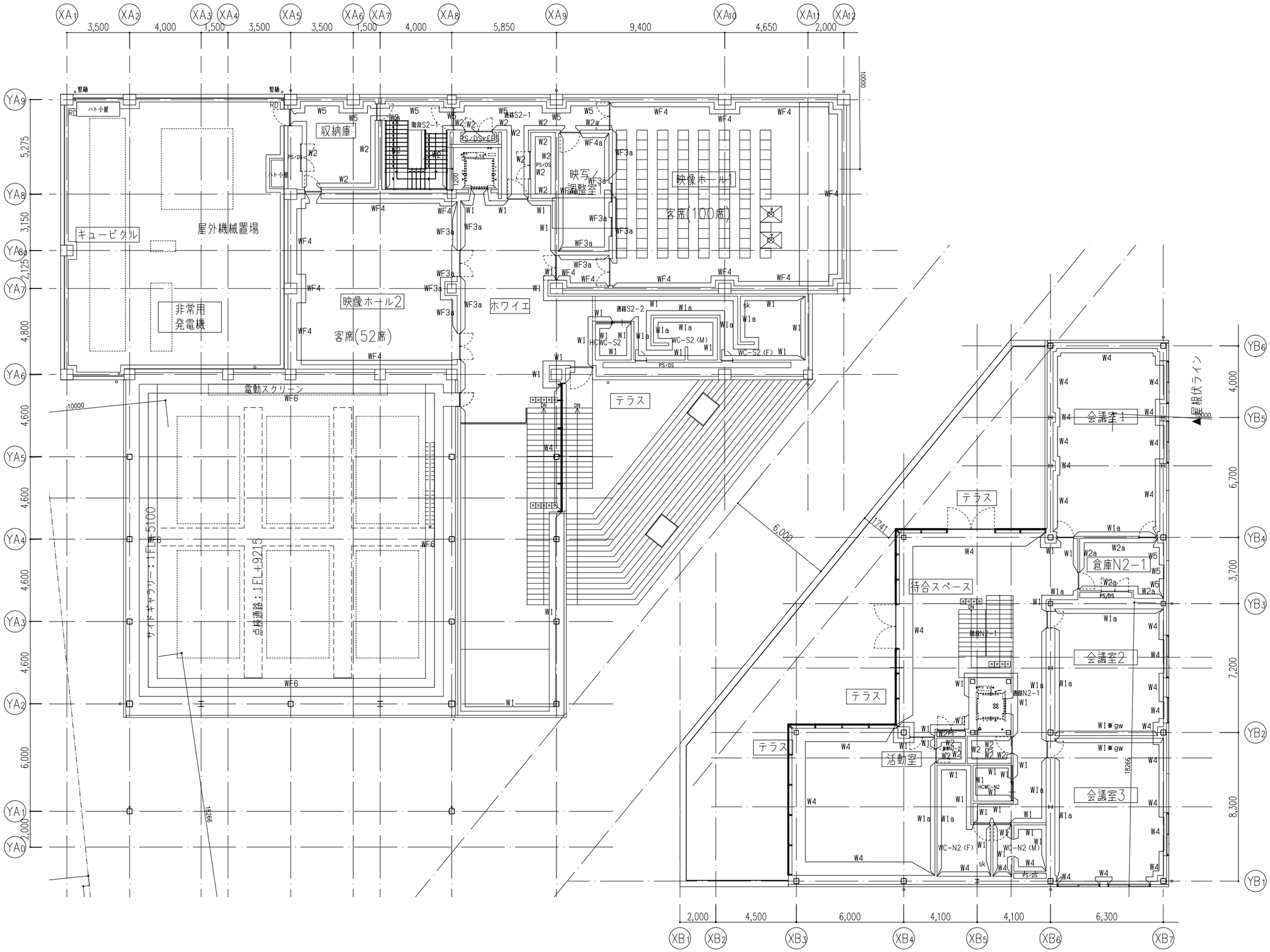
DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION	
CHECKED	CHECKED	実施設計図	
APPROVED	APPROVED		

東海市創造の杜交流館建設工事

DRAWING TITLE	壁性能区分図1
SCALE	scale=1:300
DRAWING No.	AA-086
DATE	2023/11/30



KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 壁性能区分図2 SCALE scale=1:200	DRAWING No. AA-087 DATE 2023/11/30



KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 壁性能区分図3 SCALE scale=1:200	DRAWING No. AA-088 DATE 2023/11/30

注 意 事 項

1	躯体と昇降機承諾図に相違がある場合はエレベーター着工までに躯体を是正すること
2	(1) 昇降路の壁又は囲いは隙間無きものとすること (2) 昇降路の壁又は囲いは難燃材料（不燃材料・準不燃材料含む）とすること (3) 昇降路の壁又は囲いは5㎝辺り300Nの外力が作用した時に15mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること (4) コンクリート厚さは150mm以上とすること (5) コンクリート基準圧縮強度は21N/㎟以上とすること (6) 昇降路壁は後施工アンカーが可能な構造とすること
3	昇降路内にはエレベーターに関係のない配管・配線・ダクト・その他の機器を設置しないこと
4	昇降路壁には配管・消火栓等を埋め込まないこと
5	昇降路内には建築金物（ALCクリップ等）が突出しないこと
6	昇降路内に断熱材（ウレタン・スタイロフォーム等）を施工する場合は溶接火花による火災のおそれがあるため難燃材料とすること
7	断熱材はガイドレール支持用ファスナー及び乗場出入口廻りの取付材を避けて施工すること
8	断熱材の施工時期は協議すること
9	昇降路内の温度は5℃以上40℃以下、湿度は月平均90%以下、日平均95%以下とし、氷結・結露しないこと
10	昇降路内及び乗場には風雨・塵埃・塩分・有害ガス等が入らないこと
11	昇降路内に換気設備を設置する場合は外部より点検可能な配置とし、雨水対策を実施すること
12	昇降路内の騒音・振動が居室に伝搬しない配置及び躯体構造（防音・防振工事等）とすること
13	エレベーターホールと風除室が近い場合はドラフトによりエレベーターの戸が開閉できなくなるおそれがあるため建物側で気密性を上げること
14	保守・点検・緊急対応のため、外部より最上階のエレベーターホールへアクセスできる通路を設けること また、個人宅や占有部、鍵が必要な場所を経由する必要がないこと
15	電源電圧の変動は動力用±10%以内、照明用±5%以内とし、動力用の電圧不平衡率を5%以内とすること
16	高調波障害回避のため、以下の対応を推奨します (1) 弱電機器の電源線・通信線はエレベーター動力線から1m以上分離すること (2) エレベーター動力用電源トランスは弱電機器のトランスと独立して設けること (3) 弱電機器とのアース線共用は避けること (4) エレベーター動力線は弱電機器近くの床下や天井に設置しないこと (5) 漏電遮断器・漏電継電器を設置する場合、不要動作防止のためインバータ対応のものを使用すること
17	搬入に支障のない経路を確保すること
18	据付工事用現場詰所及びエレベーター材料・据付工事用機材の保管場所を無償提供願います
19	仮設揚重機・重機（ラフタークレーン、タワークレーン等）・搬入運搬用台車を無償貸与願います
20	据付工事用電源及び試運転調整時の動力電源を無償提供願います（容量は別途打ち合わせ）
21	必要に応じてモルタルを無償提供願います
22	エレベーターを工事用として使用する場合はこの使用に伴う検査費用・復旧（オーバーホール・消耗部品の交換等）費用・定期保守費用・コールバック対応費用等が生じます
23	かご内へ一度に搬入可能な積載は4輪台車で250kg（台車含む）以下とすること

工 事 区 分 表

分類	No.	工事項目	昇降路構造 RC	昇降路構造 S	建築 建築	建築 電気	建築 設備	建築 昇降機
昇降路	1	昇降路の築造工事及び躯体・オーバーヘッド・ピット寸法が昇降機承諾図と異なる場合の是正工事 オーバーヘッド：昇降機承諾図寸法に対し20mm以上低い場合（ただし、必要寸法を確保のこと） ピット：昇降機承諾図寸法に対し浅い場合又は30mm以上深い場合（防水面から確保のこと）	○	○	○			
	2	天井フック又はトロリービーム設置工事（荷重に対し安全率5を確保のこと） （オーバーヘッド高さが4000mmを超える場合、トロリービーム設置は必須のこと）	○	○	○			
	3	中間ビーム・セパレータビーム設置・インサート埋め込み工事	○	○	○			
	4	ガイドレール支持用ファスナー及び立柱設置・インサート埋め込み工事	○	○	○			
	5	溶接レスの場合のガイドレール支持用ファスナー及び立柱・三方枠取付用アングルへの穴加工	○	○	○			
	6	フェッシアプレート取付材設置工事（フェッシアプレート本体は昇降機工事）		○	○			
	7	昇降路内鉄骨材の耐火処理工事		○	○			
	8	ピット内防水工事	○	○	○			
	9	ピット下を使用する場合の建築躯体処置工事	○	○	○			
	10	併設されたエレベーターのピットに段差がある場合の囲仕切り工事	○	○	○			
	11	急行ゾーンがある場合の昇降路救出口設置工事	○	○	○			
	12	昇降路内建築工事仮設床用（水平養生）の金網、デッキプレート等の搬去工事	○	○	○			
	13	昇降機承諾図に記載のない突出物や不要物の撤去切断等工事	○	○	○			
	14	昇降路内温度が40℃を超える場合の換気設備工事又は空調設備工事	○	○			○	
乗場	1	乗場出入口の敷居取付用欠き込み・敷居受け持ち出し工事及び敷居取付後のモルタル充填工事	○	○	○			
	2	乗場出入口壁穴あけ・乗場出入口用品取付材設置工事及びインサート埋め込み工事 （三方枠・バックアングル・ドア・敷居・押しボタン・インジケータ・モニター等）	○	○	○			
	3	乗場出入口用品取付後の壁並びに床・天井等の仕上工事	○	○	○			
	4	三方枠・インジケータ等と壁間のモルタル又はロックウール充填工事	○	○	○			
	5	三方枠・インジケータ等と壁間の塞ぎ板による隙間塞ぎ工事	○	○				○
	6	開放廊下及び屋上等直接外気と接する乗場における雨水対策工事 （排水溝・水勾配・庇等）	○	○	○			
電気	1	昇降路頂部の煙感知器設備の設置工事（外部より点検可能な点検口の設置を含む）	○	○		○		
	2	昇降路内配管工事に伴う区画貫通部の耐火処理工事 （昇降機工事による押しボタン・警報盤等の配線工事は除く）	○	○		○		
	3	昇降路内受電端子までの動力用電源・照明用電源・接地線の引込・立上工事及び一次側端子への接続工事	○	○		○		
	4	昇降路内受電端子までのインターホン・その他機器の配管配線工事並びに引込・立上工事 （放送・遠隔監視・防犯カメラ・故障信号・非常呼信号・火災信号・セキュリティ連動信号・監視盤等）	○	○		○		
	5	遮煙のりばドア適用時の建屋火災信号の供給	○	○		○		
	6	ピット内点検用コンセントの設置工事（単独回路）	○	○		○		
その他	1	エレベーター工事着工前までの各階出入口開口部の養生作業	○	○	○			
	2	エレベーター工事着手後の昇降路内への浸水防止工事、出入口先行着工時の止水工事	○	○	○			
	3	居室側防音及び防振工事	○	○	○			
	4	搬入用仮設開口及び搬入経路の段差解消・搬入後の復旧工事	○	○	○			
	5	エレベーターを工事用として使用する場合の各種養生手配及び設置工事	○	○	○			
	6	その他建築・電気・設備に関する工事	○	○	○	○	○	

【エレベーター遠隔監視メンテナンス】

※ このエレベーターは、遠隔監視メンテナンス契約可能対応機種です。
※ 遠隔監視メンテナンスでは、エレベーターの遠隔診断・遠隔監視が可能です。
※ 上記サービスに必要な機器は、保守会社との遠隔監視メンテナンス契約時に貸与されます。

（1台1回線）

電源設備 （低圧）

号機名		南棟EV		
電源設備容量	動力	200V 5kVA		
	照明	100V 1.5kVA		
最大電流		26.5A		
動力線サイズ（mm2）		5.5	8	14
最大引込み距離（m）		61	94	165
建屋側MCCB		40A		
接地線最小サイズ		3.5㎟		
インターホン用配線		φ0.9x10本		
電話用配管・配線		φ19配管・電話線1P		
ピットコンセント容量		1kVA/台		

※制御回路トランス容量：432VA

エレベーター仕様

概略仕様	号機名（台数）	南棟EV （1台）	
	用途（形式）	乗用 （SP15-C045） 車いす仕様	
	積載量（定員）	1000kg（15人）	
	速度	45m/min	
	制御方式	交流インバータ制御方式（回生無）	
	操作方式	乗合全自動方式	
	停止ヶ所・出入口方向	（1,2FL） 2ヶ所 1方向	
	かご内法（WxDxH）	1600mm x 1500mm x 2300mm	
	出入口寸法（WxH）	900mm x 2100mm	
	ドア方式	2枚戸中央開き（電動式）	
	電動機出力	AC-4.5kw(ギヤレス)	
	電源 動力	三相3線 200V60Hz	
	電源 照明	単相 100V60Hz	
	管制運転 地震	有（P波+S波感知器（3段検知）リスタート機能付）	
	管制運転 火災	有	
	管制運転 自家発	無	
	管制運転 浸水時／冠水時	有 全自動形（ピット冠水時（指定階））	
	停電時自動着床装置	有	
	耐震クラス	A14	
	かご内連絡装置	24V同時通話インターホン	
	基本仕様及び標準装備仕様	ローラーガイド（かご、おもり） 照明・換気装置自動休止機能 2D多光軸（マルチビーム）ドアセフティ 反転時呼び一括キャンセル機能 戸開放時間自動設定 行先階取消し機能 気配りアナウンス機能（非常時4ヶ国語対応） イオン発生装置 故障時最寄階自動着床運転 しきい側すきまレス 広角ミラー付操作盤	
乗場仕様	三方枠	全階	大枠・直線 鋼板製単色塗装仕上（5分ツヤ）
	ドア	全階	鋼板製単色塗装仕上（5分ツヤ）
	敷居	全階	硬質アルミ製
	乗場 ボタン	全階	抗菌凸矢印ボタン（SIAA認証）
	インジケータ インジケータ	全階	デジタル階床表示式
	ボタン フェースプレート	全階	板曲げ ステンレス製ヘアライン仕上 （一部樹脂製）
かご仕様	天井照明	[STD-11] アルミフレーム導光板LED照明	
	換気装置	ファン	
	リターンパネル	ステンレス製ヘアライン仕上	
	出入口柱	ステンレス製ヘアライン仕上	
	ドア	化粧鋼板	
	幕板	化粧鋼板	
	側板	化粧鋼板	
	幅木	化粧鋼板	
	床	ビニタイル （t2）	
	敷居	硬質アルミ製	
	操作盤 ボタン	抗菌凸文字ボタン（SIAA認証）	
	操作盤 インジケータ	液晶（カラーユニバーサルデザイン認証）	
	操作盤 フェースプレート	標準（広角ミラー付） 抗菌樹脂成形品（SIAA認証・一部鋼板製）	

特記事項

・車いす仕様（鏡：合わせガラス（床上400mm）、手摺：ユニバーサル手摺（SUS製）、専用操作盤、専用乗場ボタン）
・防犯カメラ：記録装置内蔵カメラ（映像信号波し），映像確認装置付
・音声案内装置付
・点字銘板付
・警報回路
・故障接点支給
・高調波対策
・防振対策
・特定客仕様：国土交通省

(0184443-2)V.20.02 (FC)

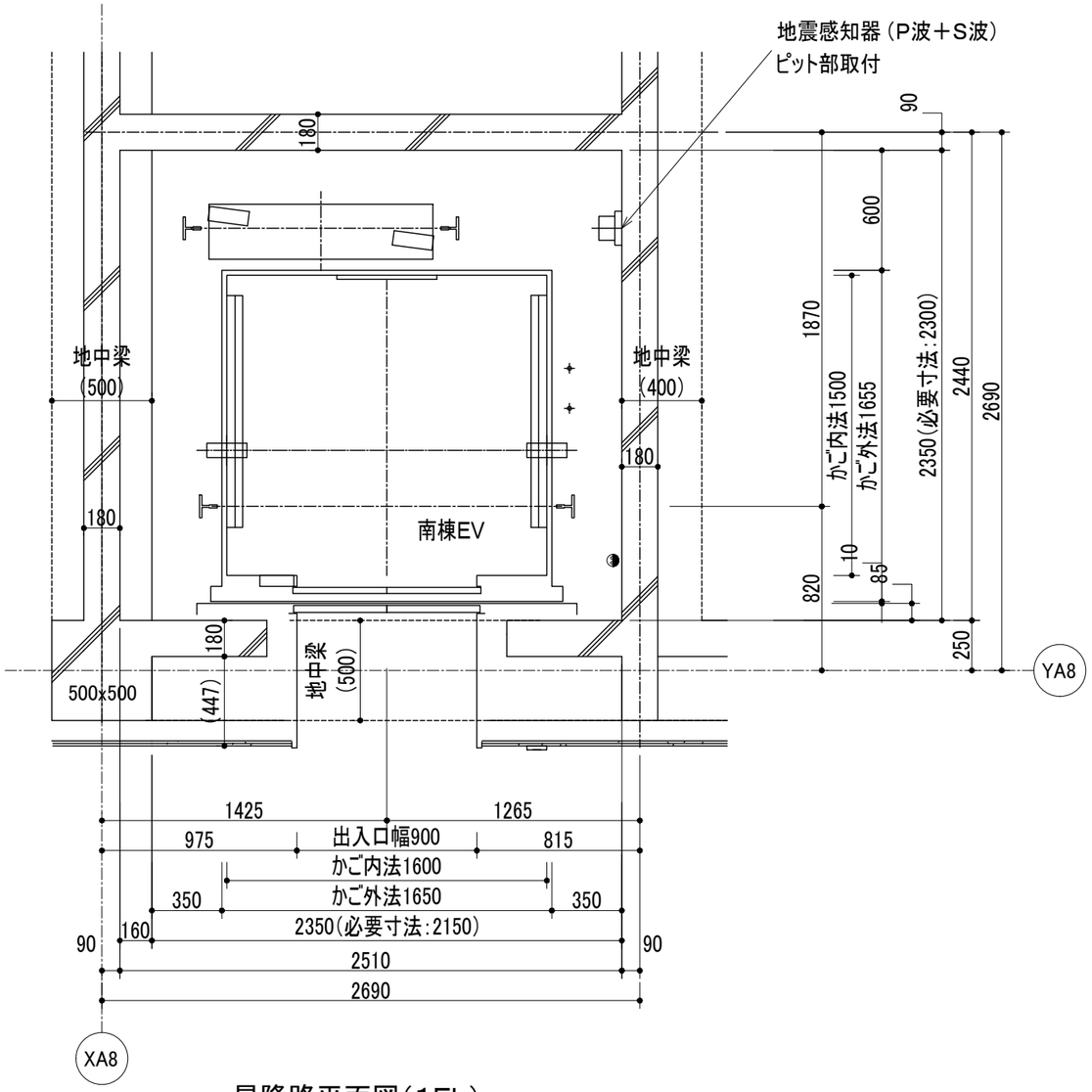
積込み荷重制限	荷重条件	250kg（4輪台車を使用するものとし、台車の重量を含む）
	重量物の積込みは、一回当り荷重条件以下で積込み下さい。 ※フォークリフトの使用はできません。	

KENGO KUMA & ASSOCIATES
隈研吾建築都市設計事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号

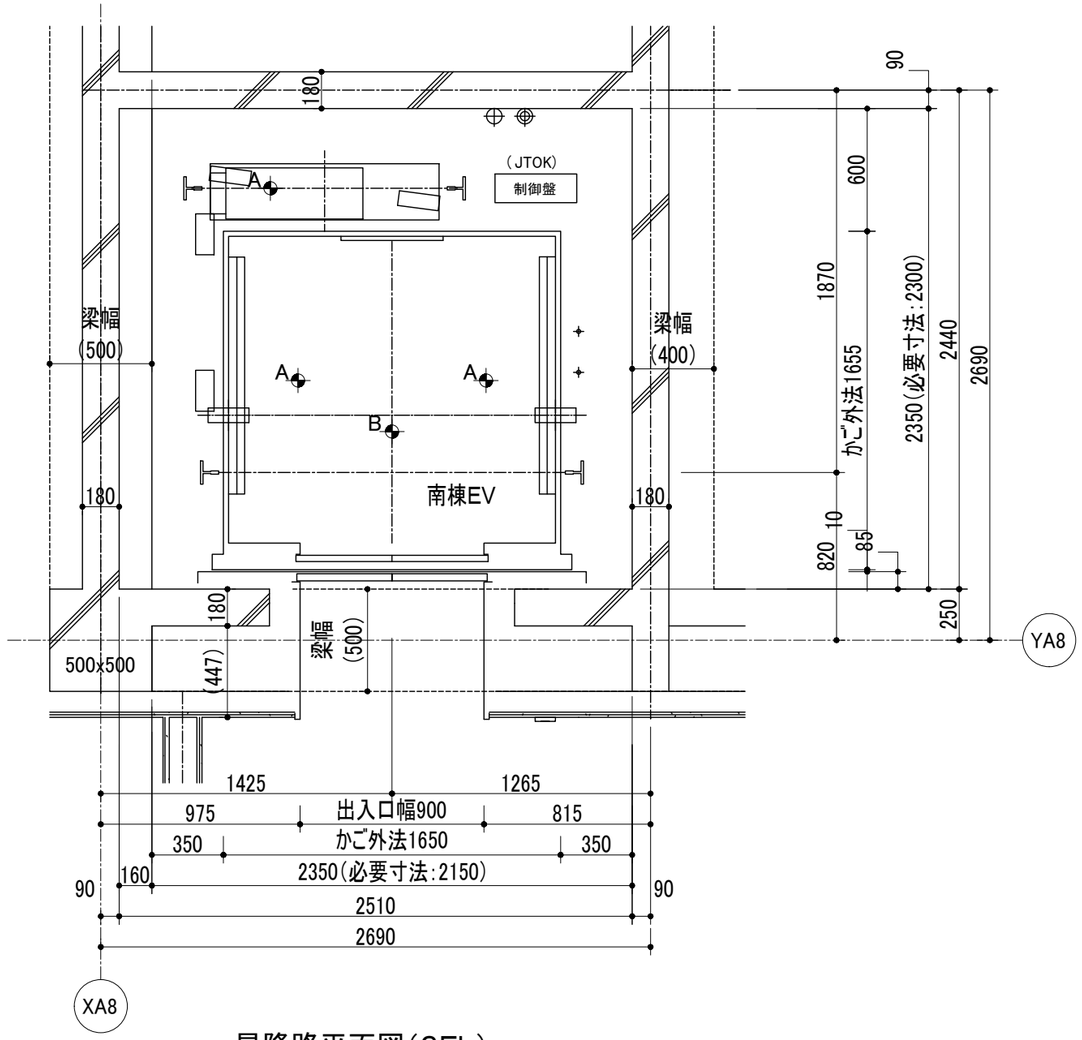
一級建築士
登録第319352号
宮原賢次

DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION	東海市創造の杜交流館建設工事
CHECKED		実施設計図	
	CHECKED		
APPROVED	APPROVED		

DRAWING TITLE 昇降機詳細図1	DRAWING No. AA-089
SCALE –	DATE 2023/11/30



昇降路平面図（1FL）



昇降路平面図（2FL）

◉	ピット点検用コンセント	（電気工事）

レール反力リスト（地震時作用荷重）			南棟EV
	かご側	Px	4. 50 kN
	一般階	Py	2. 30 kN
	かご側	Px	5. 10 kN
	最上階	Py	3. 70 kN
	おもり側	Px	7. 20 kN
	一般階	Py	3. 60 kN
	おもり側	Px	10. 80 kN
	最上階	Py	7. 20 kN

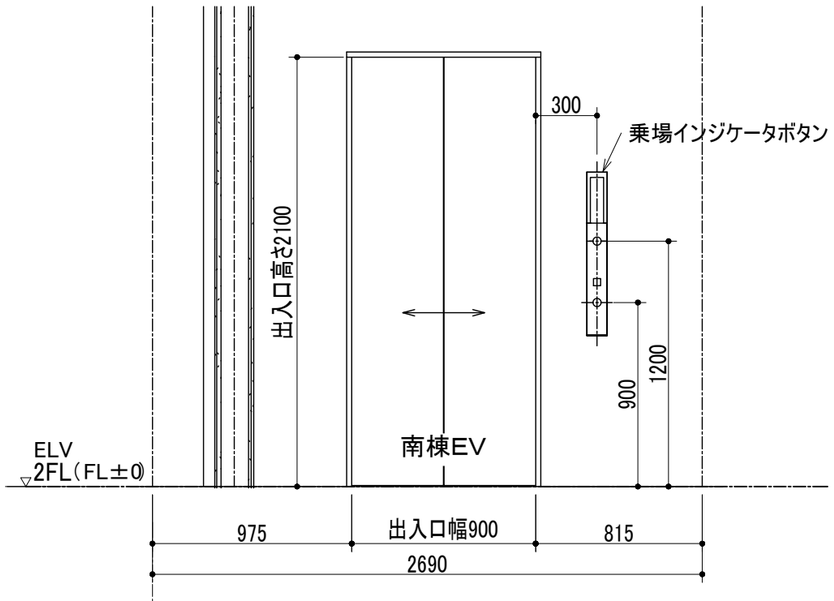
上記　荷重による柱及び梁のたわみは5mm以下となるよう選定下さい。

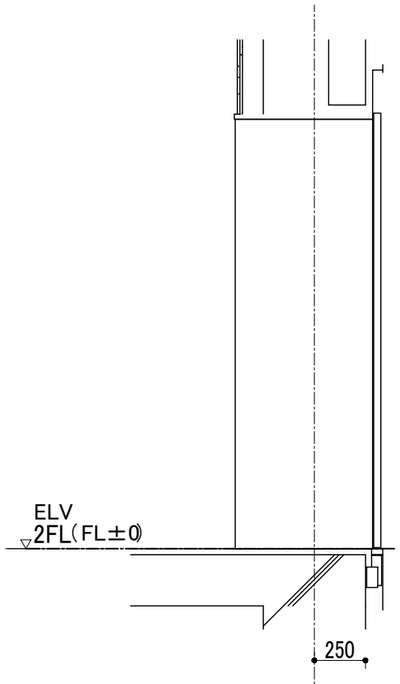
✦	天井フック（材料エレベーター支給） ・荷重：（A部）9. 8 kN （B部）19. 6 kN	（建築工事）
⊕	電源引込み（受電盤への接続） ・動力・照明、接地線 最上停止階FL－ 1350 mm　引出長さ 3 m	（電気工事）
◈	配線引込み ・インターホン配線、電話線 最上停止階FL－ 650 mm　引出長さ 3 m	（電気工事）

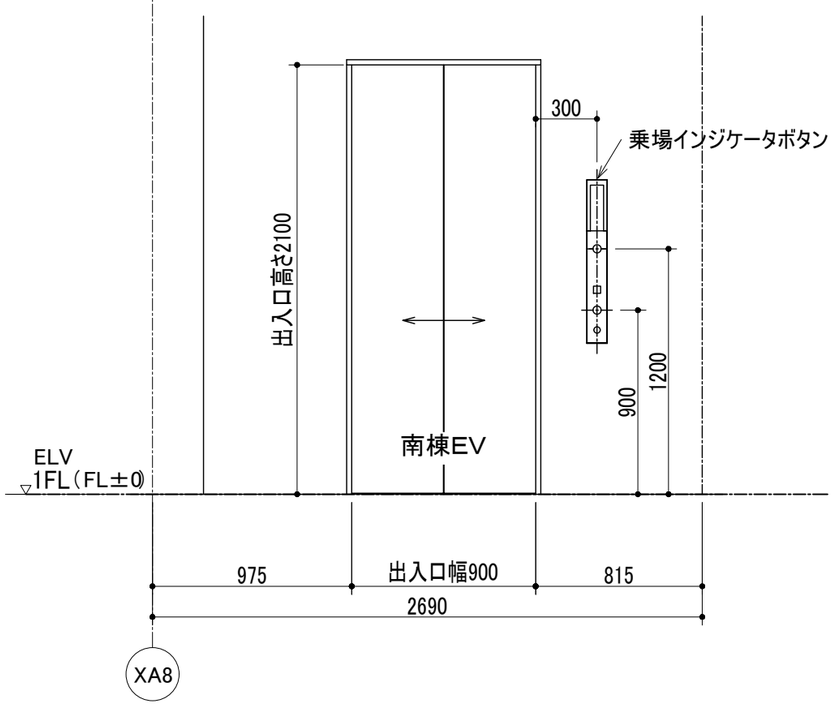
KENGO KUMA & ASSOCIATES
隈研吾建築都市設計事務所
一級建築士事務所　東京都知事登録第 32752　号
一級建築士
登録第319352号
宮原賢次

DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION	東海市創造の杜交流館建設工事
CHECKED	CHECKED	実施設計図	
APPROVED	APPROVED		

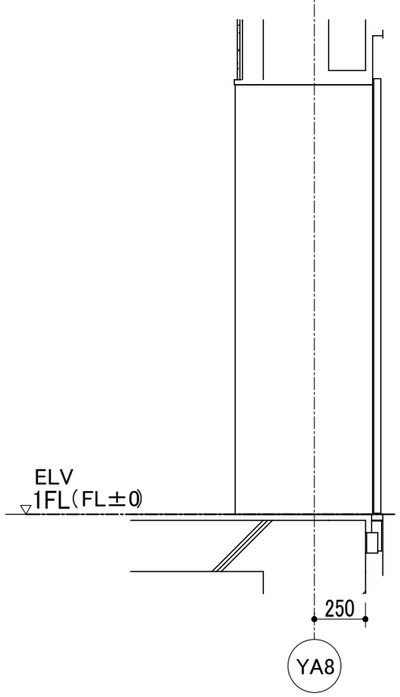
DRAWING TITLE	昇降機詳細図2
SCALE	scale=1:30
DRAWING No.	AA-090
DATE	2023/11/30





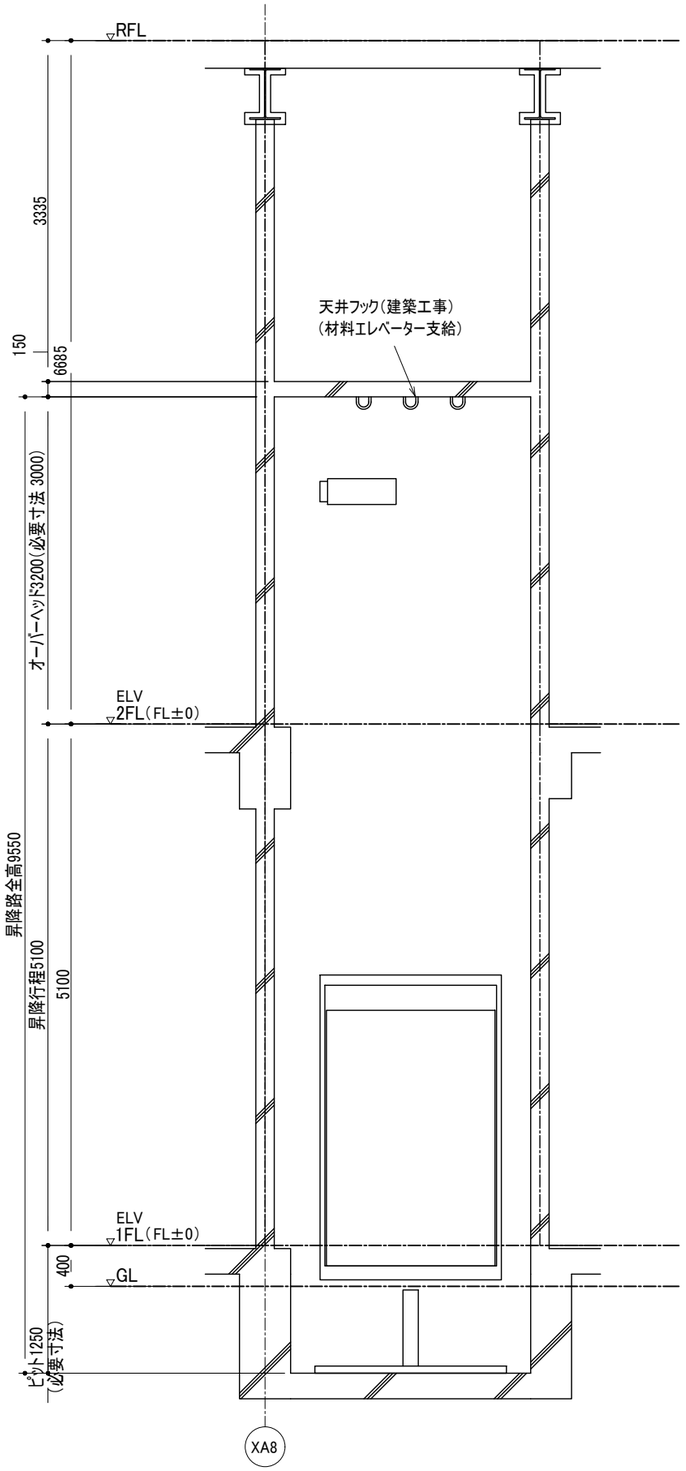


出入口正面図

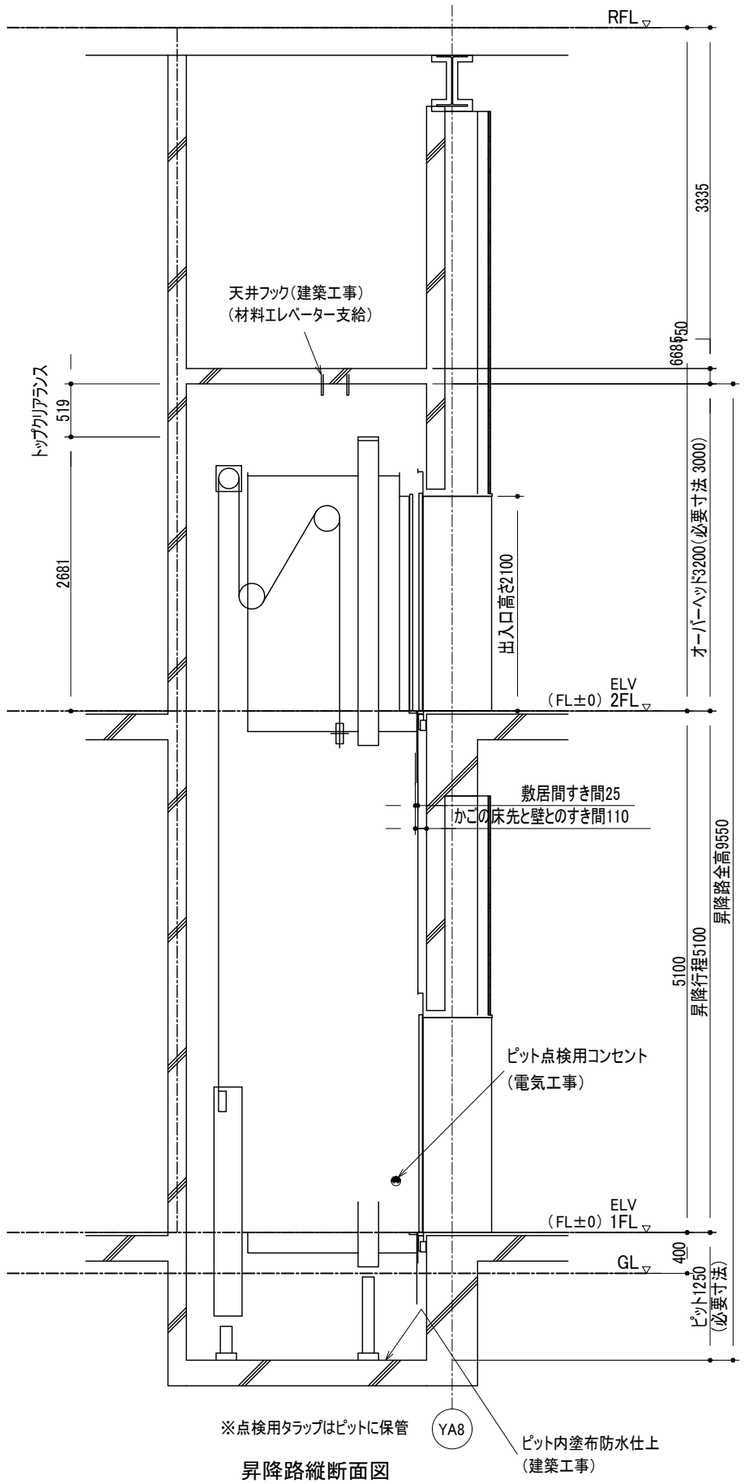


断面図

KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 昇降機詳細図3 SCALE scale=1:30	DRAWING No. AA-091 DATE 2023/11/30



昇降路間口縦断面図

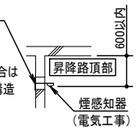


昇降路縦断面図

煙感知器詳細

施錠装置付点検扉
1.5mm以上の鋼板製（電気工事）
リミットスイッチ付（エレベーター工事）

昇降路頂部に煙感知器を設置する場合は外部に引き出した状態で点検可能な構造とする。
屋外の場合は、防水形点検扉とする。

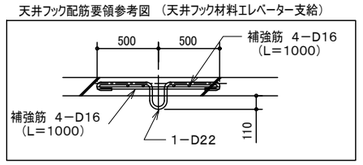


点検ボックスは下記エレベーター昇降路専用品として下さい。

- ・ホーチキ　（KUS-1C（W））
- ・能美防災　（FXS J001A-HU）
- ・ニッタン　（NID-T-G）
- ・パナソニック　（BV95351+BV95381H）

製品の型番は、仕様変更などで変更・廃止されている場合があります

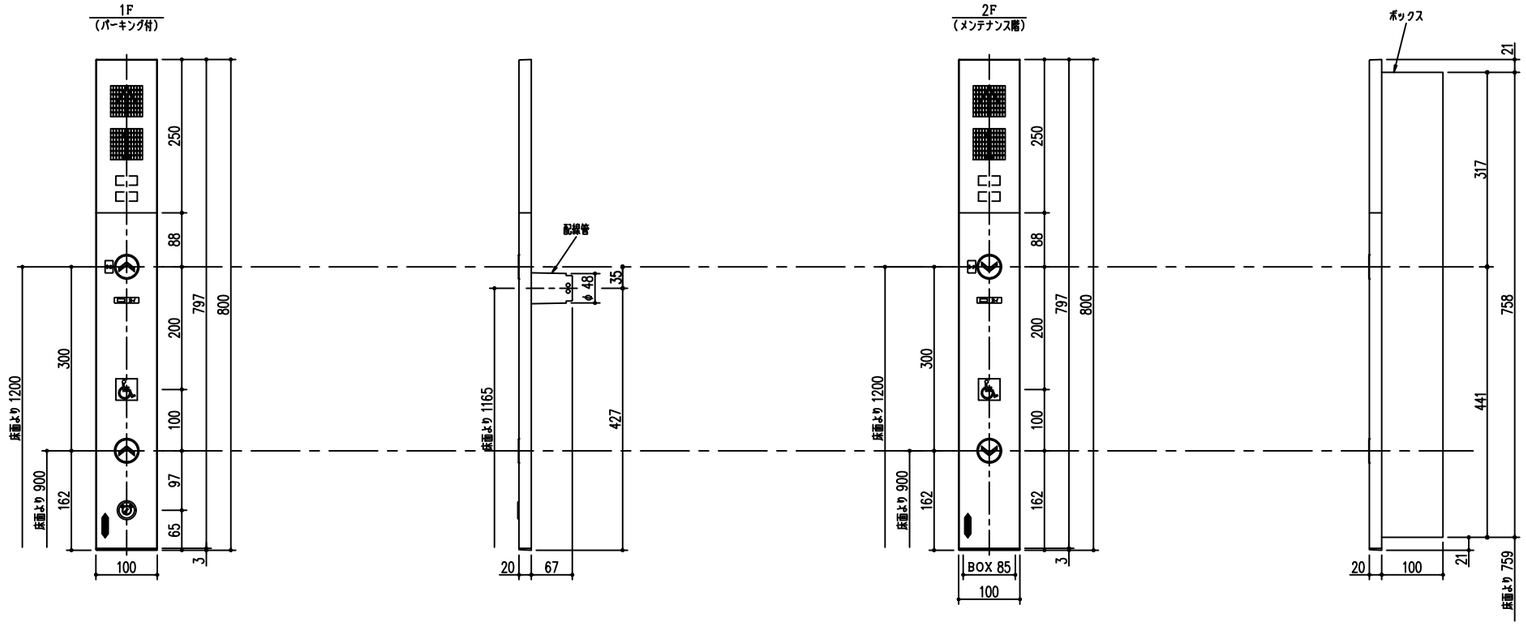
天井フック配筋要領参考図　（天井フック材料エレベーター支給）



南棟EV

ピット反力		84. 10 kN
ピット衝撃荷重	かご側	72. 10 kN
	C／W側	54. 50 kN

KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所　東京都知事登録第 32752　号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 昇降機詳細図4 SCALE scale=1:60	DRAWING No. AA-092 DATE 2023/11/30



乗場インジケータボタン

階床名	1F
プレート	ステンレス製ヘアライン仕上(長手方向ヘアライン)
下プレート	樹脂製(黒色)
表示部	樹脂製(スモーク)
方向灯	点灯時[アンバー色],[LED、ドット式]
位置灯	点灯時[アンバー色],[LEDデジタル、ドット式]
呼ボタン	抗菌仕様 樹脂製(黒色),矢印(乳白色),枠(白色) 応答時[アンバー色、矢印点灯],[LED]
シンボルマーク	銘板貼付 地色(青色),絵文字(黒色)
パーキング スイッチ	キースイッチ
点字銘板	ステンレス製

階床名	2F
プレート	ステンレス製ヘアライン仕上(長手方向ヘアライン)
下プレート	樹脂製(黒色)
表示部	樹脂製(スモーク)
方向灯	点灯時[アンバー色],[LED、ドット式]
位置灯	点灯時[アンバー色],[LEDデジタル、ドット式]
呼ボタン	抗菌仕様 樹脂製(黒色),矢印(乳白色),枠(白色) 応答時[アンバー色、矢印点灯],[LED]
シンボルマーク	銘板貼付 地色(青色),絵文字(黒色)
点字銘板	ステンレス製

直結EV
集合意匠図
乗場インジケータボタン

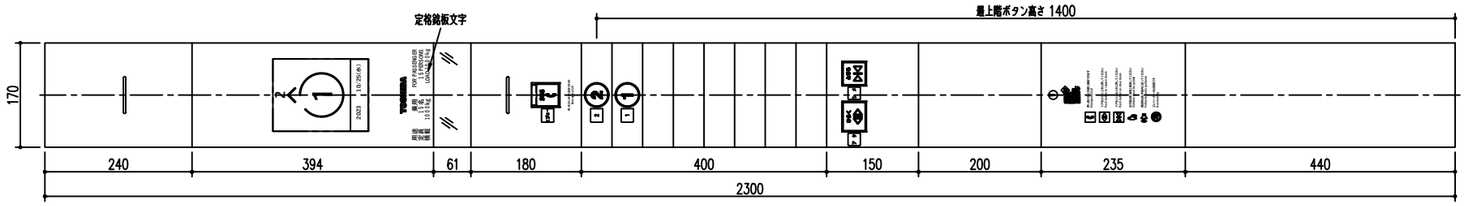
KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 昇降機詳細図5	DRAWING No. AA-093
		CHECKED		実施設計図			
			CHECKED			SCALE scale=1:10	DATE 2023/11/30
		APPROVED	APPROVED				

(主)かご操作盤	
表示部	樹脂製(スモーク)、液晶式
定格文字	文字(白色)
連絡装置	インターホン(同時通話式)
非常呼ボタン	抗菌仕様 樹脂製(赤色),絵文字(乳白色),文字(白色),枠(白色)
非常呼ボタンガード	透明樹脂
非常呼ボタン部注記	文字(白色)
行先階ボタン	抗菌仕様 樹脂製(黒色),文字(乳白色),枠(白色) 応答時[アンバー色、文字点灯],[LED]
戸開ボタン	抗菌仕様 樹脂製(緑色),絵文字(乳白色),文字(白色),枠(白色) 応答時[アンバー色、絵文字点灯],[LED]
戸閉ボタン	抗菌仕様 樹脂製(黒色),絵文字(乳白色),文字(白色),枠(白色) 応答時[アンバー色、絵文字点灯],[LED]
点字銘板	樹脂製
上部プレート	抗菌仕様,樹脂製(黒色)
ハーフミラープレート	広角ミラー 樹脂鏡面仕上
操作プレート	抗菌仕様,樹脂製(黒色),ボタン仕切線(彫り込み)
スイッチボックスプレート	抗菌仕様,樹脂製(黒色)、文字(白色)
下部プレート	鋼板製(黒色)
(主・副)専用操作盤	
表示部	樹脂製(スモーク)
方向灯	点灯時(アンバー色),[LED、ドット式]
位置灯	点灯時(アンバー色),[LEDデジタル、ドット式]
連絡装置	インターホン(同時通話式)
非常呼ボタン	抗菌仕様 樹脂製(赤色),絵文字(乳白色),文字(白色),枠(白色)
非常呼ボタンガード	透明樹脂
非常呼ボタン部注記	文字(白色)
戸開ボタン	抗菌仕様 樹脂製(緑色),絵文字(乳白色),文字(白色),枠(白色) 応答時[アンバー色、絵文字点灯],[LED]
戸閉ボタン	抗菌仕様 樹脂製(黒色),絵文字(乳白色),文字(白色),枠(白色) 応答時[アンバー色、絵文字点灯],[LED]
行先階ボタン	抗菌仕様 樹脂製(黒色),文字(乳白色),枠(白色) 応答時[アンバー色、文字点灯],[LED]
シンボルマーク	銘板貼付 地色(青色),絵文字(黒色)
フェースプレート	鋼板製塗装仕上

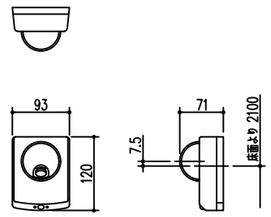
1. 実際の版下文字とは、図形文字の為若干異なる。
2. 文字詳細は、文字書体集での確認による。

用途	乗用	FOR PASSENGER
定員	15名	15 PERSONS
積載	1000kg	LOAD 1000 kg

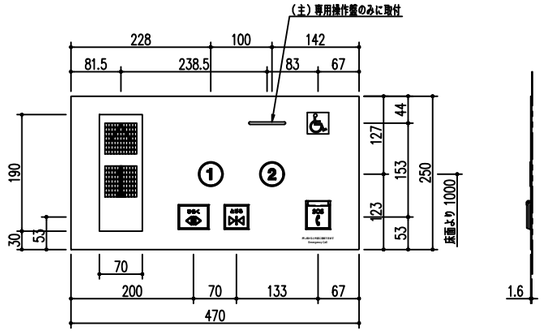
定格銘板文字



(主)かご操作盤



かご内防犯カメラ



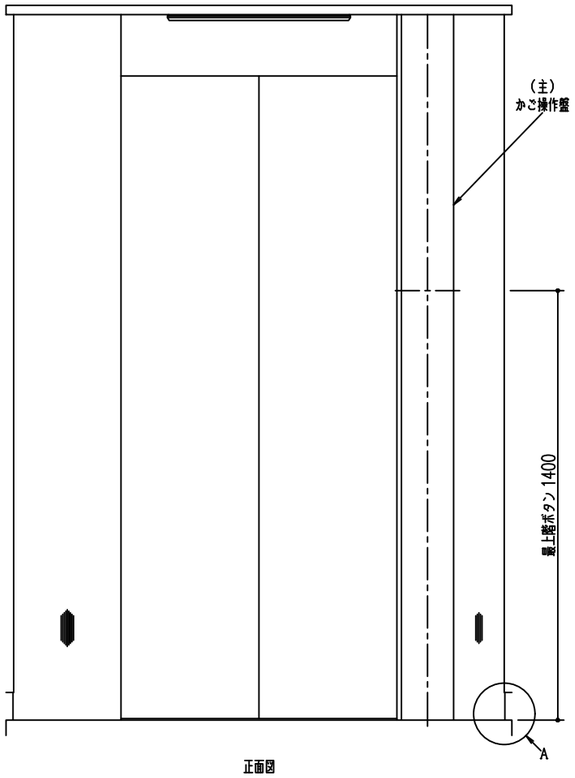
(主・副)専用操作盤

かご内防犯カメラ

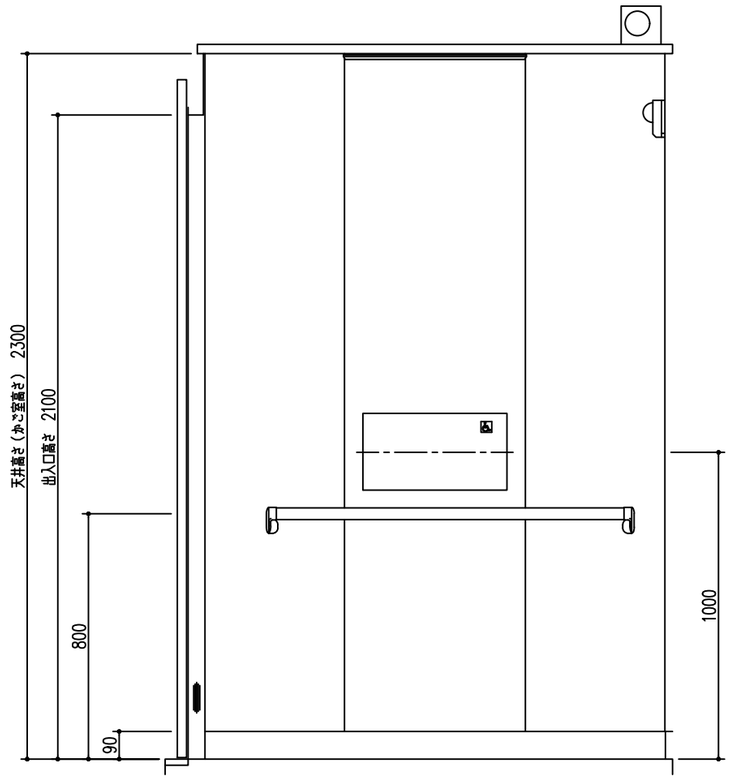
かご内防犯カメラ	
電源	DC12V
消費電力	3W
撮像素子	カラー 1/3インチCCD インターライン方式
有効画素数	976(H)X464(V) 約48万画素
走査方式	NTSC準拠
映像出力	VBS 1.0Vp-p,75Ω
水平解像度	650TVL
S/N比	45dB
同期方式	内部同期
最低照度	2.5Lux
電子アイリス	オート,1/100(初期値),1/60
フォーカス	手動調整
レンズ仕様	F:3.5,f:2.5mm
画角	水平116°,垂直86°
センサー検出方法	赤外線温度差検出方式
センサー検出範囲	水平82°,垂直96°
センサー検出感度	対象物スピード 0.3~2m/s 背景との温度差 3±1°以上
使用温度範囲	-5~45℃/80%以下(結露なきこと)
外観色調	シルバーグレー色[8H428](一部スモーク樹脂)
外観寸法	93.0(W)X71.0(H)X120.0(D)mm
記録媒体	SDカード
質量	310g

庵検EV
集合意匠図
操作盤・専用操作盤・防犯カメラ

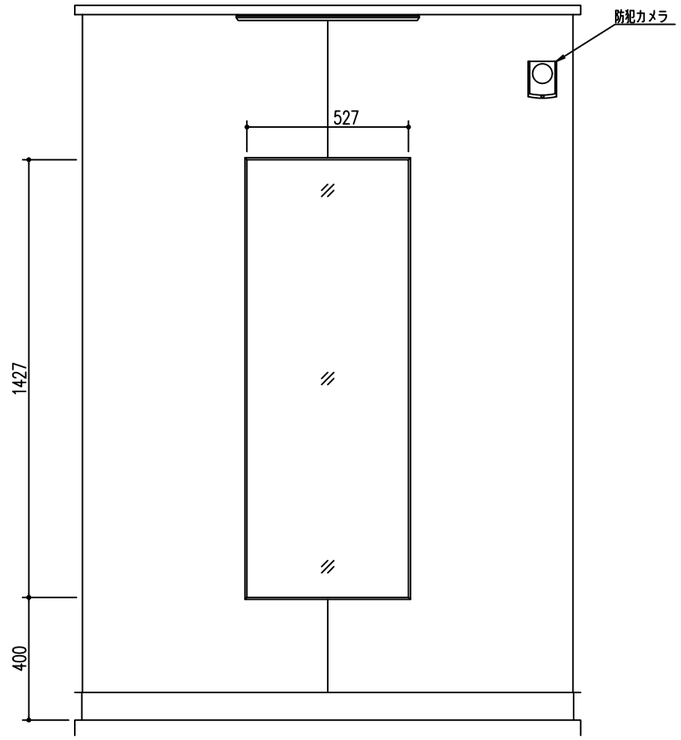
KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 昇降機詳細図6 SCALE scale=1:10	DRAWING No. AA-094 DATE 2023/11/30



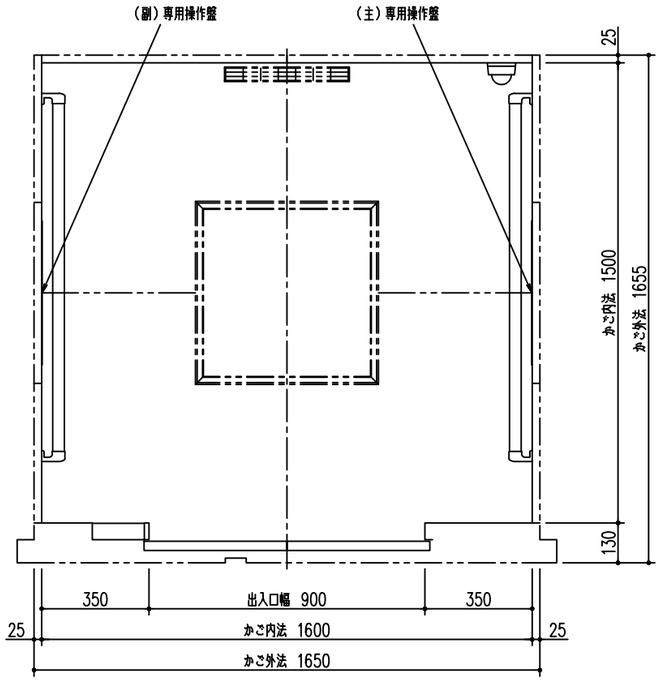
正面図



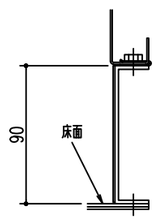
側面図



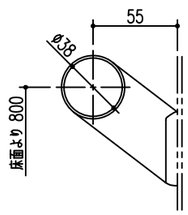
背面図



平面図



A部詳細
(1/2)[1/4]



手摺詳細
(1/2)[1/4]

天井	[照明部]導光板LED昼光色照明 [天井面]化粧鋼板
照明	LED
体電灯	LED(兼用)
出入口柱	ステンレス製ヘアライン仕上
リターンパネル	ステンレス製ヘアライン仕上
かご扉	化粧鋼板
側板	化粧鋼板
幕板	化粧鋼板
幅木	化粧鋼板
床	非塩ビ系タイル(t2)
敷居	硬質アルミ製
換気方式	横流ファン
鏡	合わせガラス
手摺	ステンレス製　軸部:亜鉛ダイカストニッケルメッキサンドブラスト仕上
かご内防犯用カメラ	ドーム形CCDカラーカメラ(映像信号渡し)(映像確認装置付)
備考	イオン発生器付,多光軸ドアセフティー付(2D),音声案内装置付 ドア安全装置:機械式(両側)

南棟EV
かご室意匠図
P15-CO [STD-11(スタンダード)]

KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 昇降機詳細図7 SCALE scale=1:20	DRAWING No. AA-095 DATE 2023/11/30

注　意　事　項

1	躯体と昇降機承諾図に相違がある場合はエレベーター着工までに躯体を是正すること
2	(1) 昇降路の壁又は囲いは隙間無きものとすること (2) 昇降路の壁又は囲いは難燃材料（不燃材料・準不燃材料含む）とすること (3) 昇降路の壁又は囲いは5cm辺り300Nの外力が作用したときに15mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること (4) コンクリート厚さは150mm以上とすること (5) コンクリート基準圧縮強度は21N/mm²以上とすること (6) 昇降路壁は後施工アンカーが可能な構造とすること
3	昇降路内にはエレベーターに関係のない配管・配線・ダクト・その他の機器を設置しないこと
4	昇降路壁には配管・消火栓等を埋め込まないこと
5	昇降路内には建築金物（ALCクリップ等）が突出ししないこと
6	昇降路内に断熱材（ウレタン・スタイロフォーム等）を施工する場合は溶接火花による火災のおそれがあるため難燃材料とすること
7	断熱材はガイドレール支持用ファスナー及び乗場出入口廻りの取付材を避けて施工すること
8	断熱材の施工時期は協議すること
9	昇降路内の温度は5℃以上　40℃以下、湿度は月平均90%以下、日平均　95%以下とし、氷結・結露しないこと
10	昇降路内及び乗場には風雨・塵埃・塩分・有害ガス等が入らないこと
11	昇降路内に換気設備を設置する場合は外部より点検可能な配置とし、雨水対策を実施すること
12	昇降路内の騒音・振動が居室に伝搬しない配置及び躯体構造（防音・防振工事等）とすること
13	エレベーターホールと風除室が近い場合はドラフトによりエレベーターの戸が開閉できなくなるおそれがあるため建物側で気密性を上げること
14	保守・点検・緊急対応のため、外部より最上階のエレベーターホールへアクセスできる通路を設けること また、個人宅や占有部、鍵が必要な場所を経由する必要がないこと
15	電源電圧の変動は動力用　±10%以内、照明用　±5%以内とし、動力用の電圧不平衡率を5%以内とすること
16	高調波障害回避のため、以下の対応を推奨します (1) 弱電機器の電源線・通信線はエレベーター動力線から1m以上分離すること (2) エレベーター動力用電源トランスは弱電機器のトランスと独立して設けること (3) 弱電機器とのアース線共用は避けること (4) エレベーター動力線は弱電機器近くの床下や天井に設置しないこと (5) 漏電遮断器・漏電継電器を設置する場合、不要動作防止のためインバータ対応のものを使用すること
17	搬入に支障のない経路を確保すること
18	据付工事用現場詰所及びエレベーター材料・据付工事用機材の保管場所を無償提供願います
19	仮設揚重機・重機（ラフタークレーン、タワークレーン等）・搬入運搬用台車を無償貸与願います
20	据付工事用電源及び試運転調整時の動力電源を無償提供願います（容量は別途打ち合わせ）
21	必要に応じてモルタルを無償提供願います
22	エレベーターを工事用として使用する場合はこの使用に伴う検査費用・復旧（オーバーホール・消耗部品の交換等）費用・定期保守費用・コールバック対応費用等が生じます
23	かご内へ一度に搬入可能な積載は4輪台車で250kg（台車含む）以下とすること

工　事　区　分　表

分類	No.	工事項目	昇降路構造 RC	昇降路構造 S	建築 建築	建築 電気	建築 設備	建築 昇降機
昇降路	1	昇降路の築造工事及び躯体・オーバーヘッド・ピット寸法が昇降機承諾図と異なる場合の是正工事 オーバーヘッド：昇降機承諾図寸法に対し20mm以上低い場合（ただし、必要寸法を確保のこと） ピット：昇降機承諾図寸法に対し浅い場合又は30mm以上深い場合（防水面から確保のこと）	○	○	○			
	2	天井フック又はトロリービーム設置工事（荷重に対し安全率5を確保のこと） （オーバーヘッド高さが 4000mmを超える場合、トロリービーム設置は必須のこと）	○	○	○			
	3	中間ビーム・セパレータビーム設置・インサート埋め込み工事	○	○	○			
	4	ガイドレール支持用ファスナー及び立柱設置・インサート埋め込み工事	○	○	○			
	5	溶接レスの場合のガイドレール支持用ファスナー及び立柱・三方枠取付用アングルへの穴加工	○	○	○			
	6	フェッシアプレート取付材設置工事（フェッシアプレート本体は昇降機工事）		○	○			
	7	昇降路内鉄骨材の耐火処理工事		○	○			
	8	ピット内防水工事	○	○	○			
	9	ピット下を使用する場合の建築躯体処置工事	○	○	○			
	10	併設されたエレベーターのピットに段差がある場合の囲仕切り工事	○	○	○			
	11	急行ゾーンがある場合の昇降路救出口設置工事	○	○	○			
	12	昇降路内建築工事仮設床用（水平養生）の金網、デッキプレート等の搬去工事	○	○	○			
	13	昇降機承諾図に記載のない突出物や不要物の撤去切断等工事	○	○	○			
	14	昇降路内温度が40℃を超える場合の換気設備工事又は空調設備工事	○	○			○	
乗場	1	乗場出入口の敷居取付用欠き込み・敷居受け持ち出し工事及び敷居取付後のモルタル充填工事	○	○	○			
	2	乗場出入口壁穴あけ・乗場出入口用品取付材設置工事及びインサート埋め込み工事 （三方枠・バックアングル・ドア・敷居・押しボタン・インジケータ・モニター等）	○	○	○			
	3	乗場出入口用品取付後の壁並びに床・天井等の仕上工事	○	○	○			
	4	三方枠・インジケータ等と壁間のモルタル又はロックウール充填工事	○	○	○			
	5	三方枠・インジケータ等と壁間の塞ぎ板による隙間塞ぎ工事	○	○				○
	6	開放廊下及び屋上等直接外気と接する乗場における雨水対策工事 （排水溝・水勾配・庇等）	○	○	○			
電気	1	昇降路頂部の煙感知器設備の設置工事（外部より点検可能な点検口の設置を含む）	○	○		○		
	2	昇降路内配管工事に伴う区画貫通部の耐火処理工事 （昇降機工事による押しボタン・警報盤等の配線工事は除く）	○	○		○		
	3	昇降路内受電端子までの動力用電源・照明用電源・接地線の引込・立上工事及び一次側端子への接続工事	○	○		○		
	4	昇降路内受電端子までのインターホン・その他機器の配管配線工事並びに引込・立上工事 （放送・遠隔監視・防犯カメラ・故障信号・非常呼信号・火災信号・セキュリティ連動信号・監視盤等）	○	○		○		
	5	遮塵のりばドア適用時の建屋火災信号の供給	○	○		○		
	6	ピット内点検用コンセントの設置工事（単独回路）	○	○		○		
その他	1	エレベーター工事着工前までの各階出入口開口部の養生作業	○	○	○			
	2	エレベーター工事着手後の昇降路内への浸水防止工事、出入口先行着工時の止水工事	○	○	○			
	3	居室側防音及び防振工事	○	○	○			
	4	搬入用仮設開口及び搬入経路の段差解消・搬入後の復旧工事	○	○	○			
	5	エレベーターを工事用として使用する場合の各種養生手配及び設置工事	○	○	○			
	6	その他建築・電気・設備に関する工事	○	○	○	○	○	

【エレベーター遠隔監視メンテナンス】

※　このエレベーターは、遠隔監視メンテナンス契約可能対応機種です。
※　遠隔監視メンテナンスでは、エレベーターの遠隔診断・遠隔監視が可能です。
※　上記サービスに必要な機器は、保守会社との遠隔監視メンテナンス契約時に貸与されます。

（1台1回線）

電源設備　（低圧）

号機名		北棟EV		
電源設備容量	動力	200V 4kVA		
	照明	100V 1.5kVA		
最大電流		21.1A		
動力線サイズ（mm²）		5.5	8	14
最大引込み距離（m）		77	119	207
建屋側MCCB		30A		
接地線最小サイズ		2mm²		
インターホン用配線		φ0.9x10本		
電話用配管・配線		φ19配管・電話線1P		
ピットコンセント容量		1kVA/台		

※制御回路トランス容量：432VA

エレベーター仕様

概略仕様	号機名（台数）	北棟EV　（1台）	
	用途（形式）	乗用　（SP11−C045）　車いす仕様	
	積載量（定員）	750kg（11人）	
	速度	45m/min	
	制御方式	交流インバータ制御方式（回生無）	
	操作方式	乗合全自動方式	
	停止ヶ所・出入口方向	（1,2FL）　2ヶ所　1方向	
	かご内法（WxDxH）	1400mm x 1350mm x 2300mm	
	出入口寸法（WxH）	800mm x 2100mm	
	ドア方式	2枚戸中央開き（電動式）	
	電動機出力	AC−3.5kW（ギヤレス）	
	電源　動力	三相3線　200V 50Hz	
	電源　照明	単相　100V 50Hz	
	管制運転　地震	有（P波+S波感知器（3段検知）リスタート機能付）	
	管制運転　火災	有	
	管制運転　自家発	無	
	管制運転　浸水時／冠水時	有　全自動形（ピット冠水時（指定階））	
	停電時自動着床装置	有	
	耐震クラス	A14	
	かご内連絡装置	24V同時通話インターホン	
	基本仕様及び標準装備仕様	ローラーガイド（かご、おもり） 照明・換気装置自動休止機能 2D多光軸（マルチビーム）ドアセフティ 反転時呼び一括キャンセル機能 戸開放時間自動設定 行先階取消し機能 気配りアナウンス機能（非常時4ヶ国語対応） イオン発生装置 故障時最寄階自動着床運転 しきい値すきまレス 広角ミラー付操作盤	
乗場仕様	三方枠	全階	大枠・直線　鋼板製単色塗装仕上（5分ツヤ）
	ドア	全階	鋼板製単色塗装仕上（5分ツヤ）
	敷居	全階	硬質アルミ製
	乗場インジケータ　ボタン	全階	抗菌凸矢印ボタン（SIAA認証）
	乗場インジケータ　インジケータ	全階	デジタル階床表示式
	乗場インジケータ　フェースプレート	全階	板曲げ　ステンレス製ヘアライン仕上　（一部樹脂製）
かご仕様	天井照明	[STD−11] アルミフレーム導光板LED照明	
	換気装置	ファン	
	リターンパネル	ステンレス製ヘアライン仕上	
	出入口柱	ステンレス製ヘアライン仕上	
	ドア	化粧鋼板	
	幕板	化粧鋼板	
	側板	化粧鋼板	
	幅木	化粧鋼板	
	床	ビニタイル　（t2）	
	敷居	硬質アルミ製	
	操作盤　ボタン	抗菌凸文字ボタン（SIAA認証）	
	操作盤　インジケータ	液晶（カラーユニバーサルデザイン認証）	
	操作盤　フェースプレート	標準（広角ミラー付）　抗菌樹脂成形品（SIAA認証・一部鋼板製）	

特記事項

- 車いす仕様（鏡：合わせガラス（床上400mm）、ユニバーサル手摺（SUS製）、専用操作盤、、専用乗場ボタン）
- 防犯カメラ：記録装置内蔵カメラ（映像信号送し）、映像確認装置付
- 音声案内装置付
- 点字銘板付
- 警報回路
- 故障接点支給
- 高調波対策
- 防振対策
- 特定客先仕様：国土交通省

（0184443）− 2　V.20.02（FC）

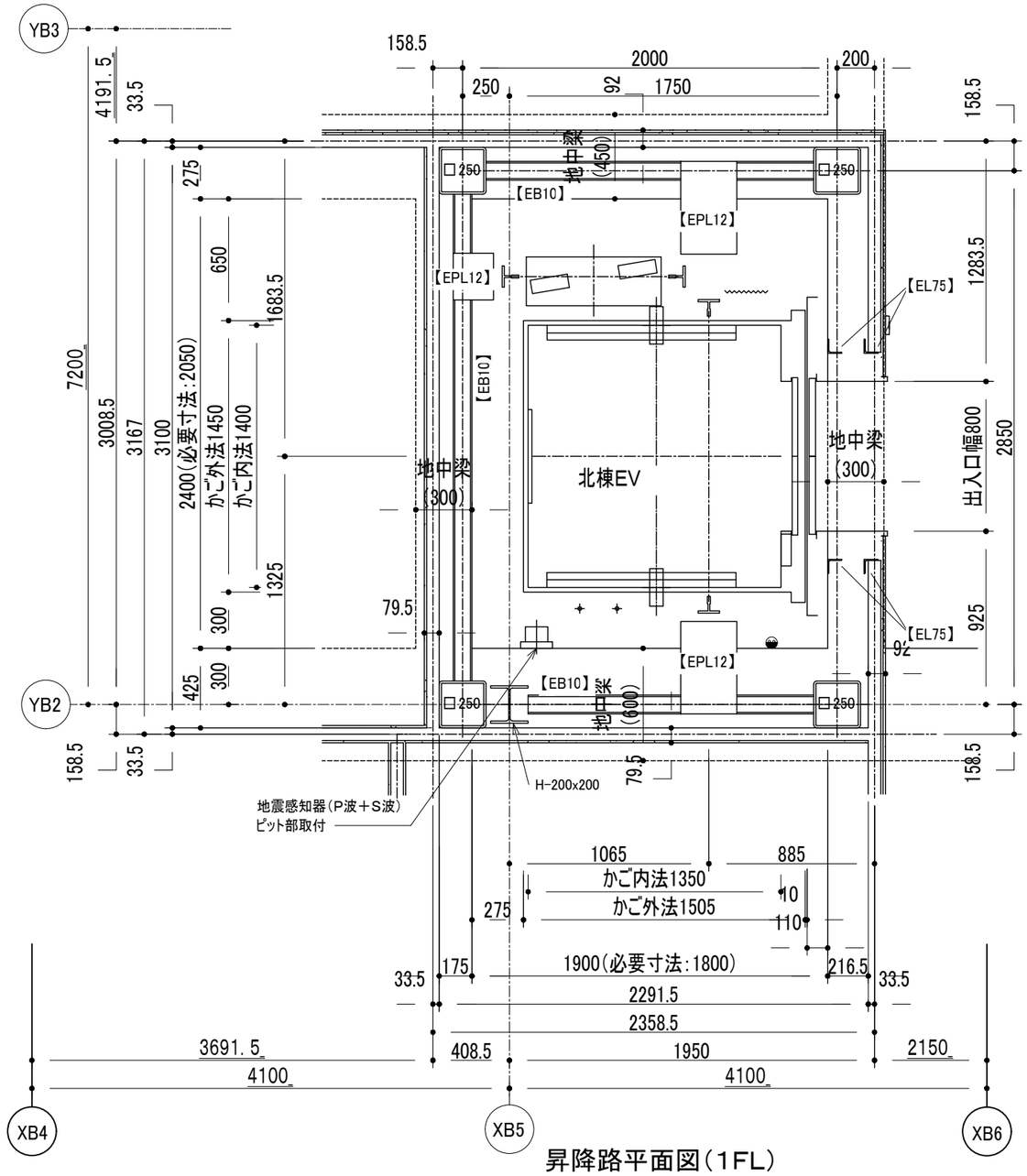
積込み荷重制限	荷重条件	250kg　（4輪台車を使用するものとし、台車の重量を含む）
	重量物の積込みは、一回当り荷重条件以下で積込み下さい。 ※フォークリフトの使用はできません。	

KENGO KUMA & ASSOCIATES
隈研吾建築都市設計事務所
一級建築士事務所　東京都知事登録第 32752　号

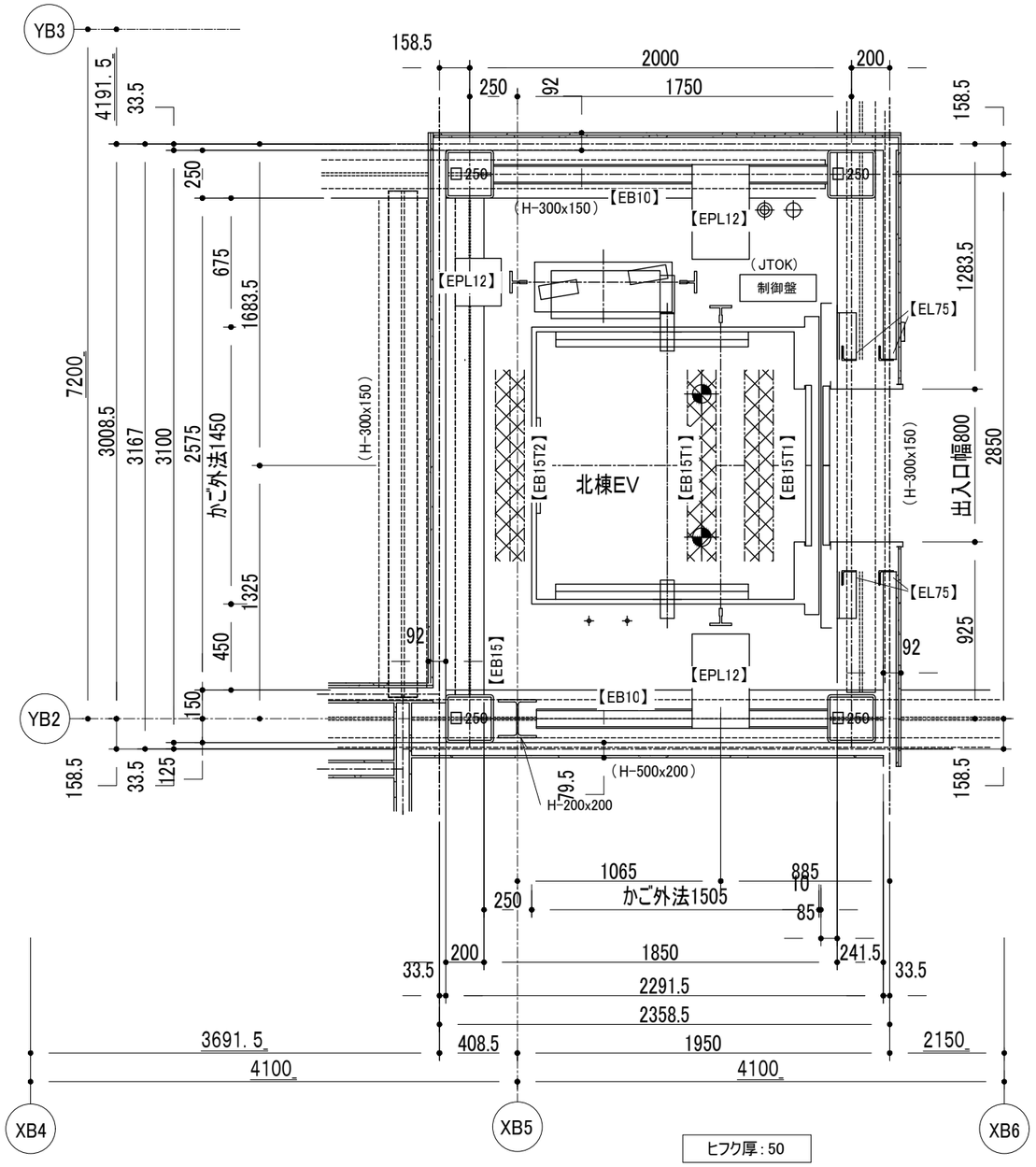
一級建築士
登録第319352号
宮原賢次

DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION	東海市創造の杜交流館建設工事
CHECKED	CHECKED	実施設計図	
APPROVED	APPROVED		

DRAWING TITLE	昇降機詳細図8
DRAWING No.	AA−096
SCALE	−
DATE	2023/11/30



昇降路平面図(1FL)



昇降路平面図(2FL)

◉	ピット点検用コンセント	(電気工事)
⌇	T. C保護金網	(エレベーター工事)

鉄骨部材記号表 (建築工事)

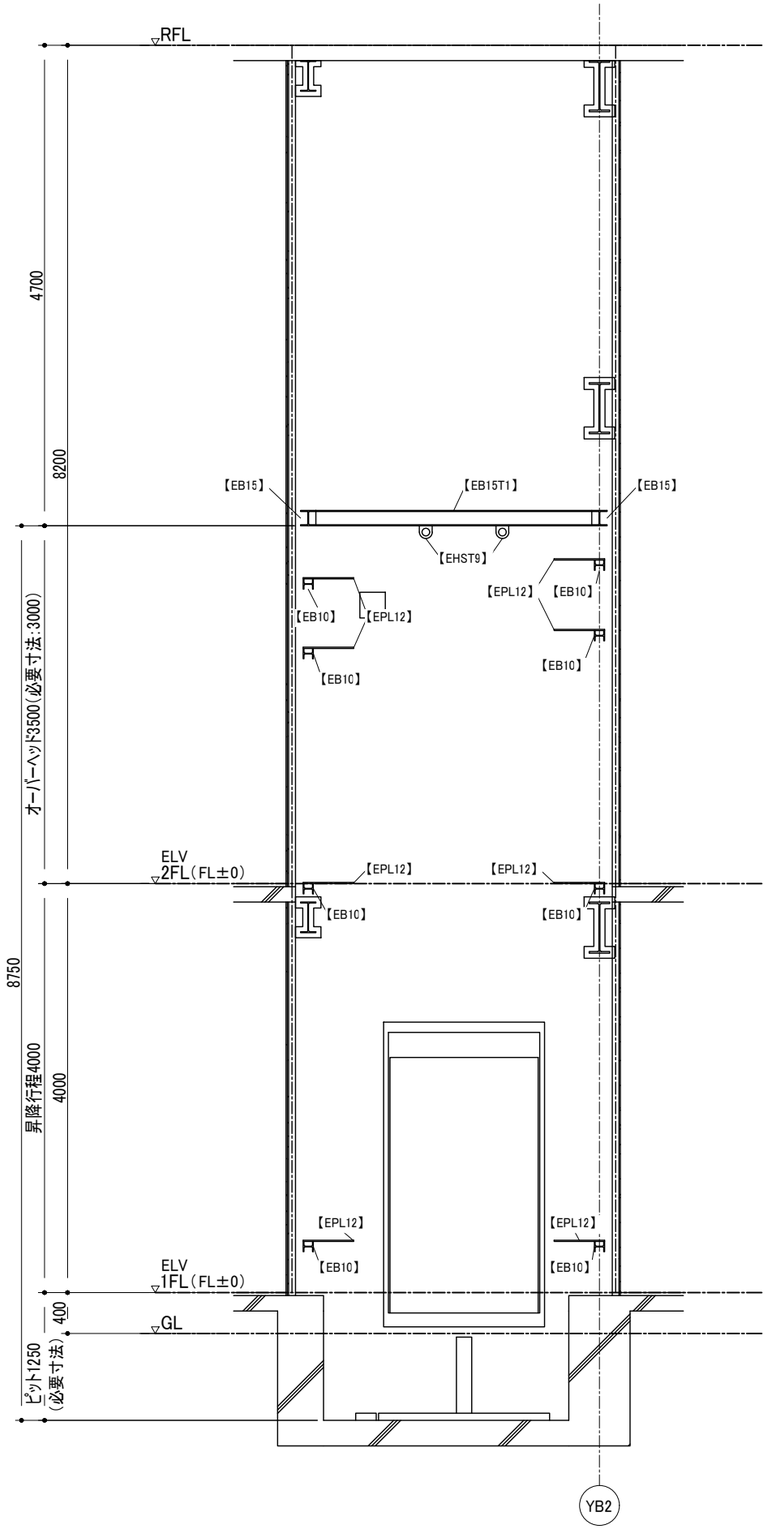
部材記号	部材用途	部材サイズ
EPL12	ファスナープレート	PL-12
EL75	三方枠取付材	L-75x75x6
EL65B	バックアングル取付材	L-65x65x6
EL10S	敷居取付材	L-100x100x10
EHST9	吊元(荷重9.8kN用)	t12(φ75穴付)
EB15T2	トロリービーム(荷重9.8kN)	H-150x150x7x10
EB15T1	トロリービーム(荷重19.6kN)	H-150x150x7x10
EB15	中間ビーム	H-150x150x7x10
EB10	中間ビーム	H-100x100x6x8

レール反力リスト(地震時作用荷重)			北棟EV
Px Py	かご側	Px	4. 20 kN
	一般階	Py	2. 10 kN
	かご側	Px	4. 00 kN
	最上階	Py	2. 60 kN
	おもり側	Px	6. 50 kN
	一般階	Py	3. 30 kN
	おもり側	Px	9. 20 kN
	最上階	Py	5. 90 kN

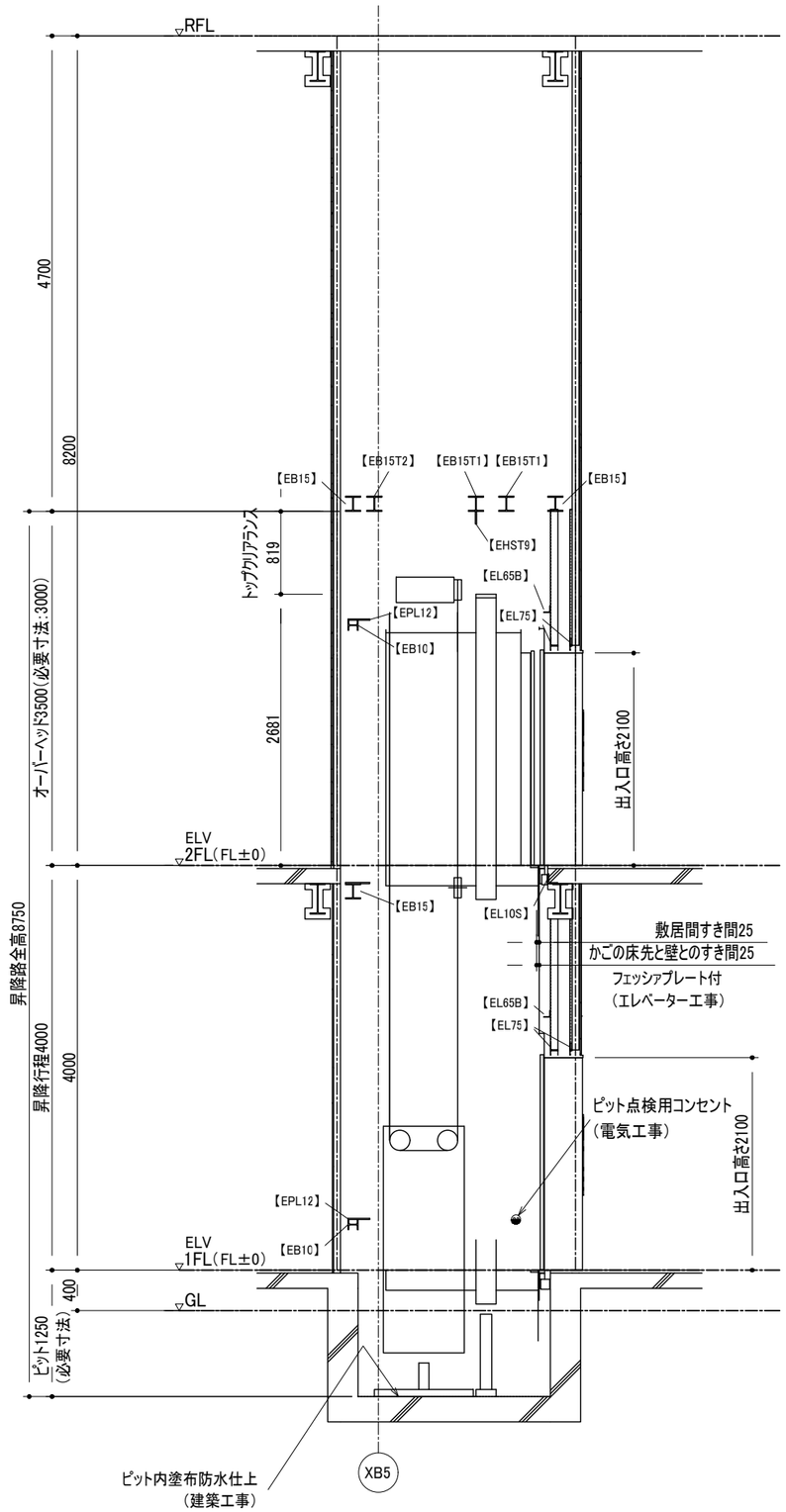
上記 荷重による柱及び梁のたわみは5mm以下となるよう選定下さい。

⊕	吊元フック ・荷重: 9. 8 kN	(建築工事)
⊕	電源引込み(受電盤への接続) ・動力・照明、接地線 最上停止階FL− 1350 mm 引出長さ 3 m	(電気工事)
⊕	配線引込み ・インターホン配線、電話線 最上停止階FL− 650 mm 引出長さ 3 m	(電気工事)

KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 昇降機詳細図9 SCALE scale=1:30	DRAWING No. AA-097 DATE 2023/11/30



昇降路縦断面図



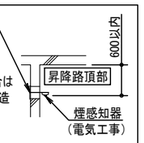
※点検用タラップはピットに保管

昇降路縦断面図

煙感知器詳細

施錠装置付点検扉
1.5mm以上の鋼板製(電気工事)
リミットスイッチ付(エレベーター工事)

昇降路頂部に煙感知器を設置する場合は外部に引き出した状態で点検可能な構造とする。
屋外の場合は、防水形点検扉とする。



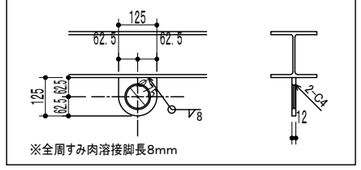
点検ボックスは下記エレベーター昇降路専用品として下さい。

- ・ホーチキ　(KUS-1C(W))
- ・能美防災　(FXS J001A-HU)
- ・ニッタン　(NID-T-G)
- ・パナソニック　(BV95351+BV95381H)

製品の型番は、仕様変更などで変更・廃止されている場合があります

吊元フック詳細

吊元フック荷重: 9.8kN



※全周すみ肉溶接脚長8mm

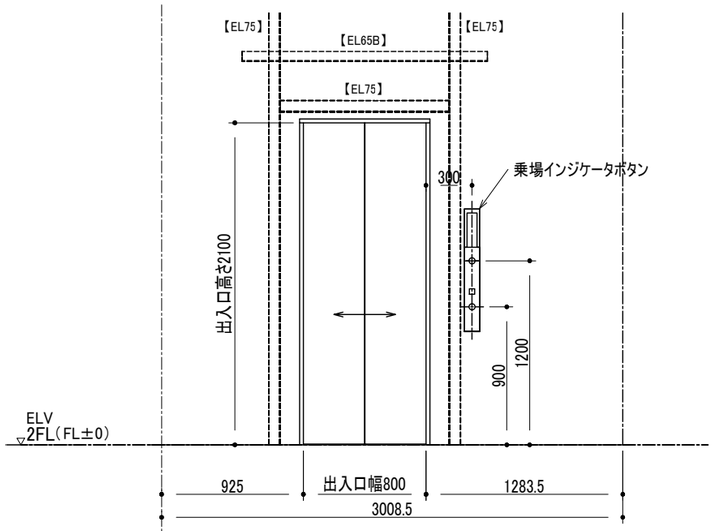
北棟EV

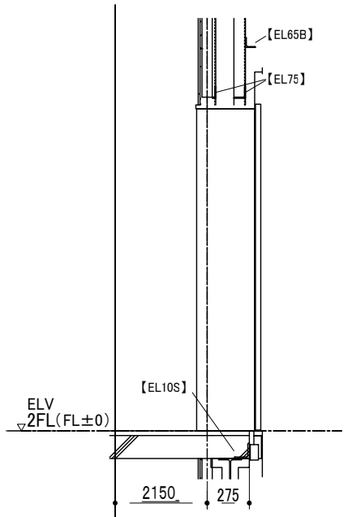
ピット反力		72. 90 kN
ピット衝撃荷重	かご側	62. 60 kN
	C／W側	49. 50 kN

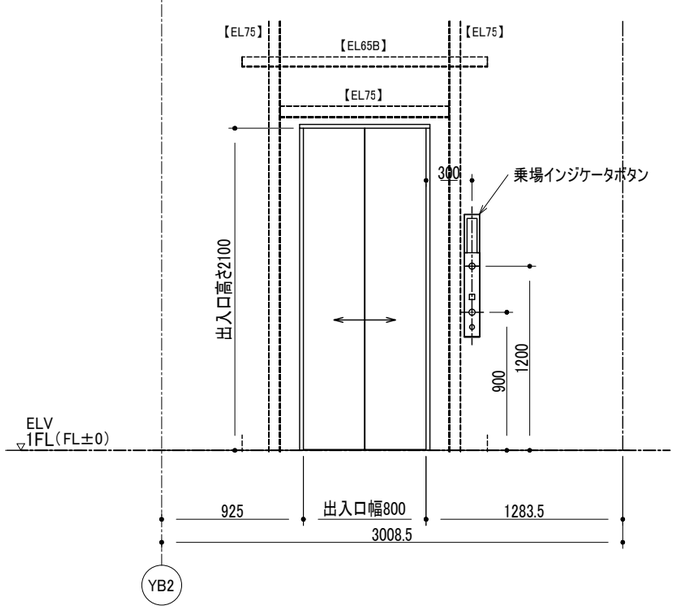
鉄骨部材記号表 (建築工事)

部材記号	部材用途	部材サイズ
EPL12	ファスナープレート	PL-12
EL75	三方枠取付材	L-75x75x6
EL65B	バックアングル取付材	L-65x65x6
EL10S	敷居取付材	L-100x100x10
EHST9	吊元(荷重9.8kN用)	t12(φ75穴付)
EB15T2	トロリービーム(荷重9.8kN)	H-150x150x7x10
EB15T1	トロリービーム(荷重19.6kN)	H-150x150x7x10
EB15	中間ビーム	H-150x150x7x10
EB10	中間ビーム	H-100x100x6x8

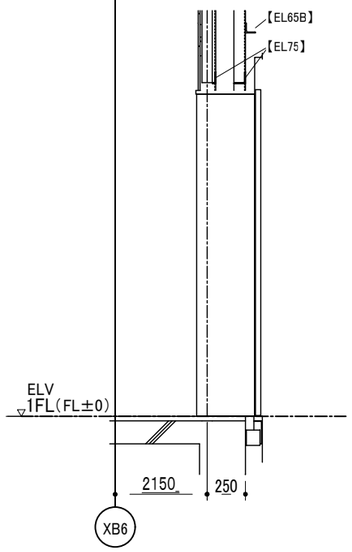
KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 昇降機詳細図10 SCALE scale=1:60	DRAWING No. AA-098 DATE 2023/11/30





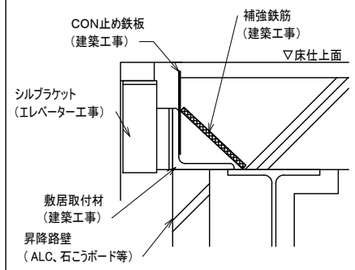


出入口正面図　正面側



断面図

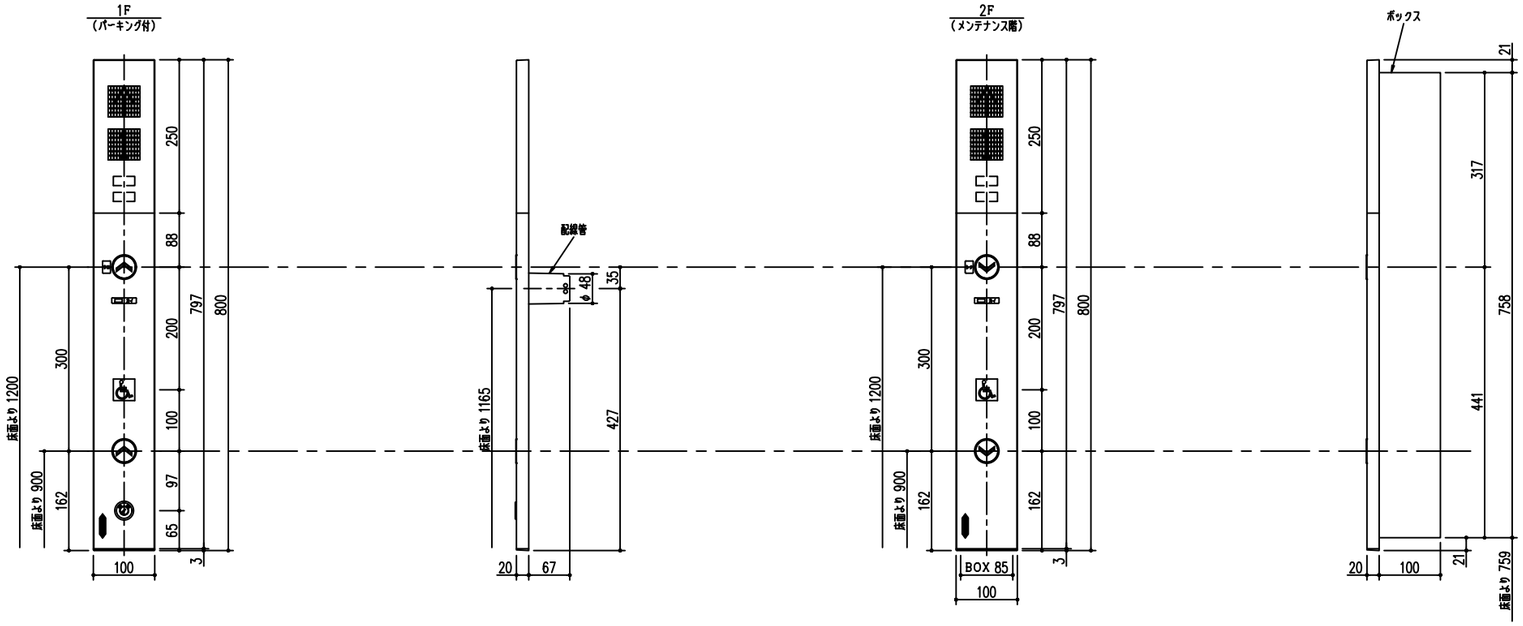
エレベーター出入口部の敷居取付材に取付けるCON止め鉄板については、
下記のように取付材の内側へ施工ください。



CON止め鉄板詳細

鉄骨部材記号表 （建築工事）		
部材記号	部材用途	部材サイズ
EPL12	ファスナープレート	PL-12
EL75	三方枠取付材	L-75x75x6
EL65B	バックアングル取付材	L-65x65x6
EL10S	敷居取付材	L-100x100x10
EHST9	吊元(荷重9.8kN用)	t12(φ75穴付)
EB15T2	トロリービーム(荷重9.8kN)	H-150x150x7x10
EB15T1	トロリービーム(荷重19.6kN)	H-150x150x7x10
EB15	中間ビーム	H-150x150x7x10
EB10	中間ビーム	H-100x100x6x8

KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 昇降機詳細図11	DRAWING No. AA-099
		CHECKED	CHECKED	実施設計図		SCALE scale=1:40	DATE 2023/11/30
		APPROVED	APPROVED				



乗場インジケータボタン

階床名	1F
プレート	ステンレス製ヘアライン仕上（長手方向ヘアライン）
下プレート	樹脂製（黒色）
表示部	樹脂製（スモーク）
方向灯	点灯時［アンバー色］，［LED、ドット式］
位置灯	点灯時［アンバー色］，［LEDデジタル、ドット式］
呼ボタン	抗菌仕様 樹脂製（黒色），矢印（乳白色），枠（白色） 応答時［アンバー色、矢印点灯］，［LED］
シンボルマーク	銘板貼付　地色（青色），絵文字（銀色）
パーキング スイッチ	キースイッチ
点字銘板	ステンレス製

階床名	2F
プレート	ステンレス製ヘアライン仕上（長手方向ヘアライン）
下プレート	樹脂製（黒色）
表示部	樹脂製（スモーク）
方向灯	点灯時［アンバー色］，［LED、ドット式］
位置灯	点灯時［アンバー色］，［LEDデジタル、ドット式］
呼ボタン	抗菌仕様 樹脂製（黒色），矢印（乳白色），枠（白色） 応答時［アンバー色、矢印点灯］，［LED］
シンボルマーク	銘板貼付　地色（青色），絵文字（銀色）
点字銘板	ステンレス製

北棟EV
集合意匠図
乗場インジケータボタン

KENGO KUMA & ASSOCIATES
隈研吾建築都市設計事務所
一級建築士事務所　東京都知事登録第 32752　号
一級建築士
登録第319352号
宮原賢次

DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION	実施設計図
CHECKED	CHECKED		
APPROVED	APPROVED		

東海市創造の杜交流館建設工事

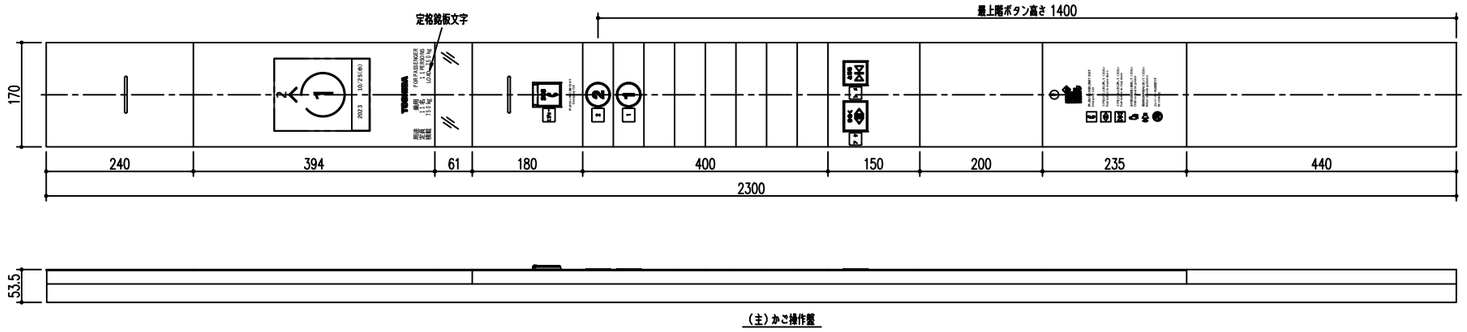
DRAWING TITLE	昇降機詳細図12
SCALE	scale=1:10
DRAWING No.	AA-100
DATE	2023/11/30

(主)かご操作盤	
表示部	樹脂製(スモーク)、液晶式
定格文字	文字(白色)
連絡装置	インターホン(同時通話式)
非常呼ボタン	抗菌仕様 樹脂製(赤色),絵文字(乳白色),文字(白色),枠(白色)
非常呼ボタンガード	透明樹脂
非常呼ボタン部注記	文字(白色)
行先階ボタン	抗菌仕様 樹脂製(黒色),文字(乳白色),枠(白色) 応答時[アンバー色、文字点灯],[LED]
戸開ボタン	抗菌仕様 樹脂製(緑色),絵文字(乳白色),文字(白色),枠(白色) 応答時[アンバー色、絵文字点灯],[LED]
戸閉ボタン	抗菌仕様 樹脂製(黒色),絵文字(乳白色),文字(白色),枠(白色) 応答時[アンバー色、絵文字点灯],[LED]
点字銘板	樹脂製
上部プレート	抗菌仕様,樹脂製(黒色)
ハーフミラープレート	広角ミラー　樹脂鏡面仕上
操作プレート	抗菌仕様,樹脂製(黒色),ボタン仕切線(彫り込み)
スイッチボックスプレート	抗菌仕様,樹脂製(黒色)、文字(白色)
下部プレート	鋼板製(黒色)
(主・副)専用操作盤	
表示部	樹脂製(スモーク)
方向灯	点灯時(アンバー色),[LED、ドット式]
位置灯	点灯時(アンバー色),[LEDデジタル、ドット式]
連絡装置	インターホン(同時通話式)
非常呼ボタン	抗菌仕様 樹脂製(赤色),絵文字(乳白色),文字(白色),枠(白色)
非常呼ボタンガード	透明樹脂
非常呼ボタン部注記	文字(白色)
戸開ボタン	抗菌仕様 樹脂製(緑色),絵文字(乳白色),文字(白色),枠(白色) 応答時[アンバー色、絵文字点灯],[LED]
戸閉ボタン	抗菌仕様 樹脂製(黒色),絵文字(乳白色),文字(白色),枠(白色) 応答時[アンバー色、絵文字点灯],[LED]
行先階ボタン	抗菌仕様 樹脂製(黒色),文字(乳白色),枠(白色) 応答時[アンバー色、文字点灯],[LED]
シンボルマーク	銘板貼付　地色(青色),絵文字(銀色)
フェースプレート	鋼板製塗装仕上

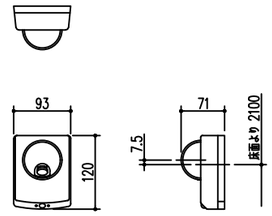
1. 実際の版下文字とは、図形文字の為若干異なる。
2. 文字詳細は、文字書体集での確認による。

用途	乗用	FOR PASSENGER
定員	11名	11 PERSONS
積載	750kg	LOAD　750kg

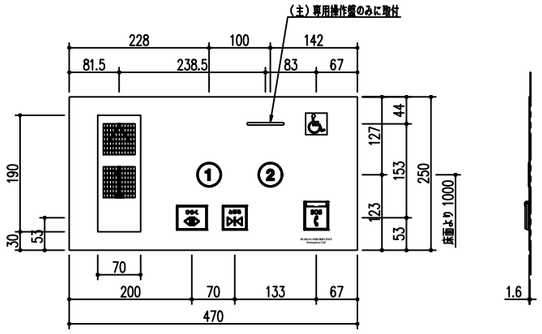
定格銘板文字



(主)かご操作盤



かご内防犯カメラ

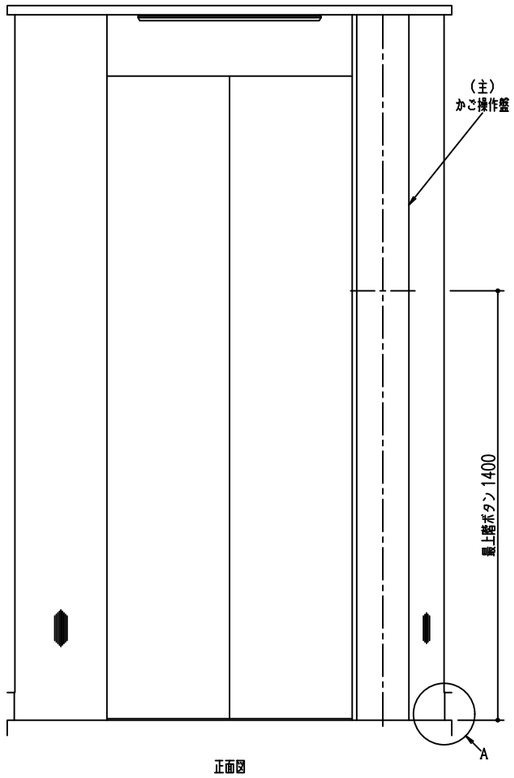


(主・副)専用操作盤

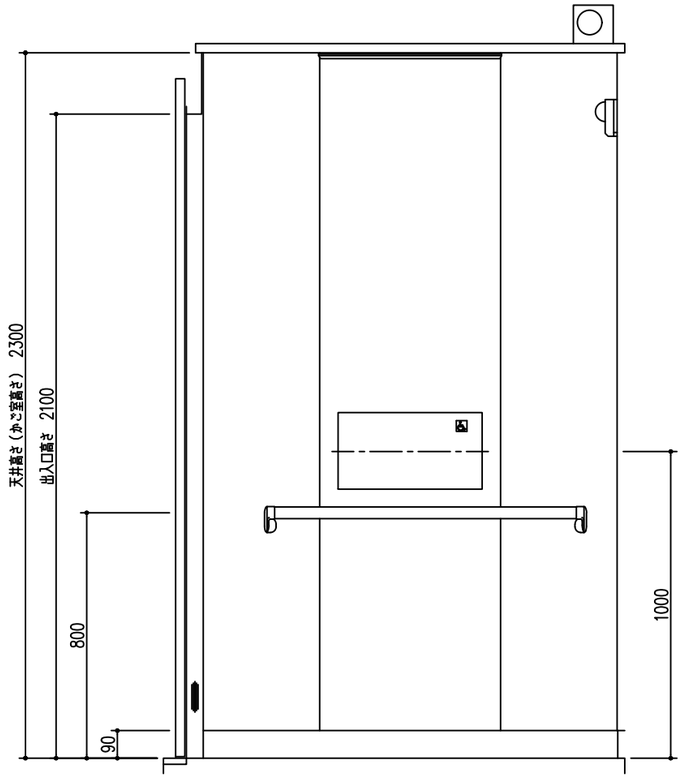
かご内防犯カメラ	
電源	DC12V
消費電力	3W
撮像素子	カラー　1/3インチCCD　インターライン方式
有効画素数	976(H)X464(V)　約48万画素
走査方式	NTSC準拠
映像出力	VBS　1.0Vp-p,75Ω
水平解像度	650TVL
S/N比	45dB
同期方式	内部同期
最低照度	2.5Lux
電子アイリス	オート,1/100(初期値),1/60
フォーカス	手動調整
レンズ仕様	F:3.5,f:2.5mm
画角	水平116°,垂直86°
センサー検出方法	赤外線温度差検出方式
センサー検出範囲	水平82°,垂直96°
センサー検出感度	対象物スピード　0.3~2m/s　背景との温度差　3±1°以上
使用温度範囲	-5~45℃/80%以下(結露なきこと)
外観色調	シルバーグレー色[8H428](一部スモーク樹脂)
外観寸法	93.0(W)X71.0(H)X120.0(D)mm
記録媒体	SDカード
質量	310g

北棟EV
集合意匠図
操作盤・専用操作盤・防犯カメラ

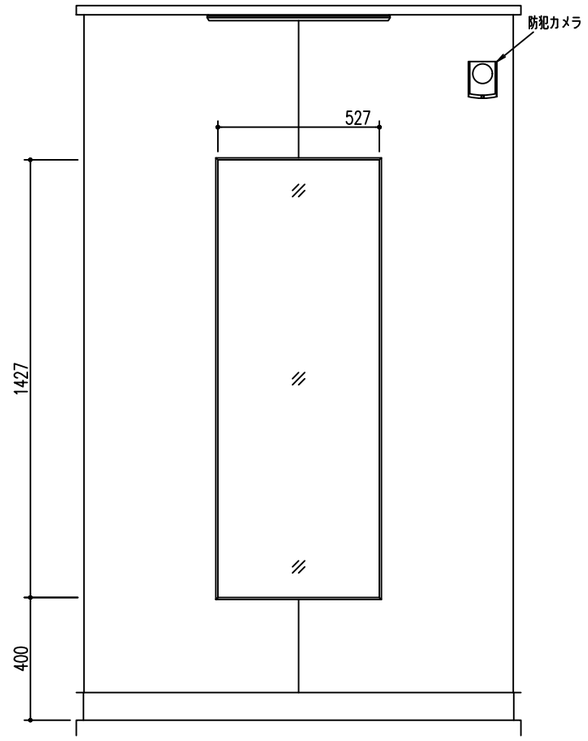
KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所　東京都知事登録第 32752　号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 昇降機詳細図13 SCALE scale=1:10	DRAWING No. AA-101 DATE 2023/11/30



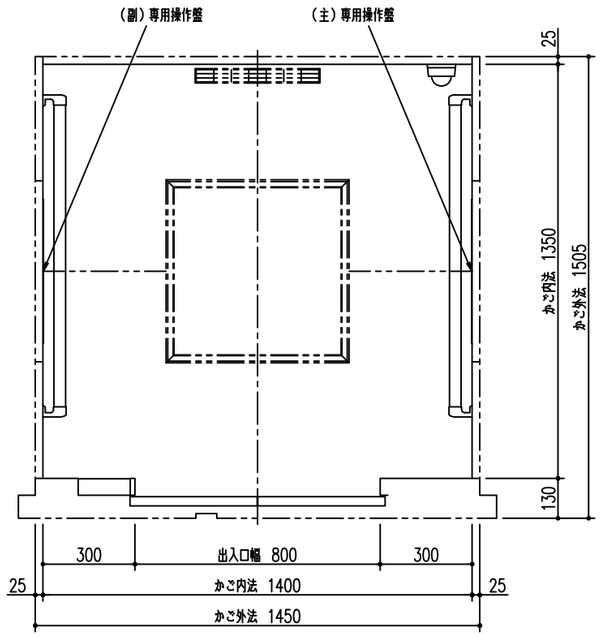
正面図



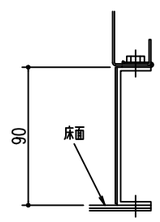
側面図



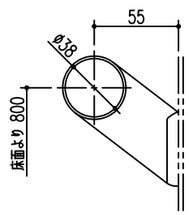
背面図



平面図



A部詳細
(1/2)[1/4]



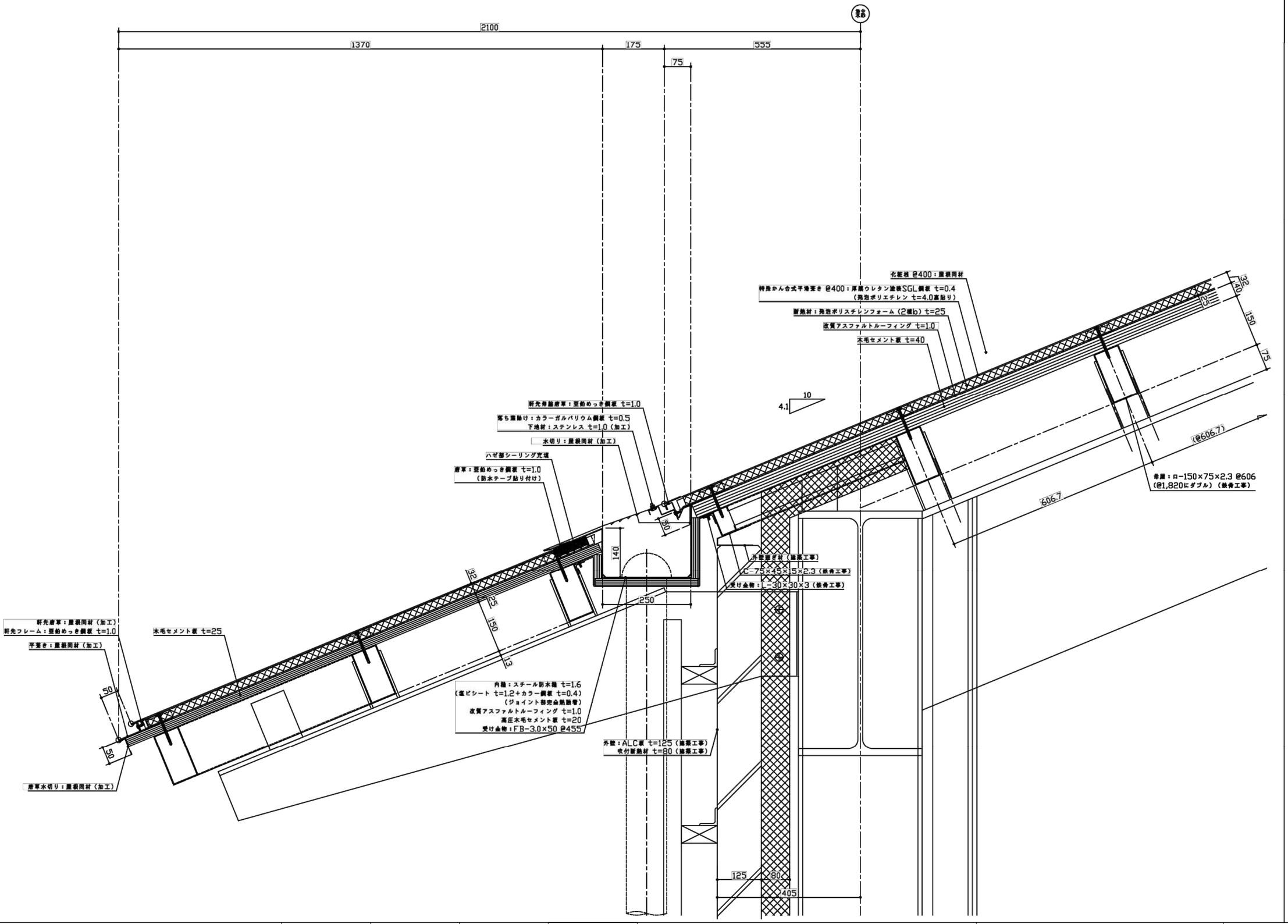
手摺詳細
(1/2)[1/4]

天井	[照明部] 導光板ＬＥＤ昼光色照明 [天井面] 化粧鋼板
照明	ＬＥＤ
停電灯	ＬＥＤ（兼用）
出入口柱	ステンレス製ヘアライン仕上
リターンパネル	ステンレス製ヘアライン仕上
かご扉	化粧鋼板
側板	化粧鋼板
幕板	化粧鋼板
幅木	化粧鋼板
床	非塩ビ系タイル（ｔ２）
敷居	硬質アルミ製
換気方式	横流ファン
鏡	合わせガラス
手摺	ステンレス製　端部：亜鉛ダイカストニッケルメッキサンドブラスト仕上
かご内防犯用カメラ	ドーム形ＣＣＤカラーカメラ（映像信号渡し）（映像確認装置付）
備考	イオン発生器付，多光軸ドアセフティー付（２Ｄ），音声案内装置付 ドア安全装置：機械式（両側）

北棟ＥＶ
かご室意匠図
P11-CO [STD-11(スタンダード)]

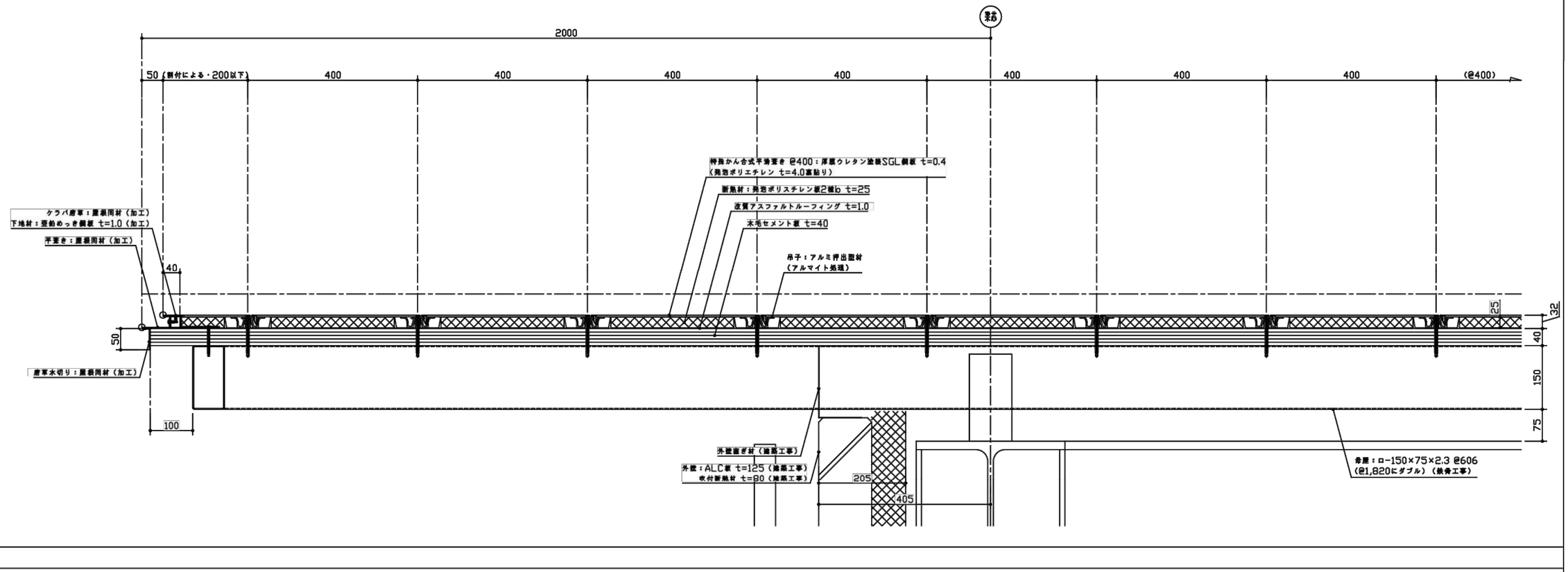
KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 昇降機詳細図14 SCALE scale=1:20	DRAWING No. AA-102 DATE 2023/11/30

軒先断面図（ギャラリー／イベントホール上）



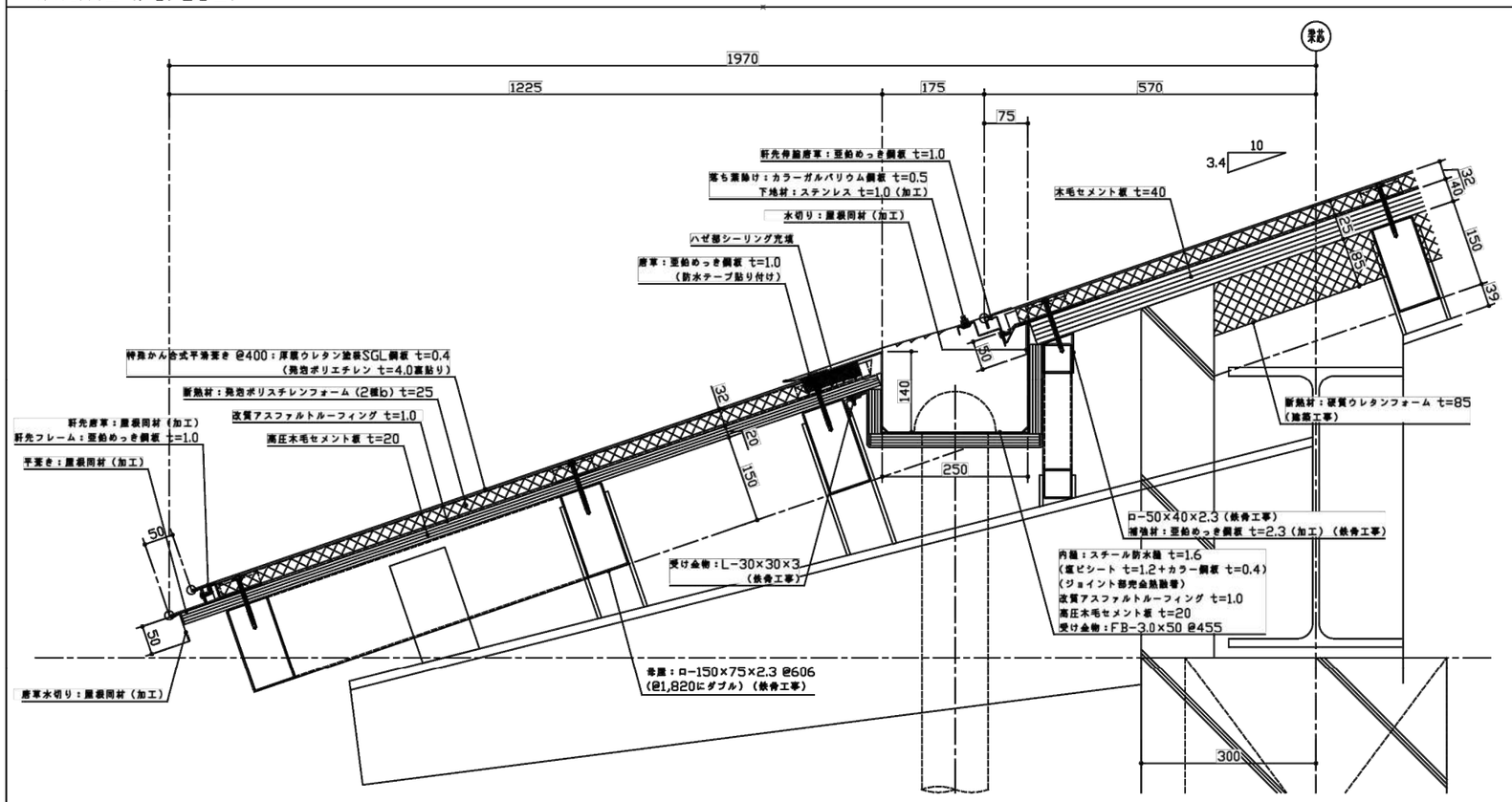
KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 部分詳細図：屋根詳細図1 SCALE scale=1:10	DRAWING No. AA-103 DATE 2023/11/30

ケラバ断面図（ギャラリー／イベントホール上）

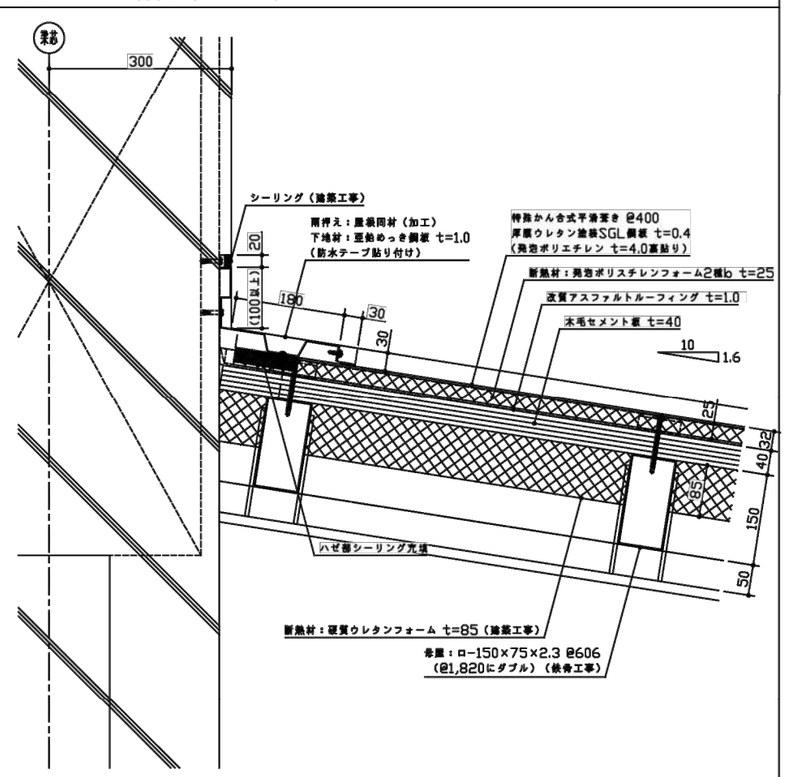


KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 部分詳細図：屋根詳細図2 SCALE scale=1:10	DRAWING No. AA-104 DATE 2023/11/30

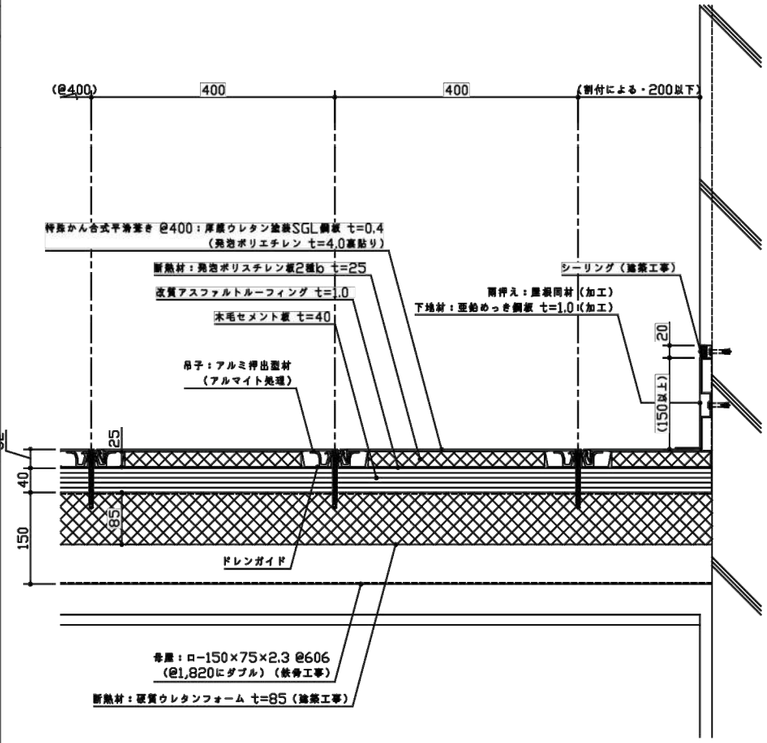
軒先断面図（PS/DS上）



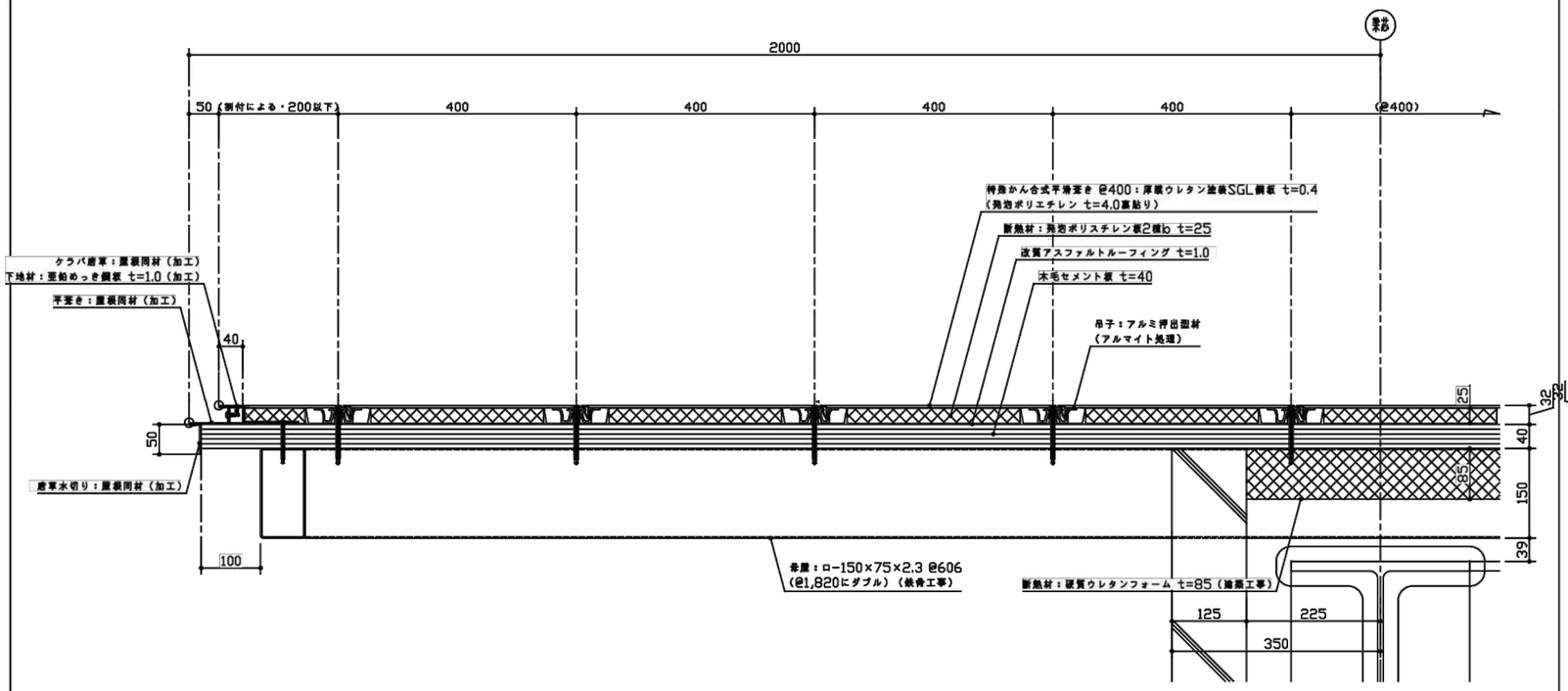
陸立ち上がり断面図（トイレ上）



陸捨て谷断面図

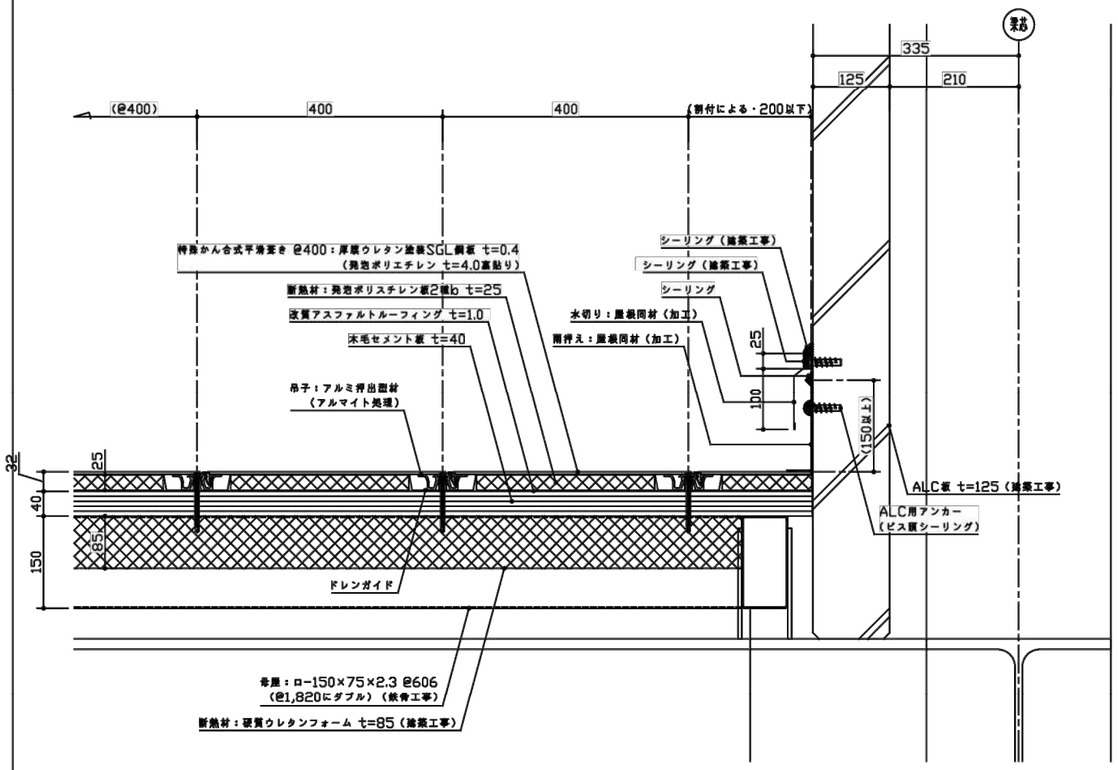


ケラバ断面図（映像ホール1上）

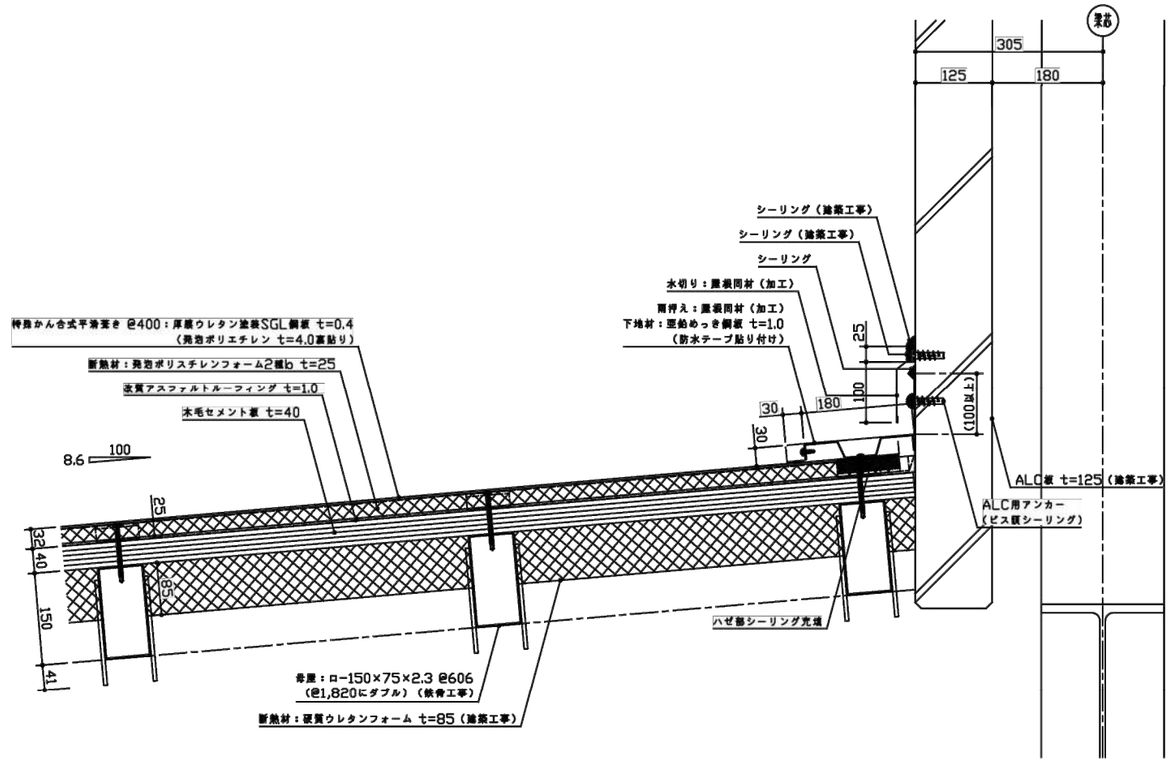


KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賀次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 部分詳細図：屋根詳細図3 SCALE scale=1:10	DRAWING No. AA-105 DATE 2023/11/30

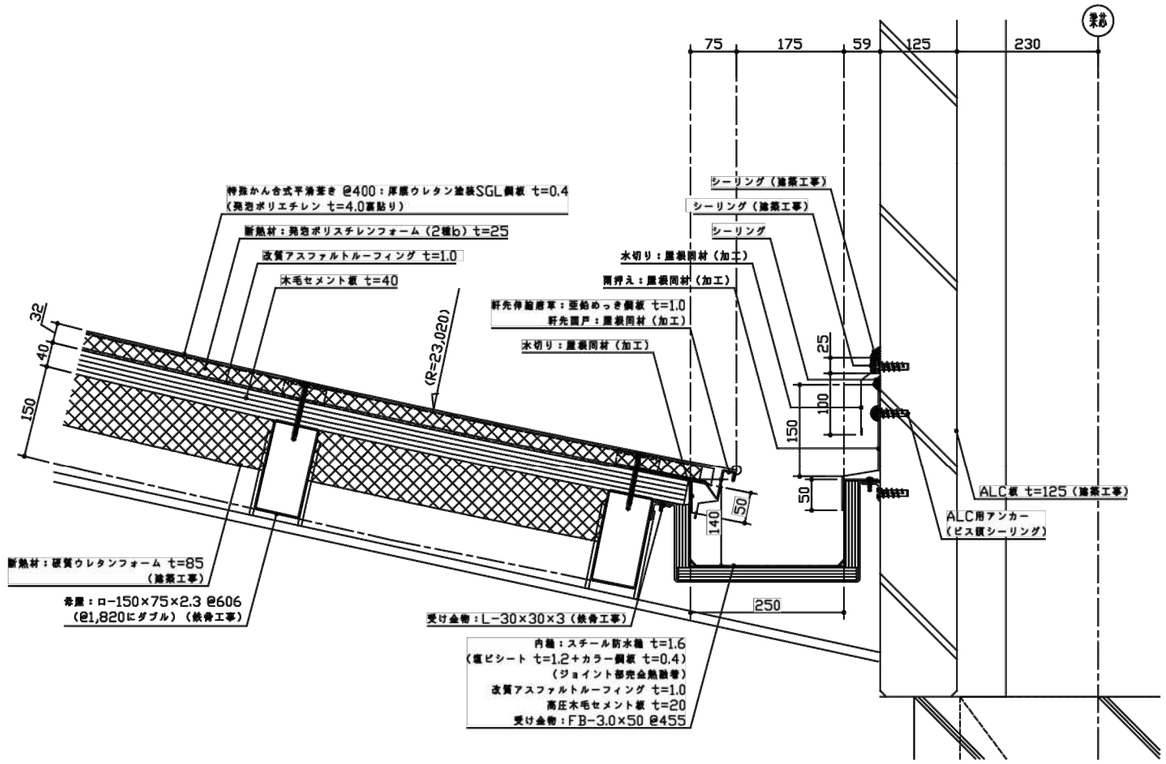
塁捨て谷断面図（エントランス上）



塁立ち上がり断面図（会議室3上）



谷樋廻り断面図（映像ホール2上）



KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 32752 号	一級建築士 登録第319352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION 実施設計図	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 部分詳細図：屋根詳細図4 SCALE scale=1:10	DRAWING No. AA-106 DATE 2023/11/30